

# 岩手県教育年報

平成22年度版

岩手県教育委員会



## 序

本県教育委員会は、教育委員会制度発足以来、毎年、教育年報を  
発刊し、本県教育の動向を把握して参りました。

この教育年報は、学校教育の充実、生涯学習の振興、スポーツ・  
文化の振興等の重点施策をはじめ、教育施策の概要、実績等を幅広  
く収録しております。

この年報が、教育に直接携わる方々はもとより、関係各位に広く  
御活用いただければ幸いです。

平成24年 3 月

岩手県教育委員会

教育長 菅野 洋樹

## 平成22年度版 岩手県教育年報について

岩手県教育委員会では、「いわて県民計画」（平成21年12月策定：計画期間 平成21年度～平成30年度）に掲げる教育政策のうち、教育委員会が所管する分野の今後10年間の基本方向について、より理解を深めるためのガイドラインとして、平成22年3月に「岩手の教育振興」を策定しました。

平成22年度版岩手県教育年報は、この「岩手の教育振興」の施策の体系を基礎として作成しています。

また、平成23年3月11日に発生した東日本大震災津波による被害状況と岩手県教育委員会の取組みについては、冒頭に第1章として取りまとめ、一部平成23年度に係る内容も含め、主に学校再開までの状況を収録しました。



# 目 次

## 第 1 章 東日本大震災津波に対する岩手県教育委員会の取組について

|      |                             |   |
|------|-----------------------------|---|
| 第 1  | 主な被害状況等                     | 1 |
| 第 2  | 県教育委員会の取組(1)：避難所の設置・運営      | 2 |
| 第 3  | 県教育委員会の取組(2)：学校再開支援         | 2 |
| 第 4  | 県教育委員会の取組(3)：教育委員長らによる被災地訪問 | 5 |
| 第 5  | 国（文部科学省）の動き（平成23年3月中）       | 5 |
| [参考] | 学校再開の状況等（小中学校）              | 6 |
|      | 学校再開の状況等（高等学校）              | 7 |

## 第 2 章 教育行財政

### 第 1 節 教育行政

|     |                     |    |
|-----|---------------------|----|
| 第 1 | 平成21年度 岩手県教育委員会経営計画 | 9  |
| 第 2 | 岩手県教育委員会            | 17 |
| 第 3 | 表彰及び栄典              | 18 |

### 第 2 節 教育財政

|     |          |    |
|-----|----------|----|
| [附] | 市町村教育委員会 | 24 |
|-----|----------|----|

## 第 2 章 教育施策の推進状況

### 第 1 節 社会の変化に対応する教育の推進

|     |                      |    |
|-----|----------------------|----|
| 第 1 | 目標達成型の学校教育の推進        | 27 |
| 第 2 | 社会人として自立できる能力の育成     | 29 |
| 第 3 | 児童生徒の健やかな成長を支える取組の推進 | 37 |
| 第 4 | 教員の適正配置              | 38 |
| 第 5 | 教員研修の充実              | 39 |
| 第 6 | 教員研究等の充実             | 41 |

### 第 2 節 確かな学力をはぐくむ教育の推進

|     |                       |    |
|-----|-----------------------|----|
| 第 1 | 学習指導要領改訂に伴う教育課程の編成    | 43 |
| 第 2 | 学習面における基礎・基本の定着       | 43 |
| 第 3 | 学力を伸ばし、生きる力をはぐくむ教育の推進 | 45 |

### 第 3 節 豊かな人間性や社会性をはぐくむ教育の推進

|     |                                 |    |
|-----|---------------------------------|----|
| 第 1 | 道徳教育、体験活動・読書活動の推進               | 47 |
| 第 2 | 生活面における基礎・基本の定着                 | 49 |
| 第 3 | 問題行動等の未然防止、早期発見・早期対応のための適応指導の充実 | 50 |

### 第 4 節 健やかな体をはぐくむ教育の推進

|     |                  |    |
|-----|------------------|----|
| 第 1 | 体力向上や運動に親しむ態度の育成 | 54 |
| 第 2 | 健康教育の充実          | 55 |
| 第 3 | 指導者の資質向上・授業力向上   | 58 |

### 第 5 節 「共に学び、共に育つ」教育の推進

|     |                           |    |
|-----|---------------------------|----|
| 第 1 | 「就学指導」から「就学支援」へ           | 61 |
| 第 2 | 幼、保、小、中、高等学校における特別支援教育の充実 | 61 |

|             |                                    |     |
|-------------|------------------------------------|-----|
| 第3          | 特別支援教育の理解促進                        | 62  |
| 第4          | 特別支援学校生徒の就労支援の充実                   | 63  |
| <b>第6節</b>  | <b>学校教育を支える教育環境の充実</b>             |     |
| 第1          | 県立高校の望ましい教育環境の整備                   | 64  |
| 第2          | 学校施設の耐震化の推進                        | 69  |
| 第3          | 修学資金の支援等                           | 70  |
| 第4          | 教育環境の整備                            | 74  |
| <b>第7節</b>  | <b>教育振興運動を基盤とした地域ぐるみで取り組む教育の推進</b> |     |
| 第1          | 学校・地域・家庭が連携するための仕組みづくり             | 82  |
| 第2          | 多様な体験学習の充実（学習機会の確保）                | 87  |
| 第3          | 地域の教育課題の解決・家庭教育の充実                 | 90  |
| <b>第8節</b>  | <b>広がりと深まりのある生涯学習の振興</b>           |     |
| 第1          | 多様な学習活動を支援する環境の整備充実                | 93  |
| 第2          | 生涯にわたる学習機会の充実                      | 95  |
|             | （1 県立生涯学習推進センター）                   | 103 |
|             | （2 県立図書館）                          | 106 |
|             | （3 県立青少年の家）                        | 110 |
|             | （4 市町村の社会教育施設：公民館）                 | 114 |
|             | （5 県立博物館）                          | 115 |
| [参考]        | 博物館等設置状況                           | 120 |
| <b>第9節</b>  | <b>地域の「創造力」向上を目指した文化芸術の振興</b>      |     |
| 第1          | 文化振興基金を活用した支援等                     | 121 |
| 第2          | 中学生・高校生に対する文化活動支援                  | 130 |
| 第3          | 文化芸術による地域振興体制づくりへの支援               | 133 |
| <b>第10節</b> | <b>郷土への誇りと愛着を深める歴史遺産と伝統文化の振興</b>   |     |
| 第1          | 世界遺産登録の推進と柳之御所遺跡の整備活用              | 135 |
| 第2          | 伝統芸能等の伝承や郷土理解のための学校教育との連携          | 137 |
| <b>第11節</b> | <b>生涯スポーツの振興</b>                   |     |
| 第1          | 運動・スポーツに親しむ人々の広がり                  | 141 |
| 第2          | 運動・スポーツに親しめる場の広がり                  | 142 |
| 第3          | ネットワークの広がり                         | 148 |
| <b>第12節</b> | <b>競技スポーツの強化</b>                   |     |
| 第1          | 中長期的な視点に立った選手育成並びに指導者養成            | 149 |
| 第2          | 競技団体・学校体育団体等の組織体制の充実に向けた支援         | 150 |
| 第3          | 広いスポーツの基盤に支えられたスポーツ拠点化に向けた支援       | 151 |
| 第4          | スポーツ医・科学サポート体制の充実                  | 151 |
| [附]         | 私立学校                               | 152 |
| [参考]        | 管理部門                               | 154 |
| [参考]        | 各県営施設で開催された主な競技会・イベント等             | 156 |

## 第3章 厚生福利

### 第1節 公立学校共済組合

|    |        |     |
|----|--------|-----|
| 第1 | 短期給付事業 | 157 |
| 第2 | 長期給付事業 | 157 |
| 第3 | 福利厚生事業 | 158 |
| 第4 | 貸付事業   | 159 |
| 第5 | 宿泊施設   | 159 |

### 第2節 教職員互助会

|    |          |     |
|----|----------|-----|
| 第1 | 短期給付事業   | 160 |
| 第2 | 長期給付事業   | 160 |
| 第3 | 厚生福利事業   | 160 |
| 第4 | 特別弔慰積立事業 | 162 |
| 第5 | 貸付事業     | 162 |

#### [参考資料]

|   |                        |     |
|---|------------------------|-----|
| 1 | 県教育委員会機構図              | 163 |
| 2 | 県教育委員会が所管する附属機関の委員     | 164 |
| 3 | 県教育委員会会議録抄             | 166 |
| 4 | 県教育委員会関係主要行事           | 168 |
| 5 | 県教育委員会が所管する特例民法法人・公益信託 | 170 |
| 6 | 県教育関係諸団体               | 172 |

## 第1章 東日本大震災津波に対する岩手県教育委員会の取組について

### 第1 主な被害状況等

#### 1 人的被害

|        | 児童生徒 |      | 教職員 |      |
|--------|------|------|-----|------|
|        | 死亡   | 行方不明 | 死亡  | 行方不明 |
| 小学校    | 17人  | 4人   | 1人  | 2人   |
| 中学校    | 15人  | —    | —   | —    |
| 県立高校   | 45人  | 7人   | 1人  | 1人   |
| 特別支援学校 | 3人   | —    | —   | —    |
| その他    | —    | —    | 1人  | —    |
| 計      | 80人  | 11人  | 3人  | 3人   |

#### 2 物的被害

|      | 被害箇所数      | 被害額          |              |
|------|------------|--------------|--------------|
| 県立   | 高校         | 61校/ 68校     | 1,691,899千円  |
|      | 特別支援学校     | 12校/ 14校     | 19,626千円     |
|      | 教育関係施設     | 15施設         | 914,480千円    |
| 市町村立 | 小学校        | 214校/392校    | 10,648,932千円 |
|      | 中学校        | 114校/189校    | 6,485,606千円  |
|      | 幼稚園        | 36園/ 60園     | 284,122千円    |
|      | その他の学校関係施設 | 6か所          |              |
|      | 社会教育施設     | 248施設/679施設  | 9,099,198千円  |
|      | 社会体育施設     | 134施設/1214施設 | 5,640,131千円  |

#### 【参考】現段階で1億円以上の被害が確認された県立学校・施設

| 施設名          | 被害額       | 被害の概要                              |
|--------------|-----------|------------------------------------|
| 高田松原野外活動センター | 860,352千円 | 全壊（管理棟の最上階まで浸水）                    |
| 高田高校         | 752,720千円 | 本校舎：3階まで浸水、第一体育館全壊<br>広田校舎：実習棟1階浸水 |
| 宮古工業高校       | 499,588千円 | 校舎1階・体育館浸水、校庭に瓦礫流入                 |
| 宮古高校         | 101,133千円 | ヨット部部室全壊、教員住宅1階浸水                  |

※ 1、2 はともに平成24年2月13日現在

3 転出（平成23年5月1日現在）

|        | 県内→県外 |
|--------|-------|
| 小学校    | 137人  |
| 中学校    | 38人   |
| 高等学校   | 36人   |
| 特別支援学校 | 0人    |
| 計      | 211人  |

4 転入（平成23年9月1日現在）

|        | 県内→県内 | 県外→県内 |
|--------|-------|-------|
| 小学校    | 522人  | 154人  |
| 中学校    | 137人  | 43人   |
| 高等学校   | 56人   | 19人   |
| 特別支援学校 | 3人    | 1人    |
| 計      | 718人  | 217人  |

第2 県教育委員会の取組(1)：避難所の設置・運営

1 被災者の受入

県内で避難所がもっとも多かった平成23年3月19日時点で、避難所となった学校は7市町村において、小学校33校、中学校13校、高等学校9校、特別支援学校3校、幼稚園1園（学校以外の教育施設、廃校施設を除く）であり、避難者の数は15,857人となった。

その後、避難住民の仮設住宅への入居が進み、平成23年8月31日をもって、学校・教育関係施設の避難所については、すべて閉鎖された。

2 被災地への支援

(1) 県教育委員会事務局による支援

平成23年3月15日から宮古地区、釜石地区及び気仙地区の避難所に指定されている学校に対し、県教委事務局職員を6回、のべ67名派遣し、避難所運営の支援を行った。

(2) 県立学校による支援

平成23年3月19日から避難所に指定されている県立山田高校及び県立大槌高校等に対し、内陸部の県立学校教職員を7回、のべ60名派遣し、避難所運営の支援を行ったほか、避難所における幼児・児童への読み聞かせ等支援としてのべ69名を派遣した。

(3) 市町村教育委員会による支援

内陸部の各市町村教育委員会が協力して、避難所に指定されている沿岸部の小中学校に対し教職員を派遣し、避難所運営の支援を行った。

| 市町村教委     | 派遣時期      | 支援地域 | 派遣数       |
|-----------|-----------|------|-----------|
| 盛岡教育事務所管内 | 3/20～3/31 | 宮古地区 | 4回 のべ111名 |
| 中部教育事務所管内 | 3/20～3/26 | 釜石地区 | 2回 のべ19名  |
| 県南教育事務所管内 | 3/23～3/26 | 気仙地区 | 1回 のべ21名  |

第3 県教育委員会の取組(2)：学校再開支援

1 小中学校再開支援プロジェクト

(1) 被災した学校の状況把握〔対象：被災した全小中学校〕

平成23年3月25日から27日にかけて、文部科学省の協力を得て、学校施設に関する応急危険度判定調査を実施した。（市町村教委が同行し、情報共有）

## (2) 学校運営体制の整備・支援等

[緊急対応]

被害状況の確認、被災地域への教職員の派遣、国への緊急要望、転学対応、被災状況を見据えた教職員の配置等を実施した。

[課題対応—新学期に向けて]

- ・学校の児童生徒受入れ状況調査として、平成23年3月24日から4月11日にかけて6回実施した。  
(世帯転住等に対応)
- ・様々なケアが必要な児童生徒等に対する学校の対応として、下記内容を中心とする「学校再建ガイドライン」の作成・提供を行った。(平成23年3月31日)

<学校再建ガイドラインの主な内容>

- 1 学校の体制づくりについて
  - 2 児童生徒に関すること(①教科書・学用品、②心のケア、③健康管理、④就学援助)
  - 3 教職員に関すること(①服務等、②健康管理、③給付事業、④相談窓口)
- ※その他関係資料、必要な様式等

## 2 高等学校再開支援プロジェクト

### (1) 被災した学校の再開

|          |   |
|----------|---|
| 県立高田高校   | ・大船渡東高校萱中校舎(旧大船渡農業高校校舎)を仮校舎として再開<br>・必要な改修の実施、生徒通学手段確保のためスクールバスを運行<br>・始業式は5月2日、入学式は5月10日に実施        |
| 県立宮古工業高校 | ・1、3年生は宮古水産高校、2年生は宮古商業高校で授業を再開<br>・始業式は4月27日、入学式は4月28日に実施<br>・必要な改修を実施し、夏休み明け(平成23年8月29日)から自校で授業を再開 |

### (2) 学校運営体制の整備・支援等

[緊急対応]

被害状況の確認、被災地域への教職員の派遣、国への緊急要望、高校入試・転学対応(後述)、被災状況を見据えた教職員の配置、被災した学校の体制整備等を実施した。

[課題対応—新学期に向けて]

- ・避難所となっている学校の対応(大槌高校については教室棟で被災者生活)に関して、大槌高校と大槌町で調整を行い、4月20日に始業式、4月22日に入学式を実施することで合意した。
- ・様々なケアが必要な児童生徒等に対する学校の対応として、「学校再建ガイドライン」の作成・提供を行った。(平成23年3月31日)

### 3 被災児童生徒の心のサポート

- ・総合教育センター教育相談担当、養護教諭等の現地派遣を行った。
- ・県精神保健センターの派遣する精神医療チームとの連携を行った。
- ・スクールカウンセラー連絡協議会を開催し、「こころのサポートチーム」スーパーバイザー 兵庫教育大学大学院 富永良喜教授による講演を実施した。(平成23年4月12日)
- ・児童生徒のこころのサポート(急性期)研修会を実施した。(平成23年4月8日～4月18日、沿岸地区の教員等の希望者を対象に10会場で実施)

### 4 高校入試関連

#### (1) 入試日程の変更

- ア 一般入学者選抜、杜陵高校(定時制)前期日程合格者発表  
平成23年3月16日(水)⇒3月22日(火)
- イ 再募集出願期間  
平成23年3月17日(木)～22日(火)⇒3月23日(水)～31日(木)
- ウ 再募集・杜陵高校(定時制)後期日程学力検査等実施  
平成23年3月28日(月)⇒4月4日(月)
- エ 再募集・杜陵(定時制)後期日程合格者発表  
平成23年3月28日(月)⇒4月6日(水)
- オ 入学式(全県的な被災状況に鑑みて「標準日」を設定)  
平成24年4月15日(金)

#### (2) 入学選考料及び入学料の納入免除

被災により生活の基盤を失った生徒に係る入学選考料及び入学料の納入を免除した。

#### (3) 被災した生徒の転学

すべての県立学校が協力して、被災した生徒の就学機会の確保に全力を尽くすことなど、被災した生徒の転学に係る基本的な考え方について、平成23年3月22日付で各県立高校学校長あて通知した。

### 5 市町村教委に対する学校再開のための人的支援

#### (1) 県教委による支援

甚大な被害を受けた陸前高田市教育委員会に対し、学校再開・復興に向けた事務を支援するため、平成23年3月22日以降段階的に、県教委から教育専門職3名(教育次長、学校教育課長、指導主事)のほか、事務職員4名、さらに、平成23年4月12日から社会教育分野の専門職(社会教育主事)1名の計8名を派遣した。

#### (2) 東京都による支援

東京都教育庁から12名(指導主事、建築職等)が、大槌町教育委員会の学校再開支援を行うため派遣され、平成23年4月11日から現地入りした。

#### (3) 名古屋市による支援



名古屋市から建築職1名及び事務職1名が陸前高田市教育委員会の学校再開支援を行うため、派遣された。

#### 第4 県教育委員会の取組(3)：教育委員長らによる被災地訪問

八重樫教育委員長らが被災地の市町村教育委員会や避難所となっている学校を訪問し、教職員等への激励及び状況視察等を行った。

○平成23年3月22日

宮古市教育委員会、山田町教育委員会、県立山田高校、県立宮古北高校、宮古市立宮古小学校、山田町立山田南小学校、宮古教育事務所【八重樫教育委員長及び事務局職員】

○平成23年4月7日

陸前高田市教育委員会、大船渡市教育委員会、釜石市教育委員会、大槌町教育委員会、県立高田高校(大船渡東高校)、陸前高田市立高田第一中学校、釜石市立釜石小学校【八重樫教育委員長、小平委員及び事務局職員】

#### 第5 国(文部科学省の動き)(平成23年3月中)

##### 1 笠大臣政務官による現地視察

平成23年3月20日、笠浩史 文部科学省大臣政務官が来県し、今後の支援のあり方等について知事と意見交換を行った。(八重樫教育委員長、法貴教育長同席)

その後、被害状況の把握、市町村教委との意見交換(陸前高田市、釜石市、大槌町)を実施した。

##### 2 現地連絡調整員の派遣

平成23年3月25日から7月29日まで、文部科学省大臣官房付 石崎宏明氏が県教委に派遣された。石崎氏は災害対応業務について国との連絡調整に当たった。

##### 3 鈴木文部科学副大臣による現地視察

平成23年3月28日、鈴木寛 文部科学副大臣が来県し、今後の支援のあり方等について知事と意見交換を行った。(八重樫教育委員長、法貴教育長同席)

また、被害状況の把握、市町村教委等との意見交換(岩手医科大学、山田町、大槌町)を実施した。



(参考：学校再開の状況等（小中学校）)

始業式（平成23年4月5日～4月25日）、入学式（平成23年4月6日～4月27日）

沿岸地域の小中学校178校中、24校が他校又は他施設で授業を再開した。

内陸地域では、盛岡市立厨川中学校が地震被害のため3校（1年生：大新小学校、2年生：青山小学校、3年生：厨川中学校）に分散して授業を再開した。また、県南部の学校を中心に、東日本大震災及び平成23年4月7日に発生した余震被害のため、校舎の一部が使用不能となる学校があった。

他校又は他施設で授業再開した沿岸地域の小学校

| 学校名         | 使用校舎（施設）                           | 始業式   | 入学式   |
|-------------|------------------------------------|-------|-------|
| 大船渡市立赤崎小学校  | 大船渡市立蛸ノ浦小学校                        | 4月20日 | 4月21日 |
| 大船渡市立越喜来小学校 | 大船渡市立甫嶺小学校                         | 4月20日 | 4月21日 |
| 大船渡市立崎浜小学校  | 大船渡市立甫嶺小学校                         | 4月20日 | 4月21日 |
| 陸前高田市立気仙小学校 | 陸前高田市立長部小学校                        | 4月20日 | 4月21日 |
| 釜石市立唐丹小学校   | 釜石市立平田小学校                          | 4月21日 | 4月23日 |
| 釜石市立鶴住居小学校  | 釜石市立双葉小学校（1～4年生）／釜石市立小佐野小学校（5～6年生） | 4月26日 | 4月27日 |
| 大槌町立大槌小学校   | 岩手県立陸中海岸青少年の家                      | 4月20日 | 4月25日 |
| 大槌町立安渡小学校   | 大槌町立吉里吉里小学校                        | 4月20日 | 4月25日 |
| 大槌町立赤浜小学校   | 大槌町立吉里吉里小学校                        | 4月20日 | 4月25日 |
| 大槌町立大槌北小学校  | 大槌町立吉里吉里小学校                        | 4月20日 | 4月25日 |
| 宮古市立鶴磯小学校   | 宮古市立重茂小学校                          | 4月25日 | 4月26日 |
| 宮古市立千鷲小学校   | 宮古市立重茂小学校                          | 4月25日 | 4月26日 |
| 山田町立船越小学校   | 岩手県立陸中海岸青少年の家                      | 4月25日 | 4月26日 |
| 岩泉町立小本小学校   | 岩泉町立岩泉小学校                          | 4月13日 | 4月14日 |

他校又は他施設で授業再開した沿岸地域の中学校

| 学校名         | 使用校舎（施設）                         | 始業式   | 入学式   |
|-------------|----------------------------------|-------|-------|
| 大船渡市立末崎中学校  | 大船渡市立大船渡中学校                      | 4月21日 | 4月22日 |
| 陸前高田市立気仙中学校 | 旧陸前高田市立矢作中学校                     | 4月20日 | 4月21日 |
| 陸前高田市立広田中学校 | 陸前高田市立広田小学校                      | 4月20日 | 4月21日 |
| 陸前高田市立小友中学校 | 陸前高田市立小友小学校                      | 4月22日 | 4月23日 |
| 陸前高田市立米崎中学校 | 陸前高田市立米崎中学校                      | 4月20日 | 4月21日 |
| 釜石市立唐丹中学校   | 自校体育館                            | 4月22日 | 4月23日 |
| 釜石市立釜石東中学校  | 釜石市立釜石中学校                        | 4月25日 | 4月25日 |
| 大槌町立大槌中学校   | 大槌町立吉里吉里中学校（1～2年生）／県立大槌高等学校（3年生） | 4月20日 | 4月25日 |

第1章 東日本大震災津波に対する岩手県教育委員会の取組みについて  
(参考)

|             |             |       |       |
|-------------|-------------|-------|-------|
| 宮古市立田老第一中学校 | 宮古市立田老第一小学校 | 4月25日 | 4月25日 |
| 岩泉町立小本中学校   | 岩泉町立岩泉中学校   | 4月13日 | 4月14日 |

(参考：学校再開の状況等（高等学校）)

始業式（平成23年4月6日～5月2日）、入学式（平成23年4月6日～5月10日）

高田高校は大船渡東高校萱中校舎（旧大船渡農業高校）を仮校舎として再開した。

宮古工業高校は宮古水産高校（1、3年生）と宮古商業高校（2年生）に分散して再開した。

沿岸地域県立高等学校の再開状況

| 学校名    | 始業式   | 入学式   |
|--------|-------|-------|
| 高田高校   | 5月2日  | 5月10日 |
| 大船渡高校  | 4月22日 | 4月27日 |
| 大船渡東高校 | 4月25日 | 4月26日 |
| 釜石高校   | 4月12日 | 4月15日 |
| 釜石商工高校 | 4月14日 | 4月15日 |
| 大槌高校   | 4月20日 | 4月22日 |
| 山田高校   | 4月27日 | 4月28日 |
| 宮古高校   | 4月27日 | 4月28日 |
| 宮古北高校  | 4月27日 | 4月28日 |
| 宮古工業高校 | 4月27日 | 4月28日 |
| 宮古商業高校 | 4月27日 | 4月28日 |
| 宮古水産高校 | 4月27日 | 4月28日 |
| 久慈高校   | 4月7日  | 4月15日 |
| 久慈東高校  | 4月13日 | 4月15日 |
| 久慈工業高校 | 4月14日 | 4月15日 |
| 種市高校   | 4月14日 | 4月15日 |



## 第2章 教育行財政

### 第1節 教育行政

#### 第1 平成22年度 岩手県教育委員会経営計画

子どもたちが、岩手の未来を切り拓き、変容する社会の中を生き抜く力を身に付けるうえで、教育の果たす役割は極めて大きいものがあります。また、県民の教育に対する関心、期待はますます多様化、高度化しています。

教育委員会では、この役割や期待に応えるため、「知・徳・体」を備え調和のとれた人間形成という教育目的の実現に向けて、「いわて県民計画」及び「岩手の教育振興」をもとに中長期的展望に立ち、学校教育の施策の重点化を図るとともに、時代のニーズに的確に対応しながら社会教育、生涯学習、文化芸術、スポーツの振興を図っていくものです。

また、平成22年度は、「いわて県民計画」の第1期アクションプランの目標年度であることから、目指す姿の確実な実現に向けて、地域、関係団体等との連携及び協力を得ながら、諸事業を積極的に展開します。

#### 1 学校教育の充実

〔重点事項〕 学校経営改革の推進 学力・授業力向上対策の強化  
中学校教育の充実強化 キャリア教育の推進

学校教育の根幹である学習面の基礎・基本を確実に定着させるとともに基本的な生活習慣や規範意識の確立を通して社会人になるということの意義を教えることは不易であり、最も大切なことです。

また、同時に、子ども一人一人の個性や特性等にきめ細かく対応し、小学校、中学校、高等学校の各段階を一連のものにとらえてその伸長を図ることが求められます。

##### (1) 教育推進に関する諸計画の一体的な推進

平成21年度までに教育推進に関する諸計画が策定されたところであり、特に、「いわて県民計画」においては、「岩手の未来を担う子どもたちを育てるひとづくりは、長期的な視点で取り組んでいくことが必要」と明記されていることも踏まえ、義務教育、高等学校教育、特別支援教育等の各プランの連携、整合をとりながら、一体的な推進を図っていくものです。

##### \* 教育推進に関する諸計画体系

- いわて県民計画 (H21. 12 策定 H21～H30)
- いわて県民計画アクションプラン (H22. 1 策定 H21～H22)
- 岩手の教育振興 (H22. 3 策定 H21～H30)
- これからの岩手の義務教育 (H21. 3 策定 概ね10年間)
- 今後の高等学校教育の基本的方向 (H22. 3 策定 概ね10数年間)
- ・ 第二次県立高等学校整備計画(仮称) (H23. 7 頃策定予定 概ね10年間)

- いわてキャリア教育指針 (H22. 3策定)
- いわて特別支援教育推進プラン (H21. 12策定 H21～H24)

## (2) 家庭・地域との協働による学校経営の推進

### ア 家庭・地域と連携・協働した学校づくり

家庭や地域社会がそれぞれの教育的機能を発揮し、学校と一体となって子どもたちの教育ができるように、家庭や地域社会の教育力向上のための支援を充実します。

「学校経営計画」「まなびフェスト」等の推進に当たっては、全体的な質の向上、教職員の参画意識の向上が必要です。そのためには、各種研修会や成果発表フォーラム等の開催を通じて優良事例を共有しながら、すべての学校で、家庭・地域との協働による特色ある目標達成型の学校経営をPDC Aサイクルに基づき自主的、継続的に取り組んでいきます。

なお、小中学校においては、引き続き、いわて型コミュニティ・スクール構想と教育振興運動との連携や学校支援地域本部事業の活用を図ります。

### イ 学校経営の裁量拡大等

各学校が、地域や子どもの実態に即した創意工夫ある教育活動を行えるよう学校経営の裁量拡大に向けた見直しを進めます。併せて、多忙化解消の観点から教職員が仕事をしやすい環境整備、仕組みづくりに取り組みます。

## (3) 児童生徒の学力向上

子どもたちがもつ可能性を十分に引き出し、自分の将来を自ら切り拓いていけるよう、少人数教育の一層の推進や教員研修の充実などにより、子どもたちの学習面の基礎・基本の確実な定着を図ります。

### ア 学力・授業力向上対策

学習定着度状況調査等の分析結果を活用した指導改善に継続して取り組むとともに、高校生を対象とした基礎力の確認調査の実施により、小・中・高の指導内容の系統性を踏まえた指導方法の工夫と授業改善を行います。

また、学習習慣の定着のため、すべての学校において、授業と連動した家庭学習の充実に取り組みます。

また、中学・高校生の英語能力の実態把握に基づいた英語力向上を図るため、中学校・高等学校が連携した指導改善を推進します。

さらに、学力・授業力向上担当による、中学校・高等学校への個別訪問及び授業力向上セミナーを充実・継続し、教員の授業力のより一層の向上を図ります。

平成21年度に開始した授業力向上研修については、本県の教育課題に直結する研修として効果的に実施していきます。

### イ 中学校における学校生活サポートの充実

中学校において、生徒の学習や生活をめぐって顕在化している学習定着上の課題や生徒指導上の諸課題に対応するため、必要な学校に教員の日常の活動を支援する経験豊かな非常勤職員を配置します。

ウ 少人数学級の試行

平成21年度に試行導入した中学校第1学年での35人学級については継続して試行し、学級担任や教科担任ができる限り生徒一人一人に目の届く環境を整え、基礎学力の向上を図ります。

エ 小中一貫教育モデル事業の推進

柔軟な教育課程の編成及び地域特性を踏まえた特色ある教育の推進に資するものとして、児童生徒の成長に応じた9年間のカリキュラムの作成や小学校における教科担任制のあり方、小・中学校相互の人材の有効活用等の調査研究をモデル事業として支援します。

(4) キャリア教育の推進

ア 「いわてキャリア教育指針」の実践

児童生徒が将来、社会人、職業人として自立できる能力を育成するため、小・中・高の発達段階に応じた体系的・計画的なキャリア教育を推進します。

推進にあたっては、各学校現場がキャリア教育への理解を深め、教育課程等の開発を行い、学校と家庭・地域、関係機関等の協力による地域ぐるみでの体験的な活動の充実や地域の歴史、産業等についての理解促進に取り組みます。

イ 進路実現の支援

生徒一人一人の多様な進路希望の達成と、将来の本県を支える人材の育成のための各高等学校の取組を支援します。

(5) 豊かな心を育む教育の推進

ア 郷土を学ぶ学習の推進

地域や企業等と連携しながら、岩手の偉人・先人、歴史、文化、産業などを系統的に学び、自己の在り方、生き方を考える学習を進めます。

イ 学級経営、学級集団づくりの充実

教員の学級経営、HR運営に係る資質の向上を図り、児童生徒理解を進め、好ましい人間関係や規範意識の醸成に努めます。

ウ 問題行動等への対応

暴力行為、いじめなどの問題行動や不登校などの学校不適応対策として、全ての中学校、高等学校でスクールカウンセラーによる専門的な相談が可能な体制を整えるなど、児童生徒の心のケアの充実と早期対応を図ります。

エ 中学校生活の支援

中学校第1学年での少人数学級の試行や学校生活サポート推進事業による非常勤講師の配置等を総合的に活用しながら、生徒個々に対するきめ細かな指導体制を整備し、小学校と中学校の連携のもと、中学校に入学後の学校不適応の早期対応、未然防止に努めます。

オ 情報モラル教育の推進

情報機器利用における危険性や問題点を理解させる情報モラルに関する指導の充実と保護者への啓発活動を推進して、携帯電話等による問題行動の防止を図ります。

(6) 健やかな体を育む教育の推進

ア 家庭と連携した健康教育の充実

児童生徒の肥満傾向や体力低下の改善などに向けて、関係部局との連携を図りながら、家庭における生活習慣の改善や食育の充実を図ります。

イ 体力アップ運動の推進

児童生徒の体力向上を図るため、体育実技アシスタント派遣などによる体育の授業力向上、学校における体力アップ運動などの取組を強化します。

(7) 特別支援教育の充実

ア 「いわて特別支援教育推進プラン」の推進

「共に学び、共に育つ教育」を理念とした「いわて特別支援教育推進プラン」に基づき、幼稚園、小、中、高等学校における特別支援教育体制づくりと個別の指導計画や個別の教育支援計画の作成、活用等による指導・支援を充実します。

また、全校種の教員に対する研修の推進と県民への理解増進を図ります。

イ 就学支援の推進

「特殊教育」から「特別支援教育」への転換という特別支援教育の本旨に基づき、教育環境の変化に対応した就学指導の改善を図るとともに、取組にあたっては、保健、福祉、労働等関係する機関との連携を一層促進します。

ウ 各校種における特別支援教育の推進

特別支援学校におけるセンター的機能の充実を図り、幼稚園、保育所及び小、中学校特別支援学級を対象とした継続的な支援を実施し、指導方法等に関する相談、支援を強化します。

高等学校に在籍する特別な支援を必要とする生徒に対する指導体制の実践研究を推進します。また、特別支援学校児童生徒の居住地の小、中学校との交流及び共同学習を推進します。

エ 県民と協働した特別支援教育体制づくり

特別支援教育に対する県民の理解を広げ、ボランティアの養成や地域人材の活用を進めます。また、学校毎のPTA等を対象にした学習会等の開催を促し、取組を支援します。

2 社会教育の充実と生涯を通じた学びの環境づくり

〔重点事項〕 教育振興運動の活性化 家庭教育の積極的支援 読書活動の推進  
「学びの場いわて」の発信

県内各地域の現状把握に努めながら、学校、家庭、地域住民等の連携協力による家庭や地域の



教育力向上に重点を置いた社会教育の充実に取り組みます。

また、県民の学習意欲や成果が地域で生かされる環境づくりを進めます。

#### (1) 教育振興運動といわて型コミュニティ・スクール構想の連携

2年目となる「全県共通課題」への取組など、教育振興運動といわて型コミュニティ・スクール構想の取組とが連動した実践活動や学校支援地域本部の活用等により、家庭・地域の教育力の向上を図りながら、家庭学習の充実や豊かな心を育てる読書活動の推進といった今日的な教育課題の解決に努めます。

#### (2) 家庭教育の充実

家庭教育や子育てについて、孤立しがちな家庭と地域との連携の充実など他者や地域との関わりをより多く持つことができる仕組みづくりを進めます。

#### (3) 国民読書年に対応した読書活動の推進

国民読書年にあたり、「いわて子ども読書プラン2009」（H21.7策定。計画期間H21～H25）の一層の推進を図るとともに、保健福祉部門との連携による安心子ども基金を活用した「子育てに活かす読書活動推進フォーラム」を開催するなど、読書活動の広がりを支援します。

#### (4) 社会教育施設におけるサービス向上

図書館、博物館、美術館、青少年の家等県立の各種社会教育施設における県民サービスの向上を図り、また、県民の多様なニーズに適切に対応し、生涯学習の推進に努めます。

また、県立博物館の開館30周年を機に、記念特別展「いわての漆文化」の開催などを通じ、本県のもつ優れた伝統、文化を広く内外に情報発信していきます。

#### (5) 全国生涯学習フォーラムに向けた機運醸成

平成23年に本県で開催予定の全国生涯学習フォーラムが、「学びの場いわて」としての特色が形成、共有され、今後の本県の生涯学習の方向性を指し示すものとなるよう必要な体制整備、情報収集・発信に取り組みます。また、フォーラム開催前年度にあたり、生涯学習プログラムに関するモデル事業を実施します。

### 3 文化芸術の振興

〔重点事項〕 文化芸術を核としたまちづくりの支援 世界遺産登録の推進

文化芸術は、地域の「ゆたかさ」や「ひと」を育むものであり、県民が郷土に誇りや愛着を持ち、地域に伝わる歴史、文化等の理解を深めるとともに、地域の特色ある文化芸術が暮らしに根付くよう取組を進め、その継承と振興を図ります。

#### (1) 岩手県文化芸術振興指針の推進

文化振興基金の効果的な活用を図りながら、豊かな創造性の涵養と地域の文化の理解を進めるため、地域の特色ある文化芸術を核とした住民参加型のまちづくりや新進・若手芸術家等を支援するとともに、文化芸術情報の発信を推進します。



## (2) 世界遺産登録の推進

「平泉の文化遺産」については、イコモスによる現地調査への対応に万全を期し、平成23年の世界遺産登録を確実なものとしします。また、県民の機運醸成と遺産の保存管理の重要性についての周知を図ります。

また、「北海道・北東北を中心とした縄文遺跡群」及び「九州・山口の近代化産業遺産群」については、関係道県及び関係市町と連携し、共同で世界遺産登録に向けた取組を推進します。

## 4 豊かなスポーツライフの振興

### 〔重点事項〕 平成28年国体に向けた競技力向上の取組強化

スポーツは、県民に大きな夢と感動を与えるものであり、県民のだれもがスポーツに親しみ、健康で活力ある豊かな地域づくりにつなげるための取組を支援します。

平成28年岩手国体に向けて、県民機運の醸成と本県の競技力向上に向けた取組を一層強化します。特に、国体開催年に中心選手となる児童生徒の重点強化を計画的に推進します。

### (1) インターハイ等に向けた取組

平成22年度に本県で開催するスキーインターハイ、平成23年度に北東北3県で開催するインターハイの大会運営と競技力向上に向けた取組を進めます。

### (2) 国体に向けた競技力向上のための取組

平成28年国民体育大会に向けて、各競技団体の組織体制の強化、スーパーキッズ発掘育成事業など中長期的な視点に立った選手の育成や、選手の能力を最大限に引き出すトップコーチの養成に計画的に取り組めます。

特に、国体等において本県選手が上位の成績を収めることにより県民のスポーツに対する意識の高揚を図るとともに、競技に参加する選手の参加環境の改善を図るため、「全国高校・中学校体育大会派遣費補助」を拡充し、競技力向上のための取組を強化します。

### (3) スポーツ医・科学サポート体制の充実

スポーツ医・科学サポートを受けながら計画的・継続的なトレーニングが可能となる多目的屋内練習施設（ドーム）の早期完成・供用を目指し、競技スポーツ強化の拠点及び県民の健康づくりの拠点として整備を進めます。

### (4) 生涯スポーツの振興

総合型地域スポーツクラブの創設・育成支援など、県民の生涯スポーツへの取組を推進します。

### (5) 生涯スポーツの振興

平成23年度以降の本県スポーツ振興の基本的な方向性となる、次期スポーツ振興計画を策定します。

## 5 業務推進の基本姿勢

### (1) 行動規範の確保

岩手県職員憲章及び岩手県教職員コンプライアンス・マニュアルに則り、教育に携わる職員としての自信と誇りを持ち、質の高い教育活動を創出します。

教職員による不祥事は、その根絶を目指します。

### (2) 学校現場でのOJTの推進

学校現場の知（ノウハウ）を共有しながら学校内での日常業務を通じた人材育成を推進し、教職員の指導力向上を図るため、OJT（On the Job Training）による指導、啓発のための取組を推進します。

### (3) 現場支援としての事務局体制の強化

いうまでもなく教育は学校現場、子どもが主役であることを基底として、事務局の価値は現場支援にあることを再認識し、現場の実態に即した解決が図られるよう、現場主義を一層徹底します。

### (4) 組織横断的な業務推進

教育にかかわる分野は、自組織のみでは解決困難な業務課題が多くなりつつあり、また、他部門からの協力要請も多く、関係機関との緊密な連携が必要であり、特に、福祉・商工労働・地域振興部門やPTA等各種団体、市町村との連携と役割分担の明確化により課題解決に向けた取組を進めます。

### (5) 業務の効率化及び質の向上

各所属においては業務の改善、効率化に主体的、継続的に取り組むものとし、それぞれの顧客に対する満足度を高めていきます。

教育現場においては、教員が子ども一人一人に向き合う時間が最大限確保されるよう、常に工夫・改善に努めます。

### (6) PDCAサイクルを踏まえた経営計画の推進

各所属における経営計画の推進に当たっては、常にPDCAサイクルを意識し、的確な現状分析を踏まえた目標を掲げ、その達成状況を確認しながら必要な改善策を講じ、施策への反映に向けた業務遂行に努めます。

また、各教育施策の立案に当たっては、事務事業の点検・評価、サマーレビュー、政策評価等を通じて一体的、計画的に行います。

### (7) いわて県民計画アクションプランの着実な推進

いわて県民計画アクションプランは平成22年度が目標年度であることから、別記の各目標の実現に向けて、政策評価・分析を的確に行い、着実に達成できるよう各事業に取り組みます。

## 第2章 教育行財政

### 第1節 教育行政

#### 第1 平成22年度 岩手県教育委員会経営計画

(別記) いわて希望創造プランに掲げる目標

#### ◆ 家庭・地域と協働する目標達成型の学校経営への改革

家庭・地域との協働による目標達成型の学校経営に取り組む学校の割合

(現状：H18) — → (目標：H22) 100%

#### ◆ 児童生徒の学力向上

① 学習定着度状況調査における定着の分布の状況 (小中学校)

[分布割合・中央値]

[分布割合・中央値]

小5・国語 (現状：H19) 24%・75% → (目標：H22) 21%・80%

小5・算数 (現状：H19) 24%・78% → (目標：H22) 21%・80%

中2・国語 (現状：H19) 24%・69% → (目標：H22) 21%・70%

中2・数学 (現状：H19) 36%・60% → (目標：H22) 33%・70%

中2・英語 (現状：H19) 30%・58% → (目標：H22) 27%・70%

② 各学校が設定した進路目標を達成した学校の割合 (高等学校)

(現状：H18) — → (目標：H22) 100%

#### ◆ 豊かな心を育む教育の推進

「学校が楽しい」と答える児童生徒の割合

小学校 (現状：H17) 87% → (目標：H22) 90%

中学校 (現状：H17) 80% → (目標：H22) 85%

高等学校 (現状：H17) 70% → (目標：H22) 75%

#### ◆ 児童の体力向上

① 「体力・運動能力調査」における全国平均を上回る項目の割合

(現状：H18) 65.6% → (目標：H22) 100%

② 「体力・運動能力調査」における総合評価のD・E段階の児童の割合 (小学6年生)

(現状：H19) 22.1% → (目標：H22) 18%以下

③ 肥満傾向児の割合 (小学6年生)

(現状：H18) 14.9% → (目標：H22) 10.8%

#### ◆ 特別支援教育の充実

① 特別支援学校の対象児を在籍させる小・中学校

(現状：H18) 13% → (目標：H22) 15%

② 特別支援学級の対象児を通常の学級に在籍させる小・中学校

(現状：H18) 25% → (目標：H22) 35%

③ 特別支援学校の高等部卒業生のうち一般就労を希望する者の就労達成率

(現状：H18) 72% → (目標：H22) 90%

#### ◆ 競技スポーツの強化

① 本県出身の国際大会日本代表者数

(現状：H18) 23人 → (目標：H22) 70人 (累計値)

② 国民体育大会天皇杯得点順位

(現状：H18) 34位 → (目標：H22) 25位以内

#### ◆ 歴史遺産の継承と伝統文化の振興

本県の歴史遺産や伝統文化に誇りや愛着を持つ県民の割合

(現状：H18) — → (目標：H22) 70%

第2 岩手県教育委員会

1 教育委員会委員及び教育長（平成23年3月31日現在）

| 職名                           | 氏名    | 就任年月日       |
|------------------------------|-------|-------------|
| 委員長<br>（平成21年10月10日～）        | 八重樫 勝 | 平成19年10月11日 |
| 委員長職務代理者[第1順位]（平成21年10月10日～） | 藤波 洋香 | 平成16年10月1日  |
| 委員長職務代理者[第2順位]（平成21年10月10日～） | 村井 三郎 | 平成20年10月1日  |
| 委員                           | 坂本 ゆり | 平成14年10月1日  |
| 委員                           | 小平 忠孝 | 平成21年10月11日 |
| 委員・教育長                       | 法 貴 敬 | 平成20年4月1日   |

2 事務局及び学校以外の教育機関の職員の異動状況（平成22年度定期人事異動、単位：人）

| 職の区分              | 異動区分  | 退職 | 転出  | 昇任 | 配置換等 | 転入 | 採用 | 計   |
|-------------------|-------|----|-----|----|------|----|----|-----|
| 指導主事、社会教育主事等の専門職員 |       | 1  | 44  | 20 | 31   | 42 | 0  | 138 |
| 教育長・事務職員          | 教育長   | 0  | 0   | 0  | 0    | 0  | 0  | 0   |
|                   | 室長級   | 2  | 2   | 3  | 0    | 2  | 0  | 9   |
|                   | 総括課長級 | 2  | 11  | 1  | 2    | 9  | 0  | 25  |
|                   | 担当課長級 | 0  | 7   | 1  | 2    | 1  | 0  | 11  |
|                   | 主任主査級 | 0  | 7   | 5  | 1    | 6  | 0  | 19  |
|                   | 主査級   | 0  | 22  | 3  | 11   | 18 | 0  | 54  |
|                   | 主事級   | 0  | 10  | 0  | 2    | 9  | 2  | 23  |
|                   | 小計    | 4  | 59  | 13 | 18   | 45 | 2  | 141 |
| 技能労務職員            |       | 0  | 0   | 0  | 0    | 0  | 0  | 0   |
| 計                 |       | 5  | 103 | 33 | 49   | 87 | 2  | 279 |

※H22年4月の教育事務所再編に伴う形式的異動は除く。

3 教育委員会議開催状況（平成22年度）

| 区分    | 開催回数（回） |
|-------|---------|
| 定例会   | 11      |
| 臨時会   | 3       |
| 委員協議会 | 8       |

### 第3 表彰及び栄典

#### 1 平成22年度文部科学大臣表彰（本県関係）

##### (1) 教育者表彰

千葉 研 二 （岩手県立盛岡第一高等学校長）  
吉田 道 一 （盛岡市立仙北中学校長）  
阿部 修 志 （盛岡市立仁王小学校長）

##### (2) 優秀教員表彰（本県関係）

千葉 幸 也 （岩手県立宮古商業高等学校）  
中元 俊 司 （岩手県立大船渡東高等学校）  
牧 一 郎 （岩手県立盛岡農業高等学校）  
村上 利 行 （岩手県立盛岡農業高等学校）

##### (3) 地方教育行政功労者表彰

中屋 定 基 （前 宮古市教育委員会教育長）  
阿部 實 （前 二戸市教育委員会教育長）  
橋本 壽美男 （前 岩手町教育委員会委員長）

##### (4) 優良PTA表彰

古城小学校PTA（奥州市）  
二戸市立金田一小学校PTA（二戸市）

##### (5) 社会教育功労者表彰

後藤 成 志 （元 石鳥谷町立中央公民館長）  
岩 淵 正 義 （元 川崎村公民館運営審議会委員）

##### (6) 優良公民館表彰

奥州市立古城公民館  
一関市立老松公民館

##### (7) 地域文化功労者表彰

菅窪鹿踊保存会  
内澤 誠（岩手県邦舞協会相談役）

##### (8) 生涯スポーツ功労者表彰

太田 利 彦 （岩手県ハンドボール協会会長）  
高砂スポーツ少年団（久慈市）

##### (9) 学校保健及び学校安全表彰

本多 能 久 （学校医）  
千田 俊 治 （学校薬剤師）

##### (11) 視聴覚教育功労者表彰

村上 鉄 郎 （大船渡市）

##### (12) 体育指導委員功労者

坂下 正 則 （一戸町）

(13) 子どもの読書活動優秀実践表彰

- ア 団体（者）表彰  
宮古読み聞かせの会「ぞうさんのミミ」（宮古市）
- イ 図書館表彰  
一関市立一関図書館
- ウ 学校表彰  
陸前高田市立長部小学校  
一関市立摺沢小学校  
釜石市立釜石小学校

2 平成22年度岩手県教育表彰

(1) 事績顕著者

本県教育文化の発展向上に尽力した功労者22名、5団体を表彰した。

ア 学校教育

- 岩手県立北上翔南高等学校
- 岩手県立盛岡第二高等学校

イ 学校保健

- 村井啓子（学校医）
- 藤島国男（学校医）
- 梅津武美（学校医）
- 吉田亨（学校医）
- 似内裕（学校医）
- 小原紀彰（学校医）
- 高野鴻佑（学校医）
- 佐々木顯司（学校医）
- 山田吾郎（学校歯科医）
- 高橋俊吉（学校歯科医）
- 吉田正紀（学校歯科医）

ウ 社会教育

- 世田米中学校PTA
- 土渕中学校PTA
- 岩手県立大船渡高等学校PTA

エ 社会体育

- 出堀宏明（岩手県山岳協会名誉会長）
- 多田公孝（岩手県卓球協会副会長）
- 中村好和（釜石市体育協会前会長）
- 水本圭治（カヌー）
- 藤原富男（（社）日本フォークダンス連盟岩手県支部元支部長）
- 皆川圭一（藤沢町体育協会会長）

オ 学術、文化

- 亀谷由美子（岩手県弦楽研究会副会長）
- 志和七郎（岩手県俳句連盟顧問）
- 高橋勇介（岩手工芸美術協会会長）
- 藤澤清美（盛岡市無形民俗文化財保存会連絡協議会会長）

カ 教育行政

川 村 秀 彦（紫波町教育委員会教育長）

(2) 永年勤続者 483人

3 平成22年度叙勲（本県関係）

| 春秋の別 | 職 名 等            | 氏 名     | 年 齢 | 勲 等   |
|------|------------------|---------|-----|-------|
| 春    | 元 岩手県卓球協会副会長     | 鈴 木 勝 彦 | 76  | 旭日単光章 |
| 春    | 元 岩手県立黒沢尻工業高等学校長 | 戸 羽 親 雄 | 77  | 瑞宝小綬章 |
| 春    | 元 岩手県立久慈工業高等学校長  | 高 橋 光 邦 | 70  | 瑞宝小綬章 |
| 春    | 元 岩手県立盛岡豊学校長     | 及 川 昭   | 79  | 瑞宝双光章 |
| 春    | 元 紫波町立紫波第一中学校長   | 菅 原 昌 美 | 79  | 瑞宝双光章 |
| 春    | 元 藤沢町立黄海中学校長     | 藤 本 秀 夫 | 79  | 瑞宝双光章 |
| 春    | 元 盛岡市立北厨川小学校長    | 大 内 和   | 77  | 瑞宝双光章 |
| 春    | 元 住田町立世田米小学校長    | 水 沼 和 子 | 73  | 瑞宝双光章 |
| 春    | 元 盛岡市立太田小学校長     | 鳥 羽 彊   | 70  | 瑞宝双光章 |
| 春    | 学校薬剤師            | 金 野 亨   | 74  | 瑞宝双光章 |
| 秋    | 元 岩手県体操協会副会長     | 藤 原 忠 邦 | 76  | 旭日単光章 |
| 秋    | 元 岩手県立不来方高等学校長   | 伊 藤 民 也 | 70  | 瑞宝小綬章 |
| 秋    | 元 岩手県立金ヶ崎高等学校長   | 大 内 誠喜寿 | 75  | 瑞宝小綬章 |
| 秋    | 元 岩手県立盛岡商業高等学校長  | 松 尾 昭 明 | 74  | 瑞宝双光章 |
| 秋    | 元 二戸市立福岡中学校長     | 浅 沼 清 昭 | 72  | 瑞宝双光章 |
| 秋    | 元 室根村立折壁小学校長     | 小野寺 章   | 79  | 瑞宝双光章 |
| 秋    | 元 盛岡市立桜城小学校長     | 佐 瀬 壽 朗 | 72  | 瑞宝双光章 |
| 秋    | 元 宮古市立宮古小学校長     | 松 尾 光 信 | 72  | 瑞宝双光章 |
| 秋    | 学校薬剤師            | 熊 谷 壯一郎 | 75  | 瑞宝双光章 |

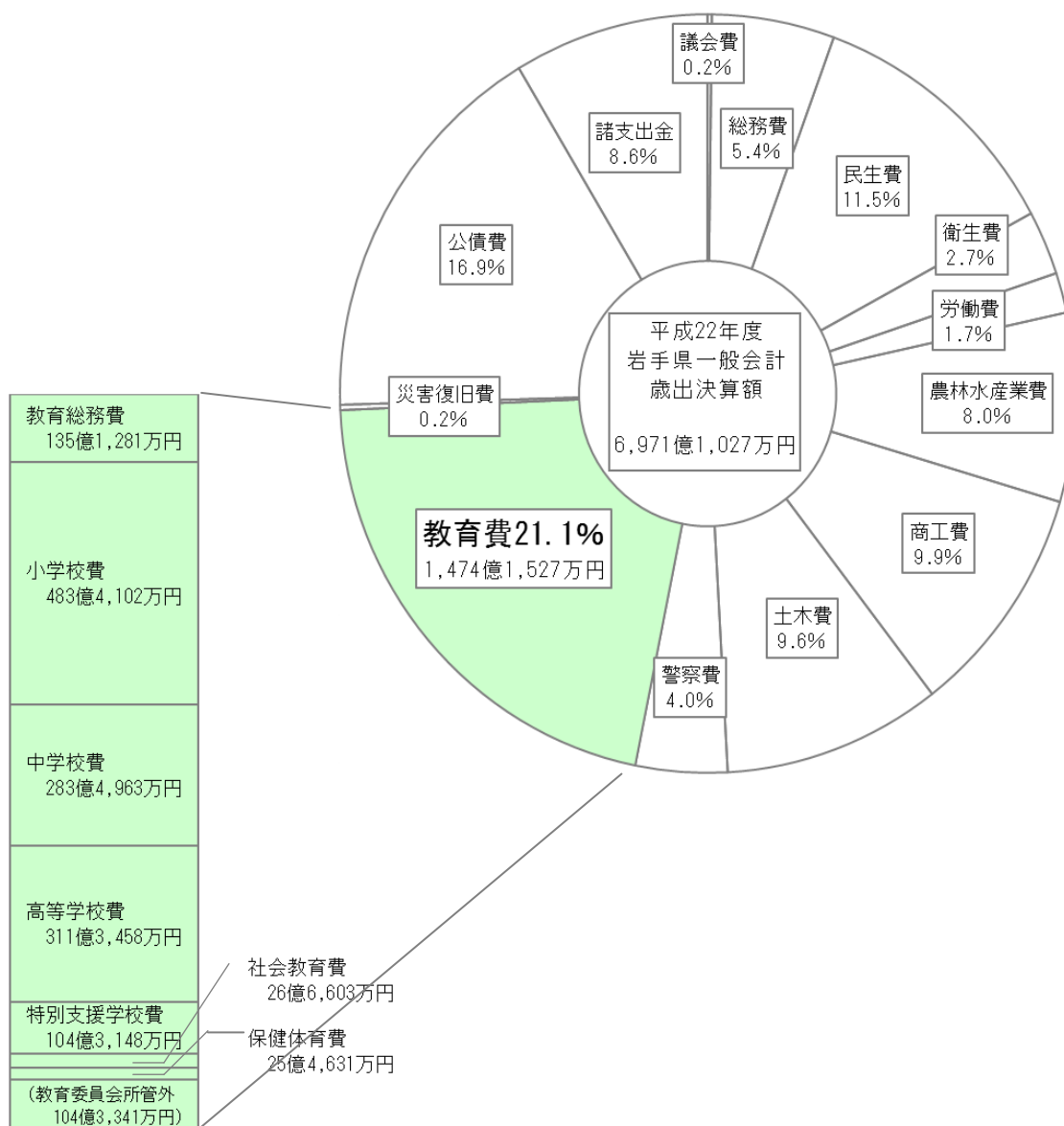
## 第2節 教育財政

### ○ 平成22年度岩手県一般会計決算と教育費決算の概要

平成22年度の岩手県一般会計歳入歳出決算額は、歳入7,369億4,697万円、歳出6,971億1,027万円であり、これを前年度決算額に比べると、歳入△1.5%、歳出△5.2%とそれぞれ減少した。

一般会計歳出決算額のうち教育委員会所管分は、教育費1,474億1,527万円のうち1,369億8,186万円であり、一般会計歳出決算額に占める割合は、19.6%となっている。

### 【平成22年度岩手県一般会計歳出決算額 目的別構成比】





第2章 教育行財政  
第2節 教育財政

【平成22年度 教育費 歳出予算・決算額】

| 区 分          | 最終予算額<br>(A)    | 決 算 額<br>(B)    | 翌年度繰越額<br>(C)  | 不 用 額<br>(A - B - C) |
|--------------|-----------------|-----------------|----------------|----------------------|
| 一般会計総額       | 763,225,458,891 | 697,110,269,341 | 47,973,413,453 | 18,141,776,097       |
| 教育費（教委所管分）   | 139,781,735,000 | 136,981,856,695 | 1,730,118,087  | 1,069,760,218        |
| 教育総務費        | 14,209,505,000  | 13,512,809,833  | 419,086,941    | 277,608,226          |
| 教育委員会費       | 15,430,000      | 15,008,160      | 0              | 421,840              |
| 事務局費         | 2,187,614,000   | 1,818,770,214   | 302,792,928    | 66,050,858           |
| 教職員人事費       | 10,081,783,000  | 9,980,596,365   | 1,720,000      | 99,466,635           |
| 教育指導費        | 913,159,000     | 895,324,351     | 1,834,913      | 15,999,736           |
| 教育センター費      | 806,298,000     | 600,316,930     | 112,739,100    | 93,241,970           |
| 恩給及び退職年金費    | 205,221,000     | 202,793,813     | 0              | 2,427,187            |
| 小学校費         | 48,431,345,000  | 48,341,018,396  | 0              | 90,326,604           |
| 教職員費         | 48,431,345,000  | 48,341,018,396  | 0              | 90,326,604           |
| 中学校費         | 28,429,048,000  | 28,349,626,947  | 0              | 79,421,053           |
| 教職員費         | 28,420,345,000  | 28,341,482,974  | 0              | 78,862,026           |
| 学校管理費        | 8,703,000       | 8,143,973       | 0              | 559,027              |
| 高等学校費        | 31,801,619,000  | 31,134,576,316  | 377,858,607    | 289,184,077          |
| 高等学校総務費      | 26,224,499,000  | 26,123,409,751  | 0              | 101,089,249          |
| 全日制高等学校管理費   | 1,595,039,000   | 1,539,839,962   | 7,443,920      | 47,755,118           |
| 定時制高等学校管理費   | 109,654,000     | 62,412,778      | 28,380,996     | 18,860,226           |
| 教育振興費        | 1,720,265,000   | 1,582,722,768   | 64,104,367     | 73,437,865           |
| 学校建設費        | 2,145,666,000   | 1,820,700,832   | 277,063,883    | 47,901,285           |
| 通信教育費        | 6,496,000       | 5,490,225       | 865,441        | 140,334              |
| 特別支援学校費      | 11,268,130,000  | 10,431,479,992  | 742,542,061    | 94,107,947           |
| 特別支援学校費      | 11,268,130,000  | 10,431,479,992  | 742,542,061    | 94,107,947           |
| 社会教育費        | 2,812,291,000   | 2,666,033,279   | 114,626,618    | 31,631,103           |
| 社会教育総務費      | 1,065,126,000   | 1,047,055,333   | 3,197,775      | 14,872,892           |
| 文化財保護費       | 351,181,000     | 300,242,880     | 40,313,843     | 10,624,277           |
| 芸術文化振興費      | 242,591,000     | 208,218,419     | 34,183,000     | 189,581              |
| 図書館費         | 277,563,000     | 252,498,496     | 23,593,000     | 1,471,504            |
| 博物館費         | 378,337,000     | 375,580,512     | 0              | 2,756,488            |
| 美術館費         | 497,493,000     | 482,437,639     | 13,339,000     | 1,716,361            |
| 保健体育費        | 2,829,797,000   | 2,546,311,932   | 76,003,860     | 207,481,208          |
| 保健体育総務費      | 587,418,000     | 546,683,958     | 0              | 40,734,042           |
| 体育振興費        | 561,273,000     | 506,297,165     | 107,067,860    | 37,907,975           |
| 体育施設費        | 1,681,106,000   | 1,493,330,809   | 58,936,000     | 128,839,191          |
| 災害復旧費（教委所管分） | 103,786,000     | 0               | 103,786,000    | 0                    |
| 教育施設災害復旧費    | 103,786,000     | 0               | 103,786,000    | 0                    |
| 学校施設災害復旧費    | 103,786,000     | 0               | 103,786,000    | 0                    |
| 教育センター災害復旧費  | 0               | 0               | 0              | 0                    |
| （教育委員会所管分計）  | 139,885,521,000 | 136,981,856,695 | 1,833,904,087  | 1,069,760,218        |

第2章 教育行財政  
第2節 教育財政

[単位：円、%]

| 区 分          | 前年度最終予算額<br>(D) | 対前年比(金額)<br>E (A-D) | 対前年比(増減率)<br>E/D |
|--------------|-----------------|---------------------|------------------|
| 一般会計総額       | 776,289,606,527 | △ 13,064,147,636    | △ 1.7            |
| 教育費（教委所管分）   | 139,215,649,835 | 566,085,165         | 0.4              |
| 教育総務費        | 12,574,439,000  | 1,635,066,000       | 13.0             |
| 教育委員会費       | 15,505,000      | △ 75,000            | △ 0.5            |
| 事務局費         | 1,980,667,000   | 206,947,000         | 10.4             |
| 教職員人事費       | 8,398,072,000   | 1,683,711,000       | 20.0             |
| 教育指導費        | 1,092,713,000   | △ 179,554,000       | △ 16.4           |
| 教育センター費      | 863,940,000     | △ 57,642,000        | △ 6.7            |
| 恩給及び退職年金費    | 223,542,000     | △ 18,321,000        | △ 8.2            |
| 小学校費         | 48,805,765,000  | △ 374,420,000       | △ 0.8            |
| 教職員費         | 48,805,765,000  | △ 374,420,000       | △ 0.8            |
| 中学校費         | 27,996,155,000  | 432,893,000         | 1.5              |
| 教職員費         | 27,986,937,000  | 433,408,000         | 1.5              |
| 学校管理費        | 9,218,000       | △ 515,000           | △ 5.6            |
| 高等学校費        | 32,979,255,710  | △ 1,177,636,710     | △ 3.6            |
| 高等学校総務費      | 26,631,188,000  | △ 406,689,000       | △ 1.5            |
| 全日制高等学校管理費   | 1,669,328,485   | △ 74,289,485        | △ 4.5            |
| 定時制高等学校管理費   | 113,637,000     | △ 3,983,000         | △ 3.5            |
| 教育振興費        | 2,275,578,000   | △ 555,313,000       | △ 24.4           |
| 学校建設費        | 2,283,028,225   | △ 137,362,225       | △ 6.0            |
| 通信教育費        | 6,496,000       | 0                   | 0.0              |
| 特別支援学校費      | 10,556,070,125  | 712,059,875         | 6.7              |
| 特別支援学校費      | 10,556,070,125  | 712,059,875         | 6.7              |
| 社会教育費        | 3,488,965,000   | △ 676,674,000       | △ 19.4           |
| 社会教育総務費      | 1,266,624,000   | △ 201,498,000       | △ 15.9           |
| 文化財保護費       | 449,995,000     | △ 98,814,000        | △ 22.0           |
| 芸術文化振興費      | 668,946,000     | △ 426,355,000       | △ 63.7           |
| 図書館費         | 200,544,000     | 77,019,000          | 38.4             |
| 博物館費         | 401,631,000     | △ 23,294,000        | △ 5.8            |
| 美術館費         | 501,225,000     | △ 3,732,000         | △ 0.7            |
| 保健体育費        | 2,815,000,000   | 14,797,000          | 0.5              |
| 保健体育総務費      | 604,957,000     | △ 17,539,000        | △ 2.9            |
| 体育振興費        | 434,855,000     | 126,418,000         | 29.1             |
| 体育施設費        | 1,775,188,000   | △ 94,082,000        | △ 5.3            |
| 災害復旧費（教委所管分） | 31,789,000      | 71,997,000          | 226.5            |
| 教育施設災害復旧費    | 31,789,000      | 71,997,000          | 226.5            |
| 学校施設災害復旧費    | 0               | 103,786,000         | 皆増               |
| 教育センター災害復旧費  | 31,789,000      | △ 31,789,000        | 皆減               |
| （教育委員会所管分計）  | 139,247,438,835 | 638,082,165         | 0.5              |

## [附] 市町村教育委員会

## 1 市町村教育委員会委員長（平成23年3月31日現在）

| 市町村名  | 委員長    |     | 委員長の任期                  |
|-------|--------|-----|-------------------------|
| 盛岡市   | 川村 登   | (再) | 平成22年10月1日～平成23年9月30日   |
| 八幡平市  | 田村 善男  | (再) | 平成22年11月15日～平成23年11月14日 |
| 雫石町   | 遠藤 祐一  | (新) | 平成23年2月25日～平成24年2月25日   |
| 葛巻町   | 千葉 洋一  | (再) | 平成22年10月1日～平成23年9月30日   |
| 岩手町   | 遠藤 武光  | (新) | 平成22年7月21日～平成23年7月20日   |
| 滝沢村   | 内村 宣夫  | (再) | 平成22年12月23日～平成23年12月22日 |
| 紫波町   | 高橋 榮幸  | (新) | 平成22年10月1日～平成23年9月30日   |
| 矢巾町   | 合田 武   | (再) | 平成22年10月1日～平成23年9月30日   |
| 花巻市   | 高橋 豊   | (再) | 平成22年3月25日～平成23年3月24日   |
| 遠野市   | 似内 宏和  | (新) | 平成22年11月26日～平成23年11月25日 |
| 北上市   | 石川 秀司  | (新) | 平成22年6月1日～平成23年5月31日    |
| 西和賀町  | 深澤 武志  | (新) | 平成22年12月1日～平成23年11月30日  |
| 奥州市   | 千葉 啓一  | (再) | 平成23年3月31日～平成24年3月30日   |
| 金ヶ崎町  | 及川 紀美子 | (再) | 平成22年10月1日～平成23年9月30日   |
| 一関市   | 鈴木 功   | (再) | 平成22年10月29日～平成23年10月28日 |
| 平泉町   | 佐熊 睦子  | (新) | 平成23年1月1日～平成23年12月31日   |
| 藤沢町   | 高橋 義太郎 | (再) | 平成22年10月1日～平成23年9月30日   |
| 大船渡市  | 佐藤 浩一  | (再) | 平成22年10月1日～平成23年9月30日   |
| 陸前高田市 | (不在)   |     |                         |
| 住田町   | 千葉 英夫  | (再) | 平成22年10月1日～平成23年9月30日   |
| 釜石市   | 及川 好   | (新) | 平成22年10月1日～平成23年9月30日   |
| 大槌町   | 藤井 達也  | (再) | 平成22年9月25日～平成23年9月24日   |
| 宮古市   | 坂下 昭弘  | (新) | 平成22年4月1日～平成23年3月31日    |
| 山田町   | 馬場 善也  | (再) | 平成22年10月19日～平成23年10月18日 |
| 岩泉町   | 伊東 勝幸  | (再) | 平成22年12月21日～平成23年12月20日 |
| 田野畑村  | 佐々木 源良 | (再) | 平成22年11月1日～平成23年10月31日  |
| 久慈市   | 鹿糠 敏文  | (再) | 平成22年5月9日～平成23年5月8日     |
| 洋野町   | 青澤 侑子  | (再) | 平成23年2月16日～平成24年2月15日   |
| 野田村   | 大沢 伸子  | (再) | 平成22年10月1日～平成23年9月30日   |
| 普代村   | 道合 多喜夫 | (再) | 平成22年10月1日～平成23年9月30日   |
| 二戸市   | 清川 泰   | (新) | 平成22年8月11日～平成23年8月10日   |
| 軽米町   | 菅原 皓文  | (再) | 平成22年10月1日～平成23年9月30日   |
| 九戸村   | 千葉 和彦  | (再) | 平成22年8月12日～平成23年8月11日   |
| 一戸町   | 下田 和夫  | (再) | 平成22年12月25日～平成23年12月24日 |

注：(新)、(再)はそれぞれ平成22年4月1日から平成23年3月31日までの間に新任、再任されたことを表す。

2 市町村教育委員会教育長（平成23年3月31日現在）

| 市町村名  | 教 育 長   |     | 教育長の任期                  |
|-------|---------|-----|-------------------------|
| 盛岡市   | 八 卷 恒 雄 |     | 平成20年10月1日～平成23年3月31日   |
| 八幡平市  | 高 橋 北 英 |     | 平成21年11月15日～平成25年11月14日 |
| 雫石町   | 吉 川 健 次 | (新) | 平成23年3月1日～平成25年12月25日   |
| 葛巻町   | 村 木 登   |     | 平成21年12月25日～平成25年12月24日 |
| 岩手町   | 佐々木 恵 治 |     | 平成20年11月1日～平成24年10月31日  |
| 滝沢村   | 盛 川 通 正 |     | 平成21年4月2日～平成25年4月1日     |
| 紫波町   | 川 村 秀 彦 |     | 平成20年10月1日～平成24年9月30日   |
| 矢巾町   | 松 尾 光 則 |     | 平成20年10月1日～平成24年9月30日   |
| 花巻市   | 及 川 宣 夫 | (再) | 平成22年4月1日～平成26年3月31日    |
| 遠野市   | 藤 澤 俊 明 |     | 平成21年11月26日～平成25年11月25日 |
| 北上市   | 高 橋 一 臣 |     | 平成19年6月1日～平成23年5月31日    |
| 西和賀町  | 野 中 孝 勇 |     | 平成21年12月25日～平成25年12月24日 |
| 奥州市   | 佐 藤 孝 守 | (新) | 平成22年4月1日～平成26年3月31日    |
| 金ヶ崎町  | 新 田 章   |     | 平成20年10月1日～平成24年9月30日   |
| 一関市   | 藤 堂 隆 則 |     | 平成21年10月29日～平成25年10月28日 |
| 平泉町   | 南 舘 廣太郎 | (再) | 平成23年1月1日～平成26年12月31日   |
| 藤沢町   | 岩 渕 英 生 |     | 平成20年10月1日～平成24年9月30日   |
| 大船渡市  | 今 野 洋 二 | (新) | 平成22年4月2日～平成26年4月1日     |
| 陸前高田市 | (不在)    |     |                         |
| 住田町   | 佐 賀 篤   |     | 平成22年1月2日～平成26年1月1日     |
| 釜石市   | 河 東 眞 澄 |     | 平成20年10月1日～平成24年9月30日   |
| 大槌町   | 伊 藤 正 治 |     | 平成20年4月2日～平成24年3月30日    |
| 宮古市   | 佐々木 敏 夫 | (新) | 平成22年4月1日～平成25年8月29日    |
| 山田町   | 岩 船 敏 行 |     | 平成20年10月30日～平成24年10月29日 |
| 岩泉町   | 下 川 克 彦 |     | 平成21年4月1日～平成25年3月31日    |
| 田野畑村  | 石 岡 三 郎 |     | 平成21年10月1日～平成25年9月30日   |
| 久慈市   | 亀 田 公 明 | (新) | 平成22年4月28日～平成26年4月27日   |
| 洋野町   | 麦 澤 正 剛 | (新) | 平成23年1月4日～平成25年2月13日    |
| 野田村   | 大 崎 英 雄 |     | 平成21年1月1日～平成24年12月31日   |
| 普代村   | 熊 坂 伸 子 | (再) | 平成22年4月1日～平成26年3月31日    |
| 二戸市   | 鳩 岡 矩 雄 |     | 平成22年2月22日～平成26年2月21日   |
| 軽米町   | 中 野 新 一 |     | 平成19年6月17日～平成23年6月16日   |
| 九戸村   | 千 葉 利 夫 |     | 平成20年7月9日～平成24年7月8日     |
| 一戸町   | 遠 藤 裕 一 | (再) | 平成22年4月1日～平成26年3月31日    |

注：(新)、(再)はそれぞれ平成22年4月1日から平成23年3月31日までの間に新任、再任されたことを表す。

### 3 市町村教育委員等研修

- 平成22年度市町村教育委員会研究協議会（第一ブロック）
  - 【平成22年10月13日、福井県福井市フェニックスホール】
    - ・行政説明「初等中等教育をめぐる最近の動向について」  
：文部科学省初等中等教育局企画官 絹笠 誠
    - ・講演「学校、家庭、地域の連携と学力向上について」  
：福井大学理事（教育・学生担当）副学長 寺岡 英男氏
    - ・パネルディスカッション「学校、家庭、地域の連携に基づく教育行政について～連携の強化と活性化に向けた取組み～」
  - 【平成22年10月14日、福井県ホテルフジタ福井 天山1・2・3】
    - ・分科会「幼少中連携による教育力の向上」  
「市町村の特色を生かした教育プランづくり」  
「ICTを活用した学校・授業づくり」

## 第3章 教育施策の推進状況

### 第1節 社会の変化に対応する教育の推進

#### 第1 目標達成型の学校経営の推進

各学校がそれぞれの学校の現状と地域の状況などを踏まえながら、中長期的な目標のもと、毎年度の達成目標とその実現方策を明らかにした学校経営計画を定め、実行し、その成果と課題を検証していくというPDCAサイクルに基づく学校経営の取組を推進した。

##### 1 目標達成型の学校経営の推進

校長のリーダーシップのもと、家庭・地域との協働の強化を図り、学校経営計画の方針策定や実行プロセスへの校内教職員の参画、学校内外の評価なども取り入れたPDCAサイクルに基づく学校経営を推進した。

- 重視する教育活動について、目指すべき成果やそれに向けた取組の具体的な目標を定めた「まなびフェスト」の公立小中学校における作成状況は100%であった。

##### 2 家庭・地域社会との協働の促進

学校・家庭・地域社会が一体となって子どもたちの生きる力を育むため、学校では、家庭や地域と協働する「いわて型コミュニティ・スクール構想」の実現に向けて、家庭や地域との相互交流を積極的に促進するとともに、学校運営についても、家庭や地域の願い・意見等を把握しながら絶えず見直し、改善の努力をしていく「開かれた学校づくり」を推進した。

##### 3 「開かれた学校づくり」の推進

###### (1) 地域連携の窓口となる教員の配置

地域や学校の実態に応じて、地域連携の窓口となる教員を配置し、積極的に地域社会と連携した開かれた学校づくりを推進した。

配置の状況は、小中学校 100%、高校89.7%、特別支援学校92.9%であった。

###### (2) 学校評議員の設置

児童生徒や保護者、地域住民の学校教育に対する意向を把握するとともに、学校運営などについて説明責任を果たすため、学校評議員の設置を推進した。全ての県立学校で設置され、小中学校においても8割以上で設置されている。

#### 【目標】

児童・生徒や保護者、地域住民の意向を把握するとともに、学校運営などの説明責任を果たすため、全ての県立学校において学校評議員を設置することとする。

なお、小中学校に対しては、各学校の実情に応じた積極的な取組について指導する。



### 第3章 教育施策の推進状況

#### 第1節 社会の変化に対応する教育の推進

##### 第1 目標達成型の学校経営の推進

###### 【進捗状況】

|       | H20岩手県      | H20全国平均 |
|-------|-------------|---------|
| 公立小学校 | 341校(81.4%) | 91.1%   |
| 公立中学校 | 159校(82.8%) | 91.6%   |
| 県立学校  | 90校(100%)   | 96.8%   |

###### 【今後の取組】

学校評議員の積極的な活用を図るため、各校に学校評議員の活用状況等に係る情報を提供する旨にも、各市町村教育委員会に対して設置の働きかけを行う。

### (3) 学校評価の実施

###### 【目標】

平成19年に改正された学校教育法及び施行規則等の規定に沿った学校評価の実施を推進する。

- (1) 学校は自ら評価を行い、その結果を公表する（義務規定）。
- (2) 学校は、学校関係者評価を行い、その結果を公表するよう務める（努力規定）。
- (3) 学校は、自己評価及び学校関係者評価を行った場合は、その結果を設置者に報告する。

###### 【実施状況】

| (平成20年度) | 自己評価の実施     |       | 自己評価結果の公表   |       | 学校関係者評価の実施  |       |
|----------|-------------|-------|-------------|-------|-------------|-------|
|          | 岩手県         | 全国    | 岩手県         | 全国□   | 岩手県         | 全国    |
| 公立小学校    | 418校(99.8%) | 99.9% | 337校(80.6%) | 89.7% | 276校(65.9%) | 84.9% |
| 公立中学校    | 192校(100%)  | 99.9% | 154校(80.2%) |       | 126校(65.6%) | 84.3% |
| 県立学校     | 91校(100%)   | 100%  | 76校(83.5%)  |       | 72校(79.1%)  | 90.9% |

学校運営の改善や活性化を進め、教育活動に係る家庭や地域等への説明責任を果たすため、学校自己評価及び評価結果の公表を推進するとともに、自己評価結果に対する学校関係者評価を推奨している。ほとんどの学校が自己評価を行ったが、学校関係者評価については小中学校で66%程度の実施にとどまっている。

### (4) ホームページの開設

学校からの情報発信力を強化するため、全ての県立学校においてホームページを開設しているが、小中学校における開設状況は5割程度にとどまっている。

###### 【目標】

全学校でのホームページの開設及び学校情報の発信に取り組む。

###### 【進捗状況】

|       | H22岩手県 |
|-------|--------|
| 公立小学校 | 48.3%  |
| 公立中学校 | 50.3%  |
| 県立学校  | 100%   |

###### 【今後の取組】

学校運営等の積極的な情報発信の趣旨からもその充実を図るため、運用に際しての掲載すべき内容を指導するとともに、先進事例を紹介する。

## 4 地域との交流の促進

地域におけるボランティア活動、伝統芸能等の継承、行事や祭事への積極的な参加、社会福祉施設との連携等、地域に開かれた学校づくりを実践的に推進した。

### 第3章 教育施策の推進状況

#### 第1節 社会の変化に対応する教育の推進

##### 第1 目標達成型の学校経営の推進

##### 第2 社会人として自立できる能力の育成

#### 5 地域の人材の活用

地域の伝統文化・芸能の継承活動等において、保護者や地域の方々を指導者として招き、児童生徒が地域を理解する学習の推進を図った。

また、日常の各教科や総合的な学習の時間等においても、保護者や地域の専門的な知識・技能を有する方々をゲストティーチャーとして積極的に活用するなど、地域の人材の活用を積極的に推進した。

#### 6 学校の開放

地域住民の交流や学習の拠点としての役割を担う観点から、学校の体育施設等や学校図書館、空き教室等の積極的な開放を行った。

### 第2 社会人として自立できる能力の育成

社会の仕組みや経済社会の構造、高度情報化社会の特性、持続可能な社会をつくる取組等について、国際理解教育、情報教育、環境教育等を推進することにより、高校卒業までに、社会を生きる人間として必要な知識・技能を習得させ、自ら学ぶ態度を養うよう努めた。

さらに、児童生徒が自己の在り方・生き方を考え、主体的に進路を選択し、社会人・職業人として自立する能力を育成するため、「いわてキャリア教育指針」に基づき、「いわてキャリア教育の手引き」を作成し、学校の取組促進に努めた。

#### 1 児童生徒一人一人の主体的な「学び」の支援・指導の充実

各学校が児童生徒の実態等に応じて、わかる授業を基盤とした、習熟の程度に応じた指導などの少人数指導や繰り返し学習などきめ細かな指導ができるように、児童生徒一人一人の主体的な「学び」の支援・指導の充実に努めた。

#### 2 社会の変化に主体的に対応する新たな「学び」の創造等

各学校が総合的な学習の時間などを中心に体験的な学習を積極的に取り入れ、児童生徒の関心・意欲や思考力、判断力、表現力を育成し、社会の変化に主体的に対応する新たな「学び」の創造に取り組むことができるよう、支援・指導の充実に努めた。



### 第3章 教育施策の推進状況

#### 第1節 社会の変化に対応する教育の推進

##### 第2 社会人として自立できる能力の育成

### 3 学校裁量を生かした創意工夫

#### (1) 平成22年度文部科学省・岩手県教育委員会研究指定校（高等学校を除く）

##### 文部科学省指定

| 指 定 領 域                                    | 教育事務所 | 学校（地域）名                                 |
|--|-------|---|
| 学力向上実践研究推進事業（確かな学力育成のための実践研究事業）〔平成20～22年度〕 | 盛 岡   | 水分小、上平沢小、片寄小、紫波第三中                      |
|  | 県 南   | 水沢小、佐倉河小、水沢中                            |
| 豊かな体験活動推進事業<br>〔平成22年度〕                    | 宮 古   | 田野畑小                                    |
| 発達段階に応じたキャリア教育支援事業<br>〔平成21・22年度〕          | 県 南   | 一関市<br>（南小、一関中、本寺小、本寺中、摺沢小、大東中）         |
|  | 県 北   | 軽米町（軽米小、軽米中、小軽米小、小軽米中）<br>九戸村（江刺家小、九戸中） |
| 人権教育研究指定校事業<br>〔平成22年度〕                    | 沿岸南部  | 吉里吉里中                                   |
| 道徳教育実践研究事業<br>〔平成21・22年度〕                  | 盛 岡   | 盛岡市（河北小）                                |
|  | 中 部   | 西和賀町（湯田中）                               |
|  | 県 南   | 奥州市（姉体小、東水沢中）                           |
| 我が国の伝統文化を尊重する教育に関する実践モデル事業〔平成22年度〕         | 沿岸南部  | 大船渡中                                    |
| 問題を抱える子ども等の自立支援事業<br>〔平成22年度〕              | 盛 岡   | 葛巻町、岩手町                                 |
|  | 県 南   | 奥州市、金ヶ崎町                                |
|  | 県 北   | 洋野町                                     |

#### (2) 教科書関係

##### ア 採択の概要

平成22年度に小学校用教科書の採択替えを行い、平成17年度に中学校用教科書の採択替えを行った。

##### イ 教科用図書選定審議会

県教育委員会は、市町村教育委員会及び国立、私立学校の校長の行う教科書採択が円滑適正になされるよう指導、助言、又は援助をするために、平成23年度使用教科用図書選定審議会委員を委嘱した。

教科用図書選定審議会に対し、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第11条第1項の規定により、次の事項について諮問し、その答申を受けて各採択権者に対し、指導、助言、援助を行った。

(ア) 平成23年度において使用する義務教育諸学校の教科用図書を各採択権者が採択する場合における採択基準について

(イ) 教科用図書選定のための資料について

ウ 教科書展示会

教科書の発行に関する臨時措置法第5条第1項の規定により、平成22年度使用教科書展示会を、平成22年6月18日から14日間、次の18カ所の教科書センターにおいて開催した。

【教科書センター】岩手中央／盛岡／八幡平／葛巻／花巻／北上／奥州／金ヶ崎／県南／川崎／大船渡／陸前高田／遠野／釜石／宮古／岩泉／久慈／二戸

(3) 高等学校教育全般

平成22年度3月に策定された「今後の高等学校教育の基本的方向」では、高校教育の目標について、「「知・徳・体」を備え調和のとれた人間形成」、言い換えれば「自立した社会人としての資質を有する人財（生徒）の育成」としている。

また、平成22年度の高等学校教育指導指針では、学校教育全般にわたる指導の要点を次の18項目とし、教育の本質に根ざした学力の向上と健全育成を目指す学校教育の充実推進に努めた。

【各校共通して取り組む内容の指導の要点】

学校経営改革／学力・授業力向上／キャリア教育 / 豊かな人間性の育成／特別支援教育／健康教育、【各学校の経営計画により取り組む内容の指導の要点】特別活動／総合的な学習の時間／国際理解教育／環境教育／ボランティア教育／情報教育／読書指導／交流及び共同学習／定時制・通信制教育／研修・研究、【スポーツや伝統・文化に関わって各学校が取り組む内容の指導の要点】競技スポーツの強化／伝統文化の教育

また、下表のとおり研究指定校を指定（いずれも文部科学省指定）するとともに、学習指導・授業研修等による訪問や生徒指導等による訪問を行い、指導した。

【平成22年度 岩手県公立高等学校等教育研究指定校】

| 研究主題                        | 研究校                | 年 度       |
|-----------------------------|--------------------|-----------|
| スーパーサイエンスハイスクール（SSH）（理数系教育） | 水沢                 | 平成18～22年度 |
| 原子力・エネルギーに関する教育支援事業         | 黒沢尻工業・水沢工業・千厩・釜石商工 | 平成22年度    |
| 地域産業の担い手育成プロジェクト（農業分野）      | 盛岡農業・花巻農業・水沢農業     | 平成21～22年度 |
| 地域産業の担い手育成プロジェクト（水産分野）      | 宮古水産               | 平成21～22年度 |
| 環境のための地球学習観測プログラム（グローブ）     | 遠野                 | 平成21～22年度 |
| 教育課程研究指定校事業                 | 盛岡商業・福岡工業          | 平成21～22年度 |
| 学力向上実践研究推進事業（数学）            | 岩泉                 | 平成21～22年度 |

### 第3章 教育施策の推進状況

#### 第1節 社会の変化に対応する教育の推進

#### 第2 社会人として自立できる能力の育成

#### (4) 定時制・通信教育

平成22年度における定時制課程の学校数は、11校（独立本校1校、併置校8校、分校2校）であり、通信制課程は、杜陵高校通信制1校である。

昭和56年度から定時制高校と県立高等職業訓練校（1年課程）7校との間に技能連携教育が始まり、さらに昭和57年度には雇用促進事業団立総合高等職業訓練校（2年課程）2校が加わった。

この制度により高校を卒業した生徒は541人にのぼっているが、平成14年度に技能連携生5人が入学したのを最後に、平成15年度以降は在籍がゼロとなっている。

昭和63年4月には杜陵高校定時制に全国初の単位制を導入し、平成5年度からは3部制にし、多様な生徒の学習ニーズに対応している。

定時制・通信制課程の生徒数全体は、平成14年度以降は減少傾向となっていたが、平成20年度からは増加傾向にある。

#### ア 定時制、通信制学科別入学及び在籍生徒数

(ア) 入学生徒数（平成22年5月1日現在） [単位：人、%]

| 課程  | 定員  | 普通科 | 農業科 | 生活科 | 機械科 | 電気科 | 工業科 | 産業科 | 商業科 | 計   | 定員充足率 |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
| 定時制 | 560 | 233 | —   | —   | —   | —   | 17  | —   | —   | 250 | 44.6  |
| 通信制 | 300 | 161 | —   | —   | —   | —   | —   | —   | —   | 188 | 53.6  |
| 合計  | 860 | 394 | —   | —   | —   | —   | 12  | —   | —   | 424 | 45.8  |

[平成21年5月1日現在の生徒数計は、定時制224人、通信制188人、合計412人であり、それぞれ9人増、27人減、18人減]

(イ) 在籍生徒数（平成22年5月1日現在） [単位：人、%]

| 課程  | 定員    | 普通科   | 農業科 | 生活科 | 機械科 | 電気科 | 工学科 | 産業科 | 商業科 | 計     | 定員充足率 |
|-----|-------|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|-------|
| 定時制 | 2,240 | 675   | —   | —   | —   | —   | 37  | 16  | 12  | 740   | 33.0  |
| 通信制 | —     | 1,471 | —   | —   | —   | —   | —   | —   | —   | 1,471 | —     |
| 合計  | —     | 2,146 | —   | —   | —   | —   | 37  | 16  | 12  | 2,211 | —     |

[平成21年5月1日現在の生徒数計は、定時制740人、通信制1,746人、合計2,486人であり、それぞれ増減0、275減、275減]

#### イ 就学奨励事業

就学促進のための施策の一環として「高等学校定時制課程及び通信制就学奨励費貸付事業」を実施し、関連事業として、教科書の無償給与、夜間定時制高校生徒夜食費補助等も実施した。

#### ウ 主な事業（主催及び共催）

(ア) 岩手県高等学校定時制通信制教育振興会理事会・総会

期日……………平成22年5月14日

会場……………杜陵高校

参加者……………45人

(イ) 第60回岩手県高等学校定時制通信制生徒生活体験発表会

期日……………平成22年9月26日

会場……………杜陵高校

参加者等……………100人（発表14人）

### 第3章 教育施策の推進状況

#### 第1節 社会の変化に対応する教育の推進

##### 第2 社会人として自立できる能力の育成

## 4 情報教育の充実

社会の情報化に対応した教育を行うため、「教育の情報化」を推進することとし、情報機器の整備促進及びその活用充実等のための研修や、IT活用能力及び指導力の向上のための各種研修を積極的に実施した。

### (1) 情報関連機器の整備状況（平成23年3月現在）

[単位：人、%]

| 学校種別   | コンピュータ1台あたりの児童生徒数 |      | 普通教室における校内LAN整備率 |      | 超高速インターネット接続率 |      |
|--------|-------------------|------|------------------|------|---------------|------|
|        | 岩手県               | 全国平均 | 岩手県              | 全国平均 | 岩手県           | 全国平均 |
| 小学校    | 6.0               | 7.6  | 59.6             | 79.8 | 49.3          | 67.0 |
| 中学校    | 4.7               | 6.4  | 60.2             | 79.3 | 50.9          | 68.5 |
| 高等学校   | 4.7               | 5.0  | 99.6             | 93.8 | 63.8          | 64.3 |
| 特別支援学校 | 2.4               | 3.4  | 83.9             | 89.6 | 64.3          | 67.9 |
| 合計     | 5.2               | 6.6  | 68.0             | 82.3 | 51.7          | 67.1 |

(参考) 平成18年度から平成22年度までの新基準（文部科学省）

| コンピュータ1台あたりの児童生徒数 | 普通教室における校内LAN整備率 | 超高速インターネット接続率 |
|-------------------|------------------|---------------|
| 3.6人              | 概ね100%           | 概ね100%        |

(小学校、中学校、高等学校、特別支援学校共通)

### (2) 教員の指導力の向上

ア 教員のICT活用指導力の状況（平成23年3月現在）

| 「わりにできる」「ややできる」と回答した教員の割合[単位:%] | 岩手県  | 全国平均 |
|---------------------------------|------|------|
| 教材研究・指導の準備・評価などにICTを活用する能力      | 80.6 | 76.1 |
| 授業中にICTを活用して指導する能力              | 67.8 | 62.3 |
| 児童・生徒のICT活用を指導する能力              | 68.4 | 61.5 |
| 情報モラルなどを指導する能力                  | 75.6 | 71.4 |
| 校務にICTを活用する能力                   | 78.0 | 72.4 |

イ 教員情報活用能力向上のための研修

小中高等学校及び特別支援学校の教員を対象に、総合教育センターで各種研修を行った。

ウ 初任者研修

初任者研修において、情報モラル指導や教育の情報化のための研修を行った。

### 第3章 教育施策の推進状況

#### 第1節 社会の変化に対応する教育の推進

#### 第2 社会人として自立できる能力の育成

## 5 国際理解教育の充実

国際化の進展に対応し、語学指導等を行う外国青年招致事業（JETプログラム）により外国青年を招聘し、県立学校等における外国語教育や国際理解教育の充実を図った。

### (1) 外国青年招致事業

ア 招致人員 14人

イ 国籍

米国、英国、カナダ、シンガポール

ウ 配置先

学校教育室 1人

総合教育センター 1人

県立高校 8人

#### 【配置高校名】

盛岡北、不来方、花巻北、黒沢尻北、北上翔南、水沢、一関第一、遠野緑峰

### (2) 外国語教育推進事業

これまで活用してきた語学指導等を行う外国青年招致事業（JETプログラム）における外国語指導助手に関する事業について、より効率的かつ効果的な運用により、外国語指導の向上を目的として、一部の業務を民間業者に委託した。

- ・平成20年8月21日 22人（教育事務所：3事務所3人 県立学校：40校19人）
- ・平成20年9月1日 24人（教育事務所：5事務所5人 県立学校：43校19人）
- ・平成20年10月31日 25人（教育事務所：6事務所6人 県立学校：46校19人）
- ・平成21年4月1日 26人（教育事務所：7事務所7人 県立学校：43校19人）
- ・平成21年7月31日 33人（教育事務所：9事務所9人 県立学校：59校24人）
- ・平成22年4月1日 33人（教育事務所：6事務所8人 県立学校：56校25人）
- 8月から 37人（教育事務所：6事務所8人 県立学校：64校29人）

※県立学校の人数＝総数－教育事務所の人数（兼務のため）

## 6 キャリア教育の推進

近年の社会構造や就業形態の複雑化を背景として、高校や大学を卒業した若者の早期離職傾向や勤労観・職業観の未熟さ、社会人・職業人としての資質や能力の不足等が社会的に大きな課題となっており、小・中・高の発達段階に応じたキャリア教育が重要であることから、「いわてキャリア教育指針」及び「いわてキャリア教育の手引き」を策定し、各学校におけるキャリア教育推進の支援に努めた。

### (1) 「いわてキャリア教育の手引き」の策定

平成21年度に策定した「いわてキャリア教育指針」に基づき、各学校のキャリア教育の推進に向けて、「いわてキャリア教育の手引き」を小・中学校編と高校編に分けて策定し、各学校における進め方や実践事例等を示した。

### (2) 発達段階に応じたキャリア教育推進支援事業の実施

小中学校において、学ぶことや働くこと、生きることについて考えさせ、学ぶ意欲の向上を図り、将来の社会的自立・職業的自立の基盤となる資質・能力・態度を育て、発達段階に応じた組織的・系統的なキャリア教育を効果的・効率的に実施するため、3市町村（一関市・軽米町・九戸村）が文部科学省の指定を受け、研究事業を実施した。

### (3) 小中高キャリア教育研究協議会の開催

キャリア教育を担当する教諭を対象に、小・中・高等学校におけるキャリア教育の在り方について研修し、各校のキャリア教育の改善・充実と担当者の資質の向上を図った。

| 地区名    | 期 日            | 会 場        | 担当教育事務所   |
|--------|----------------|------------|-----------|
| 中部(花巻) | 平成23年2月2日(水)   | 東和総合福祉センター | 中部教育事務所   |
| 中部(北上) | 平成23年2月14日(月)  | 北上地区合同庁舎   | 中部教育事務所   |
| 沿岸南部   | 平成22年8月6日(金)   | 三陸公民館      | 沿岸南部教育事務所 |
| 県北(二戸) | 平成22年11月26日(水) | 二戸シビックセンター | 県北教育事務所   |

### (4) キャリア教育指導者養成研修への派遣

キャリア教育を担当する指導主事や小・中・高等学校のキャリア教育担当者・進路指導主事等に対し、発達段階に応じたキャリア教育、キャリア・カウンセリング等について必要な知識を習得させることをねらいとした文部科学省主催の講座であり、小学校2人、中学校3人、高等学校2人が受講した。

### (5) キャリアアップサポート事業の実施

岩手県産業教育振興会が主催する「産業教育フォーラム」や各学校が実施する外部講師による講演会、生徒の企業見学、教員研修等を支援した。



## 7 職業教育の充実

### (1) 職業教育の現状

本県における職業教育は、専門高校を中心に行われており、有為な職業人を育成するために、望ましい勤労観や職業観を培い、創造性を身に付けた総合的な人間育成の場としても大きな役割を果たしている。

また、近年、社会や産業構造、就労環境等も変化してきており、専門高校の教育内容等の一層の改善が求められているところである。

今後は、普通高校におけるキャリア教育の推進とともに、職業教育のさらなる充実が求められていくものと考えられる。

### (2) 職業教育の活性化に向けて

#### ア 新しい教育課程の実施

高等学校における職業教育のスタート段階では、専門分野の基礎的・基本的な知識・技能を定着させることが重要であり、平成21年3月に告示された新学習指導要領の改訂の趣旨を踏まえ、各教科・科目の基礎的・基本的な知識・技能の一層の定着を図るとともに、「課題研究」等の実践をとおした問題解決能力や自発的・創造的な学習態度の育成を進め、職業教育の活性化に努めた。

また、地域の産業や社会を担う人材を育成するためには、さらに、産業界と連携しながら、体験的な学習を推進していく必要がある。

#### イ 地域産業の担い手育成プロジェクトの活用

文部科学省と経済産業省、農林水産省、水産庁との連携による「地域産業の担い手育成プロジェクト」を活用し、企業内実習や企業技術者による学校での実践的指導、日本版デュアルシステムなどの実施により生徒の実践力の向上が図られた。

| 分野      | 所管省庁            | 事業期間        | 対象校                                      |
|---------|-----------------|-------------|--|
| ものづくり分野 | 文部科学省・<br>経済産業省 | 平成19年度～21年度 | 盛岡工業高校、花北青雲高校、黒沢尻工業高校、水沢工業高校、一関工業高校、千厩高校 |
| 農業分野    | 文部科学省・<br>農林水産省 | 平成20年度～22年度 | 盛岡農業高校、花巻農業高校、水沢農業高校                     |
| 水産分野    | 文部科学省・<br>水産庁   | 平成21年度～22年度 | 宮古水産高校                                   |

### 第3章 教育施策の推進状況

#### 第1節 社会の変化に対応する教育の推進

#### 第3 児童生徒の健やかな成長を支える取組の推進

### 第3 児童生徒の健やかな成長を支える取組の推進

社会の変化の中で、児童生徒の健やかな成長を支援するため、教員の資質と能力の向上を図るとともに、少人数教育の充実に努めた。

#### 1 特色ある学校づくり

各学校は、児童生徒一人ひとりが在り方生き方を自覚し、将来の目標の設定や自己実現を図ることができるような、魅力ある学校づくりを進める必要がある。

そこで、平成21年度から、家庭、地域と協働して岩手の特色ある産業、文化を支える人材を育成するなど、生徒一人一人の多様な進路実現に向けた学校の取組を支援する「いわて未来創造人サポート事業」を実施している。

#### 2 小規模校の振興

本県のへき地指定校は、平成22年5月1日現在小学校103校、中学校44校となっており、全学校に占める割合は、小学校26.2%、中学校23.2%で、小中学校全体では24.5%となっている。

また、複式学級を有する学校は、小学校110校（28.0%）、中学校9校（4.7%）である。

##### (1) 複式指導資料の作成

へき地・小規模複式指導DVDを作成し、複式学級における学習指導の充実を図った。

##### (2) 複式指導等改善巡回講座の実施

複式学級の特性を生かした学習指導の充実を図るため、県下2地区4会場において、複式学級の実態に即した研修を実施し、指導力の向上を図った。

| 教育事務所 | 学校名        | 期 日        | 研修内容        |
|-------|------------|------------|-------------|
| 宮 古   | 山田町立轟木小学校  | 平成22年6月2日  | 授業、講義、協議、演習 |
|       | 岩泉町立浅内小学校  | 平成22年6月15日 | 授業、講義、協議、演習 |
| 久 慈   | 久慈市立戸呂町小学校 | 平成22年4月27日 | 授業、講義、協議    |
|       | 軽米町立円子小学校  | 平成22年4月28日 | 授業、講義、協議    |



### 第3章 教育施策の推進状況

#### 第1節 社会の変化に対応する教育の推進

#### 第4 教員の適正配置

### 第4 教員の適正配置

#### 1 教員採用試験の改善等

教員としての資質・能力のみならず、多角的な視点から判断できるような面接試験、論文試験を行っている。

また、実践的、専門的な技術、技芸等を教えることができる人材を確保するため、スポーツ・社会人・理療科特別選考を実施し、学校活性化のための人材の確保に努めた。

#### 2 人事管理の改善

義務教育諸学校においては第6次配置改善計画、高等学校においては第5次配置改善計画により、ティームティーチングや多様な教科・科目の開設など指導方法の改善に伴う加配措置がなされ成果を上げてきた。第7次配置改善計画においては、きめ細やかな指導と基礎学力の向上を図るため、少人数指導を可能にする加配措置がなされた。

また、学級編制については、平成18年度から小学校1年生に35人学級編制を導入し、平成19年度には小学校2年生まで拡大した。平成21年度には、中学校1年生における35人学級編制を導入し、市町村教育委員会の意向を踏まえ選択的に実施した。

#### 3 司書教諭の養成

平成15年4月1日から12学級以上の学校には司書教諭を配置することになったため、計画的な司書教諭の養成に努めた。

##### 【平成22年度図書館司書教諭有資格者数】

|        |      |
|--------|------|
| 小学校    | 466人 |
| 中学校    | 152人 |
| 高等学校   | 151人 |
| 特別支援学校 | 87人  |

#### 4 教職員の養成・免許・検定

領域別免許状の保有状況等を勘案し、平成21年度は特別支援学校の教員を対象とした認定講習を開催するなど県として条件整備に努めた。

##### (1) 免許法認定講習

|       |                 |
|-------|-----------------|
| 会場    | 盛岡市内3会場         |
| 期日    | 平成22年7月31日～8月6日 |
| 受講者   | 163人            |
| 単位授与者 | 163人            |
| 開設講座  | 3講座             |

##### (2) 教育職員の免許状授与状況

(右表のとおり)

##### 【教育職員の免許状授与状況(単位:件)】

| 免許状の種類      | 平成22年度 | 平成21年度 |
|-------------|--------|--------|
| 授与・再交付・書換え  |        |        |
| 普通免許状       |        |        |
| 小学校教諭       | 347    | 316    |
| 中学校教諭       | 336    | 340    |
| 高等学校教諭      | 436    | 388    |
| 養護教諭        | 11     | 21     |
| 特別支援学校教諭    | 92     | 94     |
| 自立教科教諭(理療)  | 1      | 1      |
| 特別支援自立活動    | 0      | 2      |
| 幼稚園教諭       | 455    | 454    |
| 栄養教諭        | 36     | 49     |
| 計           | 1,714  | 1,665  |
| 臨時免許状       |        |        |
| 小学校助教諭      | 15     | 8      |
| 中学校助教諭      | 4      | 6      |
| 高等学校助教諭     | 49     | 53     |
| 養護助教諭       | 0      | 1      |
| 特別支援学校助教諭   | 14     | 3      |
| 自立教科助教諭(理療) | 0      | 3      |
| 幼稚園助教諭      | 2      | 2      |
| 計           | 84     | 76     |
| 特別免許状       | 1      | 2      |
| 再交付・書換え     |        |        |
| 再交付         | 164    | 121    |
| 書換え         | 283    | 272    |
| 計           | 447    | 393    |
| 合計          | 2,246  | 2,136  |
| 免許状授与証明書    | 531    | 389    |

第3章 教育施策の推進状況

第1節 社会の変化に対応する教育の推進

第5 教員研修の充実

第5 教員研修の充実

本県教員のより一層の資質向上と教育課題の解決を図るため、これまでの研修体系を見直し、「授業力向上研修」を中心とする教員のキャリア・ライフステージに沿った新しい研修体系を平成21年度に策定し、研修を実施した。

特に、新学習指導要領の趣旨や内容の徹底を図るとともに、児童生徒の学力向上・健全育成を中心課題として、教員の指導力の向上を図った。

1 平成22年度研修実績

(1) 管理職研修

[単位：人]

| 講座名       | 受講対象      | 講座内容   | 日数等 | 研修者数 |
|-----------|-----------|--|-----|------|
| 校長研修講座    | 小中学校長     | 学校管理運営上の諸問題、指導行政上の諸問題研究協議、講話、演習  | 2   | 579  |
| 副校長研修講座   | 小中学校副校長   | 講話、サービス管理上の諸問題説明、実践発表、演習   | 1   | 577  |
| 新任校長研修講座  | 小中学校新任校長  | 指導行政の課題と学校経営、管理職としての心がまえ、新任校長に望む、学校組織マネジメント、教職員のメンタルヘルス、発表と研究協議                  | 2   | 38   |
| 新任副校長研修講座 | 小中学校新任副校長 | 副校長の役割、新任副校長に望む、指導行政の重点、教職員のメンタルヘルス、学校組織マネジメント、発表と研究協議、学校経営上の諸問題、サービス規演習、学校事務の概要 | 4   | 24   |
| 新任校長研修講座  | 県立学校新任校長  | 各学校の課題・取組状況についての意見交換会、学校経営、教育法規演習、危機管理の在り方、コンプライアンス、新任校長に期待する                    | 3   | 17   |
| 新任副校長研修講座 | 県立学校新任副校長 | 各学校の課題・取組状況についての意見交換会、学校経営、教育法規演習、教職員のメンタルヘルス、コンプライアンス、新任副校長に期待する                | 2   | 26   |

(2) 初任者研修（小学校・中学校、新採用教員対象）

[単位：人]

| 講座名        | コース名  | 講座内容   | 日数等  | 研修者数 |    |
|------------|---|--|------|------|----|
| 初任者研修講座    | 総合教育センター研修                                    | 学習指導要領、年間指導計画の作成、教育相談、学級経営、教科・道徳・特別活動、総合的な学習の時間の意義と進め方、情報モラル 等 | I    | 4    | 58 |
|            |   |  | II   | 4    | 59 |
|            |   |  | III  | 3    | 58 |
|            |   |  | 宿泊研修 | 3    | 59 |
|            | 教育事務所研修                                       | 身分とサービス、教育課程の編成、授業実習と授業研究、課題研修の進め方、社会奉仕体験の心構え 等                | 8    | 59   |    |
| 市町村教育委員会研修 | 各市町村の教育課題、教科・領域授業研究、各実践課題への取組 等               | 3  | 59   |      |    |
| 校内研修       | 各種教育指導、学級経営、教科・道徳・特別活動・総合的な学習の時間の指導、生徒指導の実際 等 | 300時間程度  | 59   |      |    |

### 第3章 教育施策の推進状況

#### 第1節 社会の変化に対応する教育の推進

##### 第5 教員研修の充実

#### (3) 初任者研修（高等学校・特別支援学校、新採用教員対象）

[単位：人]

| 講座名   | コース名                           | 講座内容   | 日数等         |    | 研修者数              |
|-------|--------------------------------|--|-------------|----|-------------------|
| 初任者研修 | 本庁研修                           | 学習指導要領解説、教科・教育の現状と課題、授業参観、授業研究、他校種授業参観                                     | 6           |    | 56<br>(高校36、特支20) |
|       | 総合教育センター研修                     | 任用・服務、勤務、学習指導、生徒指導、接遇、総合的な学習の時間、ボランティア活動、校務における情報活用、情報モラル、教育相談、授業改善の事例発表 等 | 教職基礎        | 2  | 83                |
|       |                                |  | 教科別(高等学校)   | 4  | 39                |
|       |                                |  | 授業基礎(特別支援)  | 4  | 27                |
|       |                                |  | 領域実技Ⅰ(高等学校) | 4  | 39                |
|       |                                |  | 実技(特別支援)    | 3  | 28                |
|       |                                |  | 領域実技Ⅱ(高等学校) | 3  | 39                |
|       |                                |  | 特支一般(特別支援)  | 4  | 26                |
|       |                                |  | 授業改善(高等学校)  | 3  | 39                |
|       |                                | 課題研究(特別支援)   | 3           | 28 |                   |
|       | 宿泊研修                           | 3  | 66          |    |                   |
| 所属校研修 | 基礎的素養、ホームルーム経営、教科指導、特別活動、生徒指導等 | 300時間程度  |             | 56 |                   |

#### (4) 新任教務主任研修（小学校・中学校、新任教務主任対象）

[単位：人]

| 講座名      | コース名     | 講座内容                                       | 日数 | 研修者数            |
|----------|----------|--|----|-----------------|
| 新任教務主任研修 | 新任教務主任研修 | 教務主任の役割、教育活動と教育法規、教育課程の編成、高校教育の現状と課題、文書事務等 | 2  | 84<br>(小53、中31) |

#### (5) 新任教務主任研修（高等学校・特別支援学校、新任教務主任対象）

[単位：人]

| 講座名      | コース名     | 講座内容                                       | 日数 | 研修者数         |
|----------|----------|--|----|--------------|
| 新任教務主任研修 | 新任教務主任研修 | 教務主任の役割、教育活動と教育法規、特色ある学校づくり、教務課運営の実際、文書事務等 | 3  | 25(高校22、特支3) |

### 第3章 教育施策の推進状況

#### 第1節 社会の変化に対応する教育の推進

##### 第5 教員研修の充実 第6 教員研究等の充実

## 2 平成22年度研修事業受講者一覧（総合教育センター実施分）

### (1) 所属種別研修講座数、研修者数

[単位：人]

| 講座\所属 | 幼稚園・保育所 | 小学校   | 中学校   | 高等学校  | 特別支援学校 | 計       |
|-------|---------|-------|-------|-------|--------|---------|
| 研修講座数 | 13      | 67    | 76    | 59    | 57     | 281 (延) |
| 研修者数  | 86      | 1,854 | 1,405 | 1,375 | 530    | 5,250   |

### (2) 所属種別研修講座別研修者数

[単位：人]

| 研修名  | 講座名       | 研修者数  |       |       |     |     |     |     |     |     |        | 計     |       |
|------|-----------|-------|-------|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|--------|-------|-------|
|      |           | 単 独   |       |       |     |     | 合 併 |     |     |     |        |       |       |
|      |           | 幼・保   | 小学校   | 中学校   | 高校  | 特支  | 幼・保 | 小学校 | 中学校 | 高校  | 特支     |       |       |
| 基本研修 | 初任者研修     | 64    | 91    | 143   | 242 | 172 |     |     |     |     |        |       | 712   |
|      | 教職経験5年研修  |       | 50    | 45    | 68  | 18  |     |     |     |     |        |       | 181   |
|      | 教職経験10年研修 | 11    |       |       |     |     |     |     |     |     |        |       | 11    |
|      | 授業力向上研修   |       | 716   | 434   | 415 | 131 |     | 416 | 242 | 222 | 64     |       | 2,640 |
|      | 小 計       | 75    | 857   | 622   | 725 | 321 |     | 416 | 242 | 222 | 64     |       | 3,544 |
| 特別研修 | 新任研修      | 新任者   |       |       |     |     |     | 134 | 86  | 61  | 14     |       | 343   |
|      |           | 免外等   |       |       | 48  |     |     |     |     |     |        |       |       |
|      | 養成研修      | 教科    |       | 30    |     |     |     |     |     |     |        |       | 395   |
|      |           | 領域等   |       |       |     |     |     | 111 | 88  | 163 | 3      |       |       |
|      | 専門研修      |       |       | 122   |     |     |     |     |     |     |        |       | 122   |
|      | 派遣研修      |       |       |       |     |     |     | 9   | 7   | 2   | 1      |       | 19    |
| 小 計  |           | 30    | 170   |       |     |     | 254 | 181 | 226 | 18  |        | 879   |       |
| 希望研修 | 教科研修      |       | 7     | 38    | 49  |     |     | 7   | 12  | 1   |        | 114   |       |
|      | 領域等研修     |       |       | 4     |     | 10  | 1   | 114 | 97  | 107 | 56     | 389   |       |
|      | 公開研修      |       |       |       |     |     | 10  | 176 | 44  | 34  | 60     | 324   |       |
|      | 要請研修      | 1,435 | 2,861 | 1,124 | 896 | 461 |     |     |     |     |        | 6,777 |       |
|      | 随時研修      | 49    | 56    | 69    | 50  | 9   |     |     |     |     |        | 233   |       |
|      | 小 計       | 1,484 | 2,924 | 1,235 | 995 | 480 | 11  | 290 | 148 | 153 | 117    | 7,837 |       |
| 総 計  | 1,559     | 3,811 | 2,027 | 1,720 | 801 | 11  | 960 | 571 | 601 | 199 | 12,260 |       |       |

## 第6 教員研究等の充実

県立総合教育センターを中心に、本県教育における重要性・緊急性が高い諸課題について、以下の調査・研究を行った。

### 1 小・中学校における知識・技能の活用を図ることをねらいとした問題の作成

本県の義務教育の目標は、「基礎・基本の定着を実現していく」ことであり、その実現のためには、知識や技能の習得のみに留まることのない、「活用」という側面を含んだ豊かな学習の展開をする必要がある。

この研究は、指導と評価の一体化という観点から、知識・技能を活用する問題を作成し、学習指導のさらなる改善に役立てようとするものである。

## 2 実践的な指導力向上を図るこれからの教員研修の在り方に関する研究

これからの学校は、児童生徒の知・徳・体にわたるバランスのとれた成長を目指し、より一層高い資質能力を備えた教員が指導に当たり、活気ある教育活動を展開する場となる必要がある。

この研究は、このような学校づくりを進めていくために、昨年度まで行った、「教員研修カリキュラム」や「家庭学習の在り方」などを実証的に示し、教員の資質能力の向上に役立てようとするものである。

## 3 中学校理科年間指導計画「いわてモデルプラン」に基づいた観察・実験教材の指導資料の作成

今回の指導要領の改訂により、中学校理科の学習指導の順序が撤廃となり、それぞれの学校で組み立てることができるようになった。

この研究は、本県に適した学習指導計画の一例を示すことで、各学校の理科の学習指導計画作りを支援し、生徒の「学力向上」に役立てようとするものである。

## 4 中学校技術・家庭科家庭分野における調理・製作実習を支援する教材開発 ー実習時間に必要な知識や技術を確認できる視聴覚教材の作成ー

中学校技術・家庭科家庭分野では、既習事項の習得状況を見取り、実習中につまずいている生徒に、個々の実習上の課題に応じた支援をその場で行うことが求められている。

この研究は、家庭分野における調理・製作実習の時間に必要な知識や技術を確認できる視聴覚教材を開発することによって、学習指導の充実に役立てようとするものである。

## 5 中学校道徳における情報モラル指導に関する研究 ー疑似体験を取り入れた授業展開例の作成をととしてー

インターネット上の「掲示板」への書き込みによる誹謗中傷やいじめといった情報化の影の部分の問題に対応するためには、他者への共感や思いやり、法やきまりのもつ意味などについて生徒が考えを深めることができるように働きかけることが重要になる。

この研究は、道徳の情報モラルの指導において、道徳的価値を育て豊かな人間性を育むための改善方法を明らかにしようとするものである。

## 6 中学校通常の学級及び高等学校における発達障がいのある生徒への適切な指導と必要な支援に関する研究 ー特別支援教育研修資料の作成をととしてー

特別な教育的支援を必要とする生徒に対して、教職員が協力し合い、学校全体で見通しをもって支援していくことが一層求められている。

この研究は、中学校・高等学校において、校内のすべての教職員が特別支援教育の考え方や支援方法等について、共通理解を図って推進していくための研修資料を作成し、指導支援の充実に図ろうとするものである。

## 第2節 確かな学力をはぐくむ教育の推進

### 第1 学習指導要領改訂に伴う教育課程の編成

学習指導要領の趣旨の確実な周知と理解を図り、移行期間における教育課程を適切に実施するとともに、本実施に向けた効果的な教育課程の編成と実践に向けた指導の在り方を支援し、地域や児童生徒の実態に即した柔軟で特色ある教育を推進するよう努めた。

また、学習指導要領の趣旨を踏まえて、児童生徒の人間として調和のとれた育成を目指し、地域や学校の実態と特色を生かした、柔軟で適切な教育課程を編成するために、9年間の義務教育を効果的なものにしていく一つの方策として、小中連携・一貫教育に関する取組への支援を進める状況を整備した。

具体的には、次のとおりである。

- 1 児童生徒に生きる力をはぐくむことを目指し、創意工夫を生かした特色ある教育活動を展開することができたこと
- 2 基礎的・基本的な内容の確実な定着を図り、個性を生かす教育の充実に努めることができたこと
- 3 教育課程を計画的・組織的に評価し、教育課程の見直しと改善を図ることができたこと

### 第2 学習面における基礎・基本の定着

基礎的・基本的な知識や技能、さらには、習得した知識や技能を活用し、自らの人生を切り拓いていくために必要な能力である思考力、判断力、表現力を身に付けさせるよう努めた。

このため、きめ細かな指導を通じて、児童生徒に自信と意欲をもたせるとともに、家庭と連携して学習習慣の確立を図った。

また、少人数教育による児童生徒の実態や状況に応じた柔軟な指導を推進するよう努めた。

#### 1 児童生徒一人一人の学習面における基礎・基本の確実な定着

##### (1) 学習面における基礎・基本の確実な定着

各種調査により明らかになった課題を解決するための取組の推進

- ・ 授業力の向上・分析力の向上（学習定着度状況調査分析システムの活用）
- ・ 分析結果を活用した授業改善の推進（授業力向上ブラッシュアッププラン）
- ・ 基礎力の定着状況の把握（基礎力確認調査）

##### (2) 社会の状況や学校の実態を踏まえ、市町村教育委員会や関係機関などと連携した、少人数教育の推進



## 2 学力・授業力向上の取組

### (1) 学校訪問の趣旨

学習定着度状況調査の分析及び学力向上のための学校訪問指導の結果等から、数学・英語の学力向上について取り組むべき課題が明らかになっている。この対策に早急に取り組むため、学校教育室に「学力・授業力向上担当」を配置し、算数・数学、英語に携わる教員に対して授業力の向上につながる支援を行うとともに、教員一人ひとりが更なる授業改善に取り組み、授業力の向上を図ることによって、各教科の課題解決を目指すものである。

この取組は、平成21年度から23年度までの3年間で集中的に実施している。

### (2) 取組内容

|  |
|--|
| 授 業 力 向 上 セ ミ ナ ー  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>● 県内各地区の優れた授業実践（数学・英語）や、岩手の教育課題の解決に基づいた授業を紹介するほか、児童、生徒の学力向上に向けた授業力向上のための講義や演習の実施</li> <li>⇒モデル授業＋付箋紙ワークショップ＋講義による半日の研修会が基本</li> <li>⇒平成22年度は、数学、英語とも各教育事務所管内中学校2、高等学校1校で実施</li> <li>⇒小・中・高の教員が同一の授業を見て気付き合うことや情報交換できるような場を提供</li> </ul>   |
| 個 別 訪 問  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>●【目的】諸調査から見える県全体の課題解決と、各校の課題に応じた授業改善に向けた個別支援</li> <li>●【訪問対象校】 <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒フォローアップ対象者の所属する学校（※1）</li> <li>⇒県教委が指定する学校（※2）</li> <li>⇒訪問を希望する学校（※3）</li> </ul> </li> <li>●【訪問内容】 <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒授業参観（1単位時間）の後、指導助言及び授業者と個別相談、教科部会についての協議</li> <li>⇒校長・副校長との生徒の学力向上に向けた情報交換</li> <li>⇒上記のほか、各校の実情や要望を考慮し、指導主事による模擬授業や録画した授業ビデオを使用した研修なども実施（※4）</li> </ul> </li> </ul> |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>※1 前年度初任研、5年研を受講した教員の所属する学校</li> <li>※2 中学校数学は全国学調の「数学の授業の内容がわかる」割合、中学校英語は英語チャレンジテスト（中3）及び県学調（中2）の「英語の学習が好き」の割合に基づいて指定する<br/>高等学校の数学と英語は若手教員を中心に随時指定する</li> <li>※3 個人、学校、地教委として希望することも可能</li> <li>※4 日程調整が必要なため、予め連絡が必要</li> </ul>  |

(3) 授業力向上セミナー・個別訪問実績

表-1 平成22年度 授業力向上セミナー・個別訪問 実績

|    | 授業力向上セミナー |               |            |            |        |      |     | 個別訪問          |            |            |
|----|-----------|---------------|------------|------------|--------|------|-----|---------------|------------|------------|
|    | 校種        | 年間実施計画<br>(校) | 実施校<br>(校) | 授業者<br>(人) | 参加者(人) |      |     | 年間実施計画<br>(校) | 実施校<br>(校) | 授業者<br>(人) |
|    |           |               |            |            | 小中学校   | 県立学校 | 合計  |               |            |            |
| 数学 | 中学校       | 11            | 11         | 12         | 231    | 36   | 267 | 132           | 148        | 170        |
|    | 高等学校      | 7             | 7          | 7          | 27     | 120  | 147 | 27            | 36         | 41         |
|    | 小学校       |               |            |            |        |      |     |               |            |            |
|    | 特別支援学校    |               |            |            |        |      |     |               |            |            |
|    | 計         | 18            | 18         | 19         | 258    | 156  | 414 | 159           | 184        | 211        |
| 英語 | 中学校       | 11            | 11         | 13         | 264    | 33   | 297 | 70            | 81         | 97         |
|    | 高等学校      | 6             | 6          | 6          | 51     | 127  | 178 | 40            | 54         | 104        |
|    | 計         | 17            | 17         | 19         | 315    | 160  | 475 | 110           | 135        | 201        |

第3 学力を伸ばし、生きる力をはぐくむ教育の推進

すべての教科等を通じて児童生徒の言語活動を充実させ、論理的な思考や表現する力、人間関係を豊かにする力などをはぐくむよう努めた。

また、児童生徒が自ら将来を考え、希望する進路を実現するために、それぞれの学校において学力向上に取り組むとともに、自立した社会人となるための意識の醸成や、学習に主体的に取り組むための動機付けなどを積極的に推進した。

1 進路指導の充実

進路指導は生徒の「人間としての在り方生き方」についての指導、援助であるとともに、個々の生徒の職業的発達を促進し、主体的な進路の選択能力を育て、自己実現に最善の努力ができる人間の育成を図ることにある。このため、次のような点に留意して実施した。

- ① 校内進路指導体制の確立
- ② 年間指導計画の整備
- ③ 生徒理解の強化と生徒の自己理解の深化
- ④ 個人資料及び進路情報資料の収集と整備
- ⑤ 進路指導研修の充実と中・高連携の強化
- ⑥ 中高の望ましい接続のあり方についての研修



## 2 魅力ある学校づくりの推進

各学校が自らの裁量で創意工夫を凝らした様々な活動を通じて、学校の活性化と個性化を推進する事業であり、大学講習など進学指導に関する事業を実施した。

### 【いわて進学支援ネットワーク事業（28校）】

生徒一人ひとりの進路希望の実現とともに、医師、弁護士、高度先端技術分野の研究者や技術者等の、将来の本県を支える人材を育成するために、生徒の医学部等のいわゆる難関大学・学部等への進学希望も実現できるよう、学校の取組を支援した。

## 3 中学生用公立高等学校案内「岩手の高校」Webページの公開

- ① 設置学科等
- ② 本校のめざす生徒像
- ③ 入学者選抜方法について
- ④ 特色ある教育活動
- ⑤ 学校長から一言

## 第3節 豊かな人間性や社会性をはぐくむ教育の推進

### 第1 道徳教育、体験活動・読書活動等の推進

人間としての在り方、生き方について考える力の育成と心の教育の充実を図り、他人を思いやり、良好な人間関係を築くことのできる力、自然や命あるものを大切に作る心など、児童生徒の内面に根ざした道徳性の育成を図った。

また、ボランティア活動など様々な体験活動や多様な読書活動に取り組み、物事に主体的にかかわり素直に感動できる豊かな情操を育てるよう努めた。

#### 1 道徳教育の推進

学校の教育活動全体を通じた道徳教育を推進し、児童生徒の豊かな心の育成を図った。

教員の指導力向上のため、道徳教育の中核となる指導者養成研修に教員等を派遣し、指導力の向上を図るとともに、道徳教育推進協議会を開催し、学校・家庭・地域社会の道徳教育への理解の推進を図った。

また、道徳の時間の充実に資するため、岩手県版の小学校用道徳資料集を作成・配付した。

##### (1) 研修事業

- ア 平成22年度道徳教育指導者養成研修（中央指導者研修）（独立行政法人教員研修センター：茨城県つくば市）  
平成22年6月7日～11日（5日間）指導主事、研修指導主事
- イ 平成22年度道徳教育指導者養成研修（ブロック別指導者研修）（盛岡市）  
平成22年8月9日～11日（3日間）研修指導主事、副校長、教諭  
（高等学校、特別支援学校を含む）

##### (2) 研究推進事業

ア 道徳教育実践研究事業（文部科学省委嘱事業）

###### ○ 岩手県道徳教育推進協議会

学校教育関係者、学識経験者、保護者、企業関係者、社会福祉関係者、行政関係者18人で構成し、道徳教育の充実のために協議し、提言をまとめた。

| 会 場   | 実施期日       | 人数  |
|-------|------------|-----|
| 県 庁 舎 | 平成22年6月7日  | 18人 |
| 県 庁 舎 | 平成22年12月6日 | 16人 |

###### ○ 各指定校における実践研究の推進（文部科学省委嘱事業）

研究指定校（H21・22） 盛岡市立河北小学校、西和賀町立湯田中学校  
奥州市立姉体小学校、奥州市立東水沢中学校

###### イ 児童生徒の心を耕す教育推進事業

中央指導者研修、ブロック別指導者研修への派遣研修者を活用し、授業研究会、理論研究会、教材研究の場等への講師を派遣することにより、道徳教育の質の向上を図った。

##### (3) 道徳副読本作成事業

岩手県出身の先人の生き方を教材とした資料を6編掲載した小学校高学年向けの資料集を作成し、県内の小学校及び教育関係機関に配布した。

## 2 体験活動・読書活動の推進

学習指導要領の趣旨を踏まえて、児童生徒の人間として調和のとれた育成を目指し、地域や学校の実態と特色を生かした豊かな体験活動や読書活動を推進した。

### (1) 体験活動の状況

豊かな体験活動推進事業を中心とした効果的な体験活動の教育活動への位置付けと多様な推進方策についての情報提供を図るとともに、各学校においては、地域や学校の特色を生かした体験活動への取組を進めた。

文部科学省指定（文部科学省委嘱事業）

| 指 定 領 域                 | 教育事務所 | 学 校 名 |
|-------------------------|-------|-------|
| 豊かな体験活動推進事業<br>[平成22年度] | 宮 古   | 田野畑小  |

### (2) ボランティア教育・環境教育の状況

福祉活動や環境保護などボランティア教育に対する理解と関心を高め、社会貢献の精神を育てるとともに、児童生徒の豊かな人間性を育み、自らの生き方を主体的に考える態度の育成を図る教育を推進した。

#### ア ボランティア教育

ほぼ全ての小・中学校でボランティア活動が実施されており、特に、地域における清掃活動や募金活動を実施する学校が増えてきた。老人施設・福祉施設・特別支援学校等での交流活動や介護体験、キャップハンディー体験等を、総合的な学習の時間をはじめ、各教科、道徳、特別活動に積極的に取り入れ、体験的な学習としてボランティア活動に取り組むことが広まっている。

- ・社会福祉協議会等関係機関との連携による、ボランティア教育の推進
- ・県社会福祉協議会指定により市町村社会福祉協議会で実施する「地域で育む福祉教育推進モデル事業」における、学校と関係諸団体の協働による地域型福祉教育の推進

※ 指定地域4か所（平成20年度～）：北上市、奥州市、大船渡市、宮古市

#### イ 環境教育

かつてない広がりや複雑さをもって環境問題が顕在化している現状を踏まえ、将来を生きる児童生徒が、この問題に関する正しい理解を深め、環境保全に参加する態度及び問題解決能力などを身に付け、責任をもって環境を守るための行動ができるよう指導を行った。

### (3) 読書活動の状況

読書活動については、学校図書館担当者研修を実施し、児童生徒の読書活動を支援し、より豊かなものとしていくための環境整備に努めた。

- ・盛岡、県南、宮古教育事務所管内において学校図書館担当者の研修を実施
- ・平成16年3月に策定された、子どもたちが主体的に読書活動に取り組むことのできる環境作りを進めるための「いわて子ども読書プラン」に基づく読書活動を推進

### 第3章 教育施策の推進状況

#### 第3節 豊かな人間性や社会性をはぐくむ教育の推進

##### 第1 道徳教育、体験活動・読書活動等の推進 第2 生活面における基礎・基本の充実

### 3 幼児教育の推進

幼稚園教育要領に基づく教育の充実のために、幼稚園教育課程説明会を開催するとともに、中央協議会への参加を支援し、幼稚園教育要領の理解を推進した。

また、教員の資質の向上を図るため、幼稚園等新規採用教員研修、教職経験者10年研修、各種協議会の内容を充実させるとともに、「岩手の幼稚園教育」を発刊した。

#### (1) 幼稚園等新規採用教員研修（主催：岩手県教育委員会） [単位：人]

| 区分      | 会場       | 実施期日               | 参加人数 |    |    |
|---------|----------|--------------------|------|----|----|
|         |          |                    | 公立   | 私立 | 合計 |
| センター研修Ⅰ | 総合教育センター | 平成22年6月2日～6月3日     | 7    | 13 | 20 |
| センター研修Ⅱ | 総合教育センター | 平成22年8月4日～8月6日     | 7    | 18 | 25 |
| センター研修Ⅲ | 総合教育センター | 平成22年10月19日～10月21日 | 7    | 10 | 17 |

#### (2) 幼稚園教職経験者10年研修（主催：岩手県教育委員会） [単位：人]

| 会場       | 実施期日             | 参加人数 |    |    |
|----------|------------------|------|----|----|
|          |                  | 公立   | 私立 | 合計 |
| 総合教育センター | 平成23年1月17日～1月19日 | 6    | 5  | 11 |

#### (3) 幼稚園教育研究協議会（主催：岩手県教育委員会） [単位：人]

| 会場         | 実施期日       | 参加人数 |    |     |     |     |
|------------|------------|------|----|-----|-----|-----|
|            |            | 国公立  | 私立 | 保育所 | その他 | 合計  |
| 生涯学習推進センター | 平成22年8月17日 | 74   | 63 | 22  | 5   | 164 |

### 第2 生活面における基礎・基本の充実

家庭や地域社会における教育力を生かし、学校、家庭、地域と連携・協働した教育を充実させ、児童生徒に基本的な生活習慣を身に付けさせる取組を推進した。

#### ○ 生活面における基礎・基本の充実

学習定着度状況調査等における児童生徒質問紙調査の生活習慣や家庭での生活に関する内容の結果を分析・検証し、各学校に情報提供するとともに、県PTA連合会との連携を図り、家庭や地域との一体となった取組に努めた。

### 第3章 教育施策の推進状況

#### 第3節 豊かな人間性や社会性をはぐくむ教育の推進

##### 第3 問題行動等の未然防止、早期発見・早期対応のための適応指導の充実

### 第3 問題行動等の未然防止、早期発見・早期対応のための適応指導の充実

家庭教育、体験や経験を通して身につける社会生活を営むためのルールや規範意識、コミュニケーション能力の低下により、暴力行為、いじめなどの問題行動や不登校、中途退学などの学校不適應の問題が大きな教育問題となっている。

平成22年度児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題の調査（文部科学省）によると、暴力行為の発生件数は130件で前年度から16件減少した。一方、いじめの認知件数は478件であり、前年度に比べ40件増加した。不登校児童生徒の状況については、小学校138人、中学校789人、高等学校475人であり、中学校・高等学校では不登校の比率が減少し、小学校では横ばいの傾向を示している。また、中途退学者は、平成19年度から減少傾向にあり、平成22年度は362人と前年度から24人減少した。

本県の児童生徒は、全国と比較すると概ね落ち着いた状況にあるが、これらの問題の解決のためには、学級経営、学級集団づくりを充実させ、一人ひとりの児童生徒にしっかりと向き合い自己実現を支援することが必要である。また、不適應傾向をもつ児童生徒に対しては学校全体で情報を共有し、チームによる指導、援助を行っていくとともに、関係機関との日常的な連携の強化、就学後の福祉サイドからのサポートなどの親への支援、家庭を孤立させない地域コミュニティの確立を通して、学校不適應を解消する組織的、広域的な取組が必要である。

#### 1 高等学校生徒指導連絡協議会（主催：岩手県教育委員会）

【期 日】平成22年5月10日～5月19日

【会 場】地区別8会場

【参加者】校長、教員、在学青少年指導員 142人

#### 2 児童生徒の表彰

県内各学校の児童生徒を対象に、他の模範となる行為や活動を表彰することにより、児童生徒の社会的行動や道徳的態度、実践力の向上など学校教育の一層の充実に資するため、昭和60年度から児童生徒の表彰を実施している。

平成22年度の表彰は次のとおりであり、計34個人・団体を表彰している。内訳は、善行表彰が4、奨励表彰が29、努力表彰が1であり、小学校が4（個人4）、中学校が7（個人5、団体2）、高校が23人（個人14、団体9）である。

#### 平成22年度第1回児童生徒表彰（はばたき賞） 受賞者一覧

| 番号 | 項目           | 区分         | 所属・表彰受賞者                 | 内容   |
|----|--------------|------------|--------------------------|--|
| 1  | 善行<br>(人命救助) | 高等学校<br>団体 | 黒沢尻工業高等学校<br>ボート部        | 平成22年4月5日、橋から転落し流されている女性を発見し、連携して救助した。北上警察署長及び北上地区消防組合から感謝状を授与された。 |
| 2  | 善行<br>(奉仕活動) | 中学校<br>団体  | 陸前高田市立気仙中学校<br>生徒会 福祉委員会 | 平成元年から継続して道路の美化活動に努め平成21年度国土交通大臣から感謝状を授与された。                       |
| 3  | 奨励<br>(文化活動) | 中学校<br>個人  | 盛岡市立厨川中学校<br>1年 金子 礼乃    | 第59回社会を明るくする運動作文コンテストにおいて中央推進委員会委員長賞を受賞した。                         |



### 第3章 教育施策の推進状況

#### 第3節 豊かな人間性や社会性をはぐくむ教育の推進

##### 第3 問題行動等の未然防止、早期発見・早期対応のための適応指導の充実

|    |              |            |                       |  |
|----|--------------|------------|-----------------------|--|
| 4  | 奨励<br>(文化活動) | 中学校<br>個人  | 滝沢村立滝沢中学校<br>3年 下田 有希 | 第59回社会を明るくする運動作文コンテストにおいて中央推進委員会委員長賞を受賞した。               |
| 5  | 奨励<br>(文化活動) | 高等学校<br>個人 | 盛岡第一高等学校<br>1年 小山田 友希 | 第34回全国高等学校総合文化祭将棋部門、第46回全国高等学校将棋選手権大会女子個人戦で優勝した。         |
| 6  | 奨励<br>(文化活動) | 高等学校<br>個人 | 岩手高等学校<br>3年 中川 慧梧    | 第34回全国高等学校総合文化祭将棋部門、第46回全国高等学校将棋選手権大会男子個人戦で優勝した。         |
| 7  | 奨励<br>(文化活動) | 高等学校<br>団体 | 岩手高等学校<br>囲碁将棋部       | 第34回全国高等学校総合文化祭将棋部門、第46回全国高等学校将棋選手権大会男子団体戦で準優勝した。        |
| 8  | 奨励<br>(文化活動) | 高等学校<br>団体 | 北上翔南高等学校<br>鬼剣舞部      | 第34回全国高等学校総合文化祭郷土芸能部門において、優秀賞・文化庁長官賞を受賞した。               |
| 9  | 奨励<br>(スポーツ) | 高等学校<br>個人 | 岩谷堂高等学校<br>3年 後藤 清隆   | 第25回全国高等学校ウェイトリフティング競技選抜大会男子94kg級において第2位に入賞した。           |
| 10 | 奨励<br>(スポーツ) | 高等学校<br>個人 | 釜石高等学校<br>2年 松村 将壽    | 平成22年度全国高等学校総合体育大会陸上競技男子三段跳びにおいて第2位に入賞した。                |
| 11 | 奨励<br>(スポーツ) | 高等学校<br>団体 | 宮古高等学校<br>女子ヨット部      | 平成22年度全国高等学校総合体育大会ヨット競技、女子FJ級ソロ競技及びビデュエット競技において第2位に入賞した。 |
| 12 | 奨励<br>(スポーツ) | 高等学校<br>団体 | 盛岡市高等学校<br>新体操部       | 平成22年度全国高等学校総合体育大会男子新体操競技において第2位に入賞した。                   |

#### 平成22年度第2回児童生徒表彰（はばたき賞） 受賞者一覧

| 番号 | 項目           | 区分         | 所属・表彰受賞者                         | 内容  |
|----|--------------|------------|----------------------------------|---|
| 13 | 善行<br>(人命救助) | 高等学校<br>団体 | 千厩高等学校<br>1年 千葉 千博<br>1年 千田 基晋   | 水路に転落し左足を骨折した男性を発見、消防署へ通報し、署員が駆けつけるまで、声をかけて励ますなど、救助に協力した。千厩警察署長から感謝状を受けた。           |
| 14 | 善行<br>(人命救助) | 高等学校<br>団体 | 一関修紅高等学校<br>3年 阿部 愛美<br>3年 菊地 晴美 | 一関市三関地内の河原で川に入ろうとする男性を発見、連携して早期通報を行い、迅速な救助活動及び応急措置を行った。一関警察署長及び一関市消防本部消防長から感謝状を受けた。 |
| 15 | 奨励<br>(文化活動) | 小学校<br>個人  | 盛岡市立上田小学校<br>4年 佐々木 久歌           | 全日本交通安全協会・毎日新聞社主催「平成23年度使用交通安全年間スローガン」こども部門において、内閣総理大臣賞を受賞した。                       |
| 16 | 奨励<br>(文化活動) | 中学校<br>個人  | 岩手大学教育学部<br>附属中学校<br>2年 三船 恭太郎   | 読売新聞社主催第60回全国小・中学校作文コンクール中学校の部において、文部科学大臣賞を受賞した。                                    |
| 17 | 奨励<br>(文化活動) | 中学校<br>個人  | 岩手大学教育学部<br>附属中学校<br>3年 鈴木 陽子    | 全国納税貯蓄組合連合会主催平成22年度中学生の「税についての作文」において、文部科学大臣奨励賞を受賞した。                               |
| 18 | 奨励<br>(文化活動) | 高等学校<br>個人 | 盛岡第四高等学校<br>3年 高橋 奈々             | 第15回全日本高校・大学生書道展漢字部において、書道展大賞を受賞した。   |
| 19 | 奨励<br>(文化活動) | 高等学校<br>個人 | 盛岡市立高等学校<br>3年 高田 彩              | 第15回全日本高校・大学生書道展漢字部において、書道展大賞を受賞した。   |
| 20 | 奨励<br>(文化活動) | 高等学校<br>個人 | 杜陵高等学校<br>4年 松田 文音               | 平成22年度第58回全国高等学校定時制通信制生徒生活体験発表大会において、厚生労働大臣賞を受賞した。                                  |
| 21 | 奨励<br>(文化活動) | 支援学校<br>個人 | 盛岡峰南高等支援学校<br>3年 中野渡 優           | 独立行政法人高齢・障害者雇用支援機構 神奈川県主催第32回全国障害者技能競技大会の木工職種において、金賞及び厚生労働大臣賞を受賞した。                 |
| 22 | 奨励<br>(文化活動) | 高等学校<br>団体 | 盛岡第四高等学校<br>文芸部                  | 第25回全国高等学校文芸コンクール文芸部誌の部において、最優秀賞、文部科学大臣賞を受賞した。                                      |

### 第3章 教育施策の推進状況

#### 第3節 豊かな人間性や社会性をはぐくむ教育の推進

##### 第3 問題行動等の未然防止、早期発見・早期対応のための適応指導の充実

|    |              |            |                                |  |
|----|--------------|------------|--------------------------------|--|
| 23 | 奨励<br>(文化活動) | 高等学校<br>団体 | 盛岡農業高等学校<br>食品科学科<br>14代目パン研究班 | 第61回日本学校農業クラブ全国大会のプロジェクト発表会(区分食料・生産)において、最優秀賞及び農林水産大臣賞を受賞した。   |
| 24 | 奨励<br>(スポーツ) | 小学校<br>個人  | 久慈市立久慈小学校<br>5年 松前 哲           | 第26回全国小学生陸上競技交流大会男子5年100メートルにおいて、優勝した。                         |
| 25 | 奨励<br>(スポーツ) | 小学校<br>個人  | 滝沢村立滝沢第二小校<br>6年 立花 恵梨奈        | 第26回全国小学生陸上競技交流大会女子走高跳において、優勝した。                               |
| 26 | 奨励<br>(スポーツ) | 小学校<br>個人  | 奥州市立水沢小学校<br>6年 大内 豪樹          | 第26回全国小学生陸上競技交流大会男子走高跳において、第2位に入賞した。                           |
| 27 | 奨励<br>(スポーツ) | 中学校<br>団体  | 岩手町立川口中学校<br>女子ホッケー部           | 第40回全日本中学生ホッケー選手権大会において、準優勝した。                                 |
| 28 | 奨励<br>(スポーツ) | 高等学校<br>個人 | 水沢第一高等学校<br>3年 佐々木 健介          | 第65回国民体育大会ボクシング競技少年フライ級において、第2位に入賞した。                          |
| 29 | 奨励<br>(スポーツ) | 支援学校<br>個人 | 盛岡視覚支援学校<br>中学部2年<br>日野沢 瑛     | 第10回全国障害者スポーツ大会陸上競技男子200mにおいて、優勝した。                            |
| 30 | 奨励<br>(スポーツ) | 支援学校<br>個人 | 花巻清風支援学校<br>高等部1年<br>佐藤 稔典     | 第10回全国障害者スポーツ大会フライングディスク競技男子ディスタンスにおいて、優勝した。                   |
| 31 | 奨励<br>(スポーツ) | 支援学校<br>個人 | 盛岡聴覚支援学校<br>高等部2年<br>佐々木 琢磨    | 第10回全国障害者スポーツ大会陸上競技男子200mにおいて、優勝した。同大会陸上競技男子100mにおいて、第2位に入賞した。 |
| 32 | 奨励<br>(スポーツ) | 支援学校<br>個人 | 盛岡聴覚支援学校<br>高等部3年<br>小袖 雄基     | 第10回全国障害者スポーツ大会陸上競技男子ジャベリックスローにおいて、優勝した。                       |
| 33 | 奨励<br>(スポーツ) | 支援学校<br>個人 | 盛岡聴覚支援学校<br>高等部3年<br>穂積 憲吾     | 第10回全国障害者スポーツ大会陸上競技男子砲丸投げにおいて、優勝した。                            |
| 34 | 努力<br>(文化活動) | 支援学校<br>個人 | 盛岡視覚支援学校<br>中学部1年<br>浦波 夏純     | 第25回障害者による書道・写真全国コンテスト書道部門において、金賞を受賞し、生徒の模範となり、周囲に感動を与えた。      |

第3章 教育施策の推進状況

第3節 豊かな人間性や社会性をはぐくむ教育の推進

第3 問題行動等の未然防止、早期発見・早期対応のための適応指導の充実

3 教育相談

平成22年度の相談受理件数は310件、延べ相談件数は1,279件であった。うち、電話相談が955件、面接による相談が324件（来所相談261件、訪問相談63件）である。

相談受理件数を内容別に見ると、小・中・高いずれの校種も「性格・行動に関すること」が最も多く、全体で204件と65.8%を占めた。次いで、「家庭教育一般に関すること」が42件（13.5%）となっている。主訴別の相談件数では「集団不適応」が67件と多く、「集団になじめない」「教室に入れない」子どもたちの姿が浮かび上がってくる。

不登校の校種別の相談件数は、中学校が21件（44.7%）で最も多くなっている。さらに学年別に見ると中学校では3年生が最も多く、小学校は5年生の相談が多かった。また、不登校の性別の相談件数は、各校種とも男子、女子ほぼ同数であるが、高校では男子が多い。

平成22年度の「いじめ相談電話・メール」での相談受理件数は、電話は71件、メールは18件である。いじめの被害を訴える相談件数は、電話相談では51件（72%）、メール相談では6件（33%）である。

(1) 内容別・校種別相談件数

[単位：件、( )内は%]

| 内容           | 校種 | 就学前     | 小学校       | 中学校        | 高等学校      | その他      | 計(割合)       |
|--------------|----|---------|-----------|------------|-----------|----------|-------------|
| 知能・学業に関すること  |    | 0       | 2         | 5          | 5         | 0        | 12 (3.9)    |
| 性格・行動に関すること  |    | 1       | 47        | 87         | 67        | 2        | 204 (65.8)  |
| 性に関すること      |    | 0       | 0         | 0          | 0         | 0        | 0 (0.0)     |
| 進路・適性に関すること  |    | 0       | 2         | 6          | 6         | 5        | 19 (6.1)    |
| 精神衛生に関すること   |    | 0       | 1         | 2          | 4         | 2        | 9 (2.9)     |
| 家庭教育一般に関すること |    | 2       | 17        | 11         | 7         | 5        | 42 (13.5)   |
| その他          |    | 1       | 4         | 6          | 3         | 10       | 24 (7.8)    |
| 計(割合)        |    | 4 (1.3) | 73 (23.5) | 117 (37.7) | 92 (29.7) | 24 (7.8) | 310 (100.0) |

(2) 主訴別相談件数

[単位：件、( )内は%]

| 主訴      | 件数(割合)      |
|---------|-------------|
| 不登校     | 47 (15.2)   |
| 集団不適応   | 67 (21.6)   |
| 情緒障がい   | 3 (1.0)     |
| 進路相談    | 19 (6.1)    |
| 神経症・同疑い | 6 (2.0)     |
| いじめ     | 18 (5.8)    |
| 家庭教育    | 42 (13.5)   |
| 生活指導    | 33 (10.6)   |
| 対人関係    | 23 (7.4)    |
| 交友関係    | 16 (5.2)    |
| 家庭内暴力   | 0 (0.0)     |
| その他     | 36 (11.6)   |
| 計       | 310 (100.0) |

(3) 校種別・性別不登校相談件数

[単位：件]

| 校種  | 性別 |    | 計  |
|-----|----|----|----|
|     | 男  | 女  |    |
| 就学前 | 0  | 0  | 0  |
| 小学校 | 3  | 3  | 6  |
| 中学校 | 8  | 13 | 21 |
| 高校  | 15 | 5  | 20 |
| その他 | 0  | 0  | 0  |
| 計   | 26 | 21 | 47 |

(4) 学年別不登校相談件数

[単位：件]

| 学年  | 件数 |    |
|-----|----|----|
| 小1  | 1  | 6  |
| 小2  | 1  |    |
| 小3  | 0  |    |
| 小4  | 0  |    |
| 小5  | 3  |    |
| 小6  | 1  |    |
| 中1  | 6  | 21 |
| 中2  | 3  |    |
| 中3  | 12 |    |
| 高1  | 14 | 20 |
| 高2  | 4  |    |
| 高3  | 2  |    |
| その他 | 0  | 0  |
| 計   | 47 | 47 |



## 第4節 健やかな体をはぐくむ教育の推進

### 第1 体力向上や運動に親しむ態度の育成

体力・運動能力調査を適切に実施し、各学校の現状と課題を的確に捉えた支援や運動部活動の活性化を図るために、地域スポーツ人材の活用や指導主事の学校訪問指導等に取り組むとともに、児童生徒の体力・運動能力の向上に努めた。また、家庭や地域との連携により、運動に親しむ態度を育成し、運動の習慣化を図られるように努めた。

#### 1 岩手っ子体力アップ運動

##### (1) 健やかな体の育成に関する「まなびフェスト」目標設定校及び実施割合

[単位：校、%]

|     | 対象校数 | 実施校数 | 実施割合 |
|-----|------|------|------|
| 小学校 | 390  | 388  | 99.5 |
| 中学校 | 187  | 165  | 88.2 |
| 合計  | 577  | 553  | 95.8 |

##### (2) 指導主事兼保健体育主事等の学校訪問指導

実施回数……小学校274回、中学校185回、合計459回

##### (3) 地域スポーツ人材を活用した運動部活動等推進事業

###### ア 公立小学校体育実技アシスタント派遣事業

(ア) 派遣期間……平成22年6月～平成23年2月（県内全域）

(イ) 登録者数……65人

(ウ) 派遣校数……61校

###### イ 中学校・高等学校運動部活動地域スポーツ人材派遣事業

(ア) 派遣期間……平成22年6月～平成23年2月（県内全域）

(イ) 登録者数……66人

(ウ) 派遣校数……67校

###### ウ 中学校武道・ダンス地域スポーツ人材派遣事業

(ア) 派遣期間……平成22年9月～12月（県内全域）

(イ) 登録者数……10人

(ウ) 派遣校数……13校

##### (4) 小学校体育ステップアップ講習会

ア 期 日……平成22年6月～平成23年1月

イ 会 場……雫石町、盛岡市、久慈市、陸前高田市

ウ 参加者……小学校教員71人

## 第2 健康教育の充実

生涯を通じて健康・安全で活力ある生活を送るための基礎を培うため、学校保健・学校安全活動や食育などを充実させるとともに、家庭や地域と連携し望ましい生活習慣の確立に努めた。

## 1 学校保健

## (1) 保健教育の充実及び保健管理の徹底

## ア 学校保健計画の立案、実施の徹底

学校保健においては、保健教育と保健管理の活動を適切に行うことによって、児童生徒及び教職員の健康の保持増進を図り、学校教育目標の達成に寄与することとし、児童生徒自らの意思決定により健康な生活が実践できるよう健康教育を推進した。

また、学校保健を組織的に推進するために、教職員の協力体制を確立し、家庭や地域の関係機関との連携を図った。

## イ 関係機関団体等との連携及び学校保健組織活動の充実

## (ア) 学校内の組織の設置促進と活動の充実

- ・学校保健委員会の活動
- ・児童生徒保健委員会の活動促進

## (イ) 関係機関団体との連携

- ・岩手県医師会学校医部会
- ・岩手県歯科医師会全学校歯科医会
- ・岩手県薬剤師会全学校薬剤師会
- ・岩手県学校保健会
- ・岩手県学校保健会養護教諭部会
- ・岩手県学校保健会高等学校部会
- ・岩手県高等学校教育研究会学校保健部会

## (2) 岩手県学校保健功労者表彰

|    |         |       |                |
|----|---------|-------|----------------|
| 1  | 森田 友明   | 学校医   | 岩手県医師会         |
| 2  | 狩野 裕史   | 学校歯科医 | 岩手県歯科医師会       |
| 3  | 坂井 博毅   | 学校医   | 岩手町学校保健会       |
| 4  | 足澤 輝夫   | 学校医   | 紫波町学校保健会       |
| 5  | 八森 新二   | 学校医   | 花巻市学校保健会       |
| 6  | 及川 優    | 学校医   | 北上市学校保健会       |
| 7  | 三浦 滋    | 学校歯科医 | 奥州市学校保健会       |
| 8  | 飯澤 圭子   | 学校歯科医 | 一関市学校保健会       |
| 9  | 吉田 正紀   | 学校薬剤師 | 陸前高田市学校保健会     |
| 10 | 遠筈 秀則   | 学校歯科医 | 釜石市学校保健会       |
| 11 | 柴野 良博   | 学校医   | 岩泉町学校保健会       |
| 12 | 大橋 由香   | 学校医   | 久慈市学校保健会       |
| 13 | 東山 敬貴   | 学校歯科医 | 一戸町学校保健会       |
| 14 | 藤原 洋子   | 学校医   | 岩手県学校保健会高等学校部会 |
| 15 | 小笠原 智恵子 | 養護教諭  | 岩手県学校保健会養護教諭部会 |

### 第3章 教育施策の推進状況

#### 第4節 健やかな体をはぐくむ教育の推進

##### 第2 健康教育の充実

### (3) 健康教育指定校の実践 (H21~H22)

花巻市立若葉小学校 (歯・口の健康づくり推進事業 [日本学校歯科医会])

## 2 学校安全

学校管理下における児童生徒の災害は、毎年約1万件も発生し、これらの学校災害の防止と後を絶たない交通事故の防止に加え、学校への不審者侵入や通学路での連れ去り、声かけといった犯罪に対する安全確保を図るため、安全指導、安全管理の推進、充実が重要な課題となっている。

独立行政法人日本スポーツ振興センター仙台支所が調査した平成22年度の学校管理下における児童生徒の災害発生件数は右表のとおりとなっており、以下の事業を通して児童生徒の事故、災害の防止を図り、学校における安全教育の充実に取り組んだ。

【災害発生件数】 [単位：件、%]

| 区分      | 発生件数  | 発生率  |
|---------|-------|------|
| 幼稚園・保育所 | 444   | 1.19 |
| 小学校     | 3,001 | 4.18 |
| 中学校     | 3,750 | 9.88 |
| 高等学校    | 2,556 | 6.25 |
| 高等専門学校  | 21    | 2.46 |
| 計       | 9,772 | 5.18 |

### (1) 学校安全関係職員研修

[単位：人]

| 研修の名称        | 期日              | 場所      | 参加者数[内訳]                  |
|--------------|-----------------|---------|---------------------------|
| 学校安全指導者養成研修  | 平成22年6月16日~18日  | 茨城県つくば市 | 4 [小2、高1、指導主事1]           |
| 交通安全教育指導者講習会 | 平成22年9月17日      | 盛岡市     | 87 [小1、高80、特4、県外高2]       |
| 防犯教室講習会      | 平成22年7月13日      | 盛岡市     | 58 [幼4、小20、中3、高11、特6、他14] |
| 防災教育研修会      | 平成22年6月28日、7月1日 | 釜石市、久慈市 | 56 [小33、中16、高6、特1]        |

### (2) 学校安全優良校の表彰

一関市立日形小学校  
西和賀町立川尻小学校  
久慈市立大川目小学校  
金ケ崎町立三ヶ尻幼稚園

### (3) 学校災害防止研究協力校 (独立行政法人日本スポーツ振興センター)

矢巾町立矢巾中学校  
岩手県立盛岡南高等学校

## 3 食育・学校給食

小中学校においては、食育担当者を中心とした食育推進のための校内体制ができたことにより、「食に関する指導の全体計画」及び「年間指導計画」の作成により、計画的な推進が図られた。また、小中学校の管理職、教諭を対象として開催していた食育推進研修会の対象を高等学校にも広げ、食育の推進を図った。

学校給食については、学校給食衛生管理の基準に基づいた衛生管理の徹底を図るとともに、学校給食施設に関してドライシステムの導入（ドライシステムを導入していない場合はドライ運用）及び学校給食施設の区分に従い汚染作業区域・非汚染作業区域に区分するよう整備促進に努めた。また、関係職員の資質向上を図るため、各種研修会、講習会を開催し、食に関する指導の充実、食事内容の充実及び安全、衛生管理の充実に努めた。

第3章 教育施策の推進状況

第4節 健やかな体をはぐくむ教育の推進

第2 健康教育の充実

(1) 学校給食の実施状況（平成22年5月1日現在） [単位：校、人、（ ）内は実施率で%]

| 区分        | 完全給食          |                  | その他の方式   |              | 補食給食        |                | ミルク給食        |                 | 計            |                 |
|-----------|---------------|------------------|----------|--------------|-------------|----------------|--------------|-----------------|--------------|-----------------|
|           | 学校数           | 児童生徒数            | 学校数      | 児童生徒数        | 学校数         | 児童生徒数          | 学校数          | 児童生徒数           | 学校数          | 児童生徒数           |
| 小学校       | 372<br>(95.2) | 68,781<br>(96.7) | —<br>(—) | —<br>(—)     | 11<br>(2.8) | 1,335<br>(1.9) | 8<br>(2.0)   | 973<br>(1.4)    | 391<br>(100) | 71,089<br>(100) |
| 中学校       | 155<br>(82.4) | 27,636<br>(74.3) | (3)      | 431<br>(1.1) | 5<br>(2.7)  | 812<br>(2.2)   | 28<br>(14.9) | 8,319<br>(22.4) | 188<br>(100) | 37,198<br>(100) |
| 夜間定時制高等学校 | 3<br>(100)    | 134<br>(100)     | —<br>(—) | —<br>(—)     | —<br>(—)    | —<br>(—)       | —<br>(—)     | —<br>(—)        | 3<br>(100)   | 134<br>(100)    |
| 特別支援学校    | 11<br>(78.6)  | 1,046<br>(84.6)  | —<br>(—) | —<br>(—)     | —<br>(—)    | —<br>(—)       | 3<br>(21.4)  | 191<br>(15.4)   | 14<br>(100)  | 1,237<br>(100)  |

注1：小学校及び中学校は市町村立学校、夜間定時制高等学校及び特別支援学校は県立学校分

注2：その他の方式は、選択制給食（ ）は、ミルク給食の内数

(2) 調理方法別の完全給食の実施状況（平成22年5月1日現在）[単位：校、人、（ ）内は実施率で%]

| 区分  | 単独調理方式       |                  | 共同調理方式<br>(69か所) |                  | その他の調理方式 |              | 計            |                 |
|-----|--------------|------------------|------------------|------------------|----------|--------------|--------------|-----------------|
|     | 学校数          | 児童生徒数            | 学校数              | 児童生徒数            | 学校数      | 児童生徒数        | 学校数          | 児童生徒数           |
| 小学校 | 67<br>(18.0) | 20,192<br>(29.4) | 305<br>(82.0)    | 48,589<br>(70.6) | —<br>(—) | —<br>(—)     | 372<br>(100) | 68,781<br>(100) |
| 中学校 | 6<br>(3.9)   | 1,192<br>(4.2)   | 149<br>(96.1)    | 26,444<br>(94.2) | (3)      | 431<br>(1.5) | 155<br>(100) | 28,067<br>(100) |

注1：小学校及び中学校は市町村立学校

注2：その他の方式は、選択制給食

(3) 米飯給食の実施状況（平成22年5月1日現在） [単位：校、人、（ ）内は実施率で%]

| 区分  | 自校（共同調理場）炊飯   |                  | 委託炊飯          |                  | 自校・委託併用     |                | 計            |                 |
|-----|---------------|------------------|---------------|------------------|-------------|----------------|--------------|-----------------|
|     | 学校数           | 児童生徒数            | 学校数           | 児童生徒数            | 学校数         | 児童生徒数          | 学校数          | 児童生徒数           |
| 小学校 | 156<br>(41.9) | 26,650<br>(38.7) | 205<br>(55.1) | 38,020<br>(55.3) | 11<br>(3.0) | 4,111<br>(6.0) | 372<br>(100) | 68,781<br>(100) |
| 中学校 | 56<br>(36.1)  | 9,435<br>(33.6)  | 99<br>(63.9)  | 18,632<br>(66.4) | —<br>(—)    | —<br>(—)       | 155<br>(100) | 28,067<br>(100) |

注：小学校及び中学校は市町村立学校

### 第3章 教育施策の推進状況

#### 第4節 健やかな体をはぐくむ教育の推進

##### 第2 健康教育の充実 第3 指導者の資質・授業力向上

#### (4) 栄養教諭、学校栄養職員及び学校給食調理員配置状況（平成22年5月1日現在） [単位：人]

| 区 分    | (給与負担) | 職員数    |        |       |       |
|--------|--------|--------|--------|-------|-------|
|        |        | 単独調理方式 | 共同調理方式 | 教育委員会 | 計     |
| 栄養教諭   | (県 費)  | 13     | 32     | 1     | 46    |
| 学校栄養職員 | (県 費)  | 20     | 49     | —     | 69    |
|        | (市町村費) | 18     | 8      | 7     | 33    |
| (計)    |        | (51)   | (89)   | (8)   | (148) |
| 調理員    | (市町村費) | 166    | 248    | —     | 414   |

注：国立、私立、県立学校を除く本採用職員のみ、調理員は常勤職員のみ

#### (5) 学校給食費の状況（保護者負担額、平成22年5月1日現在） [単位：円、回]

| 区 分 | 1食あたり平均単価 | 平均月額  | 年間実施予定回数 |
|-----|-----------|-------|----------|
| 小学校 | 255       | 4,101 | 177      |
| 中学校 | 288       | 4,622 | 178      |

注：小学校は中学年（3・4年）分

#### (6) 学校給食優良学校等表彰

該当なし

#### (7) 学校給食功労者表彰

一関市大東学校給食センター 主任学校栄養職員 鈴木智恵子

### 第3 指導者の資質・授業力向上

学校の教育活動全体を通じて「生きる力」の基礎となる健やかな体をはぐくむため、中核となる体育、食育、健康教育などを担当する指導者の資質や授業力向上を図った。

#### 1 学校体育関係職員の研修

[単位：人]

| No. | 研修会名 [内容]                                   | 期 日            | 会 場      | 参加者数                |
|-----|---|----------------|----------|---------------------|
| 1   | 小学校体育実技指導者講習会<br>[体づくり運動、陸上運動、ボール運動、表現運動]   | 平成22年6月16日～17日 | 盛岡市      | 小学校教員 45            |
| 2   | 中・高等学校体育実技指導者講習会<br>[体づくり運動、ダンス、柔道、剣道、体育理論] | 平成22年9月8日～9日   | 盛岡市      | 中学校教員 74<br>高校教員 66 |
| 3   | 地区別小学校体育実技講習会                               | 平成22年6月～8月     | 各教育事務所管内 | 小学校教員222            |
| 4   | 運動部活動指導者研修会<br>[サッカー、バレーボール]                | 平成22年8月25日～26日 | 盛岡市      | 中学校教員 47<br>高校教員 7  |

### 第3章 教育施策の推進状況

#### 第4節 健やかな体をはぐくむ教育の推進

##### 第3 指導者の資質・授業力向上

|   |   |                 |         |   |
|---|---|-----------------|---------|---|
| 5 | 子どもの体力向上指導者養成研修<br>・小学校 [体づくり運動、陸上運動系、ボール運動、表現運動系]<br>・中学校・高校 [体づくり運動、ダンス、柔道、剣道、体育理論] | 平成22年5月25日～28日  | 横浜市・川崎市 | 小学校教員 9<br>中学校教員 5<br>高校教員 4<br>指導主事 2  |
| 6 | 第49回全国学校体育研究大会福岡大会  | 平成22年11月18日～19日 | 福岡市     | 小学校教員 4<br>中学校教員 2<br>高校教員 2<br>指導主事 2  |
| 7 | 国立教育政策研究所教育課程研究センター関係指定事業研究協議会  | 平成23年1月25～27日   | 東京都     | 小学校教員 26<br>中学校教員 2<br>高校教員 1<br>指導主事 2 |

## 2 学校保健関係職員の研修

### (1) 県内

[単位：人]

| No. | 研修名                 | 期日            | 場所  | 参加者数[内訳]            |
|-----|---------------------|---------------|-----|---------------------|
| 1   | 薬物乱用防止教育研修会         | 平成22年6月9日     | 盛岡市 | 46[小12、中22、高10、私立2] |
| 2   | 学校保健講習会兼エイズ教育指導者講習会 | 平成22年9月10日    | 盛岡市 | 51[小18、中16、高15、特2]  |
| 3   | 養護教諭研修会             | 平成22年8月9日～11日 | 盛岡市 | 39[小20、中15、高4]      |
| 4   | 第46回岩手県学校健康教育研究大会   | 平成23年1月7日     | 盛岡市 | 351                 |

### (2) 県外

[単位：人]

| No. | 研修名                | 期日              | 場所      | 参加者数        |
|-----|--------------------|-----------------|---------|-------------|
| 1   | 全国学校保健研究大会         | 平成22年11月18日～19日 | 群馬県前橋市  | 4           |
| 2   | 健康教育指導者養成研修（推進コース） | 平成22年11月8日～10日  | 茨城県つくば市 | 4[小2、中1、高1] |
| 3   | 健康教育指導者養成研修（専門コース） | 平成22年11月8日～12日  | 茨城県つくば市 | 4[小2、中1、高1] |

## 3 学校安全関係職員研修

本節第2の2(1)を参照。(p.48)

## 4 食育・学校給食関係職員の研修

[単位：人]

| No. | 主催    | 研修会名              | 期日                     | 会場   | 参加者数 |
|-----|-------|-------------------|------------------------|------|------|
| 1   | 文部科学省 | 全国栄養教諭・学校栄養職員研究大会 | 平成22年8月5日<br>～8月6日     | 和歌山県 | 4    |
| 2   |       | 全国学校給食研究協議大会      | 平成22年11月11日<br>～11月12日 | 香川県  | 4    |

第3章 教育施策の推進状況

第4節 健やかな体をはぐくむ教育の推進

第3 指導者の資質・授業力向上

|    |                            |                      |                      |     |              |
|----|----------------------------|----------------------|----------------------|-----|--------------|
| 3  | 独立行政法人教員研修センター・文部科学省[共催]   | 食育指導者養成研修<br>(推進コース) | 平成22年7月13日<br>～7月16日 | 茨城県 | 2            |
| 4  |                            | 食育指導者養成研修<br>(専門コース) | 平成22年9月14日<br>～9月17日 | 茨城県 | 3            |
| 5  | 日本スポーツ振興センター               | 食の安全に関する調理員講習会       | 平成22年8月3日<br>～8月4日   | 東京都 | 1            |
| 6  |                            | 食の安全に関する講習会          | 平成22年6月22日<br>～6月23日 | 東京都 | 2            |
| 7  |                            | 食の安全に関する実技講習会        | 平成22年10月6日<br>～10月8日 | 東京都 | 1            |
| 8  | 岩手県                        | 衛生管理推進等研修会           | 平成22年6月4日            | 盛岡市 | 85           |
| 9  |                            | 食育推進研究会              | 平成22年9月6日            | 盛岡市 | 67           |
| 10 |                            | 栄養教諭等研修会             | 平成22年9月14日           | 盛岡市 | 19           |
| 11 | (社)全国学校栄養士協議会岩手県支部・岩手県[共催] | 岩手県栄養教諭・学校栄養職員研修会    | 平成22年6月18日           | 盛岡市 | 126          |
| 12 |                            | 岩手県栄養教諭・学校栄養職員研究大会   | 平成22年12月10日          | 盛岡市 | 104          |
| 13 | 岩手県学校給食会・岩手県[共催]           | 学校給食調理講習会            | 平成22年7月27日<br>～7月28日 | 盛岡市 | 延べ48         |
|    |                            | 学校給食調理員研修会           | 平成22年8月4日            | 盛岡市 | 178          |
| 14 |                            | 学校給食調理コンクール          | 平成23年1月5日            | 盛岡市 | (8チーム)<br>24 |



## 第5節 「共に学び、共に育つ教育」の推進

### 第1 「就学指導」から「就学支援」へ

国においては、障がい者制度改革推進会議において、インクルーシブ教育の推進を基本的な理念とした制度改革にかかわる検討が行われ、その結果を受け、文部科学省中央教育審議会初等中等教育分科会「特別支援教育の在り方に関する特別委員会」では、現在の就学指導の在り方を改善する方向性を含んだ「特別支援教育の在り方に関する特別委員会における論点整理」(H22.12)が公表された。こうした動向に合わせ、現在の県就学指導委員会の機能を向上させるよう以下の取組を行った。

#### 1 市町村教育委員会を対象とした就学指導にかかわるニーズ調査の実施

就学指導にかかわって各市町村就学指導委員会の抱える課題やニーズを明らかにするため、各市町村を対象としたニーズ調査を実施し、県就学指導委員会における業務改善等に役立てた。あわせて、市町村就学指導委員会が抱える就学指導にかかわる困難なケース等の相談、支援を実施した。

#### 2 県就学指導委員会委員構成の見直し

今後、早期からの就学指導が一層重要になることから、県就学指導委員会の委員に幼稚園、保育所関係委員と市町村教育委員会関係者を加えるなどの委員構成の見直しを実施した。

### 第2 幼、保、小、中、高等学校における特別支援教育の充実

#### 1 特別支援教育エリアコーディネーターの指名及び配置

特別支援教育にかかわる研修や相談にかかわる業務を効果的に推進するため、各教育事務所単位に特別支援教育エリアコーディネーター（教諭兼指導主事）を1名配置した。特別支援教育エリアコーディネーターは、学校教育室及び教育事務所と連携しながら管内の特別支援教育に課題に対応するとともに、全県的な課題にも同一歩調で対応するなど効果的な業務の推進を図った。

#### 2 特別支援学校による相談、研修等の支援

各特別支援学校のセンター的機能により地域の幼稚園、保育所、小、中学校、高等学校等への相談や研修等への支援が進められた。また、幼稚園、小、中学校特別支援学級等87校を対象に、年数回訪問しての継続型訪問支援を実施した。

#### 3 特別支援教育研修資料の作成

平成21年度に小学校向け研修資料を作成したことを受け、平成22年度においては、中学校及び高等学校向けの特別支援教育研修資料を作成し、県内全中学校、高等学校に配布した。



#### 4 いわて特別支援教育かがやきプラン推進事業の継続実施

県単独事業により県立高等学校19校へ特別支援教育支援員24名を配置し、障がい等によって個別の指導及び支援の必要な生徒への支援の充実を図った。

(特別支援教育支援員配置校)

盛岡農業高等学校、平舘高等学校、雫石高等学校、紫波総合高等学校、大迫高等学校  
西和賀高等学校、前沢高等学校、岩谷堂高等学校、一関第二高等学校、花泉高等学校  
住田高等学校、釜石商工高等学校、遠野高等学校、遠野緑峰高等学校、宮古北高等学校  
宮古水産高等学校、久慈高等学校長内校、種市高等学校、福岡高等学校及び定時制

### 第3 特別支援教育の理解促進

#### 1 特別支援教育講演会の開催

保護者及び県民を対象に発達障がいへの理解と学校、家庭の連携を深めることを目的とした講演会を開催した。

- ・日時 平成23年2月19日(土) 13:30~15:30
- ・会場 マリオス盛岡地域交流センター
- ・内容 「発達障がいのある子どもたちのより良い成長のためにー学校、家庭の役割と連携ー」  
東京都杉並区立済美教育センター 指導教授 月森 久江

#### 2 特別支援教育理解啓発資料の作成、配布

幼稚園、保育所の保護者を対象に発達障がいの基本的理解や対応及び早期からの相談支援の重要性についてまとめた「一人一人のよりよい成長のためにー支援と理解を必要とする子どもたちー」を作成し、全幼稚園、保育所の保護者に配布した。

#### 3 特別支援教育ボランティアの育成と活用

特別支援教育ボランティア養成講座を3地区(盛岡市、一関市、宮古市)の特別支援学校で実施した。また、修了者が登録するボランティアバンクについての周知と活用を図り、小中学校及び特別支援学校における活用を図った。

#### 特別支援教育ボランティア養成講座の開催校等

| 開催校       | 受講者数 |
|-----------|------|
| 盛岡みたけ支援学校 | 15名  |
| 一関清明支援学校  | 9名   |
| 宮古恵風支援学校  | 7名   |

#### 第4 特別支援学校生徒の就労支援の充実

##### 1 公的機関における職場実習の受け入れ

教育委員会（4名）、商工労働観光部（2名）、保健福祉部（2名）、総務部（1名）、環境生活部（1名）との連携した事業により、県庁内で特別支援学校高等部生徒10名の現場実習を受け入れた。各機関において、4日～2週間に渡って実習を実施した。

##### 2 関係機関との連携

労働局、障がい者職業センターと共催で「就労支援セミナー」を3校で開催するなど、関係機関と連携を図った。

##### 3 啓発リーフレットの作成

特別支援学校卒業生の雇用及び職場実習先の開拓のため、企業事業所向けの啓発リーフレットを作成し、学校の進路指導において活用できるようにした。

## 第6節 学校教育を支える教育環境の充実

### 第1 県立高校の望ましい教育環境の整備

#### 1 県立高等学校新整備計画

##### (1) 概要

国際化、情報化、少子高齢化等著しい社会の変化に主体的に対応できる人材の育成が求められていることから、県立高等学校長期構想検討委員会（船越昭治委員長）の報告をもとに、生徒が活力ある環境の中で、一人一人の個性・能力を最大限に伸ばせるような学習環境を構築する観点から、平成12年度以降10年間を見通した学校・学科の適正な配置等について慎重に検討を進め、平成12年1月に「県立高等学校新整備計画」として、平成12年度から16年度（前期）の学校別の計画並びに平成17年度から21年度（後期）の計画のたまかな見通しを示した。

平成17年度から21年度の後期計画の策定では、平成16年1月に「県立高等学校新整備計画後期マスタープラン」として基本的な方針を示した後、8月に「県立高等学校新整備計画（後期計画）案」、平成17年1月に調整案、6月に再調整案を公表し、各段階において、パブリックコメントを実施したほか、各地で意見を聴く会や出前説明会などを重ね、7月に「県立高等学校新整備計画（後期計画）」を策定・公表した。

後期計画では、学科改編を含む学級数の取扱いは、中学校卒業予定者数の状況、高校進学希望者の志望動向、各高校の定員充足状況等を勘案して毎年度調整するものとし、小規模校等の統合は、一定の基準を設けて実施することとした。

平成20年度においては、

- ・花巻北高校と東和高校を統合して花巻北高校とし（東和高校は平成21年度末まで存続）、
- ・水沢高校と胆沢高校を統合して水沢高校とし（胆沢高校は平成21年度末まで存続）、
- ・高田高校と広田水産高校を統合して高田高校とし、
- ・大船渡農業高校と大船渡工業高校を統合して大船渡東高校とし、
- ・釜石南高校と釜石北高校を統合して釜石高校とするとともに、
- ・遠野高校情報ビジネス校、宮古高校川井校、久慈高校山形校の3分校を本校に統合し（3分校とも平成21年度末まで存続）、
- ・久慈高校長内校を昼間部と夜間部の多部制高校とし、
- ・浄法寺高校を福岡高校の分校とした。

平成21年度においては、黒沢尻工業高校定時制課程と水沢商業高校定時制課程を募集停止するとともに、杜陵高校奥州校を多部制単位制高校として設置した（両課程とも平成23年度末まで存続）。

なお、後期計画終了後において、教育環境を整える観点から、平成22年度に岩泉高校田野畑校を本校に統合した（岩泉高校田野畑校は平成23年度末まで存続）。

第2章 教育施策の推進状況

第6節 学校教育を支える教育環境の充実

第1 県立高校の望ましい教育環境の整備

(2) 全体計画（平成12年1月24日公表、平成17年7月19日後期計画により変更）

| 年度 | 中学校卒業<br>予定者数（人） | 高等学校設置学級数<br>（学級） |      |      | 高等学校数<br>（校） |       |
|----|------------------|-------------------|------|------|--------------|-------|
|    |                  | うち普通科             | 専門学科 | 総合学科 |              |       |
| 11 | 18,440           | 368               | 229  | 134  | 5            | 83    |
| 17 | 14,857           | 301               | 177  | 91   | 33           | 77    |
| 21 | 13,797           | 266               | 159  | 75   | 32           | 61～68 |

(3) 後期計画の総括表（平成17年7月19日公表）

|                            | 平成17年度   | 平成18年度                              | 平成19年度                             | 平成20年度   | 平成21年度                                  |
|----------------------------|--|-------------------------------------|------------------------------------|--|---|
| 総合的な専門高校                   |  |                                     |                                    | <input type="checkbox"/> 高田(商業科)・広田水産(家政科)・大船渡農・大船渡工[統合]   | <input type="checkbox"/> 釜石工・釜石商[統合]    |
| 普通科と専門学科併設高校               |  | <input type="checkbox"/> 大東・大原商[統合] | <input type="checkbox"/> 藤沢・千厩[統合] | <input type="checkbox"/> 高田(普通科)・広田水産(水産科)・住田(※)[統合]   |   |
| 総合学科高校                     | <input type="checkbox"/> 一戸[改編]  |                                     |                                    |  | <input type="checkbox"/> 岩谷堂・岩谷堂農林[統合]  |
| 普通高校                       |  |                                     |                                    | <input type="checkbox"/> 釜石南・釜石北[統合]<br><input type="checkbox"/> 花巻北・東和[統合]<br><input type="checkbox"/> 水沢・胆沢[統合]<br><input type="checkbox"/> 遠野・情報ビジネス[統合]<br><input type="checkbox"/> 宮古・川井[統合]<br><input type="checkbox"/> 岩泉・田野畑[統合]<br><input type="checkbox"/> 久慈・山形[統合] | <input type="checkbox"/> 伊保内・福岡・浄法寺[統合] |
| 定時制（多部制・単位制）               | <input type="checkbox"/> 胆江ブロックにおいてもできるだけ後期計画中に整備に努める。                             |                                     |                                    |  |   |
| 中高一貫教育校<br>コミュニティ・<br>スクール | <input type="checkbox"/> 新しいタイプの学校である、中等教育学校・併設型中高一貫教育校やコミュニティ・スクールについては、継続して検討する。 |                                     |                                    |  |   |

※ 住田高校については、県の中高一貫教育に関する検討委員会の検討結果等を踏まえ、別途検討する。

【学級数の取扱いについて】

学級数（学科改編を含む）の取扱いは、中学校卒業予定者数、高校進学希望者の志望動向、各高校の定員充足状況等を勘案しながら毎年度調整する。

【1学年2学級校の取扱い】

- (1) 1学年2学級の募集定員に対し、1学級定員の半数を超える欠員が2年続いた場合には、原則として翌年度に学級減を行う。なお、通学困難な地域は、高校教育を受ける機会を確保するという観点から学級減を行わないことも検討する。
- (2) 募集定員に対して1学級相当程度の欠員が生じている場合には、原則として翌年度に学級減を行う。ただし、中学校卒業予定者数に回復の見通しがあれば、学級減を行わないことも検討する。

(3) 各学年とも2学級を維持できない場合には統合を基本とするが、広大な県土を有する本県の通学事情等に鑑み、地域の実情に応じて分校（1学級規模）の設置も検討する。

【分校の取扱い】

入学者が募集定員の半数を下回る状況又は当該分校に進学した者のうち分校所在地の中学校からの進学者の割合が半数以下となる状況が、2年続いた場合には、原則として翌年度から募集停止とし、統合する。

## 2 第二次県立高等学校整備計画（仮称）

今後の少子化によるさらなる生徒減少や社会情勢の変化に対応するため、教育の原点に立ち返り、高校教育として子供たちの確かな成長を支える仕組みや取組みを強固にすることが重要であることから、「第二次県立高等学校長期構想検討委員会」を設置し、委員会において教育環境の整備や将来の岩手県を担う人財育成について検討の上、平成21年5月に「今後の県立高等学校の在り方」〔中間まとめ〕を取りまとめ、県内9ブロックにおいて地域懇談会を開催し、県民からのご意見、ご提言等をいただき、9月17日に県教育委員会に成案が報告された。

これを基に、県教育委員会において平成21年12月24日に、概ね10年先を展望し、今後の人口減少と超高齢社会の到来や厳しい国際競争などに対応し、明日の日本や岩手の未来を担う人財の育成に向けた今後の県立高校における教育の基本的考え方と方向性を示した「今後の高等学校教育の基本的方向」（案）を作成、公表し、パブリックコメント、地域説明会、意見を聴く会を通じ、ご意見等をいただき、平成22年3月17日に成案を策定した。

これを指針として、「第二次県立高等学校整備計画（仮称）」を策定することとし、その検討のため、平成22年度において、市町村長、市町村教育委員会教育長、PTA関係者、産業関係者、中学校長代表者で構成される「今後の県立高校に関する地域検討会議」を県内9ブロックにおいて3回づつ、また、一般県民を対象とした「今後の県立高校に関する地域別懇談会」を県内9ブロックにおいて2回づつ、併せて、地域等の要望に応じて出前懇談会を実施し（計11回）、「今後の高等学校教育の基本的方向」への理解を図るとともに、各ブロックにおける高校のあるべき姿や地域実情に応じた高校配置等について意見交換を行った。

## 3 中高一貫教育の導入について

中高一貫教育の在り方については、文部省からの研究の委嘱を受け、平成10年9月に「岩手県中高一貫教育研究会議」（船越昭治委員長）を設置して検討を重ねるとともに、実践研究を行う研究推進校（高校2校、中学校6校）を指定し、「岩手県中高一貫教育実践研究委員会」においても検討を進め、平成12年3月に中高一貫教育研究会議より報告書が提出された。

この報告を受け、軽米・葛巻地域は、連携型中高一貫教育の研究を行い、平成13年度には軽米地域が、平成14年度には葛巻地域が連携型中高一貫教育を導入した。

平成15年7月に「岩手県中高一貫教育検討委員会」を設置し、中等教育学校及び併設型中高一貫教育校の導入や連携型中高一貫教育校の推進について検討を進めた。平成17年9月には、この検討委員会を継承・発展した「岩手県新しいタイプの学校に関する検討委員会」を設置し、中高一貫教育を中心としたコミュニティ・スクールを含めた新しいタイプの学校の在り方について検討を行い、平成18年3月に報告書が提出された。

この報告を受け、併設型中高一貫教育校の導入について検討し、平成19年2月に、平成21年度から一関第一高等学校に導入する方針を決定した。



平成19年5月に「岩手県立一関第一高等学校中高一貫教育検討委員会」を設置し、併設型中高一貫教育校の教育内容や県立中学校の入学者選抜方針などについて検討を行い、同年11月に報告書が提出された。この報告を受け、一関第一高等学校に設置する併設型中高一貫教育校の目指す教育などについて検討し、平成20年1月には一関第一高等学校に併設する県立中学校の方針を決定した。平成20年4月から、県教育委員会事務局学校教育室の高校改革担当内に併設型の県立中学校準備担当（3人）を配置し、具体的な準備を開始した。7月には「岩手県立学校設置条例の一部を改正する条例」が6月県議会定例会で議決され、平成21年4月に「岩手県立一関第一高等学校附属中学校」を設置した。

平成23年度の岩手県立一関第一高等学校附属中学校入学者選抜検査は、219人（男子131人、女子88人）が受検し、80人（男子40、女子40人）が入学することとなった。

#### 4 公立高等学校入学者選抜について

(1) 県教育委員会は、平成13年8月29日に「岩手県立高等学校入学者選抜方策検討委員会」（委員長：沼田俊昭 岩手県立大学教授）から「報告」が提出されたことを受け、平成13年11月12日の教育委員会議において県立高等学校入学者選抜の方針を決定した。

県教育委員会は、この方針をもとに、受検生の意欲や個性をより適切に評価できるよう、平成16年度入学者選抜から選抜方法や通学区域等を改善した。

##### ア 選抜方法の変更

校長の定める異なる評価尺度（ABC選考）による合否判定をする。

##### イ 通学区域（学区）の変更

普通科の通学区域（学区）について、平成6年度から県内19学区としてきたが、地域の意見を勘案して、8学区に改めた。

##### ウ 学区外許容率の変更

学区（通学区域）の拡大に伴って、学区外許容率を15%から10%に引き下げた。

今回の変更は、昭和53年に20%から15%に引き下げて以来の変更となる。

##### エ 再募集の要件の変更

平成15年度まで「再募集人員が定員の30%より少ない場合は、再募集を行わないことができる」とした、ただし書きを平成16年度入学者選抜から撤廃した。

(2) 平成16～18年度入学者選抜まで3年間実施後、入試制度の問題点・改善点を検討することを目的に、平成17年9月20日に「県立高等学校入試改善検討委員会」を設置し（委員長：沼田俊昭岩手県立大学副学長）、平成18年6月1日に提言を受けた。

それをもとに平成18年7月18日の教育委員会議において、県立高等学校入学者選抜の方針を決定した。

##### ア 全日制課程及び定時制課程

一般入学者選抜及び推薦入学者選抜を行う。

一般入学者選抜においては、調査書、学力検査、面接の結果（学校によっては小論文・作文または適性検査）を資料とし、校長の定める異なる評価尺度（ABC選考）により選抜する。

推薦入学者選抜においては、校長が推薦基準を決定し、志願理由書、調査書及び面接（学校によっては、小論文・作文または適性検査）の結果により選抜する。

##### イ 通信制課程

調査書その他必要な書類、面接の結果及び作文の評価に基づいて選抜する。

(3) 県教育委員会では、この方針に基づき平成19年度入学者選抜から、次のように改善した。

ア 推薦入学者選抜の実施

高等学校全学科を対象とし、各高等学校は推薦基準を公表する。

応募資格は、スポーツ、文化・芸術等において顕著な成績を収めた者とする。

イ 一般入学者選抜日程の変更

2日間の日程を改め、1日とした。

ウ 一般入学者選抜学力検査内容の変更

英語応答試験を廃止した。

エ 募集の要件の改善

平成18年度までの「合格者が募集定員に達しなかった学校は、その課程及び学科別に再募集を行う」を改め、「欠員が、募集定員の概ね10%より多い高等学校は、その学科別に再募集を行うことができる」とした。

オ 普通科と理数科の一括募集

すべての理数科を対象として、普通科と理数科を一括募集することとした。

(4) 平成20年度入学者選抜では、推薦入学者選抜において「志願先高等学校に二つ以上の学科（学系、コース）がある場合には、第2、第3志望まで出願できる」と変更した。

(5) 平成21年度入学者選抜では、体育科、体育コース、体育学系、スポーツ健康科学学系、芸術学系の推薦入学者選抜の募集定員を、定員の20%以内から50%以内に変更した。

(6) 入試制度の問題点及び改善点を検討することを目的に、平成22年6月25日に「県立高校入試改善検討委員会」（委員長：望月善次盛岡大学学長）を設置し、「推薦入試の在り方」、「一般入試の在り方」、「その他の入試に係る事項」について、2年間の予定で検討することとした。



### 第3章 教育施策の推進状況

#### 第6節 学校教育を支える教育環境の充実

##### 第2 学校施設の耐震化の推進

## 第2 学校施設の耐震化の推進

(文部科学省公立学校施設の耐震改修状況調査、平成23年4月1日現在)

### 1 県立学校施設の耐震化状況

#### (1) 非木造施設の耐震化率

|         | 岩手県        |            | 全国平均       |            | 前年比較 |       |
|---------|------------|------------|------------|------------|------|-------|
|         | H22.4.1 現在 | H23.4.1 現在 | H22.4.1 現在 | H23.4.1 現在 | 岩手県  | 全国平均  |
| (小) 中学校 | 100.0%     | (未調査)      | 73.3%      | 80.3%      | —    | +7.0% |
| 高等学校    | 74.7%      | (未調査)      | 72.9%      | 77.7%      | —    | +4.8% |
| 特別支援学校  | 97.8%      | (未調査)      | 87.9%      | 91.0%      | —    | +3.1% |
| 幼稚園     | —          | —          | 66.2%      | 70.9%      | —    | +4.7% |
| 計 (平均)  | 78.9%      | (未調査)      | 73.5%      | 79.9%      | —    | +6.4% |

※1 (小) 中学校の岩手県欄については、一関第一高等学校附属中学校に係る数値。(以下、同様)

2 「耐震化率」とは、全建物のうち、耐震性がある建物(昭和57年以降建築の棟数及び、昭和56年以前建築で耐震性がある棟と耐震補強済みの棟)の割合のこと。(以下、同様)

3 東日本大震災のためH23.4.1現在の岩手県にかかる調査は未実施。(以下、同様)

4 H23.4.1現在の全国平均は、被災3県(岩手県、宮城県、福島県)以外の平均値。(以下、同様)

#### (2) 木造施設の耐震化率

|         | 岩手県        |            | 全国平均       |            | 前年比較 |       |
|---------|------------|------------|------------|------------|------|-------|
|         | H22.4.1 現在 | H23.4.1 現在 | H22.4.1 現在 | H23.4.1 現在 | 岩手県  | 全国平均  |
| (小) 中学校 | —          | —          | 67.6%      | 74.2%      | —    | +6.6% |
| 高等学校    | 95.7%      | (未調査)      | 61.5%      | 57.7%      | —    | -3.8% |
| 特別支援学校  | —          | —          | 92.0%      | 96.1%      | —    | +4.1% |
| 幼稚園     | —          | —          | 79.1%      | 79.9%      | —    | 0.8%  |
| 計 (平均)  | 95.7%      | (未調査)      | 69.6%      | 74.4%      | —    | +4.8% |

### 2 市町村立学校施設の耐震化状況

#### (1) 非木造施設の耐震化率

|        | 岩手県        |            | 全国平均       |            | 前年比較 |       |
|--------|------------|------------|------------|------------|------|-------|
|        | H22.4.1 現在 | H23.4.1 現在 | H22.4.1 現在 | H23.4.1 現在 | 岩手県  | 全国平均  |
| 小中学校   | 73.0%      | (未調査)      | 73.3%      | 80.3%      | —    | +7.0% |
| 高等学校   | 27.3%      | (未調査)      | 72.9%      | 77.7%      | —    | +4.8% |
| 特別支援学校 | —          | —          | 87.9%      | 91.0%      | —    | +3.1% |
| 幼稚園    | 73.3%      | (未調査)      | 66.2%      | 70.9%      | —    | +4.7% |
| 計 (平均) | 72.8%      | (未調査)      | 73.5%      | 79.9%      | —    | +6.4% |

#### (2) 木造施設の耐震化率

|        | 岩手県        |            | 全国平均       |            | 前年比較 |       |
|--------|------------|------------|------------|------------|------|-------|
|        | H22.4.1 現在 | H23.4.1 現在 | H22.4.1 現在 | H23.4.1 現在 | 岩手県  | 全国平均  |
| 小中学校   | 80.8%      | (未調査)      | 67.6%      | 74.2%      | —    | +6.6% |
| 高等学校   | —          | (未調査)      | 61.5%      | 57.7%      | —    | -3.8% |
| 特別支援学校 | —          | —          | 92.0%      | 96.1%      | —    | +4.1% |
| 幼稚園    | 80.0%      | (未調査)      | 79.1%      | 79.9%      | —    | 0.8%  |
| 計 (平均) | 80.7%      | (未調査)      | 69.6%      | 74.4%      | —    | +4.8% |

### 第3 修学資金の支援等

#### 1 特別支援教育就学奨励費補助金

##### (1) 経費の種類別給与人員及び給与額

[単位：人、円]

| 経費の種類          |           | 給与人員 |     |     | 給与額        |            |            |
|----------------|-----------|------|-----|-----|------------|------------|------------|
|                |           | 小学校  | 中学校 | 計   | 小学校        | 中学校        | 計          |
| 学校給食費          |           | 590  | 262 | 852 | 12,605,050 | 5,571,145  | 18,176,195 |
| 交通費（通学費）       |           | 172  | 28  | 200 | 3,844,748  | 2,408,943  | 6,253,691  |
| 職場実習交通費        |           |      | 5   | 5   |            | 4,360      | 4,360      |
| 交流学习交通費        |           | 8    | 5   | 13  | 21,295     | 3,651      | 24,946     |
| 修学旅行費          |           | 98   | 94  | 192 | 962,794    | 2,614,950  | 3,577,744  |
| 校外活動費          | 宿泊を伴わないもの | 389  | 106 | 495 | 230,828    | 81,864     | 312,692    |
|                | 宿泊を伴うもの   | 77   | 59  | 136 | 65,828     | 73,411     | 139,239    |
| 学用品購入費         |           | 591  | 267 | 858 | 3,226,047  | 2,858,515  | 6,084,562  |
| 新入学児童・生徒用学用品費等 |           | 68   | 75  | 143 | 676,600    | 858,750    | 1,535,350  |
| 通学用品購入費        |           | 516  | 188 | 704 | 550,992    | 202,804    | 753,796    |
| 体育実技用具費        | 柔道        |      | 4   | 4   |            | 6,600      | 6,600      |
|                | 剣道        |      |     | 0   |            |            | 0          |
|                | スキー       | 33   | 7   | 40  | 314,378    | 100,775    | 415,153    |
|                | スケート      |      |     | 0   |            |            | 0          |
| 拡大教材費          |           |      |     | 0   |            |            | 0          |
| 合計             |           | 720  | 276 | 996 | 22,498,560 | 14,785,768 | 37,284,328 |

※給与人員の合計の欄は、実給与人員であること。

##### (2) 市町村別補助金交付額

[単位：千円]

| 市町村名 | 国庫補助金額 |
|------|--------|
| 盛岡市  | 3,164  |
| 八幡平市 | 326    |
| 雫石町  | 150    |
| 葛巻町  | 74     |
| 岩手町  | 155    |
| 滝沢村  | 434    |
| 紫波町  | 203    |
| 矢巾町  | 335    |
| 花巻市  | 1,684  |
| 遠野市  | 171    |
| 北上市  | 1,304  |
| 西和賀町 | 30     |

| 市町村名  | 国庫補助金額 |
|-------|--------|
| 奥州市   | 771    |
| 金ケ崎町  | 215    |
| 一関市   | 1,654  |
| 平泉町   | 10     |
| 藤沢町   | 132    |
| 大船渡市  | 352    |
| 陸前高田市 | 291    |
| 住田町   | 81     |
| 釜石市   | 317    |
| 大槌町   | 152    |
| 宮古市   | 477    |
| 山田町   | 55     |

| 市町村名 | 国庫補助金額 |
|------|--------|
| 岩泉町  | 96     |
| 田野畑村 | 0      |
| 久慈市  | 219    |
| 洋野町  | 201    |
| 野田村  | 28     |
| 普代村  | 56     |
| 二戸市  | 285    |
| 軽米町  | 95     |
| 九戸村  | 41     |
| 一戸町  | 155    |
| 合計   | 13,713 |

第3章 教育施策の推進状況

第6節 学校教育を支える教育環境の充実

第3 就学資金等の状況

2 要保護児童生徒援助費補助金

(1) 経費の種類別給与人員及び給与額

[単位：人、円]

| 経費の種類                           | 給与人員 |     |     | 給与額       |           |            |
|---------------------------------|------|-----|-----|-----------|-----------|------------|
|                                 | 小学校  | 中学校 | 計   | 小学校       | 中学校       | 計          |
| 学用品費、通学用品費、<br>校外活動費（宿泊を伴わないもの） |      |     | 0   |           |           | 0          |
| 校外活動費（宿泊を伴うもの）                  |      |     | 0   |           |           | 0          |
| 新入学児童・生徒用学用品費等                  |      |     | 0   |           |           | 0          |
| 修学旅行費                           | 117  | 134 | 251 | 2,374,658 | 8,794,767 | 11,169,425 |
| 通学費                             |      |     | 0   |           |           | 0          |
| 体育実技用具費                         | 柔道   |     | 0   |           |           | 0          |
|                                 | 剣道   |     | 0   |           |           | 0          |
|                                 | スキー  |     | 0   |           |           | 0          |
|                                 | スケート |     | 0   |           |           | 0          |
| 医療費                             | 167  | 85  | 252 | 4,613,309 | 2,431,289 | 7,044,598  |
| 学校給食費                           |      |     | 0   |           |           | 0          |

※平成17年度から準要保護児童生徒援助費補助金が廃止され、市町村へ財政措置されていること。

(2) 市町村別補助金交付額

[単位：円]

| 市町村名  | 学用品費等     | 医療費       | 計         |
|-------|-----------|-----------|-----------|
| 盛岡市   | 2,160,000 | 966,000   | 3,126,000 |
| 八幡平市  | 44,000    | 20,000    | 64,000    |
| 雫石町   | 70,000    | 0         | 70,000    |
| 葛巻町   | 67,000    | 14,000    | 81,000    |
| 岩手町   | 104,000   | 207,185   | 311,185   |
| 滝沢村   | 124,000   | 79,000    | 203,000   |
| 紫波町   | 76,000    | 9,000     | 85,000    |
| 矢巾町   | 65,000    | 125,000   | 190,000   |
| 花巻市   | 390,000   | 99,000    | 489,000   |
| 遠野市   | 154,000   | 44,000    | 198,000   |
| 北上市   | 352,000   | 144,000   | 496,000   |
| 西和賀町  | 0         | 0         | 0         |
| 奥州市   | 255,000   | 198,000   | 453,000   |
| 金ヶ崎町  | 29,000    | 0         | 29,000    |
| 一関市   | 261,000   | 84,000    | 345,000   |
| 平泉町   | 38,000    | 0         | 38,000    |
| 藤沢町   | 32,000    | 0         | 32,000    |
| 大船渡市  | 75,000    | 94,000    | 169,000   |
| 陸前高田市 | 9,000     | 0         | 9,000     |
| 住田町   | 0         | 32,000    | 32,000    |
| 釜石市   | 341,000   | 119,000   | 460,000   |
| 大槌町   | 247,000   | 115,000   | 362,000   |
| 宮古市   | 126,000   | 118,000   | 244,000   |
| 山田町   | 246,000   | 133,000   | 379,000   |
| 岩泉町   | 80,000    | 113,000   | 193,000   |
| 田野畑村  | 0         | 0         | 0         |
| 久慈市   | 53,000    | 110,000   | 163,000   |
| 洋野町   | 0         | 1,000     | 1,000     |
| 野田村   | 0         | 0         | 0         |
| 普代村   | 0         | 0         | 0         |
| 二戸市   | 101,000   | 18,915    | 119,915   |
| 軽米町   | 0         | 0         | 0         |
| 九戸村   | 14,000    | 26,000    | 40,000    |
| 一戸町   | 0         | 25,000    | 25,000    |
| 合計    | 5,513,000 | 2,894,100 | 8,407,100 |

第3章 教育施策の推進状況

第6節 学校教育を支える教育環境の充実

第3 修学資金等の状況

3 へき地児童生徒援助費等補助金

(1) 経費の種類別給与人員及び給与額

[単位：台、人、円]

| 経費の種類         | 給与人員 |     |    | 給与額        |           |            |
|---------------|------|-----|----|------------|-----------|------------|
|               | 小学校  | 中学校 | 計  | 小学校        | 中学校       | 計          |
| スクールバス購入費(台)  | 5    | 4   | 9  | 12,090,000 | 9,860,000 | 21,950,000 |
| 寄宿舎居住費(人)     |      |     |    |            |           |            |
| 高度へき地修学旅行費(人) | 10   | 2   | 12 | 92,000     | 105,000   | 197,000    |
| 遠距離通学費(人)     | 31   |     | 31 | 781,000    |           | 781,000    |

※スクールバスについて、小学校・中学校で共用している場合は、小学校に計上している。( )内が共用している台数・金額(内数)

(2) 市町村別補助金交付額

[単位：千円]

| 市町村名  | スクールバス購入費 | 寄宿舎居住費 | 高度へき地修学旅行費 | 遠距離通学費 | 保健管理費 | 計      |
|-------|-----------|--------|------------|--------|-------|--------|
| 盛岡市   |           |        | 22         |        |       | 22     |
| 八幡平市  |           |        |            |        | 76    | 76     |
| 雫石町   |           |        |            |        |       |        |
| 葛巻町   |           |        |            | 781    | 385   | 1,166  |
| 岩手町   |           |        |            |        | 183   | 183    |
| 滝沢村   |           |        |            |        |       |        |
| 紫波町   |           |        |            |        |       |        |
| 矢巾町   |           |        |            |        |       |        |
| 花巻市   |           |        |            |        |       |        |
| 遠野市   |           |        |            |        | 41    | 41     |
| 北上市   |           |        |            |        |       |        |
| 西和賀町  |           |        |            |        | 197   | 197    |
| 奥州市   |           |        |            |        | 27    | 27     |
| 金ケ崎町  |           |        |            |        |       |        |
| 一関市   | 12,450    |        |            |        | 30    | 12,480 |
| 平泉町   |           |        |            |        |       |        |
| 藤沢町   |           |        |            |        |       |        |
| 大船渡市  |           |        |            |        |       |        |
| 陸前高田市 |           |        |            |        |       |        |
| 住田町   |           |        |            |        | 24    | 24     |
| 釜石市   | 2,280     |        |            |        |       | 2,280  |
| 大槌町   |           |        |            |        |       |        |
| 宮古市   |           |        |            |        | 94    | 94     |
| 山田町   |           |        |            |        |       |        |
| 岩泉町   |           |        | 175        |        | 85    | 260    |
| 田野畑村  |           |        |            |        | 182   | 182    |
| 久慈市   |           |        |            |        | 296   | 296    |
| 洋野町   | 2,500     |        |            |        | 96    | 2,596  |
| 野田村   |           |        |            |        |       |        |
| 普代村   |           |        |            |        |       |        |
| 二戸市   |           |        |            |        |       |        |
| 軽米町   | 4,720     |        |            |        | 47    | 4,767  |
| 九戸村   |           |        |            |        |       |        |
| 一戸町   |           |        |            |        |       |        |
| 合計    | 21,950    |        | 197        | 781    | 1,763 | 24,691 |

4 育英・奨学（財団法人岩手育英奨学会）

県内に住所を有する者の子弟で、有能な素質を有しながら経済的理由により高等学校等への就学が困難なものに対し、学資の貸与その他育英奨学上必要な事業を行った。

(1) 奨学金の種類と額

ア タイプA（予約・在学・緊急採用共通）

| 区 分 |       | 貸与月額    |
|-----|-------|---------|
| 国公立 | 自宅通学  | 18,000円 |
|     | 自宅外通学 | 23,000円 |
| 私 立 | 自宅通学  | 30,000円 |
|     | 自宅外通学 | 35,000円 |

イ タイプB（予約採用）

(ア) 貸与月額（選択制）

15,000円、20,000円、25,000円、30,000円

(イ) 入学一時金

公立50,000円、私立100,000円

(2) 奨学生の採用

ア タイプA（平成22年度採用） [単位：人]

| 採用人数 |     | 内 訳    |         |       |        |
|------|-----|--------|---------|-------|--------|
|      |     | 国公立・自宅 | 国公立・自宅外 | 私立・自宅 | 私立・自宅外 |
| 予 約  | 236 | 178    | 18      | 23    | 17     |
| 在 学  | 410 | 225    | 12      | 146   | 27     |
| 緊 急  | 14  | 1      | 2       | 10    | 1      |
| 合 計  | 660 | 404    | 32      | 179   | 45     |

イ タイプB（平成22年度採用、予約採用のみ） [単位：人]

| 採用人数 | 貸与月額    |         |         |         | 区 分     |      |
|------|---------|---------|---------|---------|---------|------|
|      | 15,000円 | 20,000円 | 25,000円 | 30,000円 | 母子・父子家庭 | 経済困難 |
| 36   | 6       | 6       | 5       | 19      | 19      | 17   |

(3) 奨学金の貸与状況

ア タイプA（平成22年度） [単位：人、千円]

| 区 分 |       | 貸与人数  | 奨学金     |
|-----|-------|-------|---------|
| 国公立 | 自宅通学  | 1,238 | 267,194 |
|     | 自宅外通学 | 100   | 27,278  |
| 私 立 | 自宅通学  | 515   | 182,850 |
|     | 自宅外通学 | 126   | 52,275  |
| 合 計 |       | 1,979 | 529,597 |

イ タイプB（平成22年度） [単位：人、千円]

| 区 分     | 貸与人数 | 奨学金    |       |        |
|---------|------|--------|-------|--------|
|         |      | 年 額    | 入学一時金 | 計      |
| 15,000円 | 14   | 2,520  | 100   | 2,620  |
| 20,000円 | 16   | 3,840  | 100   | 3,940  |
| 25,000円 | 12   | 3,600  | 150   | 3,750  |
| 30,000円 | 66   | 23,760 | 950   | 24,710 |
| 合 計     | 108  | 33,720 | 1,300 | 35,020 |

第3章 教育施策の推進状況

第6節 学校教育を支える教育環境の充実

第4 教育環境整備への支援

第4 教育環境の整備

1 県立学校の教育環境整備

(1) 平成22年度高等学校及び特別支援学校校舎等施設整備状況 [単位：m<sup>2</sup>、千円]

| 補助・<br>単独の別 | 事業内容     | 学校名   | 構造    | 事業実施面積 |                | 工事費     | 工期等    |
|-------------|----------|-------|-------|--------|----------------|---------|--------|
|             |          |       |       |        | うち国庫補助<br>対象面積 |         |        |
| 国庫補助        | 体育館改築    | 釜石商工  | 鉄骨    | 975    | 942            | 138,177 | H22    |
|             | 校舎大規模改造等 | 盛岡工業  | 鉄筋    | 2,955  | 2,955          | 99,575  | H22    |
|             |          | 黒沢尻北  | 鉄筋    | 1,840  | 1,840          | 80,588  | H22    |
|             |          | 一関清明  | 鉄筋    | 1,886  | 1,886          | 405,560 | H22    |
|             |          |       | 鉄骨    | 614    | 614            |         |        |
|             | 体育館耐震補強等 | 西和賀   | 鉄骨    | 829    | 829            | 14,679  | H22    |
|             |          | 前沢    | 鉄骨    | 614    | 614            | 14,638  | H22    |
|             |          | 宮古工業  | 鉄骨    | 937    | 937            | 20,434  | H22    |
|             |          | 軽米    | 鉄骨    | 1,142  | 1,142          | 9,295   | H22    |
|             |          | 伊保内   | 鉄骨    | 1,192  | 1,192          | 7,329   | H22    |
|             |          | 花巻農業  | 鉄骨    | 1,335  | 1,335          | 10,133  | H22    |
|             |          | 盛岡北   | 鉄骨    | 1,151  | 1,151          | 7,135   | H22    |
|             |          | 花北青雲  | 鉄骨    | 1,185  | 1,185          | 5,457   | H22    |
|             |          | 北上翔南  | 鉄骨    | 1,111  | 1,111          | 3,242   | H22    |
|             |          | 黒沢尻工業 | 鉄骨    | 1,185  | 1,185          | 1,344   | H22    |
|             |          | 一関工業  | 鉄骨    | 909    | 909            | 3,035   | H22    |
| 久慈          |          | 鉄骨    | 1,059 | 1,059  | 8,294          | H22     |        |
| 県単独         | 体育館改築    | 岩谷堂   | 鉄骨    | 1,263  |                | 228,051 | H22    |
|             |          | 宮古    | 鉄骨    | 736    |                | 127,987 | H22    |
|             | 校地整備     | 大船渡東  |       | 14,700 |                | 68,314  | H21～22 |
|             |          | 一戸    |       | 4,400  |                | 40,668  | H21～22 |
|             |          | 岩谷堂   |       | 21,800 |                | 74,340  | H22～23 |

(2) 産業教育施設整備の状況 (平成22年4月1日現在)

| 基準面積(A)                | 現有面積(B)                | 現有率(B/A) |
|------------------------|------------------------|----------|
| 314,579 m <sup>2</sup> | 157,929 m <sup>2</sup> | 50.2%    |

(3) 平成22年度特殊教育設備事業 [単位：千円]

| 区分       | 金額     |
|----------|--------|
| 特殊教育設備   | 291    |
| 一般教育設備   | 7,507  |
| 情報処理教育設備 | 3,553  |
| 校舎等増改築設備 | 1,416  |
| 計        | 12,767 |

第3章 教育施策の推進状況

第6節 学校教育を支える教育環境の充実

第4 教育環境整備への支援

(4) 高等学校産業教育設備の整備状況（平成22年4月1日現在）

| 基準金額(A)          | 現有金額(B)         | 現有率(B/A) |
|------------------|-----------------|----------|
| 27,288,842,000 円 | 5,544,326,290 円 | 20.3 %   |

(5) 理科教育等設備

ア 平成22年度補助金受領状況

(ア) 高等学校

[単位：千円]

| 学校名  | 国庫補助<br>交付額 | 設置者<br>負担額 | 学校名  | 国庫補助<br>交付額 | 設置者<br>負担額 |
|------|-------------|------------|------|-------------|------------|
| 盛岡工業 | 190         | 190        | 水沢   | 212         | 213        |
| 盛岡商業 | 262         | 263        | 水沢商業 | 302         | 303        |
| 花巻農業 | 75          | 75         | 岩谷堂  | 434         | 442        |
| 花北青雲 | 78          | 79         | 一関工業 | 96          | 97         |
| 黒沢尻北 | 520         | 544        | 宮古水産 | 59          | 60         |
| 北上翔南 | 578         | 603        | 宮古工業 | 118         | 118        |
| 計    |             |            |      | 2,924       | 2,987      |

(イ) 中学校

[単位：千円]

| 学校名     | 国庫補助<br>交付額 | 設置者<br>負担額 |
|---------|-------------|------------|
| 一関一高付属中 | 288         | 310        |

(ウ) 特別支援学校

[単位：千円]

| 学校名 | 国庫補助<br>交付額 | 設置者<br>負担額 |
|-----|-------------|------------|
| -   | -           | -          |

イ 学校種別現有状況（平成21年度末）

[単位：校、千円、%]

| 区分   | 学校種別   | 学校数 | 基準総額[A]   | 現有の状況   |          | 平成22年度補助金<br>交付校数 |
|--|--------|-----|-----------|---------|----------|-------------------|
|  |        |     |           | 現有金額[B] | 現有率[B/A] |                   |
| 1項第1号に基づく補助<br>理科教育振興法第9条第<br>算数数学特別<br>設備 | 中学校    | 1   | 27,745    | 607     | 2.2      | 1                 |
|  | 高等学校   | 72  | 5,880,528 | 744,457 | 12.7     | 12                |
|  | 特別支援学校 | 14  | 921,560   | 34,190  | 3.7      | 0                 |
|  | 計      | 87  | 6,829,833 | 779,254 | 11.4     | 13                |
|  | 中学校    | 1   | 4,037     | 0       | 0        | 0                 |
|  | 高等学校   | 72  | 983,592   | 25,235  | 2.6      | 0                 |
|  | 特別支援学校 | 14  | 100,161   | 7,312   | 7.3      | 0                 |
|  | 計      | 87  | 1,087,790 | 32,547  | 2.9      | 0                 |

(注) 1 県立学校分を記載

2 一関一高付属中学校は、平成21年4月開校



第3章 教育施策の推進状況

第6節 学校教育を支える教育環境の充実

第4 教育環境整備への支援

(6) 平成22年度情報処理教育設備

| 整備学校名  | 整備金額       |
|--|------------|
| <b>【高等学校】 21 校</b><br>盛岡工業、雫石、紫波総合、花巻北、花巻南、花巻農業、黒沢尻北、北上翔南、黒沢尻工業、水沢商業、金ケ崎、岩谷堂、一関第一、一関工業、大東、遠野、大船渡東、釜石商工、久慈東、福岡、福岡工業 | 104,958 千円 |

2 市町村立学校の教育環境整備への支援

(1) 市町村立小中学校の施設及び校地の保有状況

【公立学校施設の保有状況】

[単位：㎡]

| 区分  | 必要面積<br>[a] | 保有面積      |                      |                    | 計 [b]             | 整備資格面積<br>(注2) [c] | c/a     | 危険面積<br>(注3) [d] | d/b    |      |
|-----|-------------|-----------|----------------------|--------------------|-------------------|--------------------|---------|------------------|--------|------|
|     |             | 鉄筋コンクリート造 | 鉄骨その他造               | 木造                 |                   |                    |         |                  |        |      |
| 小学校 | 校舎          | 1,245,170 | (89.8%)<br>1,032,212 | (3.1%)<br>35,738   | (7.1%)<br>82,059  | 1,150,009          | 171,380 | 13.8%            | 25,410 | 2.2% |
|     | 屋体          | 396,498   | (16.4%)<br>51,185    | (80.3%)<br>251,002 | (3.4%)<br>10,535  | 312,722            | 90,414  | 22.8%            | 4,499  | 1.4% |
|     | 計           | 1,641,668 | (74.1%)<br>1,083,397 | (19.6%)<br>286,740 | (6.3%)<br>92,594  | 1,462,731          | 261,794 | 15.9%            | 29,909 | 2.0% |
| 中学校 | 校舎          | 680,691   | (92.8%)<br>630,454   | (3.0%)<br>19,688   | (4.3%)<br>29,279  | 679,421            | 50,929  | 7.5%             | 32,776 | 4.8% |
|     | 屋体          | 230,308   | (18.0%)<br>35,665    | (79.8%)<br>158,484 | (2.3%)<br>4,522   | 198,671            | 42,132  | 18.3%            | 3,027  | 1.5% |
|     | 計           | 910,999   | (75.9%)<br>666,119   | (20.3%)<br>178,172 | (4.8%)<br>33,801  | 878,092            | 93,061  | 10.2%            | 35,803 | 4.1% |
| 合計  | 校舎          | 1,925,861 | (90.9%)<br>1,662,666 | (3.0%)<br>55,426   | (6.1%)<br>111,338 | 1,829,430          | 222,309 | 11.5%            | 58,186 | 3.2% |
|     | 屋体          | 626,806   | (17.0%)<br>86,850    | (80.1%)<br>409,486 | (2.9%)<br>15,057  | 511,393            | 132,546 | 21.1%            | 7,526  | 1.5% |
|     | 計           | 2,552,667 | (74.7%)<br>1,749,516 | (19.9%)<br>464,912 | (5.4%)<br>126,395 | 2,340,823          | 354,855 | 13.9%            | 65,712 | 2.8% |

注1：平成22年度の公立学校施設台帳を集計したもの。保有面積欄の上段の数値は、構成比。

2：整備資格面積とは、各学校ごとに必要面積から保有面積を差し引いた面積（負数となる場合は、ゼロとする）。

3：危険面積とは、耐力度点数が、鉄筋造及び鉄骨造にあっては4,500点以下、木造にあっては5,500点以下の建物の面積。ただし、平成19年度までに実施した耐力度調査の結果が5,000点以下のものも含む。

第3章 教育施策の推進状況

第6節 学校教育を支える教育環境の充実

第4 教育環境整備への支援

【公立学校校地の保有状況】

[単位：㎡]

| 区分  | 保有校地面積    |           |           |            | 借用校地面積  |
|-----|-----------|-----------|-----------|------------|---------|
|     | 建物敷地      | 運動場       | 実験実習地その他  | 小計         |         |
| 小学校 | 2,543,281 | 3,321,056 | 1,287,014 | 7,151,351  | 114,525 |
| 中学校 | 1,663,977 | 2,763,793 | 842,313   | 5,270,083  | 113,662 |
| 計   | 4,207,258 | 6,084,849 | 2,129,327 | 12,421,434 | 228,187 |

(2) 市町村立幼稚園及び市町村立小中学校の整備状況

【事業別の状況】

[単位：㎡、千円]

| 区分        | 単年度事業 |         |           | 国債事業 |        |          | 計   |         |           |
|-----------|-------|---------|-----------|------|--------|----------|-----|---------|-----------|
|           | 事業数   | 補助対象面積  | 負担(交付)金額  | 事業数  | 補助対象面積 | 負担(交付)金額 | 事業数 | 補助対象面積  | 負担(交付)金額  |
| 小学校・校舎    | 1     | 270     | 21,802    | 5    | 7,791  | 190,388  | 6   | 8,061   | 212,190   |
| 中学校・校舎    | 1     | 738     | 72,761    |      |        |          | 1   | 738     | 72,761    |
| 小学校・屋体    |       |         |           | 2    | 520    | 41,405   | 2   | 520     | 41,405    |
| 中学校・屋体    |       |         |           | 1    | 191    | 21,904   | 1   | 191     | 21,904    |
| 統合        | 2     | 7,146   | 467,517   |      |        |          | 2   | 7,146   | 467,517   |
| 危険建築      | 19    | 14,310  | 1,336,489 |      |        |          | 19  | 14,310  | 1,336,489 |
| 不適格(地震)改築 | 20    | 9,157   | 833,557   |      |        |          | 20  | 9,157   | 833,557   |
| 大規模改築     | 10    | 17,440  | 221,254   |      |        |          | 10  | 17,440  | 221,254   |
| 地震補強      | 32    | 51,293  | 724,571   |      |        |          | 32  | 51,293  | 724,571   |
| その他       | 62    | 113,370 | 1,046,980 |      |        |          | 62  | 113,370 | 1,046,980 |
| 合計        | 147   | 213,724 | 4,724,931 | 8    | 8,502  | 253,697  | 155 | 222,226 | 4,978,628 |

注：「屋体」は屋内体育館、「その他」は学校水泳プール、調理場、グラウンド、太陽光発電等の整備

第3章 教育施策の推進状況

第6節 学校教育を支える教育環境の充実

第4 教育環境整備への支援

【市町村別の状況（単年度事業分）】

[単位：㎡、千円]

| 市町村名 | 学校名        | 補助対象面積 |     |    |    |       |       |       |     |           |    |       |       | 負担(交付)金額 |        |         | 備考      |                 |       |
|------|------------|--------|-----|----|----|-------|-------|-------|-----|-----------|----|-------|-------|----------|--------|---------|---------|-----------------|-------|
|      |            | 小校     | 中校  | 小屋 | 中屋 | 統合    |       | 危険改築  |     | 不適格(地震)改築 |    | 合計    |       | 大規模改造    | 地震補強   | その他     |         |                 |       |
|      |            |        |     |    |    | 校舎    | 屋体    | 校舎    | 屋体  | 校舎        | 屋体 | 校舎    | 屋体    |          |        |         |         |                 |       |
| 盛岡市  | 厨川小        |        |     |    |    |       |       |       |     |           |    |       |       |          | 80,012 |         | 80,012  |                 |       |
|      | 松園小        |        |     |    |    |       |       |       |     |           |    |       |       |          |        | 10,000  | 10,000  | 太陽光発電           |       |
|      | 都南東小       |        |     |    |    |       |       |       |     |           |    |       |       |          |        | 10,000  | 10,000  | 太陽光発電           |       |
|      | 繫小         |        |     |    |    |       |       | 241   |     | 2         |    | 243   |       |          |        | 11,172  | 33,042  | 調理場             |       |
|      | 渋民小        |        |     |    |    |       |       |       |     |           |    |       |       |          |        | 14,078  | 14,078  | グラウンド           |       |
|      | 下橋中        |        |     |    |    |       |       |       |     |           |    |       |       |          | 68,551 |         | 68,551  |                 |       |
|      | 藪川中        |        |     |    |    |       |       |       |     |           |    |       |       |          | 5,132  |         | 5,132   |                 |       |
|      | 厨川中        |        |     |    |    |       |       |       |     | 1,665     |    | 1,665 |       |          |        |         |         | 53,076          |       |
|      | 城東中        |        |     |    |    |       |       |       |     | 581       |    | 581   |       |          |        |         |         | 106,900         |       |
|      | 飯岡中        |        |     |    |    |       |       |       |     |           |    |       |       |          |        |         | 10,000  | 10,000          | 太陽光発電 |
| 岩手町  | 沼宮内小       |        |     |    |    |       |       |       |     |           |    |       |       |          | 2,380  |         | 2,380   |                 |       |
|      | 川口中        |        |     |    |    |       |       |       |     |           |    |       |       |          | 23,025 |         | 23,025  |                 |       |
|      | 地域スポーツセンター |        |     |    |    |       |       |       |     |           |    |       |       |          |        | 286,666 | 286,666 | スポーツセンター        |       |
| 葛巻町  | 葛巻小        |        |     |    |    |       |       |       |     | 807       |    | 807   |       |          |        |         | 97,036  |                 |       |
| 八幡平市 | 柏台小        |        |     |    |    |       |       |       |     |           |    |       |       |          | 25,735 |         | 25,735  |                 |       |
|      | 安代中        |        |     |    |    |       |       |       |     |           |    |       |       |          | 44,243 |         | 44,243  |                 |       |
| 滝沢村  | 滝沢第二小      |        |     |    |    |       |       |       |     |           |    |       |       | 6,686    |        |         | 6,686   |                 |       |
|      | 鶴飼小        |        |     |    |    |       |       |       |     |           |    |       |       | 7,300    |        |         | 7,300   |                 |       |
|      | 姥屋敷小       |        |     |    |    |       |       | 79    |     |           |    | 79    |       |          |        |         |         | 4,411           |       |
| 紫波町  | 紫波第三中      |        |     |    |    |       |       |       |     |           |    |       |       |          | 49,225 |         | 49,225  |                 |       |
| 矢巾町  | 徳田小        |        |     |    |    |       |       |       |     |           |    |       |       |          | 67,071 |         | 67,071  |                 |       |
|      | 煙山小        |        |     |    |    |       |       |       |     |           |    |       |       |          | 19,316 |         | 19,316  |                 |       |
|      | 不動小        |        |     |    |    |       |       |       |     |           |    |       |       |          | 58,657 |         | 58,657  |                 |       |
|      | 矢巾中        |        |     |    |    |       |       | 1,096 | 174 | 484       | 14 | 1,580 | 188   |          |        | 10,593  | 129,812 |                 |       |
| 花巻市  | 東和小        |        |     |    |    | 5,888 | 1,258 |       |     |           |    | 5,888 | 1,258 |          |        | 47,575  | 515,092 | 太陽光発電、グラウンド、プール |       |
|      | 笹間第一小      |        |     |    |    |       |       |       |     |           |    |       |       | 2,521    |        |         | 2,521   |                 |       |
|      | 八重畑小       |        |     |    |    |       |       |       |     |           |    |       |       | 2,860    |        |         | 2,860   |                 |       |
|      | 西南中        |        |     |    |    |       |       |       |     |           |    |       |       |          |        | 22,098  | 22,098  | グラウンド、プール       |       |
|      | 石鳥谷中       |        |     |    |    |       |       |       |     |           |    |       |       |          |        | 45,996  | 45,996  | グラウンド、プール、屋外照明  |       |
| 北上市  | 江釣子小       |        |     |    |    |       |       |       |     |           |    |       |       | 55,101   |        |         | 55,101  |                 |       |
|      | 北上中        |        |     |    |    |       |       |       |     |           |    |       |       |          | 32,814 |         | 32,814  |                 |       |
|      | 南中         |        | 738 |    |    |       |       | 2,078 |     | 419       |    | 3,235 |       |          |        |         | 262,817 |                 |       |
| 西和賀町 | 川舟小        |        |     |    |    |       |       |       |     |           |    |       |       |          | 9,786  |         | 9,786   |                 |       |
|      | 沢内中        |        |     |    |    |       |       |       |     |           |    |       |       |          | 9,086  |         | 9,086   |                 |       |
| 奥州市  | 羽田小        |        |     |    |    |       |       |       |     |           |    |       |       |          | 933    |         | 933     |                 |       |
|      | 田原小        |        |     |    |    |       |       | 668   |     | 11        |    | 679   |       |          |        |         | 92,897  |                 |       |
|      | 真城小        |        |     |    |    |       |       | 414   |     | 364       |    | 778   |       |          |        |         | 49,338  |                 |       |
|      | 岩谷堂小       |        |     |    |    |       |       | 1,454 |     | 52        | 80 | 1,506 | 80    |          |        |         | 66,666  |                 |       |
|      | 胆沢第一小      |        |     |    |    |       |       |       |     |           |    |       |       | 38,295   |        |         | 38,295  |                 |       |
|      | 水沢中        |        |     |    |    |       |       |       |     |           |    |       |       |          | 7,192  |         | 7,192   |                 |       |
| 金ヶ崎町 | 第一小        |        |     |    |    |       |       |       |     | 1,900     |    | 1,900 |       |          |        |         | 213,758 |                 |       |
|      | 永岡小        |        |     |    |    |       |       |       |     | 1,900     |    | 1,900 |       |          |        |         | 155,166 |                 |       |
|      | 金ヶ崎小       |        |     |    |    |       |       |       |     |           |    |       |       |          | 1,100  |         | 1,100   |                 |       |
|      | 金ヶ崎中       |        |     |    |    |       |       |       |     |           |    |       |       |          | 16,621 |         | 16,621  |                 |       |

第3章 教育施策の推進状況

第6節 学校教育を支える教育環境の充実

第4 教育環境整備への支援

| 市町村名 | 学校名          | 補助対象面積 |     |    |    |       |       |        |       |               |       |        |       | 負担(交付)金額  |          |           |           | 備考            |     |
|------|--------------|--------|-----|----|----|-------|-------|--------|-------|---------------|-------|--------|-------|-----------|----------|-----------|-----------|---------------|-----|
|      |              | 小校     | 中校  | 小屋 | 中屋 | 統合    |       | 危険改築   |       | 不適格<br>(地震)改築 |       | 合計     |       | 大規模<br>改造 | 地震<br>補強 | その他       |           |               |     |
|      |              |        |     |    |    | 校舎    | 屋体    | 校舎     | 屋体    | 校舎            | 屋体    | 校舎     | 屋体    |           |          |           |           |               |     |
| 一関市  | 南小           |        |     |    |    |       |       |        |       |               |       |        |       |           |          | 11,817    | 11,817    | 太陽光発電         |     |
|      | 涌津小          |        |     |    |    |       |       |        |       |               |       |        |       | 23,500    |          | 11,817    | 35,317    | 太陽光発電         |     |
|      | 大原小          |        |     |    |    |       |       |        |       |               |       |        |       |           |          | 14,706    | 14,706    | グラウンド         |     |
|      | 日形小          |        |     |    |    |       |       |        |       |               |       |        |       |           | 1,764    |           | 1,764     |               |     |
|      | 千厩小          |        |     |    |    |       |       |        |       |               |       |        |       |           | 4,316    |           | 4,316     |               |     |
|      | 山目中          |        |     |    |    |       |       |        |       |               |       |        |       |           |          |           | 38,453    | 38,453        | 武道場 |
|      | 萩荘中          |        |     |    |    |       |       |        | 565   |               | 597   |        | 1,162 |           |          |           |           | 150,540       |     |
| 平泉町  | 平泉中          |        |     |    |    |       |       | 1,997  |       | 59            |       | 2,056  |       |           |          | 9,908     | 192,416   | 太陽光発電         |     |
| 住田町  | 世田米小         |        |     |    |    |       |       |        |       |               |       |        |       |           |          | 12,108    | 12,108    | 太陽光発電         |     |
|      | 有住小          |        |     |    |    |       |       |        |       |               |       |        |       |           |          | 12,107    | 12,107    | 太陽光発電         |     |
| 大船渡市 | 盛小           |        |     |    |    |       |       | 1,712  |       |               |       | 1,712  |       |           |          |           | 138,329   |               |     |
| 遠野市  | 綾織小          |        |     |    |    |       |       | 1,571  |       |               |       | 1,571  |       |           |          | 9,000     | 211,290   | 太陽光発電         |     |
|      | 遠野北小         | 270    |     |    |    |       |       |        |       |               |       | 270    |       |           |          | 4,000     | 25,802    | グラウンド         |     |
| 山田町  | 豊間根中         |        |     |    |    |       |       |        |       |               |       |        |       |           |          | 26,804    | 26,804    | 武道場           |     |
| 岩泉町  | 岩泉小まか        |        |     |    |    |       |       |        |       |               |       |        |       |           |          | 174,101   | 174,101   | 太陽光発電         |     |
|      | 小本小<br>大牛内分校 |        |     |    |    |       |       | 413    |       |               |       | 413    |       |           |          |           | 45,430    |               |     |
| 久慈市  | 久慈小まか        |        |     |    |    |       |       |        |       |               |       |        |       |           |          | 1,915     | 1,915     | 地デジ           |     |
|      | 久慈中          |        |     |    |    |       |       |        |       |               |       |        |       |           | 21,722   |           | 21,722    |               |     |
| 野田村  | 野田小          |        |     |    |    |       |       |        |       |               |       |        |       |           |          | 20,175    | 20,175    | 太陽光発電         |     |
|      | 野田中          |        |     |    |    |       |       |        |       |               |       |        |       |           |          | 21,872    | 21,872    | 武道場           |     |
| 二戸市  | 仁左平小まか       |        |     |    |    |       |       |        |       |               |       |        |       |           |          | 1,448     | 1,448     | 地デジ           |     |
|      | 浄法寺小         |        |     |    |    |       |       | 1,256  | 289   | 219           |       | 1,475  | 289   |           |          | 16,817    | 269,433   | グラウンド         |     |
|      | 中央小          |        |     |    |    |       |       |        |       |               |       |        |       |           | 47,559   |           | 47,559    |               |     |
|      | 御返地中         |        |     |    |    |       |       |        |       |               |       |        |       |           | 2,702    |           | 2,702     |               |     |
|      | 金田一中         |        |     |    |    |       |       |        |       |               |       |        |       |           | 41,908   |           | 41,908    |               |     |
| 一戸町  | 奥中山中         |        |     |    |    |       |       |        |       |               |       |        |       |           | 67,373   |           | 67,373    |               |     |
| 洋野町  | 種市中          |        |     |    |    |       |       |        |       |               |       |        |       |           |          | 20,200    | 20,200    | グラウンド         |     |
|      | 大野第一中        |        |     |    |    |       |       |        |       |               |       |        |       | 84,991    |          |           | 84,991    |               |     |
| 田野畑村 | 田野畑中         |        |     |    |    |       |       |        |       |               |       |        |       |           |          | 10,468    | 10,468    | グラウンド         |     |
| 軽米町  | 軽米小          |        |     |    |    |       |       |        |       |               |       |        |       |           |          | 16,097    | 16,097    | 太陽光発電         |     |
|      | 晴山小          |        |     |    |    |       |       |        |       |               |       |        |       |           |          | 37,863    | 37,863    | プール、<br>グラウンド |     |
|      | 小軽米小         |        |     |    |    |       |       |        |       |               |       |        |       |           |          | 13,697    | 13,697    | 太陽光発電         |     |
|      | 笹渡小          |        |     |    |    |       |       |        |       |               |       |        |       |           |          | 7,653     | 7,653     | 太陽光発電         |     |
|      | 軽米中          |        |     |    |    |       |       |        |       |               |       |        |       |           |          | 67,814    | 67,814    | 武道場、<br>太陽光発電 |     |
|      | 晴山中          |        |     |    |    |       |       |        |       |               |       |        |       |           | 16,348   | 7,679     | 24,027    | 太陽光発電         |     |
|      | 小軽米中         |        |     |    |    |       |       |        |       |               |       |        |       |           |          | 10,283    | 10,283    | 太陽光発電         |     |
| 計    |              | 270    | 738 |    |    | 5,888 | 1,258 | 12,738 | 1,572 | 7,654         | 1,503 | 27,288 | 4,333 | 221,254   | 724,571  | 1,046,980 | 4,724,931 |               |     |

※ 平成18年度から「安全・安心な学校づくり交付金」が制度化されたことにより、交付単位が事業ごとから設置者ごとになったが、本表は充当状況(予定)報告に基づき作成したもの。

### 第3章 教育施策の推進状況

#### 第6節 学校教育を支える教育環境の充実

##### 第4 教育環境整備への支援

#### 【市町村別の状況（国債事業分）】

[単位：㎡、千円]

| 市町村名 | 学校名  | 補助対象面積 |    |     |     |    |    | 負担金交付決定額 |     | 備考      |         |             |
|------|------|--------|----|-----|-----|----|----|----------|-----|---------|---------|-------------|
|      |      | 小校     | 中校 | 小屋  | 中屋  | 統合 |    | 合計       |     |         |         |             |
|      |      |        |    |     |     | 校舎 | 屋体 | 校舎       | 屋体  |         |         |             |
| 盛岡市  | 向中野小 | 5,296  |    |     |     |    |    | 5,296    |     | 416,416 | 97,511  | 一部H23に繰越    |
|      | 繫小   |        |    | 152 |     |    |    |          | 152 | 17,432  | 17,432  | H21分をH22に繰越 |
|      | 繫中   |        |    |     | 191 |    |    |          | 191 | 21,904  | 21,904  | H21分をH22に繰越 |
| 奥州市  | 田原小  | 341    |    |     |     |    |    | 341      |     | 31,960  | 19,176  |             |
|      | 真城小  | 172    |    |     |     |    |    | 172      |     | 15,660  | 2,911   | 一部H23に繰越    |
|      | 岩谷堂小 | 1,027  |    |     |     |    |    | 1,027    |     | 93,509  | 17,084  | 一部H23に繰越    |
| 二戸市  | 浄法寺小 | 955    |    | 368 |     |    |    | 955      | 368 | 129,465 | 77,679  |             |
| 計    |      | 7,791  |    | 520 | 191 |    |    | 7,791    | 711 | 726,346 | 253,697 |             |

### (3) 理科教育等設備

#### (ア) 平成22年補助金交付状況

[単位：千円]

| 市町村        | 理科設備        | 算数・数学設備        | 計        |
|------------|-------------|----------------|----------|
| 盛岡市        | 1,879       | 0              | 1,879    |
| 岩手町        | 500         | 0              | 500      |
| 葛巻町        | 500         | 0              | 500      |
| 八幡平市       | 1,116       | 0              | 1,116    |
| 滝沢村        | 650         | 77             | 727      |
| 紫波町        | 721         | 0              | 721      |
| 花巻市        | 704         | 0              | 704      |
| 遠野市        | 1,160       | 30             | 1,190    |
| 北上市        | 651         | 14             | 665      |
| 奥州市        | 1,041       | 622            | 1,663    |
| <b>市町村</b> | <b>理科設備</b> | <b>算数・数学設備</b> | <b>計</b> |
| 一関市        | 1,524       | 0              | 1,524    |
| 平泉町        | 653         | 56             | 709      |
| 藤沢町        | 400         | 100            | 500      |
| 陸前高田市      | 1,131       | 0              | 1,131    |
| 釜石市        | 500         | 133            | 633      |
| 宮古市        | 685         | 0              | 685      |
| 山田町        | 897         | 0              | 897      |
| 岩泉町        | 415         | 85             | 500      |
| 久慈市        | 1,998       | 0              | 1,998    |
| 洋野町        | 491         | 54             | 545      |
| 軽米町        | 737         | 0              | 737      |
| 九戸村        | 515         | 0              | 515      |
| 一戸町        | 547         | 203            | 750      |
| 計          | 19,415      | 1,374          | 20,789   |

第3章 教育施策の推進状況

第6節 学校教育を支える教育環境の充実

第4 教育環境整備への支援

(イ) 学校種別現有状況 (平成21年度末)

[単位：校、千円、%]

| 区 分                    | 学校種別     | 学校数  | 基準総額[A] | 現有の状況      |           | 平成22年度補助金交付校数 |     |
|------------------------|----------|------|---------|------------|-----------|---------------|-----|
|                        |          |      |         | 現有金額[B]    | 現有率[B/A]  |               |     |
| 理科教育振興法第9条第1項第1号に基づく補助 | 理科設備     | 小学校  | 410     | 6,475,026  | 1,407,318 | 21.7          | 161 |
|                        |          | 中学校  | 191     | 5,364,337  | 1,112,481 | 20.7          | 76  |
|                        |          | 高等学校 | 1       | 81,674     | 12,851    | 15.7          | 0   |
|                        |          | 計    | 602     | 11,921,037 | 2,532,650 | 21.2          | 237 |
|                        | 算数数学特別設備 | 小学校  | 410     | 894,120    | 146,456   | 16.4          | 36  |
|                        |          | 中学校  | 191     | 788,505    | 76,187    | 9.7           | 8   |
|                        |          | 高等学校 | 1       | 13,661     | 0         | 0.0           | 0   |
|                        |          | 計    | 602     | 1,696,286  | 222,643   | 13.1          | 44  |

## 第7節 教育振興運動を基盤とした地域ぐるみで取り組む教育の推進

### 第1 学校・家庭・地域が連携するための仕組みづくり

目標達成型の学校経営の取組と教育振興運動が軌を一にして展開することにより、学校、家庭、地域が一体となって、地域ぐるみで子どもを育てていく環境づくりを推進した。

#### 1 青少年の学習活動の支援

##### (1) 「いわて教育の日」推進事業

###### ア 趣 旨

県民の教育に対する関心と理解を深め、学校、家庭及び地域社会が連携して、次代を担う豊かな人間性を備えた子どもを育成するため、県民一人一人が教育の重要性を認識し、本県における教育のあり方を考える契機として、いわて教育の日を設け、本県における教育の充実と発展に資することを目的に、平成17年3月に県議会で「いわて教育の日に関する条例」が制定され、平成17年4月から施行された。

この条例の目的の実現を図るため、教育に関する活動の奨励、広報その他の取組を行うとともに、市町村や関係団体の取組もあわせて実施状況を取りまとめた。

○いわて教育の日 11月1日                      ○教育週間 11月1日～7日

###### イ 「いわて教育の日」県教育委員会主催事業

「いわて教育の日」記念行事

テーマ 『みんなではぐくむ学びの場いわて』

期 日 平成22年11月1日（月）

会 場 いわて県民情報交流センター7階 アイーナホール

参加者 県内教育関係者及び一般県民約550人

内容

第1部 記念式典

○教育表彰 5団体、22個人（⇒19～20ページ「平成22年度岩手県教育表彰」（1）事績顕著者を参照）

第2部 児童生徒による発表

○雫石町立大村小学校 山祇（やまつみ）神楽保存会

「山祇神楽」 演目「鶏舞」

○岩手県立久慈高等学校マンドリン部

曲目 「Oriental Wind」 「星空のコンチェルト」

第3部 記念講演

演題 「『個』と『ひとり』 —こころを育むとは—

講師 山折 哲雄 氏（宗教学者）

###### ウ 「いわて教育の日」関連事業

「いわて教育の日」前後の10月と11月の2箇月間に実施される、県・市町村・学校・民間団体などによる教育・文化・スポーツ・青少年健全育成等の教育関連事業（行事）を、「いわて教育の日」関連事業として県教育委員会のホームページで周知し、広く参加を求



めることにより、教育振興の機運の醸成を図った。

登録事業数：834事業

参加予定者数：延べ357,088人

## (2) 地域の教育力向上支援事業

学校教育と社会教育の連携をコーディネートする「地域教育推進員配置事業」の成果を踏まえ、地域連携窓口教員に対する研修の機会の充実を通して地域全体の教育力向上を支援した。

ア 公立小中学校の校内体制としての「地域教育担当（地域連携担当）」係の位置付けを推進し、公立小中学校では全校で位置付けられた（平成22年5月調査）。

イ 小中学校教員に対しては初任者研修及び教職10年研修において、県立学校教員に対しては教職10年研修において研修を実施し、周知・啓発を図った。

## (3) 子どもの読書活動の推進

平成21年6月に策定した「いわて子ども読書プラン2009」により、子どもの読書活動推進事業として次の事業を実施した。

### ア 読書ボランティアのための研修会

|        |                   |                        |        |
|--------|-------------------|------------------------|--------|
| 盛岡地区   | 平成22年9月14日        | 矢巾町公民館                 | 94人参加  |
| 中部地区   | 各図書館や市町を中心に計12回開催 | 7月～2月                  | 299人参加 |
| 県南地区   | 平成22年10月2日        | 一関市川崎公民館               | 39人参加  |
|        | 平成22年9月3日         | 奥州市水沢メイプル              | 100人参加 |
|        |                   | （学校図書館担当者研修会との連携により実施） |        |
| 宮古地区   | 平成22年7月29日        |                        | 44名参加  |
| 県北地区   | 平成22年8月31日        | 久慈地区                   | 32人参加  |
|        | 平成22年8月28日        | 二戸地区                   | 14人参加  |
| 推進センター | 平成22年6月22日        | 生涯学習推進センター             | 239人参加 |

### イ 学校図書館担当者研修会

|      |            |        |
|------|------------|--------|
| 盛岡地区 | 平成22年8月10日 | 166人参加 |
| 県南地区 | 平成22年9月3日  | 100人参加 |
| 宮古地区 | 平成22年8月6日  | 85人参加  |

### ウ 中高生のための読書ボランティア研修会

|           |            |       |
|-----------|------------|-------|
| 県南青少年の家   | 平成22年9月26日 | 34人参加 |
| 県北青少年の家   | 平成22年6月5日  | 65人参加 |
| 陸中海岸青少年の家 | 平成22年9月18日 | 26人参加 |

### エ 読書活動の普及・啓発

(ア) 子育てに活かす読書活動推進フォーラムの開催

平成22年10月24日 アイーナ 400人参加

(イ) 「いわて子ども読書プラン2009」の周知

啓発リーフレットを作成し、配布するとともに、HP、各種研修会等を通じた周知を行った。

(ウ) 「いわての中高生のためのおすすめ図書100選」を作成

県内全ての中高生に等に配付啓発

### 第3章 教育施策の推進状況

#### 第7節 教育振興運動を基盤とした地域ぐるみで取り組む教育の推進

##### 第1 学校・家庭・地域が連携するための仕組みづくり

学校や図書館等関係機関共通の指導資料として活用

#### オ 読書活動の推進体制の整備

(ア) 岩手県子どもの読書活動推進委員会

平成22年5月25日 盛岡合同庁舎

平成23年3月11日 盛岡合同庁舎

(イ) 各地区推進体制の整備

2回程度

#### (4) 教育振興運動

平成22年度は、「みんなで教振！10か年プロジェクト」の第2ステージ「実践の3年」の最終年次として、次の事項を重点事項として運動を推進した。

○ 平成17年度に開発し、平成18年度～19年度に実践研究を行った教育振興運動モデルプログラムを全県的に展開し、課題解決のための取組みを推進する。

○ 全県共通課題（「家庭学習の充実」、「読書活動の推進」）を設定し、県内各市町村実践組織においての取組みを支援する。

#### ア 県段階における推進活動

(ア) 幹事会（年2回）

幹事会では、「みんなで教振！10か年プロジェクト」の推進方策について検討を行った。

また、各教育事務所が開催する推進研修会に出席し、地域の実態把握に努めた。

(イ) 市町村担当者研修会

「みんなで教振！10か年プロジェクト」について共通理解を図るなど、運動推進についての研修を行った。

|       |            |      |               |
|-------|------------|------|---------------|
| a 期日  | 平成22年5月14日 | d 内容 | 教育振興運動の説明     |
| b 会場  | 岩手県立博物館    |      | 講話            |
| c 参加者 | 80人        |      | 全県共通課題の事例紹介 等 |

(ウ) 市町村実践組織関係者研修会

市町村における多くの実践区関係者に対し、教育振興運動の基本理念と今年度の方針・重点の理解を図るとともに、地域課題の掘り起こしと課題解決の方法についての研修を行いリーダー養成を図った。

a 期日、会場……盛岡地区：4月14日八幡平市会場・4月14日滝沢村会場、4月27日岩手町会場  
中部地区：6月10日花巻市会場、9月30日花巻市会場  
県南地区：2月20日平泉町会場、3月5日奥州市会場  
沿岸南部地区：5月27日大槌町会場、6月23日釜石市会場  
宮古地区：11月14日宮古市会場、県北地区：5月10日軽米町会場、1月11日久慈市会場

b 内容………・教育振興運動の説明  
・ワークショップ

c 参加者………計907人

(エ) 教育振興運動推進研修会

市町村、地区の推進組織や実践組織のリーダー等及び地域連携窓口教員を対象に実施し、運動の進め方について共通理解を図った。

a 期日、会場……盛岡地区：6月1日矢巾町会場  
中部地区：6月8日花巻市会場、6月25日北上市会場  
県南地区：6月15日一関市会場、6月23日奥州市会場  
沿岸南部地区：6月8日住田町会場、6月9日釜石市会場  
宮古地区：6月25日宮古市会場

### 第3章 教育施策の推進状況

#### 第7節 教育振興運動を基盤とした地域ぐるみで取り組む教育の推進

##### 第1 学校・家庭・地域が連携するための仕組みづくり

県北地区：5月28日一戸町会場、5月31日九戸村会場、6月2日軽米町会場、  
6月22日二戸市会場、8月5日久慈市会場

- b 内容……………・教育振興運動の説明  
 ・地域連携窓口教員の役割の説明  
 ・教育事務所管内の学習状況、読書状況について  
 ・教育事務所管内各校の共通課題における事例研究
- c 参加者……………計1,239人

#### (エ) チーム教振派遣事業

教育振興運動モデルプログラムを実施する際のアドバイスや運動推進上の課題解決を支援するため、「チーム教振」を派遣した。

- a 派遣先：花巻市、奥州市、釜石市、一関市、田野畑村、大槌町、久慈市  
 b 支援内容：教育振興運動モデルプログラム推進のための支援、教育振興運動推進上の課題解決のための支援  
 c チーム教振メンバー：県社会教育関係OB4人、県社会教育関係者21人

#### イ 市町村段階における推進活動

##### (ア) 推進組織の状況

|                 |       |
|-----------------|-------|
| 単独の組織で教育振興運動を推進 | 31市町村 |
| 他の運動体や組織と合わせて推進 | 8市町村  |
| その他（他団体が運動を推進）  | 7市町村  |

※旧市町村単位の組織も1市町村として計上

##### (イ) 実践組織の状況

###### a 実践組織の数

| 区分   | 数(割合)      |
|------|------------|
| 小学校区 | 239(48.8%) |
| 中学校区 | 78(16.1%)  |
| 公民館区 | 24(4.9%)   |
| 町内会区 | 84(17.1%)  |
| その他  | 64(13.1%)  |
| 計    | 489        |

###### b 実践組織が取り組む主題の数（のべ数）

| 区分            | 主題の数  |
|---------------|-------|
| 学習活動          | 816   |
| 社会参加          | 561   |
| 自然体験          | 155   |
| 郷土芸能          | 225   |
| 文化芸能          | 134   |
| 生活健康          | 587   |
| 世代間交流         | 364   |
| 勤労体験          | 200   |
| 国際理解          | 33    |
| スポーツ・レクリエーション | 270   |
| その他           | 33    |
| 計             | 3,378 |

第3章 教育施策の推進状況

第7節 教育振興運動を基盤とした地域ぐるみで取り組む教育の推進

第1 学校・家庭・地域が連携するための仕組みづくり

(5) 学校支援地域本部事業

学校と地域の連携体制を構築し、ボランティアによる多様な形態の教員支援を行い、地域全体で学校教育を支援するとともに、地域の教育力を向上させるため、学校支援地域本部事業を実施した。

ア 岩手県家庭・地域教育力向上支援委員会

(ア) 委員会の開催

(平成22年8月25日、平成23年月  
16日)

(イ) 合同研修会の開催

(平成22年6月4日 109人)

(ウ) 成果発表会の開催

(平成22年11月25日 225人)

(エ) 実地調査

(金ケ崎町、大船渡市、盛岡市)

イ 市町村ごとの事業実施状況

| 市町村名  | 実行委員会               | 本部数  |
|-------|---------------------|------|
| 盛岡市   | 盛岡市学校支援地域本部事業実行委員会  | 5    |
| 八幡平市  | 八幡平市学校支援地域本部事業実行委員会 | 2    |
| 雫石町   | —                   | —    |
| 葛巻町   | —                   | —    |
| 岩手町   | —                   | —    |
| 滝沢村   | —                   | —    |
| 紫波町   | —                   | —    |
| 矢巾町   | 矢巾町学校支援地域本部実行委員会    | 1    |
| 花巻市   | 花巻市実行委員会            | 1    |
| 遠野市   | 遠野市地域教育協議会連絡会       | 2    |
| 北上市   | —                   | —    |
| 西和賀町  | —                   | —    |
| 奥州市   | 奥州市学校支援地域本部事業実行委員会  | 3    |
| 金ケ崎町  | 金ケ崎町学校支援地域本部実行委員会   | 2    |
| 一関市   | 一関市学校支援実行委員会        | 1    |
| 平泉町   | 平泉町学校支援地域本部         | 1    |
| 藤沢町   | —                   | —    |
| 大船渡市  | 大船渡市学校支援地域本部事業実行委員会 | 1    |
| 陸前高田市 | —                   | —    |
| 住田町   | —                   | —    |
| 釜石市   | 釜石市学校支援地域本部事業実行委員会  | 1    |
| 大槌町   | —                   | —    |
| 宮古市   | 宮古市学校支援地域本部事業実行委員会  | 6    |
| 山田町   | —                   | —    |
| 岩泉町   | 岩泉町学校支援地域本部事業実行委員会  | 4    |
| 田野畑村  | 田野畑村実行委員会           | 2    |
| 久慈市   | 久慈市学校支援地域本部実行委員会    | 1    |
| 洋野町   | 地域で子どもを育てる会運営協議会    | 4    |
| 野田村   | 野田小学校区地域教育協議会       | 1    |
| 普代村   | 普代村学校支援地域本部事業実行委員会  | 1    |
| 二戸市   | 二戸市教育振興運動推進協議会      | 2    |
| 軽米町   | 軽米町学校支援実行委員会        | 1    |
| 九戸村   | 九戸村学校支援地域本部事業実行委員会  | 1    |
| 一戸町   | 一戸町学校支援地域本部事業実行委員会  | 3    |
| 計     | 22町村                | 47本部 |

### 第3章 教育施策の推進状況

#### 第7節 教育振興運動を基盤とした地域ぐるみで取り組む教育の推進

##### 第2 多様な体験活動の充実（学習機会の確保）

## 第2 多様な体験活動の充実（学習機会の確保）

放課後子ども教室推進、青少年団体の支援等を通じ、多様な体験活動の充実を図った。  
また、社会教育施設における体験活動の内容の充実を図り、成果の普及に努めた。

### 1 放課後子ども教室

地域に根ざした多様な活動の機会を提供するため、放課後子ども教室事業を実施した。子どもたちの放課後における安全・安心な居場所づくりを進めた。

#### (1) 岩手県放課後子どもプラン推進委員会

##### ア 推進委員会の開催

（平成22年5月21日、平成23年2月21日）

##### イ 指導者合同研修会の開催

（平成22年7月3日 212人、9月13日 146人、12月6日 170人）

##### ウ 実地調査

（紫波町、北上市、奥州市、一関市、野田村）

#### (2) 市町村ごとの事業実施状況

| 市町村名 | 運営委員会 | 子ども教室数 |
|------|-------|--------|
| 盛岡市  | ○     | 6      |
| 八幡平市 | —     | —      |
| 雫石町  | —     | —      |
| 葛巻町  | ○     | 4      |
| 岩手町  | —     | —      |
| 滝沢村  | ○     | 2      |
| 紫波町  | ○     | 4      |
| 矢巾町  | ○     | 4      |
| 花巻市  | ○     | 9      |
| 遠野市  | ○     | 11     |
| 北上市  | ○     | 4      |
| 西和賀町 | —     | —      |
| 奥州市  | ○     | 12     |
| 金ケ崎町 | ○     | 1      |
| 一関市  | ○     | 20     |
| 平泉町  | ○     | 2      |
| 大船渡市 | —     | —      |

|       |       |       |
|-------|-------|-------|
| 陸前高田市 | ○     | —     |
| 住田町   | ○     | 2     |
| 釜石市   | ○     | 4     |
| 大槌町   | —     | —     |
| 宮古市   | ○     | 9     |
| 山田町   | ○     | 4     |
| 岩泉町   | ○     | —     |
| 田野畑村  | ○     | 1     |
| 川井村   | ○     | 5     |
| 久慈市   | ○     | 8     |
| 洋野町   | ○     | 6     |
| 野田村   | —     | —     |
| 普代村   | ○     | 1     |
| 二戸市   | ○     | 6     |
| 軽米町   | ○     | 5     |
| 九戸村   | ○     | 4     |
| 一戸町   | ○     | 5     |
| 計     | 26市町村 | 134教室 |

### 2 少年団活動の支援

#### (1) 子ども会等少年団体の組織状況（平成22年4月1日現在）

| 団体名     | 団体数 | 会員人数   |
|---------|-----|--------|
| ボーイスカウト | 24  | 900    |
| ガールスカウト | 14  | 258    |
| 地域子ども会  | 18  | 31,955 |

### 第3章 教育施策の推進状況

#### 第7節 教育振興運動を基盤とした地域ぐるみで取り組む教育の推進

##### 第2 多様な体験活動の充実（学習機会の確保）

#### (2) 少年団体の活動状況

| 団体名              | 主な事業                      |
|------------------|---------------------------|
| 日本ボーイスカウト岩手連盟    | 指導者育成事業／プログラム事業           |
| ガールスカウト日本連盟岩手県支部 | リーダー養成講習会／ガールスカウト支部ギャザリング |
| 岩手県子ども会育成連合会     | 子ども会活動活性化事業／指導者世話人研修会     |

### 3 青年団体活動の支援

#### (1) 組織状況（平成22年4月1日現在）

| 団体名        | 構成団体数 | 会員人数 |
|------------|-------|------|
| 岩手県青年団体協議会 | 14    | 960  |

#### (2) 事業内容

##### ア 地域開発実践活動

青年問題研究集会、地域づくり運動事業等

##### イ 第59回岩手県青年大会

###### (ア) 体育部門

期 日……平成22年8月21日～22日、9月5日

場 所……盛岡市、滝沢村、遠野市

種 目……バレーボール、バスケットボール、軟式野球、卓球、剣道、柔道、フットサル

###### (イ) 文化部門

期 日……平成22年9月5日

場 所……岩手県青少年会館

種 目……郷土芸能

##### ウ 第58回全国青年大会

期 日……平成22年11月12日～15日

場 所……東京体育館、日本青年館他

種 目……陸上競技、バレーボール、バスケットボール、バドミントン、軟式野球、ソフトボール、卓球、柔道、剣道、ボウリング、フットサル、演劇、人形劇、合唱、郷土芸能、美術展、生活文化展、将棋、意見発表、交流プログラム

### 4 青年教室・講座

| 項 目          | 開設数         | 参加者数   | 内 容  |
|--------------|-------------|--------|--|
| 30人以上で20時間以上 | 27教室(3市町村)  | 1,596人 | 1 人間関係に関すること<br>2 市民性、社会性に関すること<br>3 職業、家庭に関すること<br>4 郷土理解に関すること |
| 上記以外（自立開設）   | 64教室(14市町村) | 1,875人 |  |
| 合 計          | 91教室(14市町村) | 3,471人 |  |

### 第3章 教育施策の推進状況

#### 第7節 教育振興運動を基盤とした地域ぐるみで取り組む教育の推進

##### 第2 多様な体験活動の充実（学習機会の確保）

## 5 青少年教育施設の利用状況

### (1) 運営の基本方向

次代の担い手である青少年に、恵まれた自然環境の中で規律ある共同生活を体験させ、友情・協同・奉仕等の相互扶助の精神を養い、地域社会の発展に寄与し得る自主的で創造性豊かな青少年の育成を図る。

（生活方針）「規律」「友情」「協同」「奉仕」

### (2) 青少年の家の利用者数

[単位：団体、人]

|           | 利用団体数 | 実利用者数  | 延利用者数   |
|-----------|-------|--------|---------|
| 県南青少年の家   | 565   | 30,131 | 45,432  |
| 陸中海岸青少年の家 | 479   | 23,593 | 32,941  |
| 県北青少年の家   | 520   | 21,888 | 31,245  |
| 計         | 1,564 | 75,612 | 109,618 |

### (3) 県北青少年の家スケート場利用者数

[単位：人]

|         | 研修利用者数 | 普通利用者数 | 計      |
|---------|--------|--------|--------|
| 幼児      | 243    | 230    | 473    |
| 小学生・中学生 | 4,075  | 3,269  | 7,344  |
| 高校生・大学生 | 107    | 174    | 281    |
| 一般      | 1,490  | 6,630  | 8,120  |
| 計       | 5,915  | 10,303 | 16,218 |

### (4) 類型別実利用者数

[単位：人]

|        |            | 県南青少年の家 | 陸中海岸青少年の家 | 県北青少年の家 |
|--------|------------|---------|-----------|---------|
| 事業参加   | 施設主催事業     | 4,460   | 3,401     | 3,043   |
|        | 県主催事業      | 585     | 597       | 617     |
| 学校利用   | 大学・短大      | 362     | 0         | 0       |
|        | 各種学校       | 497     | 40        | 512     |
|        | 高等学校       | 1,545   | 1,324     | 1,329   |
|        | 中学校        | 3,896   | 1,988     | 2,456   |
|        | 小学校        | 5,614   | 2,710     | 5,788   |
| 地域団体利用 | サークル(勤労青年) | 113     | 0         | 453     |
|        | サークル(一般)   | 1,270   | 3,756     | 908     |
|        | 子ども会       | 3,123   | 1,631     | 1,178   |
|        | スポ少団体      | 3,734   | 1,627     | 2,700   |
|        | 児童館・公民館    | 1,455   | 492       | 731     |
|        | 幼稚園・保育園    | 272     | 1,452     | 1,296   |
| 企業体    |            | 1,787   | 124       | 877     |
| その他    |            | 1,418   | 4,481     | 0       |
| 合計     |            | 30,131  | 23,623    | 21,888  |



### 第3 地域の教育課題の解決・家庭教育の充実

子どもたちが基本的な生活習慣を身に付けることができるよう、幼児期からの家庭での取組を支援するとともに、子育て支援に関わるグループ・団体・NPO等や企業との連携・協力をしつつ、家庭教育支援を推進した。

#### 1 学習機会の提供

親等に対する様々な機会を活用した家庭教育に関する学習機会を提供した。

##### (1) 子育て・親育ち講座（県事業）

ア 目的……家庭教育や子育てに関する広域的な現状と課題を踏まえ、家庭教育の充実を図る。

イ 期 日……盛岡教育事務所 雫石中央公民館 平成22年10月18日 131人

中部教育事務所 西和賀町太田老人福祉センター 平成22年11月26日 66人

ウ 内 容……① 子育て支援を促進する学習機会の提供  
② 企業への出前講座的な訪問型の学習機会の提供等

##### (2) 子育て・親育ち講座（国庫補助事業 市町村への補助事業）

ア 目的……親等が多数集まる機会を利用して、子どもの心理や親子の関係について学習する。

イ 期 日……平成22年6月～平成23年3月

ウ 内 容……軽米町、陸前高田市、住田町、金ヶ崎町、久慈市の5市町において、次の機会を利用して各種講座を実施した。

- ① 幼児期講座
- ② 小学校入学時講座（就学時健診等の機会を活用）
- ③ 中学校入学時講座（入学説明会等の機会を活用）
- ④ 父親の家庭教育参加促進事業

エ 受講者数…4,812人

#### 2 子育て支援体制の充実

地域との関わりの中で家庭教育や子育てを行うことが出来る支援体制の整備を図る。

##### (1) 岩手県家庭・地域教育力向上支援委員会

① 国庫委託事業の基本的方針等について 平成22年8月25日

② 国庫委託事業の成果・課題等について 平成23年2月16日

##### (2) 広域家庭教育支援体制整備(各教育事務所ごと)

##### (3) 家庭教育支援基盤形成事業（国庫補助事業 市町村への補助事業）

金ヶ崎町において実施した。

##### (4) 子育てサポーター養成講座

ア 目的……子育てに関する専門的な知識や技能を有し、地域における子育てサークルの育成や子育てネットワークの構築に指導的な立場で携わる子育てサポーターを養成する。

イ 期日及び内容……次の4テーマについて、それぞれ1泊2日の日程で講座を実施した。

[生涯学習推進センター]

|                                   |     |
|-----------------------------------|-----|
| ① 平成22年6月24日～6月25日、子育て支援の重要性      | 38人 |
| ② 平成22年7月22日～7月23日、子どもの発達とカウンセリング | 39人 |
| ③ 平成22年8月19日～8月20日、子育て支援の実際       | 38人 |
| ④ 平成22年10月7日～10月8日、これからの子育て支援     | 38人 |

[県北教育事務所]

|                                   |     |
|-----------------------------------|-----|
| ① 平成22年8月19日～8月20日、子育て支援の重要性      | 20人 |
| ② 平成22年7月23日～7月24日、子どもの発達とカウンセリング | 21人 |
| ③ 平成22年10月19日～10月20日、子育て支援の実際     | 20人 |
| ④ 平成22年11月18日～11月19日、これからの子育て支援   | 21人 |

ウ 修了者 センター39人、県北21人

エ 岩手県子育てサポーターの認定

本講座修了者を「岩手県子育てサポーター」として認定、登録した。

岩手県子育てサポーター認定者数：368人、登録者数：238人（平成22年度末現在）

### (5) 子育て支援ネットワークの充実

ア 目的…… 地域における子育て支援に指導的な立場で携わる子育てサポーターや子育て支援団体の資質の向上を図るとともに、相互のネットワークを形成することにより、本県の家庭教育の充実に資する。

|         |            |            |            |      |
|---------|------------|------------|------------|------|
| イ 期 日…… | 県南教育事務所    | 江刺生涯学習センター | 平成22年2月26日 | 127人 |
|         | 県北教育事務所    | 久慈地区合同庁舎   | 平成22年10月7日 | 16人  |
|         | 宮古教育事務所    | 宮古市立図書館    | 平成22年7月21日 | 40人  |
|         |            | 宮古地区合同庁舎   | 平成22年9月24日 | 28人  |
|         | 生涯学習推進センター |            | 平成22年10月7日 | 88人  |

ウ 内 容……講演、ワークショップ、パネルディスカッション及び実践交流等

### 3 学習情報の提供と相談体制の充実

様々なメディアを活用して、家庭教育・子育てに関する情報を全ての親に提供するとともに、家庭教育に悩む親等が気軽に相談できる窓口を設置し、その周知に努めた。

#### (1) 子育て電話相談「すこやかダイヤル」

ア 目的

家庭教育、特に子育てに関する悩みや不安を抱く親に対して、電話(面接)による相談を行い、家庭教育の充実に資する。

イ 内容

生涯学習推進センターに設置する専用電話「すこやかダイヤル」により、相談員が親等の家庭教育に関する相談に応じる。

### 第3章 教育施策の推進状況

#### 第7節 教育振興運動を基盤とした地域ぐるみで取り組む教育の推進

##### 第3 地域の教育課題の解決・家庭教育の充実

#### 【すこやかダイヤル】

電話番号：0198-27-2134

開設期間：通年(祝日、年末年始は除く)

相談対応：平日10時～17時は電話、夜間

・休日はFAX、留守番電話

ウ 相談件数 941件

| 相談領域     | 相談件数 | 割合    |
|----------|------|-------|
| 健康・安全    | 46   | 4.9%  |
| しつけ全般    | 70   | 7.4%  |
| 遊び・友だち   | 96   | 10.2% |
| 家庭・環境    | 126  | 13.4% |
| 知能・ことば   | 12   | 1.3%  |
| いじめ・不登校  | 68   | 7.2%  |
| 虐待・育児不安  | 32   | 3.4%  |
| 心理・性格    | 111  | 11.8% |
| 集団生活・社会性 | 102  | 10.8% |
| 学習・進路    | 49   | 5.2%  |
| その他      | 229  | 24.3% |
| 計        | 941  | 100%  |

#### (2) 子育てメール相談

##### ア 目的

子育てについて学ぶ余裕がない親、子育てに関心が薄い親、孤立しがちな親等、すべての親に対してきめ細かな家庭教育支援を行うため、ITを活用した家庭教育相談、情報提供を行う。

##### イ 内容

生涯学習推進センターが運営する「まなびネットいわて」を活用し、メール相談者に対する相談員によるアドバイスのメール回答や、配信希望登録者へのメールマガジン配信（毎週木曜日）等の情報提供を行う。

ウ 相談件数 591件（トップページカウント数4,647件）

| 相談領域     | 相談件数 | 割合    |
|----------|------|-------|
| 健康・安全    | 114  | 19.3% |
| しつけ全般    | 102  | 17.3% |
| 遊び・友だち   | 19   | 3.2%  |
| 家庭・環境    | 71   | 12.0% |
| 知能・ことば   | 11   | 1.9%  |
| いじめ・不登校  | 5    | 0.8%  |
| 虐待・育児不安  | 14   | 2.4%  |
| 心理・性格    | 129  | 21.8% |
| 集団生活・社会性 | 39   | 6.6%  |
| 学習・進路    | 2    | 0.3%  |
| その他      | 85   | 14.4% |
| 計        | 591  | 100%  |

## 第8節 広がりと深まりのある生涯学習の振興

### 第1 多様な学習活動を支援する環境の整備充実

学校教育ではぐくまれる「生きる力」を基盤とし、変化の激しい社会において、各個人が自立した一人の人間として力強く生きていくための総合的な力を身に付けることができるよう、学習情報提供や相談体制の充実、普及奨励、学習成果を生かす環境づくりなど、生涯にわたって学習を継続できるようにするための支援や環境等に取り組んだ。

#### 1 生涯学習社会の実現を目指した推進体制の充実

近年における社会経済の急激な変化に伴う社会構造の変化、高度情報化や国際化の進展等の一方で、高齢化社会の進行も一層顕著になってきている。

生涯学習の推進においては、このような社会の変化に適切に対応しながら、一人一人が生きがいを感じながら学びを継続するとともに、学んだ成果を適切に生かしていくことが求められている。

平成18年12月には、時代の変化に対応すべく、教育基本法に「生涯学習の理念」(第3条)が新しく規定されたことをはじめ、「教育の目標(第2条)」、「家庭教育(第10条)」、「社会教育(第12条)」、「学校、家庭及び地域住民等の連携協力(第13条)」等、学校教育のみならず、生涯学習・社会教育関係の規定の充実も図られた。

本県においても、一人一人が真に生きがいのある人生を創造するとともに活力に満ちた地域社会を築くための施策の展開が求められている。

#### (1) 岩手県生涯学習審議会・岩手県社会教育委員会議の開催

生涯学習に関する基本的な施策を調査審議し、もって本県における生涯学習の総合的な振興を図るため、次の会議を開催した。

なお、平成19年度まで生涯学習審議会の開催を年1回とし、社会教育委員会議を年2回開催してきたが、両会議の関係は非常に密接であることから、平成20年度全員の委員が兼任し両会議を同時開催することとした。

#### 【岩手県生涯学習審議会・岩手県社会教育委員会議】

ア 期日

平成22年7月28日

イ 出席

委員16人中16人出席

ウ 内容

(ア) 平成22年度主要施策について

a 生涯学習文化課

b 学校教育室

c スポーツ健康課

d 県立生涯学習推進センター

### 第3章 教育施策の推進状況

#### 第8節 広がりや深まりのある生涯学習の振興

##### 第1 多様な学習活動を支援する環境の整備充実

- e 県立図書館
- f 県立博物館
- g 県立美術館
- h (財)岩手県スポーツ振興事業団
- (イ) 岩手県生涯学習振興計画の進捗状況について
- (ウ) 平成23年度全国生涯学習フォーラムの開催について
- (エ) 平成22年度優良公民館表彰に係る選考について
- (オ) 今後協議を進めるテーマについて

## 2 連携と協力による生涯学習の普及奨励

### (1) 学習意識の啓発

県民の生涯学習に対する理解と意欲を高め、学習活動の充実を図るため、生涯学習推進センターにおいて、県内全市町村とのネットワークによる生涯学習情報提供システム「まなびネットいわて」等により、学習情報の提供や広報活動に努めた。なお、平成17年2月より、携帯電話によるアクセスも可能となっている。

#### ア【生涯学習情報提供事業】

- (ア) 生涯学習情報提供システム「まなびネットいわて」
  - a 情報量……………15,084件 [平成21年度15,889件、805件減]
  - b 利用件数……………23,709件 [平成21年度24,202件、311件減]
  - c トップページカウント数…… 30,778件 [平成21年度27,935件、2,843件増]

#### イ 生涯学習情報紙「岩手県立生涯学習推進センター情報」の発行

- (ア) 発行部数…………… 400部 [平成21年度500部] ※(県内小中学校へメール配信600件)
- (イ) 年間発行回数…………… 4回 [平成21年度4回]

### (2) 学習活動の支援

県民の学習活動の成果を地域社会に生かすことができるよう生涯学習ボランティア活動推進事業を実施するとともに、所外学習情報提供システム「まなびネットいわて」において、広域的な学習機会と学習情報の提供に努めた。

また、電話による学習相談を行うとともに生涯学習推進専門研修講座を行った。

#### ア 生涯学習ボランティア活動推進事業(生涯学習推進センターボランティア登録数)

614人 [平成21年度697人、83人減]

#### イ 電話相談「マナビコール」の開設

- (ア) 開催日……………毎週月～金曜日
- (イ) 時間…………… 9時～17時
- (ウ) 相談員……………生涯学習推進センター専門職員
- (エ) 相談件数……………262件 [平成21年度224件、38件増]

第3章 教育施策の推進状況

第8節 広がりや深まりのある生涯学習の振興

第2 生涯にわたる学習機会の充実

第2 生涯にわたる学習機会の充実

生涯学習の中核を担う社会教育を充実するとともに、家庭教育をはじめとした生涯にわたる学習機会の充実を図り、自立した個人の育成や地域コミュニティの形成を促した。

1 成人の学習活動の支援

(1) 一般成人教育

ア 学級講座（成人大学講座等）

|         | 市町村数 | 学級数   | 受講者数   |
|---------|------|-------|--------|
| 成人大学講座  | 12   | 196   | 7,376  |
| 成人学級・講座 | 25   | 1,111 | 44,084 |
| その他     | 18   | 358   | 23,304 |

イ 生涯学習ボランティア活動推進事業

県民の学習成果を地域社会における諸活動の中で生かすことのできる環境の整備に資する。

(ア) ボランティア登録者

登録者数……614人（10生涯学習ボランティアセンター）

(イ) ボランティアの研修

岩手県読書をすすめるつどい

平成23年2月11日 アイーナ 220人参加 講演及び事例発表

ウ 成人団体活動の支援

(ア) P T Aへの補助

| 補助団体            | 補助対象事業          | 事業内容   | 補助金額  |
|-----------------|-----------------|--|-------|
| (社) 岩手県P T A連合会 | 家庭教育セミナー        | ○平成22年9月4日、久慈市、165人<br>○平成22年11月13日、一関市、224人<br>○基調講演及びパネルディスカッション | 150千円 |
|                 | 岩手県P T Aリーダー研修会 | ○平成22年7月10日<br>○盛岡市<br>○「講話」及び「説明と意見交流」<br>○参加者数473人               |       |
|                 | 市町村P T A連合会     | ○34市町村<br>○青少年の健全育成  |       |
|                 | 会報発行            | ○「P T Aいわて」13,000部×3回  |       |
| 岩手県高等学校P T A連合会 | 会長研修会           | ○平成22年10月15日～16日 ○花巻市ホテル千秋閣<br>○研究協議・講演 ○参加者数57人                   | 120千円 |
|                 | 事務局長研修会         | ○平成22年10月29日 ○盛岡市ホテルルイズ<br>○研究協議・講演 ○参加者数58人                       |       |
|                 | 母親委員研修会         | ○平成22年7月21日 ○盛岡市ホテルルイズ<br>○発表・講演 ○参加者数225人                         |       |



第3章 教育施策の推進状況

第8節 広がりや深まりのある生涯学習の振興

第2 生涯にわたる学習機会の充実

|                   |   |       |
|-------------------|---|-------|
| 岩手県国公立幼稚園PTA連絡協議会 |   | 120千円 |
| 研究大会              | ○平成22年7月2日<br>○奥州市文化会館Zホール<br>○講演・研究協議<br>○参加者数360人 |       |
| ブロック研修会           | ○平成22年6月～11月<br>○5ブロック<br>○講演、実践交流会<br>○参加者数442人    |       |
| 会報発行              | ○200部×1回  |       |

(イ) 岩手ユネスコ協会連盟への支援

| 事業名                      | 実施期日                | 実施場所          | 対象及び人数                      |      | 事業内容   |
|--------------------------|---------------------|---------------|-----------------------------|------|--|
|                          |                     |               | 対象                          | 人数   |  |
| 第15回ユネスコ運動岩手県大会(遠野大会)    | 7月24日～25日           | 遠野市<br>あえりあ遠野 | 県ユネスコ協会会員、単位ユネスコ協会会員、その他関係者 | 210人 | ・ 講和「世界から見た遠野物語」<br>講師 ロナルド・A・モース 氏<br>・ フォーラム<br>「地域文化の創造・発展とユネスコの役割」<br>・ エクスカーション(遠野市立博物館、とおの昔話村カッパ淵、伝承園等見学)                  |
| ユネスコ活動顕彰事業(第14回いわてユネスコ賞) | 9月14日(選考)           | サンセール盛岡       | ユネスコ賞選定委員会                  | 8件   | ・ 科学賞：県立盛岡第一高等学校<br>二戸市立金田一中学校<br>・ 文化賞：遠野市立遠野小学校<br>・ 活動奨励賞：陸前高田市立高田小学校<br>奥州市立常盤小学校<br>山田町立山田中学校<br>盛岡市立巻堀中学校<br>・ 教育賞：黄川田孝雄 氏 |
|                          | 10月18日<br>11月4日(表彰) | 県内各所          | 表彰伝達                        |      |  |
| 国際交流活動研修会兼第7回岩手県ユネスコ研究大会 | 1月21日～22日           | 国立岩手山青少年交流の家  | ユネスコ関係者、高校教員、行政担当者、高校生等     | 129人 | ・ 講演「君の可能性-やってみなければわからないことがある-」<br>講師 吉成信夫 氏<br>・ 分科会「地球環境」「世界遺産」「世界福祉」「平和」<br>・ 交流学習「楽しく、さらに仲よく」<br>・ 全体会                       |
| 高校ユネスコ活動充実事業             | 通年                  | 盛岡市他          | 県高等学校ユネスコ委員会及び教員            | —    | 県高等学校文化連盟国際理解専門部ユネスコ委員会と連携し、活動の促進を図り、助成  |
| ユネスコ国際理解推進講師事業(地区講演会支援)  | 5月15日               | 二戸市浄法寺町       | ユネスコ関係者                     | 25人  | 「寺子屋教室と生徒たち」<br>千代川晶則 氏  |
|                          | 5月15日               | 奥州市前沢区        | ユネスコ関係者                     | 24人  | 「心のふれあい」<br>石川 岩夫 氏  |
|                          | 7月24日               | 遠野市           | ユネスコ関係者                     | 210人 | 「世界から見た遠野物語」<br>ロナルド・A・モース 氏   |
|                          | 8月1日                | 二戸市           | ユネスコ関係者                     | 60人  | 「平和の鐘を鳴らそう！」<br>東山 道晴 氏  |
|                          | 8月21日               | 北上市           | ユネスコ関係者                     | 43人  | 「北上から世界へ発信」<br>薄衣 景子 氏   |
|                          | 12月7日               | 花巻市           | ユネスコ関係者等                    | 494人 | 「石鳥谷から世界へはばたく」<br>加藤哲郎 氏   |



第3章 教育施策の推進状況

第8節 広がりや深まりのある生涯学習の振興

第2 生涯にわたる学習機会の充実

|                                |        |              |              |      |                                     |
|--------------------------------|--------|--------------|--------------|------|-------------------------------------|
|                                | 1月29日  | 一関市          | ユネスコ関係者、市民   | 100人 | 「世界遺産：その意義と地元の役割」<br>近藤 誠一 氏        |
| ユネスコ運動普及及広報活動（会報の発行及び普及講演会の実施） | 5月20日  | 県内及び講演会等にて配布 | ユネスコ協会、教員、県民 | 200部 | 23号                                 |
|                                | 7月22日  |              |              | 500部 | 24号                                 |
|                                | 2月15日  |              |              | 200部 | 25号                                 |
|                                | 11月28日 | 盛岡市アイーナ      | ユネスコ関係者、県民   | 多数   | 「2010ワンワールドフェスタinいわて」<br>ユネスコ活動紹介展示 |
| 市町村ユネスコ活動懇談会                   | 5月15日  | 二戸市浄法寺町      | ユネスコ協会員、市民   | 26人  | 総会に出席                               |
|                                | 10月9日  | 盛岡市          |              | 28人  | 県内ユネスコ協会情報交換交流会                     |
|                                | 12月6日  | 遠野市          |              | 210人 | 遠野ユネスコ協会創立40周年記念式典に出席               |
|                                | 1月29日  | 一関市          |              | 100人 | 一関ユネスコ協会長杯スピーチコンテストに出席              |

(2) 女性教育

女性の地位向上と充実した人生の創造のため、多様で高度な学習機会を提供するとともに、女性の持つ豊かな感性を地域づくりに役立てる社会参加を促進した。

また、自主的な団体活動を促進するための指導者の養成に努めた。

ア 女性学級・講座

女性のライフスタイルや家庭生活の変化に伴い、女性の学習志向が一層高まり、婦人問題、生活上の課題を中心に、市町村を主体として計画的な学習が一定期間にわたり、継続して行われた。

【学級・講座開設状況】

| 区分      | 市町村数 | 学級数 | 学級生数   |
|---------|------|-----|--------|
| 女性学級・講座 | 22   | 474 | 21,102 |
| その他     | 13   | 50  | 1,946  |

イ 女性団体活動の支援

本県の女性団体は、女性の地位と福祉の向上及び相互の連携を図ることを目的とし、岩手県女性団体連絡協議会を組織している。

県教育委員会は、岩手県地域婦人団体協議会が行う社会的、公共的に意義のある事業に対してその経費の一部を補助し、また、その団体の自主性を尊重しつつ求めに応じて助言指導を行うなど、その活動の支援を図った。

【組織状況（平成22年4月1日現在）】

| 団体名          | 単位団体数 | 会員数    |
|--------------|-------|--------|
| 岩手県地域婦人団体協議会 | 43    | 10,393 |

(ア) 【リーダー研修会（平成22年7月20日～21日 青少年会館 111人）】

- a 講演「記者の目から見た婦人会」  
講師 工藤 哲 氏（岩手日報社 読者・メディアセンター次長）
- b 講演「婦人会の原点に返って」  
講師 久慈 孝 氏（岩手県教育委員会事務局生涯学習文化課社会教育主事）
- c リラックスタイム

### 第3章 教育施策の推進状況

#### 第8節 広がりや深まりのある生涯学習の振興

##### 第2 生涯にわたる学習機会の充実

フラダンス、簡単な手芸、七宝焼き

e 県立美術館見学・学芸員講話

岩手県立美術館学芸普及課専門学芸員 盛本 直美 氏

(イ) 【岩手県婦人大会第55回盛岡大会（平成22年9月28日 八幡平市安比高原 安比プラザ 約911人）】

a 講演「地域づくりと女性会の役割―男女共同参画時代をつくる―」

講師 神田 道子 氏（独立行政法人国立女性教育会館理事長）

b 実践発表

「私たちの婦人会活動」

発表 北上市地域婦人団体協議会 副会長 佐藤ケイ子

陸前高田市地域女性団体協議会 会長 村上 末子

八幡平市婦人会連絡協議会 田山婦人会会長 米川 紀子

助言・まとめ 神田 道子 氏（独立行政法人国立女性教育会館理事長）

c アルパ演奏・講話

アルパ奏者 ひらやま よりこ 氏

## 2 高齢者の学習活動の支援

### ○ 高齢者学級・講座

高齢者の高度で多様なニーズに対応するため、各市町村において今日的課題に関する講座や世代間交流事業などが、一定期間にわたり、継続して行われた。

| 区分       | 市町村数 | 学級数 | 学級生数   |
|----------|------|-----|--------|
| 高齢者学級・講座 | 27   | 628 | 39,888 |
| その他      | 10   | 82  | 3,768  |

## 3 視聴覚教育

### ○ 視聴覚教育の推進

教育関係者には、視聴覚教材、機材を適切に活用し学習効果を高めるとともに、放送など視聴覚メディアの活用と併せ、メディアの研究開発による教育の機会の拡充を図ることが要請されている。

指導者養成に当たっては、機器の操作や指導方法等について、専門的研修を実施し、指導法の浸透を図った。

#### ア 視聴覚教育指導者研修（社会教育関係）

視聴覚教育総合全国大会（東京都渋谷区） 平成22年8月9日～10日 2人参加

#### イ 視聴覚ライブラリー専任職員研修会

第52回放送教育研究会東北大会岩手大会（ホテルルイズ）平成22年10月15日 8人参加

### 第3章 教育施策の推進状況

#### 第8節 広がりや深まりのある生涯学習の振興

##### 第2 生涯にわたる学習機会の充実

#### ウ 16ミリ映写機操作技術講習会

[単位：回、人]

| 教育事務所 | 回数 | 修了者数 |
|-------|----|------|
| 盛岡    | 3  | 61   |
| 中部    | 1  | 11   |
| 県南    | 2  | 33   |
| 沿岸南部  | 1  | 6    |
| 宮古    | 1  | 11   |
| 県北    | 0  | 0    |
| 計     | 8  | 122  |

#### エ 教材フィルム利用状況

[単位：本、人]

| 視聴覚ライブラリー名 | 利用状況  | 観覧者数   |
|------------|-------|--------|
| 中央         | 1,577 | 26,136 |
| 花巻図書館      | 200   | 3,283  |
| 北上市        | 140   | 3,332  |
| 西和賀町       | 3     | 30     |
| 県南第一       | 1,330 | 38,258 |
| 沿岸第一       | 812   | 10,378 |
| 釜石市        | 67    | 1,642  |
| 遠野市        | 70    | 1,247  |
| 大槌町        | 0     | 0      |
| 久慈市        | 67    | 1,298  |
| 県北第二       | 165   | 4,568  |
| 二戸         | 370   | 4,823  |
| 計          | 4,783 | 94,475 |

#### 4 指導体制の充実

社会教育活動を総合的、効果的に推進するため、市町村に社会教育主事が37人、社会教育指導員が63人配置されている。

県民の学習要求が高度化・多様化する中、社会教育関係職員の専門性が一層強く求められており、現職教育は重要な領域となっている。

平成22年度は、以下の研修等を行った。

##### (1) 新任社会教育関係職員研修講座

【期日 | 会場 | 参加者数】平成22年5月6日～7日 | 生涯学習推進センター | 146人

【内容】生涯学習及び社会教育に関する基本的な事項及び職務に関する研修

##### (2) 生涯学習情報提供システム担当者研修会

【期日】平成22年5月11日、12日、13日、20日、21日（日程・内容等は同じ）

【会場 | 参加者数】生涯学習推進センター | 計42人

【内容】生涯学習情報提供システムの運用及び情報の更新、入力等に関する研修

##### (3) 社会教育指導員研修講座

【期日 | 会場 | 参加者数】平成22年5月18日～19日 | 生涯学習推進センター | 83人

【内容】社会教育指導員としての任務、各分野における専門的事項に関する研修

### 第3章 教育施策の推進状況

#### 第8節 広がりと深まりのある生涯学習の振興

##### 第2 生涯にわたる学習機会の充実

#### (4) 親・地域との関係づくりセミナー

【期日】平成22年8月2日

【会場 | 参加者数】生涯学習推進センター | 計15人

【内容】教職員を対象に、保護者や地域との結びつきを深める具体的方策等を学ぶ研修

#### (5) 放課後子どもプラン指導者合同研修会

【期日 | 会場 | 参加者数】(第1回)平成22年7月2日 | 生涯学習推進センター | 201人

(第2回)平成22年9月12日 | 生涯学習推進センター | 125人

(第3回)平成21年11月15日 | いわて子どもの森 | 84人

【内容】「放課後子ども教室」と「放課後児童クラブ」の指導者等の情報交換・情報共有・連携の促進、資質の向上を図る研修

#### (6) 岩手県社会教育主事・公民館職員研修会

【期日 | 会場 | 参加者数】平成22年9月1日 | 生涯学習推進センター | 50人

【内容】社会教育職員としての任務、各分野における専門的事項に関する研修

#### (7) 岩手県社会教育委員・公民館運営審議会委員研修会

【期日 | 会場 | 参加者数】平成22年11月12日 | 生涯学習推進センター | 150人

【内容】社会教育・生涯学習推進の基本的事項に関する研修

#### (8) 教育メディア専門研修講座

| 期 日        | 会 場        | 参加者数 | 内 容       |
|------------|------------|------|-----------|
| 平成22年10月6日 | 生涯学習推進センター | 38人  | パワーポイント基礎 |
| 平成22年11月9日 | 生涯学習推進センター | 14人  | パワーポイント応用 |

#### (9) 社会教育計画専門研修講座

【期日 | 会場 | 参加者数】平成22年6月10日 | 生涯学習推進センター | 11人

【内容】計画策定のための諸条件の分析や施策の体系化・構造化等に関する研修

#### (11) 事業プログラム作成専門研修講座

【期日 | 会場 | 参加者数】平成22年8月25日 | 生涯学習推進センター | 14人

【内容】社会教育における事業プログラム作成に関する専門的研修

#### (12) 移動研修講座

【期日 | 会場 | 参加者数】

| 期 日        | 会 場   | 参加者数 |
|------------|-------|------|
| 平成22年5月28日 | 二戸市   | 26人  |
| 平成22年7月21日 | 宮古市   | 37人  |
| 平成22年8月12日 | 釜石市   | 14人  |
| 平成22年9月5日  | 陸前高田市 | 118人 |
| 平成22年9月9日  | 岩手町   | 15人  |
| 平成22年9月16日 | 久慈市   | 24人  |

第3章 教育施策の推進状況

第8節 広がりや深まりのある生涯学習の振興

第2 生涯にわたる学習機会の充実

|             |     |     |
|-------------|-----|-----|
| 平成22年9月28日  | 宮古市 | 7人  |
| 平成22年10月26日 | 北上市 | 29人 |
| 平成22年12月3日  | 盛岡市 | 11人 |
| 平成22年12月9日  | 一関市 | 11人 |
| 平成22年12月10日 | 奥州市 | 17人 |
| 平成23年12月19日 | 大船渡 | 32人 |

【内容】市町村の社会教育・生涯学習事業の充実を図るための専門的研修

(13) 図書館等職員研修

ア 新任図書館長等研修会

【期日 | 会場 | 参加者数】平成22年4月16日 | 県立図書館 | 17人

【内容】(ア) 新任の図書館長及び公民館図書室等の長を対象にした基礎的研修

(イ) 講話 (市町村図書館等の運営)

(ウ) 講義 県立図書館等概況説明

(エ) 情報・意見交換

イ 初任職員研修会

【期日 | 会場 | 参加者数】平成22年7月15日～16日 | 県立図書館 | 27人

【内容】

(ア) 図書館及び公民館図書室の経験年数3年未満の職員を対象にした実務に関する研修

(イ) 講話 (図書館の現状について)

(ウ) 講義 (図書館の連携、資料の受入～配架、著作権、レファレンスサービス、県立図書館ホームページの利用)

(エ) 情報・意見交換

(オ) 館内見学

ウ 北日本図書館大会〔中堅職員研修会、図書館職員・図書館協議会委員合同研修会合同開催〕

【期日 | 会場 | 参加者数】平成22年6月24日～25日

| いわて県民情報交流センター (アイーナ) | 155人

【内容】

(ア) 基調講演 (地域を支える図書館－図書館が地域を元気にする方法－)

(イ) 分科会 (第1分科会：地域課題解決と図書館サービス)

(第2分科会：子どもと本を結ぶ－図書館と学校・家庭・地域の連携－)

(ウ) 全体会

| エ 市町村職員専門研修  | 期 日        | 会 場        | 参加者数      | 内 容  |            |
|--------------|------------|------------|-----------|------|------------|
| 児童サービス研修     | 第1回        | 平成23年2月15日 | 奥州市立江刺図書館 | 9人   | 講話、発表、意見交換 |
|              | 第2回        | 平成23年2月24日 | 県立図書館     | 9人   |            |
|              | 第3回        | 平成23年2月25日 | 宮古市立図書館   | 5人   |            |
| 図書館本の取扱いと治し方 | 平成23年2月18日 | 県立図書館      | 53人       | 本の修復 |            |

(14) 文部科学省・国立教育政策研究所研修講座

ア 公民館職員専門講座

公民館職員に求められる専門的・実践的な知識技術についての研修

### 第3章 教育施策の推進状況

#### 第8節 広がりと深まりのある生涯学習の振興

##### 第2 生涯にわたる学習機会の充実

【期日 | 会場】平成22年6月28日～7月2日 | 国立教育政策研究所社会教育実践研究センター

【内容】講義、研究協議、事例研究等

【参加者数】1人（盛岡市上田公民館）

#### イ 全国生涯学習センター等研究交流会

生涯学習センター等の相互の連携協力を推進するため、当面する諸課題について研究協議する。

【期日 | 会場】平成22年6月3日～4日 | 国立教育政策研究所社会教育実践研究センター

【内容】基調講義、事例研究、総括討議等

【参加者数】1人（生涯学習推進センター）

#### ウ 社会教育計画の立案と評価に関する研究セミナー

社会教育行政における計画、事業、施設経営等の評価を促進するため、計画の立案と評価の在り方について研究協議等を行う。

【期日 | 会場】平成22年10月13日～15日 | 国立教育政策研究所社会教育実践研究センター

【内容】基調講義、講義、演習等

【参加者数】2人（生涯学習文化課、矢巾町教育委員会）

#### エ ボランティア活動推進研究セミナー・学校支援ボランティア推進フォーラム

学校支援ボランティアの在り方に視点をあて、地域住民が様々な観点から子どもの教育活動を支援していくためのボランティア活動の推進方策等について研究協議を行う。

【期日 | 会場】平成22年11月10日～12日 | 国立教育政策研究所社会教育実践研究センター

【内容】基調講義、ケーススタディ、シンポジウム等

【参加者数】1人（生涯学習推進センター）

#### オ 全国社会教育主事研究協議会

都道府県・政令市の社会教育主事が一堂に会し、研究協議を行う。

【期日 | 会場】平成22年7月15日～16日 | 国立教育政策研究所社会教育実践研究センター

【内容】基調講演、事例発表、分科会、全体会等

【参加者数】2人（生涯学習文化課）

#### カ 新任図書館長研修

公共図書館の管理運営の向上及び情報提供サービスの高度化を図る

【期日 | 会場】

平成22年8月31日～9月3日 | (主)国立教育政策研究所社会教育実践研究センター、(副)奥州市江刺図書館

【内容】講義、実践報告等

【参加者数】3人（県立図書館、盛岡市立図書館、奥州市江刺図書館）

#### キ 美術館を活用した鑑賞教育充実のための指導者研修

鑑賞教育の重要性を踏まえ、全国の小中学校の教員と美術館の学芸員等が一堂に会し、研究協議を行う。

【期日 | 会場】平成22年7月26日～28日 | 東京国立近代美術館等

【内容】講義、研究討議、グループワーク等

【参加者数】1人（藤沢町教育委員会）



ク 地域教育力の向上に関する研究セミナー

地域教育力の活用を促す「コーディネーター」の役割等に視点をあて、地域教育力の向上に資する社会教育活動の推進方策及び事業の企画立案の在り方等について研究協議等を行う。

【期日 | 会場】平成22年9月29日～10月1日 | 国立教育政策研究所社会教育実践研究センター

【内容】研究協議、講義、事例研究、実践研修等

【参加者数】 1人（生涯学習推進センター）

ケ 社会教育主事専門講座

国の生涯学習施策についての理解をもとに研究協議を行い、都道府県・指定都市における生涯学習社会教育の充実・発展を図る立場としての力量を高める。

【期日 | 会場】平成22年9月15日～17日 | 国立教育政策研究所社会教育実践研究センター

【内容】基調講義、講義、事例発表等

【参加者数】 2人（生涯学習推進センター、沿岸南部教育事務所）

コ 生涯学習機関等の連携に関する実践研究交流会

生涯学習関係機関・団体の関係者がそれぞれの実践と研究成果をもとに交流し、連携・協力の推進方策等について研究協議等を行う。

【期日 | 会場】平成22年12月16日～17日 | 国立教育政策研究所社会教育実践研究センター

【内容】基調講義、実践研究発表、パネルディスカッション等

【受講者数】 1人（生涯学習推進センター）

サ 社会教育主事講習への派遣

秋田大学社会教育主事講習

【期日 | 会場】平成22年7月13日～8月6日 | 秋田大学、秋田県立岩城少年自然の家

【内容】講義、演習、グループ研究等

【参加者数】 6人：市町村職員4人、中学校教員1人、NPO法人職員1人

5 社会教育施設の整備充実（1 県立生涯学習推進センター）

(1) 運営の方針

本県生涯学習推進の中核機関として、県民の学習活動を支援、促進するため、生涯学習に関する情報提供、調査研究及び指導者養成等の事業を総合的、効果的に推進するとともに、市町村及び関係機関・団体との連携強化に努め、本県生涯学習の振興を図る。

(2) 運営の重点

ア 学習情報の提供

生涯学習情報システムなど、多様なメディアを活用した総合的な学習情報の提供及び学習相談の充実に努める。

(ア) 学習情報データベースの充実と生涯学習情報提供及び学習相談の充実

(イ) 家庭教育に関する情報提供及び相談の充実

(ウ) 生涯学習に関する広報活動の充実

イ 調査・研究

生涯学習に関する各種調査を実施するとともに、生涯学習推進上の諸課題に関する研究を推進し、本県生涯学習の振興に役立てる。



### 第3章 教育施策の推進状況

#### 第8節 広がりや深まりのある生涯学習の振興

##### 第2 生涯にわたる学習機会の充実

- (ア) 生涯学習及び社会教育の推進状況等に関する調査の実施
- (イ) 生涯学習推進上の諸課題に関する研究の推進
- (ウ) 習推進研究発表会の開催

#### ウ 指導者の養成・研修

生涯学習関係職員及び有志指導者を対象とした研修を充実し、関係職員の資質の向上と指導者の養成を図る。

- (ア) 生涯学習推進上の課題を踏まえた基本研修、領域別研修、専門研修及び課題別研修の充実
- (イ) 有志指導者の養成研修の充実
- (ウ) 各機関・団体の学習課題に対応した希望研修の充実

### (3) 事業等の実施状況

#### ア 学習情報の提供

- (ア) 生涯学習情報提供システム「まなびネットいわて」の管理運用  
インターネットを活用し、各種の生涯学習情報を県民に提供した。

#### 【生涯学習情報提供システム「まなびネットいわて」の利用状況】

| 分野      | 利用件数(前年比)       | <参考>情報数(前年比)   |
|---------|-----------------|----------------|
| 講座・イベント | 12,762 (+1,099) | 4,262 (△914)   |
| 施設      | 1,645 (△421)    | 1,519 (△3)     |
| 団体・グループ | 2,130(△1,594)   | 2,113 (△7)     |
| 指導者     | 5,872 (+876)    | 614 (+33)      |
| 教材      | 1,300 (△453)    | 6,576 (+72)    |
| 計       | 23,709 (△493)   | 15,889(△1,161) |

- (イ) 生涯学習情報紙の発行
  - 【名称】 岩手県立生涯学習推進センター情報
  - 【内容】 国・県・市町村における生涯学習の推進状況、県立生涯学習推進センターの事業に関する情報等
  - 【発行部数・回数】 50部・年4回
  - 【配布先】 県、市町村教育委員会、関係機関及び施設等
- (ウ) 学習相談事業「マナビイコール」
  - 【内容】 生涯学習の推進に関する事業や学習活動についての電話相談  
電話番号：0198-27-4563（月曜日～金曜日の9時～17時）
  - 【相談件数】 平成22年度262件
- (エ) 子育て相談「すこやかダイヤル」
  - 【内容】 子育てに関する悩みや不安についての電話相談、面接相談  
電話番号：0198-27-2134  
（月曜日～金曜日の10時～17時、これ以外の夜間、休日はFAX、留守番電話対応）
  - 【相談件数】 平成22年度941件
- (オ) 子育て相談「子育ていわてケータイサイト」
  - 【内容】 子育てに関する悩みや不安についての携帯電話メール相談、子育て情報提供

### 第3章 教育施策の推進状況

#### 第8節 広がりや深まりのある生涯学習の振興

##### 第2 生涯にわたる学習機会の充実

【相談件数】平成22年度591件

【子育て情報提供】毎週木曜日メールマガジン配信

#### イ 調査・研究

(ア) 研究紀要「いわての生涯学習」の発行

【名称】研究報告14 【内容】社会教育と学校教育の連携・協力に関する研究

【発行部数】1,500部 【配布先】県、市町村教育委員会、関係機関及び施設等

(イ) 岩手県生涯学習推進研究発表会

【期日】平成23年2月9日～10日 【会場】生涯学習推進センター

【参加者数】143人（延べ205人）

- 【内容】
- a 説明「全国生涯学習ネットワークフォーラム岩手大会に向けた取組」
  - b 講演「これからの社会教育行政と生涯学習社会のあり方」
  - c 研究発表・協議「社会教育関係職員の養成・研修の充実方策に関する調査研究」  
「『社会教育による地域の教育力強化プロジェクト』における実証的共同研究」
  - d 事例発表・協議「すこやかみなみネット事業について」「遠野『語り部』1000人プロジェクト～語りでにぎわう、まちづくり～」 「古城方式によるまちづくり」

#### ウ 指導者の養成・研修

##### 【生涯学習推進センター利用状況】

| 利用区分 | 事業数・団体数(前年比) | 利用人数(前年比)     |
|------|--------------|---------------|
| 主催事業 | 41 (△2)      | 1,974 (+155)  |
| 随時研修 | 0 (△3)       | 0 (△79)       |
| 施設利用 | 37 (+6)      | 3,867(+1,861) |
| その他  | 0 (0)        | 0 (0)         |
| 計    | 77(△15)      | 5,841(+1,937) |

##### 【各種研修事業実施状況】

[単位：人]

| 区分              | 研修・講座名             | 期日             | 受講者数       |     |
|-----------------|--------------------|----------------|------------|-----|
| 基本研修            | 新任社会教育関係職員研修講座     | 平成22年5月6日～7日   | 77         |     |
| 領域別研修           | 社会教育指導員研修講座        | 平成22年5月18日～19日 | 83         |     |
|                 | 生涯学習情報提供システム担当者研修会 | 盛岡管内           | 平成22年5月11日 | 14  |
|                 |                    | 宮古・一関管内        | 平成22年5月12日 | 10  |
|                 |                    | 釜石・久慈管内        | 平成22年5月13日 | 6   |
|                 |                    | 花巻・北上・奥州管内     | 平成22年5月20日 | 4   |
|                 |                    | 大船渡・二戸管内       | 平成22年5月21日 | 8   |
|                 | 学校支援地域本部事業合同研修会    | 平成22年6月4日      | 109        |     |
|                 | 放課後子どもプラン指導者合同研修会  | 第1回            | 平成22年7月2日  | 201 |
|                 |                    | 第2回            | 平成22年9月12日 | 125 |
| 家庭教育子育て電話相談員研修会 | 平成22年10月7日         | 7              |            |     |
| 子育て支援ネットワーク研修会  | 平成22年10月7日         | 88             |            |     |

### 第3章 教育施策の推進状況

#### 第8節 広がりや深まりのある生涯学習の振興

##### 第2 生涯にわたる学習機会の充実

|                |                                    |                       |                 |    |
|----------------|------------------------------------|-----------------------|-----------------|----|
|                | 岩手県社会教育主事・公民館職員研修会 [共催]            | 平成22年9月1日             | 50              |    |
|                | 岩手県社会教育委員、公民館運営審議会委員研修会 [共催]       | 平成22年11月12日           | 150             |    |
| 専門研修           | 社会教育指導員等研修講座                       | 平成22年5月18日～19日        | 83              |    |
|                | 事業展開におけるリスク対処専門研修講座                | 平成22年5月25日            | 31              |    |
|                | 事業周知・広報スキルアップ専門研修講座                | 平成22年6月16日            | 29              |    |
|                |                                    |                       |                 |    |
|                | 事業プログラム作成専門研修講座                    | 平成22年8月25日            | 14              |    |
|                | 教育メディア専門研修講座                       | パワーポイント基礎編            | 平成22年10月6日      | 38 |
|                |                                    | パワーポイント応用編            | 平成22年11月9日      | 14 |
|                | 対人関係スキルアップ研修講座                     | 平成22年11月18日           | 15              |    |
|                | 移動研修講座 (12回、12日)                   | 平成22年5月28日～平成23年2月26日 | 341             |    |
| 養成研修           | 家庭教育子育てサポーター養成講座<br>(生涯学習推進センター会場) | 第1回                   | 平成22年6月24日～25日  | 38 |
|                |                                    | 第2回                   | 平成22年7月22日～23日  | 39 |
|                |                                    | 第3回                   | 平成22年8月19日～20日  | 38 |
|                |                                    | 第4回                   | 平成22年10月7日～8日   | 38 |
|                | 家庭教育子育てサポーター養成講座<br>(県北教育事務所会場)    | 第1回                   | 平成22年8月19日～20日  | 20 |
|                |                                    | 第2回                   | 平成22年9月21日～22日  | 21 |
|                |                                    | 第3回                   | 平成22年10月19日～20日 | 20 |
|                |                                    | 第4回                   | 平成22年11月18日～19日 | 21 |
|                | 親・地域との関係づくりセミナー                    | 平成22年8月2日             | 15              |    |
| 岩手県生涯学習推進研究発表会 | 平成22年2月9日～10日                      | 162                   |                 |    |
| 計              |                                    |                       | 1,909           |    |

## 5 社会教育施設の整備充実 (2 県立図書館)

### (1) 運営の方針

#### ア 運営体制の充実と広報活動の推進

- (ア) 図書館の運営に関し協議等を行うため、図書館法第14条に基づく「岩手県立図書館協議会」を置く。
- (イ) 的確な図書館運営に対応するため、派遣研修等により職員の資質の向上に努める。
- (ウ) 県立図書館及び市町村立図書館等の活動に関する情報を広く県民に提供するため、各種印刷物やホームページ等を活用し、広報の充実を図る。

#### イ 図書館資料の収集、整理、保存と活用の推進

- (ア) 「岩手県立図書館資料収集方針」に基づき、図書館資料を収集し、各種図書目録の整備を行い、県民及び市町村立図書館等の利用に供する。
- (イ) 郷土関係資料の保存機関として、網羅的な収集、整理、保存に努めるとともに、郷土資料講座等を通じて広く県民に紹介するなど、その普及・奨励を図る。
- (ウ) 県内の市町村立図書館等とのネットワークを構築し、県内総合目録の整備など、多くの県民が図書館資料を利用できる環境の整備を行う。

#### ウ 相談機能の強化

- (ア) レファレンス・サービスなどの情報提供や読書案内等を通じ、県民の学習活動の支援

### 第3章 教育施策の推進状況

#### 第8節 広がりや深まりのある生涯学習の振興

##### 第2 生涯にわたる学習機会の充実

を行う。また、市町村立図書館等を支援する協力レファレンスや各種の情報提供を行う。  
(イ) 郷土資料に関する各種データベースを構築し、ホームページ等を通じて県民及び市町村立図書館等に提供する。

##### エ 市町村立図書館等の支援強化

- (ア) 多くの県民が図書館サービスを楽しむよう、「未来を拓く いわたの図書館 ― 岩手県公立図書館等振興指針―」に基づき、図書館運営等に関する助言・支援を行うとともに、協力貸出等の各種支援を実施する。
- (イ) 市町村立図書館におけるレファレンス・サービスや児童サービスの充実、郷土に関する書誌情報の発掘・情報提供、学校図書館との連携など、図書館を取り巻く様々なテーマについて、市町村立図書館等と共同した調査・研究などの取組みを行う。
- (ウ) 市町村立図書館等における広域サービス体制や、専門研修など市町村立図書館職員を対象とした研修の充実を図るとともに、図書館間の情報の共有化を図るためのネットワークを構築する。

##### オ 学習機会の提供と読書活動の奨励

- (ア) 他の社会教育施設や複合施設内の各施設、大学等との連携により、展示会、講演会及び映画会等の学習機会の提供を行うとともに、読書普及活動などに関する県民の活動成果を発表する場を提供する。
- (イ) 「岩手の読書週間」をはじめとする各種週間に合わせ、「岩手県読書をすすめるつどい」などの事業を実施するとともに、県内の読書サークルや各種団体、企業、学校、市町村等に対し、読書普及用の図書の貸出（団体貸出）を行い、県内の読書活動の促進を図る。

##### カ 関係機関・団体との連携強化

- (ア) 複合施設内の各施設との連携を図り、来館者の多様な学習ニーズに対応する。
- (イ) 県内外の公立図書館、岩手県図書館協会、岩手県読書推進運動協議会、各種ボランティアグループ及び読書グループ等との連携を密にし、図書館サービスの向上や読書の普及・奨励を図る。
- (ウ) 他の社会教育施設、大学や専門機関等との連携を強化し、情報提供等サービスの拡充を図る。

#### (2) 実施状況

##### ア 県立図書館協議会開催状況

【期日】平成23年3月2日

【協議事項】・平成22年度事業実施状況について ・平成23年度事業計画について

##### イ 広報活動

各種機関誌を発行するとともに、報道機関等への情報提供やホームページの充実に努めた。

##### ウ 図書館資料の収集

岩手県立図書館資料収集方針に基づき図書館資料を収集した。郷土資料については、網羅的な収集に努めた。資料収集等の実績は次のとおり。

### 第3章 教育施策の推進状況

#### 第8節 広がりや深まりのある生涯学習の振興

##### 第2 生涯にわたる学習機会の充実

#### (ア) 図書資料

[単位：冊]

| 区分  | 購入    | 寄贈    | 除籍    | 年度末総冊数  |
|-----|-------|-------|-------|---------|
| 一般用 | 7,401 | 5,366 | 168   | 559,621 |
| 団体用 | 1,799 | 10    | 6,421 | 122,325 |
| 計   | 9,200 | 5,376 | 6,589 | 681,946 |

#### (イ) 視聴覚資料

[単位：点]

| 区分         | 購入  | 寄贈  | 除籍  | 年度末総点数 |
|------------|-----|-----|-----|--------|
| 16ミリ映画フィルム | 0   | 0   | 0   | 1,529  |
| ビデオテープ     | 0   | 0   | 363 | 3,585  |
| DVD        | 141 | 65  | 12  | 1,772  |
| CD         | 26  | 57  | 7   | 3,792  |
| レコード       | 0   | 0   | 0   | 1,492  |
| 録音テープ      | 0   | 0   | 0   | 1,448  |
| レリーフ・巧芸画   | 0   | 0   | 0   | 102    |
| 計          | 167 | 122 | 382 | 13,720 |

#### (ウ) 新聞・雑誌

[単位：タイトル数]

| 区分 | 年度末総タイトル数 |
|----|-----------|
| 新聞 | 291       |
| 雑誌 | 4,402     |
| 計  | 4,693     |

#### (エ) マイクロフィルム

[単位：点]

| 区分       | 購入 | 寄贈 | 除籍 | 年度末総点数 |
|----------|----|----|----|--------|
| マイクロフィルム | 36 | 0  | 0  | 10,520 |

#### (オ) 電子資料 [単位：点]

| 区分          | 年度末総点数 |
|-------------|--------|
| CD-ROM等     | 493    |
| オンラインデータベース | 17     |
| 計           | 510    |

### エ 利用者サービス

#### (ア) 入館者数及び新規貸出登録者数

入館者数………500,086人[前年比9,415人減]

新規貸出登録者数…7,245人[前年比626人減]

#### (イ) 個人への館外貸出数

| 区分       | 冊数又は点数  |
|----------|---------|
| 図書資料     | 279,564 |
| 視聴覚資料    | 22,121  |
| うちビデオテープ | 2,748   |
| DVD      | 7,147   |
| CD       | 12,226  |

#### (ウ) 図書館映画会及び読み聞かせ会

映画会は、一般向け41回、児童向け21回、計62回開催した。

また、児童向け読み聞かせ会を50回開催した。

#### (エ) 参考調査（レファレンス・サービス）

### 第3章 教育施策の推進状況

#### 第8節 広がりや深まりのある生涯学習の振興

##### 第2 生涯にわたる学習機会の充実

調べものや読書相談に延べ9,484件対応した。

(オ) ビジネス支援サービス（平成22年11月～）

|          |       |
|----------|-------|
| 利用者数     | 4,280 |
| 相談件数     | 232   |
| レファレンス件数 | 348   |
| 貸出冊数     | 4,453 |

ビジネス支援コーナー設置記念講演会を平成23年1月29日に実施（参加者42名）した。

(カ) 二次資料の作成

参考調査業務の能率化を図るため、二次資料4点を作成した。

- ・レファレンス事例データベース
- ・郷土関係雑誌目次集
- ・岩手日報郷土関係記事索引
- ・県内新聞雑誌所蔵目録

#### オ 市町村への支援協力

(ア) 市町村立図書館等職員専門研修

児童サービス研修3回 図書館本の取扱いと治し方1回

(イ) 市町村立図書館等への訪問・助言 11回

(ウ) 図書館等調査研究会の開催 委員17人 2回

(エ) 協力貸出

図書資料：1,597件、3,500冊  
視聴覚資料：33件、59点

(オ) 団体貸出

図書資料：32団体、41,464冊  
視聴覚資料：25団体、39点

(カ) 展示資料の貸出

県立図書館で展示した図書資料を、希望する市町村立図書館延べ64館に一定期間貸し出した。

【貸出展示資料】

延べ342点：「文学賞受賞図書展」「読みたくなる遠野物語－刊行100周年－」  
「歴史探訪（弐）－九戸の乱を中心に」「啄木資料展」「手づくり絵本展」他

(キ) 図書館等実態調査

県内の図書館等の図書施設の実態を把握するため、平成22年4月1日現在で調査を実施した。

#### カ 展示事業

(ア) 4階展示コーナー企画展示

| 実施内容                    | 展示点数 | 開催期間                   |
|-------------------------|------|------------------------|
| 岩手県立図書館のあゆみ             | 137  | 平成22年4月9日～5月24日        |
| 読みたくなる遠野物語－刊行100周年－     | 178  | 平成22年6月4日～7月25日        |
| 歴史探訪（弐）－九戸の乱を中心に－       | 87   | 平成22年8月6日～9月26日        |
| 第29回啄木資料展               | 178  | 平成22年10月8日～11月29日      |
| 地球環境を考えよう～今からはじめるエコライフ～ | 200  | 平成22年12月10日～平成23年1月30日 |
| 第31回手づくり絵本・紙芝居展         | 116  | 平成23年2月7日～2月14日        |
| 原敬～立志の時代とゆかりの人々～        | 89   | 平成23年2月18日～4月17日       |

(イ) 各カウンターミニ展示

| 場 所       | 実施内容              | 開催回数 |
|-----------|-------------------|------|
| 総合カウンター   | 「コミュニケーションを考える」など | 87   |
| 児童コーナー    | 「みんな、はばたけ」など      |      |
| 新聞・雑誌コーナー | 「旅に、出る。」など        |      |
| 音と映像コーナー  | 「めざせ！図書館の達人」など    |      |



## 5 社会教育施設の整備充実（3 県立青少年の家）

### (1) 県南青少年の家

#### ア 主催事業

- (7) 自然環境や地域の特性を生かした研修内容の充実を図った。
- (4) ボランティアの育成と活用による研修活動の充実を図った。
- (7) 関連施設・団体との連携による機能の活用を図った。

#### イ 研修活動

- (7) 団体等の研修目的や活動計画に対応した弾力的な運営に努めた。
- (4) 研修プログラム作成のための事前協議の奨励に努めた。
- (7) 職員研修の計画的な推進と利用団体に対する助言・指導の充実を図った。

#### ウ 利用の促進

- (7) 関係教育機関、団体との連携による年間にわたる効果的な利用の促進に努めた。
- (4) 施設開放と利用形態の多様化に対応した。
- (7) 親しみやすい施設運営と利用者層の拡大に努めた。

#### エ 環境の整備

- (7) 施設・設備の計画的な補修整備を行った。
- (4) 掲示資料等の収集と研修環境の整備を図った。
- (7) 施設・設備の点検と安全の確保に努めた。

### (2) 陸中海岸青少年の家

#### ア 主催事業

- (7) 活動内容の充実と参加者層の拡大に努めた。
- (4) 近隣市町村を中心に関係機関との連携を強化し、事業をより充実させることができた。
- (7) ボランティアの育成とその活用に努めた。
- ④ 家族参加型事業の充実を図った。

#### イ 研修活動

- (7) 利用団体との事前打ち合わせを充実させ、利用者の目的が達成するよう支援できた。
- (4) 利用者のニーズを把握し、より良い活動内容の提供に努めた。
- (7) 施設・整備の効果的な活用と柔軟な運営を図った。諸活動の前には下見に行く等、極力、安全面に配慮した。

#### ウ 利用の促進

- (7) 関係機関・団体との連携強化を図った。
- (4) 未利用団体に対して利用促進に努めた。
- (7) 利用者が満足できる接遇に努めた。

#### エ 環境の整備

- (7) 施設・設備の計画的な整備・充実を図った。
- (4) 活動環境の保全と美化の促進に努めた。
- (7) 情報、資料の収集整備と提供に努めた。
- (7) 活動エリアの施設等点検と安全確保に努めた。

### (3) 県北青少年の家

#### ア 主催事業

- (7) 各季節の星座を紹介するため、プラネ鑑賞デーの秋の星座鑑賞を新規に実施した。
- (4) 宿泊体験事業の拡大・充実に努めた。
- (7) 関係機関・NPO団体等との連携強化を図った。

#### イ 研修活動

- (7) 団体の研修目的が達成されるよう積極的な支援に努めた。
- (4) 団体の活動計画に対応した柔軟な運営に努めた。
- (7) 計画的なスキルアップ研修や研究を行い、研修プログラムの充実を図った。

#### ウ 利用の促進

- (7) 訪問活動による利用団体の開拓を行った。
- (4) 施設開放事業を行い県民に親しまれるよう努めた。
- (7) 利用者の意向に沿った管理運営に努め、満足度の向上を図った。

#### エ 環境の整備

- (7) 施設・設備の安全点検、補修整備を計画的に行った。
- (4) 研修環境の整備・改善及び情報提供を図った。
- (7) 自然環境に優しい施設及び環境美化に努めた。



### 第3章 教育施策の推進状況

#### 第8節 広がりや深まりのある生涯学習の振興

##### 第2 生涯にわたる学習機会の充実

#### 【県立県南青少年の家 平成22年度主催事業及び自主事業】

- (1) 「**かるがも親子体験教室**」  
【目的】親子で共同体験や交流活動を行うことにより、相互の理解と関係を深めるとともに、親同士の交流を通して子育てをする仲間づくりを促進する。  
【対象】小・中学生の子どもを持つ家族20家族40人程度  
【内容|期日|参加者数】  
①親子でアウトドアクッキング編|7月3日|39人  
②親子でキャンプ!編|9月4日~5日|28人  
③④親子で創作編!|③④12月11日|37人
- (2) **自然ワンダークラブ**  
【目的】四季を通してさまざまな活動を体験することにより、環境についての考えを深め、自然を大切にしようとする心を育てる。  
【対象】小学校4年生~中学生25人、高校・大学生等ボランティア  
【内容|期日|参加者数】  
①~春~ 緑と遊ぼう | 6月5日~6日 | 30人  
②~夏~ 川と遊ぼう | 8月28日~29日 | 24人  
③~秋~ 山と遊ぼう | 10月16日~17日 | 26人  
④~冬~ 雪と遊ぼう | 1月29日~30日 | 28人
- (3) **水と緑のフレンドシップ**  
【目的】異年齢集団による野外体験活動等を通して、主体的に活動する心豊かでたくましい青少年の育成を図る。  
【内容】仲間づくりレク、キャンプ、野外炊事、創作活動等  
【対象】小学校5年生~中学生30人、高校・大学生等ボランティア  
【期日|参加者数】7月26日~7月30日|30人
- (4) **みんなdeスクラム**  
【目的】親子が気軽にさまざまな体験活動を行い、活動の喜びを共有しながら、経験の拡大と参加者相互の交流を図る。  
【対象】特別な支援を要する児童・生徒とその保護者20人、高校・大学生等ボランティア  
【内容|期日|参加者数】  
①新緑の季節を体感しよう! | 6月12日 | 22人  
②秋の実りを味わおう! | 9月11日 | 14人
- (5) **冬のおもしろ体験ランド**  
【目的】冬の自然に触れながら、野外活動の喜びを体験するとともに、創作活動等を通じて参加者相互の交流を図る。  
【内容】Enjoy!!スキー&スケート [スキー・スケート体験等]  
【対象】小学校4年生~中学生30人、高校・大学生ボランティア  
【期日|参加者数】2月5日~6日|29人
- (6) **冬のわくわく創作ランド**  
【目的】長期休業を利用し、子どもたちに創作活動の機会を提供することで、物作りの楽しさを体験してもらうとともに、参加者相互の交流を深める。  
【内容】「イライラ棒」「トゥインクルシート」製作  
【対象|期日|参加者数】小学校4年生~中学生30人|1月8日|24人
- (7) **アドバイザースタッフ養成講座**  
【目的】児童生徒の学校外活動を援助する高校生・大学生等の育成を図り、施設におけるボランティア活動を推進する。  
【内容】ニュースポーツ、創作活動、野外炊事等  
【対象】高校生・大学生等ボランティア20人  
【期日|参加者数】5月22日~23日|42人
- (8) **集団宿泊指導研修会**  
【目的】宿泊研修を効果的に実施するための知識・技術の習得を図るとともに、利用団体間の計画調整を図る。  
【内容】野外活動、創作活動、情報交換等  
【対象】利用団体関係者等  
【期日|参加者数】①5月7日、②8月11日|①46人、②21名
- (9) **ホットタイムin県南**  
【目的】さまざまな体験活動を通して、余暇の充実を図る。  
【内容|期日|参加者数】①七時雨山登山|7月14日|25人  
②栗駒山登山 | 10月6日 | 20人
- (10) **県南は~とふるDay**  
【目的】日常と異なる環境の中で、さまざまな体験活動を通して参加者相互の交流と経験の拡大を図る。  
【内容】野外活動、創作活動等  
【対象|期日|参加者数】学校不適応児童・生徒|8月25日|9人
- (11) **体験!体感!みどりのキャンパス**  
【目的】青少年の体験学習活動を推進する指導者を養成するために、必要な知識の習得及び技術の向上を図る。  
【内容】施設紹介、野外活動、ニュースポーツ、創作体験等  
【対象】社会教育・学校教育関係者、子ども会等少年団体指導者20人  
【期日|参加者数】①5月7日、②8月11日|①30人、②26名
- (12) **レッツ!スキー**  
【目的】青少年の余暇利用として、スキーを楽しむ機会を提供するとともに、参加者相互の交流を深める。  
【内容】夏油高原スキー場でのスキー実技等  
【対象】スキー経験のある小学4年生~小学6年生30人  
【期日|参加者数】1月9日|20人
- (13) **【自主事業】みどりのキャンパスふれあいフェスティバル**  
【目的】スポーツや創作活動等を通して、県南青少年の家に対する理解と親しみを深めるとともに、生涯スポーツ等への参加の契機とする。  
【内容】ニュースポーツ体験、創作体験、作品展、食の祭典等  
【期日|参加者数】10月2日~3日|1,695人
- (14) **【自主事業】県南青少年の家所長杯「サッカーフェスティバル」**  
【目的】スポーツを通して、青少年の健全育成を図るとともに、参加団体相互の交流を促進する。  
【内容】サッカー試合、サッカー講習会  
【対象】サッカースポーツ少年団15チーム  
【期日|参加者数】10月2日~3日|1,394人
- (15) **【自主事業】レッツ!スケート**  
【目的】青少年の余暇利用として、冬季野外活動の機会を提供するとともに、スケートを楽しみながら親子のふれあいや、参加者相互の交流を深める。  
【対象】小学生~家族、一般40人  
【期日|参加者数】①2月29日、②2月5日|①68人、②70人

### 第3章 教育施策の推進状況

#### 第8節 広がりや深まりのある生涯学習の振興

##### 第2 生涯にわたる学習機会の充実

#### 【県立陸中海岸青少年の家 平成22年度主催事業及び自主事業】

- (1) **自然体験活動セミナー**  
【目的】自然体験活動の普及を図るため、指導者の養成をねらい、実践活動を通して資質の向上を図る。  
【対象】学校教育・社会教育担当者、教員20人  
【内容 | 期日 | 参加者数】  
① 4月17日 | 9人  
② 4月27～28日 | 20人
- (2) **創作ひろば**  
【目的】青少年の余暇活動として、季節の創作活動の機会を提供する。親子のふれあいや、参加者相互の交流を深める。  
【対象】小学生(家族)～一般30人  
【内容 | 期日 | 参加者数】  
① アイディアとアレンジでクリスマス&お正月 12月18日 | 80人  
② お菓いで季節を感じよう 2月12日 | 40人
- (4) **ワンダフルネイチャー**  
【目的】野外活動を通して、身近な自然に対する興味や関心を深める。参加者相互の交流やふれあいを深める。  
【対象】小学生(家族)～一般30人  
【内容 | 期日 | 参加者数】  
① 新緑の鯨山トレッキング | 5月16日 | 169人  
② 重茂半島トレッキング | 5月30日 | 48人  
③ 海中散歩 | 7月10日 | 10人
- (5) **海釣り道場**  
【目的】自然の中で、海釣り(船、堤防)の醍醐味を滞喫する。親子、参加者相互の交流やふれあいを深める。  
【対象】小学生以上の20家族 ①②各コース30人、③40人  
【内容 | 期日 | 参加者数】  
① 船釣り、堤防釣り | 4月24日～25日 | 62人  
② 船釣り、堤防釣り | 6月5日～6日 | 33人  
③ ハゼ釣り | 9月11日～12日 | 35人  
④ 船釣り、堤防釣り | 10月2日～3日 | 17人
- (6) **「家族ふれあい塾」**  
【目的】野外での自然体験活動を通して、親子の相互理解を図り、ふれあいを深める。親同士の交流を通じて連帯感を醸成し、子育てをする仲間作りを促進する。  
【対象】15家族45人  
【内容 | 期日 | 参加者数】  
① アウトドア料理と鯨カヌーでいくオランダ島 | 7月3日～4日 | 25人  
② 来て！見て！ふれて！三陸あったか体験 [新巻鮭造り、養殖体験等] | 9月4日～5日 | 中止  
③ 三陸あったか体験 | 11月6日～7日 | 11人
- (7) **自然体験塾**  
【目的】自然体験活動を通して、思いやりの心や自然を大切にすることを育み、参加者相互の交流を図る。
- ア 海の子野外教室**  
【内容】キャンプ体験、いかだ遊び、海中散策、海釣り等  
【対象】小学5年生～高校生30人  
【期日 | 参加者数】8月6日～11日 | 31人
- イ チャレンジキッズキャンプ**  
【内容】テント泊、いかだ遊び、野外炊事等  
【対象】年長～小学4年生、保護者30人  
【期日 | 参加者数】8月28日～29日 | 17人
- ウ 雪ん子野外教室  
【内容】バーベキュー、グラウンド・ゴルフ等  
【対象】子どもとその家族20人  
【期日 | 参加者数】1月12日～15日 | 37人
- (8) **レッツスケート**  
【目的】スケート体験を通し、心身の健全な発達と技術の向上を図る。  
【対象】小学生～家族・一般  
【期日 | 参加者数】1月22日 | 40人
- (9) **アドバイザースタッフセミナー**  
【目的】施設ボランティアの基礎的な知識や技術を習得する。  
【対象】中・高・大学生・一般  
【期日 | 参加者数】3月24日～25日 | 中止
- (10) **やまびこキャラバン**  
【目的】各地域での集会活動や各地域での教育力向上を支援するために、地域に出向き創作等を紹介し、ものづくりの楽しさを体験してもらう。  
【対象】幼児・小学生(家族)～一般  
【内容 | 期日 | 参加者数】通年 | 8,940人
- (11) **ハートフルキャラバン**  
【目的】創作活動やニュースポーツを通して参加者相互の交流を図り、心身ともに健康な生活ができるきっかけ作りの場を提供する。  
【対象】不登校傾向にある児童・生徒等  
【期日 | 参加者数】① 出前指導 | 通年 | 0人  
② ハートフルディキャンプ | 8月20日 | 0人
- (12) **[自主事業] マリンランド杯交流ミニバスケットボール大会**  
【目的】大会を通し、心身の健全な発達と技能の向上を図るとともに、参加者相互の親睦・交流を深める。  
【対象】山田・大槌町内のミニバスケットボールスポーツ少年団  
【期日 | 参加者数】3月5日、6日 | 676人
- (13) **[自主事業] マリンランド杯交流フットサル大会**  
【目的】大会を通し、心身の健全な発達と技能の向上を図るとともに、参加者相互の親睦・交流を深める。  
【対象】沿岸地区のサッカースポーツ少年団  
【期日 | 参加者数】2月19日、20日 | 1,212人
- (14) **[自主事業] マリンランド杯交流ミニバスケットボール大会**  
【目的】大会を高年齢者のためのいきいきスポーツ大会  
【目的】社会参加活動の一環として、各種大会・講習会等を実施するにあたり、その円滑な運営のための支援を行う。
- ア グラウンドゴルフ大会**  
【対象】沿岸地区在住概ね60歳以上の県民192人程度  
【期日 | 参加者数】① 4月7日 | 90人 ② 5月26日 | 125人  
③ 10月13日 | 74人 ④ 11月3日 | 98人
- イ ゲートボール大会**  
【対象】沿岸地区在住概ね60歳以上の県民100人程度  
【期日 | 参加者数】  
① 11月25日 | 43人 ② 3月2日 | 60人
- (15) **親子Deチャレンジ!!**  
【目的】3青少年の家の連携により、体験活動を通して、親子のふれ合いや家族同士の親睦を深める。  
【内容】カーリング体験、スケート、プラネタリウム鑑賞  
【対象】8家族 30名程度  
【期日 | 参加者数】11月20日～21日 | 20人

### 第3章 教育施策の推進状況

#### 第8節 広がりや深まりのある生涯学習の振興

##### 第2 生涯にわたる学習機会の充実

#### 【県立県北青少年の家 平成22年度主催事業及び自主事業】

##### (1) 野外活動セミナー

【目的】 野外活動プログラムの展開に必要な実技研修を行うことにより、当施設におけるより円滑な活動に資する。

【内容】 野外活動技術、施設見学、利用説明、プログラム相談

【対象】 5月から10月までの利用団体の担当者

【期日 | 参加者数】 ①5月7日 | 11人 ②5月26日 | 25人

##### (2) ボランティア研修会

【目的】 高校生等のボランティア活動への参加意欲を高め、当施設におけるボランティア育成を図る。

【内容 | 対象】 講義及び実習等 | 高校生等、一般 定員なし

【期日 | 参加者数】 ①6月4日～6日 | 18人 ②9月24日～26日 | 9人

##### (3) ジュニアフォレスト大作戦

【目的】 各季節における森林に関する学習や体験活動等を行うことにより、自然を大切にすることを育み、環境保全へ向かおうとする実践意欲を育てる。

【内容】 森林学習、自然観察、野外炊事、環境保護活動体験等

【対象】 小学校4年生～小学校6年生

【期日 | 参加者数】 ①5月15日～16日 | 75人

②10月2日～3日 | 69人 ③1月22日～23日 | 63人

##### (4) わんぱく広場

【目的】 体験活動とおして、思いやりの心を育てるとともに、友だちや親子のふれあいを深める。

【内容】 うどん打ち体験、流しうどん等

【対象 | 期日 | 参加者数】 子どもから大人まで60人 | 6月6日 | 66人

##### (5) プラネ鑑賞デー

【目的】 季節の星座の紹介など、プラネタリウム鑑賞を通して、天文やファンタジックな宇宙への興味を喚起する。

【内容 | 対象】 プラネタリウム投影等 | 子どもから大人まで60人

【期日 | 参加者数】 ①7月4日 | 195人 ②9月19日 | 76人

③12月19日 | 81名

##### (6) サマースクール

【目的】 各種の野外活動等を通して、自然を大切にすることを、豊かな感性や思いやりの心、リーダーの育成を育むとともに、活動意欲に満ちた青少年の育成を図る。

【内容】 自然体験、野外活動、創作活動等

【対象】 小学校3年生～4年生 30人

【期日 | 参加者数】 7月17日～18日 | 79人

##### (7) 夏休みなんでも教室

【目的】 自然環境の中で、異年齢集団での中期にわたる多彩な活動を通して、自主性、忍耐や思いやりの心を育むとともに、活動意欲に満ちた青少年の育成を図る。

【内容】 自然体験、野外活動、野外炊事、キャンプ体験等

【対象】 小学校5年生～6年生 30人

【期日 | 参加者数】 ①《初級》7月26日～29日 | 34人

②《中級》8月7日～11日 | 31人

##### (8) あつまれキッズランド

【目的】 自然等を介した学びの場において、自立心や協調性を育むとともに、参加者同士の交流を図る。

【対象】 5、6歳児、小学校1年生～2年生 20人

【内容】 レクリエーション、自然探索等

【期日 | 参加者数等】 9月25日～26日 | 29人

##### (9) 星友の日

【目的】 青少年の家等における活動を通して、学校不適応児童・生徒が生活範囲を広げる機会を提供することにより、参加者

の行動意欲を高める。

【内容】 創作活動、自然観察、ニュースポーツ等

【対象】 小・中学校学校不適応児童・生徒

【期日 | 参加者数】 11月18日 | 7人

##### (10) スケート実技セミナー

【目的】 スケート利用団体の指導者の各技能別による技術の向上を図るとともに、各技能別指導法を研修する。

【内容】 スケート教室の展開（実技・説明）、プログラム相談等

【対象】 11月から3月までのスケート利用団体担当者

【期日 | 参加者数】 10月29日 | 11人

##### (11) スケート場感謝デー

【目的】 「いわて教育の日」の趣旨を踏まえて、県北青少年の家のスケート場を開放し、家庭・地域のふれあいを促進するとともに、健全育成を図る。

【内容】 スケート場無料開放、氷上スポーツ体験等

【対象】 子どもから大人まで

【期日 | 参加者数】 11月3日 | 734人

##### (12) だれでも氷上スポーツ

【目的】 冬季スポーツの技術の向上を図るとともに、青少年の健全育成を図る。

【内容】 ①～③技能別スケート教室等

④カーリング教室等、 ⑤氷上綱引き

【対象】 ①～④子どもから大人まで50人

⑤小学生の部、大人の部（中学生以上）合計24チーム

【期日 | 参加者数】 ①11月6日 | 65人 ②11月27日 | 104人 ③12月

4日 | 75人 ④2月5日 | 40人 ⑤3月5日 | 204人

##### (13) [自主事業] 県北さくらまつり

【目的】 桜の開花時期に合わせて屋外施設を一般開放し、日頃の利用に感謝するとともに、当青少年の家の本格的な活動時期の到来を広く県民に周知する。

【内容 | 対象】 仲間づくり、創作活動等 | 子どもから大人まで

【期日 | 参加者数】 5月9日～15日 | 77人

##### (14) [自主事業] 県北フェスティバル

【目的】 県北青少年の家を開放し、生涯学習の拠点としての青少年の家への理解と親しみを深め、各種活動を通して参加者相互の交流を図る。

【内容】 創作等体験、ステージ発表等

【対象 | 期日 | 参加者数】 子どもから大人まで | 8月22日 | 805人

##### (15) [自主事業] 親子deチャレンジ！

【目的】 県南青少年の家、陸中海岸青少年の家、県北青少年の家の三つの施設が互いに連携を取り合って企画するもので、体験活動を通して、親子のふれあいを高め、同行家族との親睦を深めるとともに、郷土の素晴らしさを知る。

【内容】 スケート、カーリング、情報交換会等

【対象】 小学校以上の子どもの持つ家族 10家族程度30人

【期日 | 参加者数】 11月20日～21日 | 25人

##### (16) [自主事業] スケート場キッズ感謝デー

【目的】 スケートを初めとした氷上スポーツの普及と冬季における体力・健康増進を図るとともに、今年度の利用に感謝し小学生以下にスケート場靴代、入場料を無料とし開放することにより利用促進を図る。

【内容】 スケート教室等

【対象】 小学生以下の子ども

【期日 | 参加者数】 3月21日 | 中止

第3章 教育施策の推進状況

第8節 広がりや深まりのある生涯学習の振興

第2 生涯にわたる学習機会の充実

5 社会教育施設の整備充実（4 市町村の社会教育施設：公民館）

(1) 施設

県内の市町村が設置する公民館数は365館と前年より6館減少した。公民館未設置市町村は、田野畑村、普代村及び野田村の3村であり、それぞれコミュニティセンター等の関連施設を活用して社会教育諸活動を実施している。

| 本館 |  | 中央館 | 24  |
|----|--|-----|-----|
|    |  | 地区館 | 188 |
|    |  | 小計  | 212 |
| 分館 |  | 147 |     |
| 計  |  | 359 |     |

(2) 職員

社会教育活動の中心的役割を果たす公民館職員は、本務・兼務合わせて351人と前年より35人減少した。また、兼務職員が本務職員数を上回る傾向が続いている。

|    |     | 館長 |    |    | 補佐・係長 |    |    | 社会教育主事 |    |    | 主事等 |    |     | 計   |     |     |
|----|-----|----|----|----|-------|----|----|--------|----|----|-----|----|-----|-----|-----|-----|
|    |     | 本務 | 兼務 | 計  | 本務    | 兼務 | 計  | 本務     | 兼務 | 計  | 本務  | 兼務 | 計   | 本務  | 兼務  | 計   |
| 本館 | 中央館 | 4  | 16 | 20 | 15    | 12 | 27 | 1      | 7  | 8  | 25  | 21 | 46  | 45  | 56  | 101 |
|    | 地区館 | 8  | 46 | 54 | 42    | 25 | 67 | 3      | 3  | 6  | 48  | 53 | 101 | 101 | 127 | 228 |
|    | 小計  | 12 | 62 | 74 | 57    | 37 | 94 | 4      | 10 | 14 | 73  | 74 | 147 | 146 | 183 | 329 |
| 分館 |     | 0  | 18 | 18 | 0     | 2  | 2  | 0      | 0  | 0  | 0   | 2  | 2   | 0   | 22  | 22  |
| 計  |     | 12 | 80 | 92 | 57    | 39 | 96 | 4      | 10 | 14 | 73  | 76 | 149 | 146 | 205 | 351 |

(3) 第58回岩手県公民館大会

生涯学習社会の構築が求められ、公民館の果たすべき役割がますます重要になってきている今日、広く県内の公民館関係者や社会教育関係者が一堂に会し、今後の公民館のあり方や具体的な運営方策など今日的な課題について話し合い、研究を深めることにより、本県公民館活動の新たな展開を図るため、次のとおり開催した。

- ア 期日・会場 平成22年7月15日～16日（二戸市民文化会館）
- イ 記念講演 「地域コミュニティにおいて公民館が果たす役割」  
講師 岩手大学客員教授 高橋 寛 氏
- ウ 分科会 第1分科会 公民館の管理・運営  
第2分科会 協働による公民館活動  
第3分科会 これからの公民館事業

(4) 第64回優良公民館表彰（平成22年度文部科学大臣表彰）

ア 奥州市立古城公民館

地区防犯協会や青壮年団体等が中心となって、地域の幅広い年齢層が多様な活動を通じて積極的に交流する機会が設けられており、地域理解や連帯感の醸成が進められている。第34回古城地区文化祭・第19回防犯かくし芸大会は、公民館を拠点として取り組んだ創作・演芸活動の総合的発表の場として開催し、地域の芸術文化活動の振興及び地区民交流の活性化を図っている。また、防犯に関する催しを通して、地区民の防犯意識の高揚を図り、明るい地域づくりを目指した活動が評価された。

イ 一関市立老松公民館

老松公民館は、地域の良さを子どもたちに知ってもらおうと、「おらほのしきたり保存事業」「おらほの名人活用事業」と銘打って、しきたりの伝承と高齢者の人材活用に取り組んでいる。

言葉を大切にする事業「地元学講座」では、花泉町内の方言や昔話などを正しく記録し伝承するため、それらを調査・整理し記録したものを学級講座や小学生を対象とした世代間交流事業の中で伝え、教育力の向上を図っていることが評価された。



第3章 教育施策の推進状況

第8節 広がりや深まりのある生涯学習の振興

第2 生涯にわたる学習機会の充実

5 社会教育施設の整備充実（5 県立博物館）

岩手県立博物館は、本県における教育、学術及び文化の発展と、新しい郷土を築く県民意欲の高揚に寄与することを基本姿勢として運営に努めている。平成22年度は、企画展、テーマ展、移動展の開催、各種講演会、セミナーの開催など、館の内外にわたる積極的な活動を展開した。

(1) 博物館協議会開催状況

ア 平成22年度岩手県立博物館協議会

① 期日 平成22年10月22日

② 会場 岩手県立博物館会議室

③ 協議事項

a 平成22年度博物館事業実施状況について

b 平成23年度博物館事業計画(案)について

(2) 平成22年度利用状況

総利用者数：60,850人  
 入館者数……………36,079人  
 教育普及事業参加者数……………11,764人  
 移動展入館者数……………760人

【平成22年度入館者数】

[単位：人、日]

| 区分<br>月 | 個人利用   |      |       |        | 団体利用  |      |      |       | 免除利用  |      |       |        | 総利用人員  |       |        |        | 開館<br>日数 | 1日平均<br>利用人数 |
|---------|--------|------|-------|--------|-------|------|------|-------|-------|------|-------|--------|--------|-------|--------|--------|----------|--------------|
|         | 一般     | 高大学生 | 小中学生  | 計      | 一般    | 高大学生 | 小中学生 | 計     | 一般    | 高大学生 | 小中学生  | 計      | 一般     | 高大学生  | 小中学生   | 計      |          |              |
| 4       | 1,488  | 56   | 647   | 2,191  | 100   | 262  | 0    | 362   | 639   | 9    | 367   | 1,015  | 2,227  | 327   | 1,014  | 3,568  | 26       | 137          |
| 5       | 1,455  | 55   | 827   | 2,337  | 382   | 58   | 21   | 461   | 1,087 | 0    | 583   | 1,670  | 2,924  | 113   | 1,431  | 4,468  | 26       | 172          |
| 6       | 785    | 45   | 343   | 1,173  | 95    | 25   | 0    | 120   | 650   | 2    | 728   | 1,380  | 1,530  | 72    | 1,071  | 2,673  | 26       | 103          |
| 7       | 1,273  | 48   | 524   | 1,845  | 102   | 24   | 56   | 182   | 807   | 36   | 391   | 1,234  | 2,182  | 108   | 971    | 3,261  | 27       | 120          |
| 8       | 3,774  | 198  | 1,342 | 5,314  | 257   | 74   | 25   | 356   | 910   | 108  | 115   | 1,133  | 4,941  | 380   | 1,482  | 6,803  | 28       | 242          |
| 9       | 711    | 44   | 370   | 1,125  | 122   | 0    | 74   | 196   | 314   | 0    | 367   | 681    | 1,147  | 44    | 811    | 2,002  | 17       | 117          |
| 10      | 1,801  | 47   | 776   | 2,624  | 265   | 0    | 56   | 321   | 1,399 | 48   | 1,153 | 2,600  | 3,465  | 95    | 1,985  | 5,545  | 27       | 205          |
| 11      | 931    | 51   | 418   | 1,400  | 43    | 0    | 24   | 67    | 995   | 13   | 323   | 1,331  | 1,969  | 64    | 765    | 2,798  | 25       | 111          |
| 12      | 416    | 34   | 299   | 749    | 15    | 0    | 19   | 34    | 232   | 0    | 190   | 422    | 663    | 34    | 508    | 1,205  | 24       | 50           |
| 1       | 441    | 23   | 345   | 809    | 10    | 0    | 11   | 21    | 224   | 0    | 112   | 336    | 675    | 23    | 468    | 1,166  | 24       | 48           |
| 2       | 727    | 23   | 346   | 1,096  | 117   | 0    | 0    | 117   | 554   | 0    | 62    | 616    | 1,398  | 23    | 408    | 1,829  | 24       | 76           |
| 3       | 214    | 10   | 211   | 435    | 28    | 0    | 0    | 28    | 147   | 0    | 151   | 298    | 389    | 10    | 362    | 761    | 18       | 42           |
| 計       | 14,016 | 634  | 6,448 | 21,098 | 1,536 | 443  | 286  | 2,265 | 7,958 | 216  | 4,542 | 12,716 | 23,510 | 1,293 | 11,276 | 36,079 | 292      | 123          |

(3) 博物館活動

ア 資料の収集保管活動

(ア) 資料の収集整理

平成22年度は、右の12,494点の資料についての受け入れ、登録事務を行った。

| 【収集資料数】[単位：点] | 地質    | 生物      | 考古     | 歴史     | 民俗     | 計       |
|---------------|-------|---------|--------|--------|--------|---------|
| 平成21年度末 累計    | 8,722 | 98,510  | 38,958 | 36,936 | 17,088 | 200,214 |
| 平成22年度登録点数    | 31    | 10,600  | 1,670  | 11     | 182    | 12,494  |
| 計             | 8,753 | 109,110 | 40,628 | 36,947 | 17,270 | 212,708 |

(イ) 資料の貸出状況

他の博物館、美術館などに展示や研究等の目的で貸出した資料は、次のとおりである。

- a 地質 恐竜マイアサウラほか 136点
- b 生物 哺乳類剥製標本ほか 41点
- c 考古 一関市熊穴洞穴遺跡出土貝輪ほか 96点
- d 歴史 川口月村「奥羽寒図記」ほか 135点
- e 民俗 森口多里写真コレクションほか 122点

(ウ) 文化財科学

資料の保存と活用のため、適切な環境の維持、調整に努めた。

また、資料の保存管理のために必要なくん蒸消毒と科学的保存処理を行った。

### 第3章 教育施策の推進状況

#### 第8節 広がりや深まりのある生涯学習の振興

##### 第2 生涯にわたる学習機会の充実

#### イ 調査研究活動

博物館における調査研究活動は、共通テーマのほか地質、生物、考古、歴史、民俗及び文化財科学の各分野ごとに行う研究テーマと全分野で取り組む総合調査とがある。

平成22年度は22テーマについて年次計画に従い研究を進めた。

| 分野    | 調査研究テーマ                  |
|-------|--------------------------|
| 地質    | 「地域地質に関する研究」 ほかに2テーマ     |
| 生物    | 「地域生態系の研究」 ほかに4テーマ       |
| 考古    | 「岩手における近代考古学の研究」 ほかに2テーマ |
| 歴史    | 「八戸藩成立期の研究」 ほかに3テーマ      |
| 民俗    | 「有形民俗文化財に関する研究」 ほかに3テーマ  |
| 文化財科学 | 「文化財の保存環境に関する研究」 ほかに2テーマ |

#### ウ 展示活動

##### (ア) 常設展示の充実

「総合展示」「いわて文化史展示室」「いわて自然史展示室」等の展示替え

「体験学習室」の衣装の整備

「移動展」を埋蔵文化財センターと合同開催

##### (イ) 特別展示等の開催

| 種別                     | 名称                              | 会期                       |
|------------------------|---------------------------------|--------------------------|
| 第62回企画展                | 病をいやす ～くすり・まじない・神だのみ～           | 平成22年3月27日～5月5日          |
| テーマ展                   | 新指定文化財展                         | 平成22年6月1日～7月4日           |
| 北東北三県共同展               | 境界に生きた人々～遺物でたどる北東北のあゆみ～         | 平成22年7月23日～8月29日         |
| 開館30周年記念特別企画展(第63回企画展) | いわての漆～縄文から現代まで岩手に伝わる漆の文化～       | 平成22年10月2日～11月7日         |
| テーマ展                   | 大地(ジオ)を楽しむ旅へ                    | 平成22年12月5日～平成23年2月27日    |
| テーマ展                   | くらしと古文書                         | 平成23年4月19日～5月8日<br>に会期変更 |
| 移動展                    | いわての宝をみよう～自然・文化、住田の遺跡～(住田町農林会館) | 平成22年11月19日～11月23日       |

※テーマ展「くらしと古文書」は平成23年3月19日～5月8日までの開催予定であったが、平成23年3月11日に発生した東日本大震災の影響で平成22年度内に開催ができなかった。

##### (ウ) 解説会

以下のとおり、計166催し、2,711人の参加があった。

###### a 特別展示・展示解説会(12回開催、延べ294人参加)

| 期日          | 場所    | 担当    | テーマ                                 |
|-------------|-------|-------|-------------------------------------|
| 平成22年4月18日  | 特別展示室 | 民俗    | 企画展「病をいやす」展示解説会②                    |
| 平成22年5月3日   | 特別展示室 | 民俗    | 企画展「病をいやす」展示解説会③                    |
| 平成22年8月1日   | 特別展示室 | 考古・歴史 | 特別展「境界に生きた人々」展示解説会①                 |
| 平成22年8月15日  | 特別展示室 | 考古・歴史 | 特別展「境界に生きた人々」展示解説会②                 |
| 平成22年10月2日  | 特別展示室 | 民俗    | 特別展「いわての漆」展示解説会①                    |
| 平成22年10月16日 | 特別展示室 | 民俗    | 特別展「いわての漆」展示解説会②                    |
| 平成22年10月30日 | 特別展示室 | 民俗    | 特別展「いわての漆」展示解説会③                    |
| 平成22年11月6日  | 特別展示室 | 民俗    | 特別展「いわての漆」展示解説会④                    |
| 平成22年12月5日  | 特別展示室 | 地質    | テーマ展「大地(ジオ)を楽しむ旅へ」展示解説会①            |
| 平成23年1月16日  | 特別展示室 | 地質    | テーマ展「大地(ジオ)を楽しむ旅へ」展示解説会②            |
| 平成23年2月20日  | 特別展示室 | 地質    | テーマ展「大地(ジオ)を楽しむ旅へ」展示解説会③            |
| 平成23年3月21日  | 特別展示室 | 歴史    | テーマ展「くらしと古文書」展示解説会①<br>(※臨時休館のため中止) |

### 第3章 教育施策の推進状況

#### 第8節 広がりと深まりのある生涯学習の振興

##### 第2 生涯にわたる学習機会の充実

###### b 移動展示解説会（1回開催、51人参加）

| 期 日         | 場 所     | 担 当 | テ ー マ               |
|-------------|---------|-----|---------------------|
| 平成22年11月23日 | 住田町農林会館 | 各部門 | 合同移動展「いわての宝をみよう」解説会 |

###### c 常設展示・展示解説会（147回開催、延べ2,171人参加）

| 区 分  | 回 数           | 参加者数     | 場 所   | 担 当            | 内 容                      |
|------|---------------|----------|-------|----------------|--------------------------|
| 定時解説 | 52回（日曜日を除く毎日） | 延べ141人   | 総合展示室 | 学芸第三課<br>（解説員） | 総合展示室の展示資料に<br>ついての展示解説会 |
| 通覧解説 | 95回（随時）       | 延べ2,030人 |       |                |                          |

###### d 開館30周年記念特別企画展関連（6回開催、延べ195人参加）

| 区 分     | 回 数 | 参加者数 | 場 所       | 担 当 | 内 容                     |
|---------|-----|------|-----------|-----|-------------------------|
| 記念写真撮影会 | 2回  | 36人  | エントランスホール |     |                         |
| 漆掻き実演   | 4回  | 159人 | 博物館敷地内    | 民俗  | 岩手県浄法寺漆生産組合に<br>よる漆掻き実演 |

## エ 教育普及活動

### 【講演会、観察会等の開催事業一覧】

| No. | 開催事業名            | 開催回数   | 参加者数   |
|-----|------------------|--------|--------|
| 1   | 県博日曜講座           | 21回    | 397人   |
| 2   | 民俗講座             | 1回     | 130人   |
| 3   | 考古学セミナー講演会・現地見学会 | 2回     | 151人   |
| 4   | 北東北三県共同展特別講演会    | 2回     | 312人   |
| 5   | 文化講演会            | 1回     | 74人    |
| 6   | 秋期博物館セミナー        | 5回     | 283人   |
| 7   | 冬期文化講演会          | 1回     | 95人    |
| 8   | 国際博物館の日記念事業      | 1回     | 36人    |
| 9   | 第3回博物館まつり        | 1回     | 1,262人 |
| 10  | 冬の写生会            | 1回     | 47人    |
| 11  | 博物館どう探偵団         | 6回     | 26人    |
| 12  | いわての博物館交流セミナー    | 8回     | 206人   |
| 13  | ミュージアムシアター       | 10回    | 236人   |
| 14  | 伝統芸能鑑賞会          | 1回     | 123人   |
| 15  | 第59回自然観察会        | 1回     | 25人    |
| 16  | 第60回自然観察会        | 1回     | 35人    |
| 17  | 第59回地質観察会        | 1回     | 20人    |
| 18  | 第60回地質観察会        | 1回     | 16人    |
| 19  | 古文書入門講座          | 8回     | 137人   |
| 20  | 古文書初・中級講座        | 10回    | 306人   |
| 21  | 博物館実習            | 1回（7日） | 91人    |
| 22  | 体験教室 みんなでためそう！   | 48回    | 1,524人 |
| 23  | チャレンジ！博物館        | 49回    | 1,588人 |
| 24  | やってみ体験           | 6回     | 274人   |
| 25  | とびだせ博物館          | 3回     | 112人   |
| 26  | 県博出前講座           | 7回     | 365人   |
| 27  | 文化財等取扱講習会        | 1回（3日） | 105人   |
| 28  | 他団体との共催          | 19回    | 1,077人 |
|     | 計                | —      | 9,053人 |



### 第3章 教育施策の推進状況

#### 第8節 広がりや深まりのある生涯学習の振興

##### 第2 生涯にわたる学習機会の充実

###### 1 県博日曜講座 (21回開催、延べ397人参加)

| 期 日    | 場 所 | テーマ                                   |
|--------|-----|---------------------------------------|
| 4月11日  | 教室  | 八戸藩の礎となった母子-霊松院と南部直正-                 |
| 4月25日  | 教室  | 病はどこからやってくる-俗信の真相-                    |
| 5月9日   | 教室  | クマガラの音声と生態                            |
| 5月23日  | 教室  | 山口に渡った岩手の考古資料                         |
| 6月13日  | 教室  | 金小札茶糸緘二枚胴具足と御宝蔵御具足帳                   |
| 6月27日  | 教室  | 奥州藤原氏の経塚                              |
| 7月11日  | 教室  | 岩手にもコミセがあった~岩手特有の形式~                  |
| 7月25日  | 講堂  | 東北の雄 アテルイとその周辺<br>(北東北三県共同展特別講演会を兼ねる) |
| 8月8日   | 講堂  | 北東北初期武家時代の覇者たち (考古学セミナーを兼ねる)          |
| 8月22日  | 講堂  | 奥州合戦について (北東北三県共同展特別講演会を兼ねる)          |
| 9月12日  | 教室  | 南部鉄の生産と流通<br>-たたら吹き製鉄から洋式高炉への移行をめぐる-  |
| 9月26日  | 教室  | いわての図案家 荒川文助                          |
| 10月10日 | 講堂  | うるしの話 (秋期博物館セミナーを兼ねる)                 |
| 10月24日 | 講堂  | 漆蠟をつくる (秋期博物館セミナー、いわての博物館交流セミナーを兼ねる)  |
| 11月14日 | 教室  | メヒカリ?~岩手の深海発光生物~                      |
| 12月12日 | 教室  | 大正~昭和初期の平泉発掘事情<br>-小田島コレクションからわかること-  |
| 12月26日 | 教室  | 写真家・土門拳と中尊寺                           |
| 1月9日   | 教室  | 大地 (ジオ) を楽しむ旅へ                        |
| 1月23日  | 教室  | 保存と修復の歴史-出土木製品を中心に-                   |
| 2月13日  | 教室  | 県南部に分布する火山灰                           |
| 2月27日  | 講堂  | 標本はおもしろい~岩手の植物再発見~                    |
| 3月13日  | 講堂  | 岩手の地名に日本語の源流をたどるII<br>(臨時休館のため中止)     |
| 3月27日  | 教室  | くらしと書き物 昔と今 (臨時休館のため中止)               |

###### 2 民俗講座 (130人参加)

【期日】4月29日 【場所】講堂  
【テーマ】病をいやす神仏の姿

###### 3 考古学セミナー (2回開催、延べ151人参加)

| 期 日   | 場 所          | テーマ                                   |
|-------|--------------|---------------------------------------|
| 8月8日  | 講堂           | 特別講演会「北東北初期武家時代の覇者たち」<br>(県博日曜講座を兼ねる) |
| 8月21日 | 金ヶ崎町・<br>横手市 | 現地見学会「前九年合戦・後三年合戦の<br>舞台を歩く」          |

###### 4 北東北三県共同展特別講演会 (2回開催、延べ312人参加)

| 期 日   | 場 所 | テーマ                               |
|-------|-----|-----------------------------------|
| 7月25日 | 講 堂 | 特別講演会「東北の雄 アテルイとその周辺」(県博日曜講座を兼ねる) |
| 8月22日 | 講 堂 | 奥州合戦について (県博日曜講座を兼ねる)             |

###### 5 文化講演会 (74人参加)

【期日】11月3日 【場所】講堂  
【テーマ】縄文漆を科学する

###### 6 博物館秋期セミナー (5回開催、延べ283人参加)

| 期 日    | 場 所 | テーマ                                      |
|--------|-----|--|
| 10月3日  | 講堂  | 「縄文時代のウルシ利用」                             |
| 10月10日 | 講堂  | うるしの話 (県博日曜講座を兼ねる)                       |
| 10月11日 | 講堂  | 漆の魅力~いわての漆工芸<br>新しい漆製品の開発と可能性<br>漆のある暮らし |
| 10月24日 | 講堂  | 漆蠟をつくる (県博日曜講座、博物館交流セミナーを兼ねる)            |
| 11月7日  | 講堂  | 漆の可能性~地域おこし~                             |

###### 7 冬期文化講演会 (95人参加)

【期日】2月3日 【場所】講堂  
【テーマ】宮澤賢治の地的世界

###### 8 国際博物館の日記念事業 (36人参加)

【期日】5月16日 【場所】館内  
【内容】収蔵庫等のバックヤード見学ツアー

###### 9 第3回博物館まつり (1,262人参加)

【期日】10月17日 【場所】館内、芝生広場、民家ほか  
【内容】土器や化石のレプリカづくり、火おこし、石臼、昔遊びなどの体験コーナーを実施

###### 10 博物館写真会 (22日間開催、延べ47人参加)

【期日】12月18日~1月16日 【場所】館内  
【内容】盛岡北部の小学生、幼稚園・保育園児を対象に実施

###### 11 博物館どう探偵団 (6回開催、延べ26人参加)

| 期 日    | 場 所    | テーマ             |
|--------|--------|-----------------|
| 5月15日  | 館内     | 草花や石をつかって色をつくろう |
| 5月29日  | 館周辺    | 虫は何色の花が好き?      |
| 7月3日   | 館内     | 本物の土器パズル        |
| 7月17日  | 館内     | 火山もけいをつくろう      |
| 10月9日  | 盛岡城跡公園 | 盛岡城たんけん         |
| 10月23日 | 館内     | 貝がらあわせ          |

###### 12 いわての博物館交流セミナー (8回、延べ206人参加)

(岩手県内博物館等連携事業)

| 期 日    | 場 所      | テーマ                           |
|--------|----------|-------------------------------|
| 4月21日  | 原敬記念館    | 情報交換会                         |
| 5月3日   | 一関市博物館   | 身近な植物を知ろう                     |
| 8月21日  | 講堂       | 北東北の板碑~北上川流域の板碑を中心として~        |
| 9月4日   | 花巻市博物館   | アケボノゾウがいたところの花巻               |
| 10月24日 | 講堂       | 漆蠟をつくる (県博日曜講座、博物館秋期セミナーを兼ねる) |
| 11月3日  | 盛岡市先人記念館 | 啄木と京助                         |
| 11月14日 | 御所野縄文博物館 | 高橋信雄氏と共に世界を巡る                 |
| 1月22日  | 一関市博物館   | 花巻人形の世界                       |

###### 13 ミュージアムシアター (10回開催、延べ236人参加)

【期日】第一土曜日 【場所】講堂  
【内容】博物館資料や展示、季節等に関連する16ミリ映画上映

###### 14 伝統芸能鑑賞会 (1回開催、延べ123人参加)

| 期 日   | 場 所     | テーマ                  |
|-------|---------|----------------------|
| 6月20日 | グランドホール | 下北に渡った盛岡七軒丁~栗山太神楽~   |
| 3月12日 | グランドホール | 春を招く若人の舞 (臨時休館のため中止) |

###### 15 第59回自然観察会 (25人参加)

【期日】5月22日 【場所】盛岡市砂子沢  
【テーマ】春のブナ林を歩こう

###### 16 第60回自然観察会 (35人参加)

【期日】7月10日 【場所】二戸市折爪岳  
【テーマ】ヒメボタルの光、ブナの森のスターダスト

## 第2章 教育施策の推進状況

### 第8節 広がりや深まりのある生涯学習の振興

#### 第2 生涯にわたる学習機会の充実

- 17 第59回地質観察会（20人参加）  
【期日】7月4日 【場所】盛岡市玉山区～岩泉・葛巻町  
【テーマ】古生代末生物絶滅の証拠をもとめて
- 18 60回地質観察会（16人参加）  
【期日】10月10日 【場所】盛岡市乙部川流域  
【テーマ】川砂から鉱物を探す
- 19 古文書入門講座（8回開催、延べ137人参加）  
【期日】5月中 【場所】教室  
【内容】基礎的なかな文字・崩し字を学ぶ
- 20 古文書初・中級講座（10回開催、延べ306人参加）  
【期日】6月～7月 【場所】教室  
【内容】入門講座程度修了者を対象に古文書の形式を学ぶ
- 21 博物館実習（7日間開催、延べ91人参加）  
【期日】8月19日～8月26日 【場所】館内  
【内容】学芸員資格取得を希望する学生への館務実習を実施
- 22 体験教室みんなでためそう！（52回開催、延べ1,524人参加）  
【期日】毎週日曜日 【場所】実技室ほか  
【内容】博物館に親しむためのプログラム
- 23 チャレンジ！博物館（49回開催、延べ1,588人参加）  
【期日】第二・第三土曜日と日曜日  
【場所】展示室  
【内容】月ごとにテーマを設定し、オリエンテーリング形式のワークシートによる資料探索
- 24 やって体験（6回開催、延べ274人参加）

| 期 日   | 場 所 | 内容及び体験団体                  |
|-------|-----|---------------------------|
| 5月28日 | 実技室 | 石のオリジナルはんこ（奥州市ときわ公民館）     |
| 7月3日  | 実技室 | 石のオリジナルはんこ（西青山1丁目2地区子ども会） |
| 7月17日 | 実技室 | 石のオリジナルはんこ（西青山1丁目1地区子ども会） |
| 9月25日 | 実技室 | 石のオリジナルはんこ（松園小学校6年生）      |
| 9月25日 | 実技室 | 石のオリジナルはんこ（松園小学校5年生）      |
| 10月5日 | 実技室 | スライムであそぼう（滝沢第2小学校）        |

#### 25 とびだせ博物館（3回開催、延べ112人参加）

| 期 日   | 場 所        | テ ー マ         |
|-------|------------|---------------|
| 8月27日 | 盛岡市立太田小学校  | とびだせ水生生物調査    |
| 9月17日 | 紫波町立佐比内小学校 | 歴史学習総決算       |
| 2月9日  | 岩手県立杜陵高等学校 | いわてのいくさ、戦い、戦争 |

#### 26 県博出前講座（7回開催、延べ365人参加）

| 期 日    | 場 所       | テ ー マ                      |
|--------|-----------|----------------------------|
| 6月22日  | 紫波町志和公民館  | 知っておきたい志和の歴史～八戸藩のお殿様とその家族～ |
| 6月24日  | 盛岡工業高等学校  | 部活動を通して縄文集落に迫る             |
| 7月31日  | 釜石市釜石公民会  | 縄文のアクセサリを作ろう！              |
| 8月25日  | 紫波町志和公民館  | 八戸にある志和ゆかりの品々を堪能する         |
| 9月9日   | 大船渡市教育委員会 | 写真にみる気仙～森口多里がみた気仙の民俗風景～    |
| 10月30日 | 紫波町志和公民館  | 澤口観音堂准胝観音像の胎内物について         |
| 3月8日   | 紫波町志和公民館  | 八戸藩主家ゆかりの場所を訪ねる            |

- 27 文化財等取扱講習会（3日間開催、延べ105人受講）  
【期日】2月2日～2月4日 【場所】教室他  
【対象】県内市町村の文化財担当職員及び博物館等職員

#### 28 他団体との共催事業

| 期 日        | 場 所                     | 依 頼 者                   | テ ー マ   |
|------------|-------------------------|-------------------------|---|
| 4月24日      | 岩手県立博物館講堂               | いわて高等教育コンソーシアム          | ①盛岡藩と八戸藩にとつての岩手山詣<br>②岩手山をめぐる民俗～山を見る  |
| 6月20日      | 十和田市北里大学                | 日本セトロジー研究会              | 東北地方の竜の口層の化石から探るヒゲクダラ類の歴史   |
| 7月3日       | 乙部地区公民館                 | 乙部地区公民館                 | ホテルについて   |
| 7月5日       | 世田米小学校前気仙川              | 住田町役場                   | 水生生物調査  |
| 7月6日       | 世田米小学校前気仙川              | 住田町役場                   | 水生生物調査  |
| 8月21日      | 名古屋博物館                  | 国際ヒメボタルサミット実行委員会        | 岩手のヒメボタル  |
| 9月5日       | (社)日本アイソトープ協会滝沢研究所武見記念館 | (社)日本アイソトープ協会滝沢研究所武見記念館 | 病をいやす～くすり・まじない・神のみ～   |
| 10月26日～29日 | 九州地方                    | 博物館友の会                  | 大陸文化の影響を辿る旅   |
| 10月30日     | 二戸市浄法寺カシオペアセンター         | 二戸市立浄法寺歴史民俗資料館          | 岩手の考古学の礎を築いた先人～小田島禄郎が残したものの   |
| 11月28日     | 岩手県立博物館講堂               | 自然史学会連合                 | ①DNAからみた北東日本列島の成立史<br>②クマはどこからやってきた？<br>③エゾライチョウの話<br>④水族館との連携：研究と啓発活動<br>⑤高山帯で越えるヤガ類、長距離移動性とその起源<br>⑥きのこが胞子を拡散する戦略～子孫を増やすための自己犠牲～<br>⑦生物の分布情報はなぜ重要か～詳細分布から探るブナとイヌブナの生態史～<br>⑧恐竜が見た岩手の森<br>⑨東北の地質構造<br>⑩日本列島の成り立ちと金野山『東北日本』 |
| 11月30日     | 八幡平市寺田公民館               | 八幡平市寺田公民館               | 病をいやす～くすり・まじない・神のみ～   |
| 12月11日     | 岩手県立博物館教室               | 盛岡市教育委員会                | 盛岡暦～旧暦にみる行事～  |
| 1月15日      | ほか                      |                         | 三閑伊日記にみえるあれこれ   |
| 2月26日      |                         |                         | おひなさま～ひいなを愛でる～  |
| 12月12日     | 仙台市野草園                  | 東北植物研究会                 | 岩手の植物再発見～標本に基づく植物誌の見直し～   |
| 1月14日      | 釜石市立平田小学校               | 釜石市教育委員会                | 古代のアクセサリをつくらう（勾玉作り）   |
| 2月5日       | 盛岡市西部公民館                | 盛岡市教育委員会                | 縄文時代の漆工藝  |
| 2月13日      | 田野畑村ホテル羅賓荘              | 田野畑村                    | 白亜紀宮古層群と田野畑の大地の魅力   |
| 2月27日      | 岩手県立博物館講堂               | 岩手県植物誌調査会、博物館友の会        | ①標本はおもしろい～岩手の植物再発見～<br>②高知県植物誌ができるまで～高知県と県民の協働事業～（県博日曜講座を兼ねる）   |

### 第3章 教育施策の推進状況

#### 第8節 広がりや深まりのある生涯学習の振興

##### 第2 生涯にわたる学習機会の充実

#### [参考] 博物館等設置状況

#### 1 博物館法第2条の登録博物館（平成23年3月31日現在）

| 名称             | 設置者            | 登録年月日       | 所在地             |
|----------------|----------------|-------------|-----------------|
| 陸前高田市立博物館      | 陸前高田市          | 昭和34年1月20日  | 陸前高田市高田町字砂畑61-1 |
| 大船渡市立博物館       | 大船渡市           | 昭和41年8月1日   | 大船渡市末崎町大浜221-86 |
| 北上市立博物館        | 北上市            | 昭和50年10月7日  | 北上市立花14-59      |
| 遠野市立博物館        | 遠野市            | 昭和55年6月13日  | 遠野市東館町3-9       |
| 岩手県立博物館        | 岩手県            | 昭和55年10月1日  | 盛岡市上田字松屋敷34     |
| 宗教法人碧祥寺立博物館    | 宗教法人碧祥寺        | 昭和57年1月20日  | 和賀郡西和賀町沢内太由3-32 |
| 盛岡市子ども科学館      | 盛岡市            | 昭和58年7月1日   | 盛岡市本宮字蛇屋敷13-1   |
| 盛岡市先人記念館       | 盛岡市            | 昭和62年12月4日  | 盛岡市本宮字蛇屋敷2-2    |
| 萬鉄五郎記念美術館      | 花巻市            | 平成2年12月11日  | 花巻市東和町土沢5区135   |
| 北上市立鬼の館        | 北上市            | 平成7年10月30日  | 北上市和賀町岩崎16-131  |
| 奥州市牛の博物館       | 奥州市            | 平成8年8月30日   | 奥州市前沢区南陣場103-1  |
| 社団法人深澤紅子野の花美術館 | 社団法人深澤紅子野の花美術館 | 平成9年9月5日    | 盛岡市紺屋町4-8       |
| 一関市博物館         | 一関市            | 平成11年3月1日   | 一関市巖美町字押野々215   |
| 岩手県立美術館        | 岩手県            | 平成13年12月4日  | 盛岡市本宮字松幅12-3    |
| 御所野縄文博物館       | 一戸町            | 平成15年3月24日  | 二戸郡一戸町岩館字御所野2   |
| 花巻市博物館         | 花巻市            | 平成16年6月22日  | 花巻市高松26-8-1     |
| 盛岡市遺跡の学び館      | 盛岡市            | 平成16年9月17日  | 盛岡市本宮字荒屋13-1    |
| 宮古市北上山地民俗資料館   | 宮古市            | 平成21年12月15日 | 宮古市川井2-87-1     |

※陸前高田市立博物館は東日本大震災津波による建物損壊により休業中

#### 2 博物館法第29条の博物館相当施設（平成23年3月31日現在）

| 名称              | 設置者      | 登録年月日       | 所在地              |
|-----------------|----------|-------------|------------------|
| 宮沢賢治記念館         | 花巻市      | 平成3年6月26日   | 花巻市矢沢1-1-36      |
| 久慈琥珀資料館         | 久慈琥珀株式会社 | 平成4年3月31日   | 久慈市小久慈町19-56-133 |
| 陸前高田市海と貝のミュージアム | 陸前高田市    | 平成16年12月24日 | 陸前高田市高田町字下宿55    |
| 早池峰山岳博物館        | 花巻市      | 平成17年12月27日 | 花巻市大迫町大迫3-39     |

※陸前高田市海と貝のミュージアムは東日本大震災津波による建物損壊により休業中

### 第3章 教育施策の推進状況

#### 第9節 地域の「創造力」向上を目指した文化芸術の振興

##### 第1 文化振興基金を活用した支援等

## 第9節 地域の「創造力」向上を目指した文化芸術の振興

### 第1 文化振興基金を活用した支援等

#### 1 創作・発表・鑑賞機会の拡充

文化振興基金を活用した支援等により、各地域において優れた芸術芸能に触れ、鑑賞する機会の拡大を図ったほか、若い世代の活動や発表を行う機会の拡大を推進した。

また、優れた芸術文化を広く県民に鑑賞する機会を提供するため、各種の舞台芸術事業を開催した。

さらに、創作活動を奨励するため、県人作家の文芸作品、美術活動等の奨励を行い、芸術活動の振興と水準の向上を図った。

#### (1) 財団法人岩手県文化振興事業団文化振興基金助成事業

##### ア 既存事業

[単位：件、千円]

| 事業区分         | 件数 | 助成額    | 事業内容             |
|--------------|----|--------|------------------|
| 文化活動成果発表事業   | 9  | 6,140  | 全国太鼓フェスティバルほか    |
| 文化活動研修事業     | 4  | 1,370  | 芸術文化講座ほか         |
| 文化団体備品整備事業   | 10 | 2,590  | 「岩崎鬼剣舞保存会」備品整備ほか |
| 刊行物発行业       | 2  | 420    | 文芸誌「文芸ふじさわ」の発刊ほか |
| 参加する文化活動推進事業 | 9  | 6,210  | 雫石第九1000人コンサートほか |
| 特認事業         | 1  | 630    | 岩手県芸術文化活動記録集刊行   |
| 計            | 35 | 17,360 |                  |

##### イ 新規特別粋事業

[単位：件、千円]

| 事業区分          | 件数 | 助成額    | 事業内容                            |
|---------------|----|--------|---------------------------------|
| 芸術情報化事業       | 3  | 2,737  | 岩手県中学校総合文化祭記録DVD作製ほか            |
| 芸術の里づくり事業     | 1  | 1,700  | ミュージカル「平泉夕焼けの向こうに」上演            |
| 受賞記念活動支援事業    | 2  | 1,850  | 佐藤彦大ピアノリサイタルほか                  |
| 新進・若手芸術家等派遣事業 | 1  | 2,958  | (社)岩手県芸術文化協会新進・若手芸術家等派遣事業       |
| アートマネージャー育成事業 | 7  | 355    | 「宮古市文化会館」アートマネージャー育成事業ほか        |
| アートマネジメント推進事業 | 3  | 6,000  | 県北広域公立文化会館複数連携「参加型ミュージカル公演」事業ほか |
| 計             | 17 | 15,600 |                                 |

第3章 教育施策の推進状況

第9節 地域の「創造力」向上を目指した文化芸術の振興

第1 文化振興基金を活用した支援等

(2) 第63回岩手芸術祭

ア 開幕式典・開幕フェスティバル

【期日】平成22年10月2日（土）【会場】岩手県民会館大ホール 【鑑賞者数】1,800人

イ 美術展

| 種目   | 期間                 | 会場     | 入選点数／応募点数   | 鑑賞者数   |
|------|--------------------|--------|-------------|--------|
| 工芸   | 平成22年10月2日～10月5日   | 岩手県民会館 | 79点 / 88点   | 5,052人 |
| 書道   |                    |        | 241点 / 242点 |        |
| 日本画  | 平成22年10月8日～10月11日  |        | 52点 / 51点   |        |
| 版画   |                    |        | 30点 / 31点   |        |
| 水墨画  | 平成22年10月14日～10月17日 |        | 141点 / 155点 |        |
| 写真   |                    |        | 136点 / 148点 |        |
| デザイン |                    |        | 101点 / 101点 |        |
| 現代美術 | 平成22年10月21日～10月24日 |        | 34点 / 34点   |        |
| 洋画   |                    |        | 235点 / 240点 |        |
| 彫刻   |                    |        | 17点 / 18点   |        |

ウ 巡回美術展

| 期間                 | 会場            | 鑑賞者数   |
|--------------------|---------------|--------|
| 平成22年10月28日～11月1日  | 奥州市文化会館展示室    | 2,470人 |
| 平成22年11月5日～11月7日   | 一戸町コミュニティセンター |        |
| 平成22年11月13日～11月14日 | 釜石市民文化会館中ホール  |        |
| 平成22年11月20日～11月22日 | 岩泉町民会館        |        |
| 平成22年11月27日～11月28日 | 久慈市文化会館展示室    |        |
| 平成22年11月30日～12月2日  | 山田町中央公民館      |        |
| 平成22年12月5日～12月6日   | 宮古市文化会館展示室    |        |

エ 小・中学校美術展（小学校書写、中学校書写、小学校絵画、中学校美術）

| 期間                 | 会場        | 入賞・入選点数／応募点数    | 鑑賞者数   |
|--------------------|-----------|-----------------|--------|
| 平成22年11月26日～11月28日 | 岩手県民会館展示室 | 1,530点 / 8,567点 | 2,598人 |

オ 巡回小・中学校美術展（小学校書写、中学校書写、小学校絵画、中学校美術）

| 期間                    | 会場      | 展示点数 | 鑑賞者数   |
|-----------------------|---------|------|--------|
| 平成22年12月9日～平成23年3月23日 | 7市町村8会場 | 310点 | 1,172人 |

カ 映像フェスティバル

【期日】平成22年10月17日 【会場】大槌町中央公民館 【鑑賞者数】43人

キ 演劇

[単位：人]

| 内容               | 期日                 | 会場           | 鑑賞者数 |
|------------------|--------------------|--------------|------|
| 「演劇集団九月とアウラー」公演  | 平成22年10月16日～10月17日 | 岩手県民会館 中ホール  | 210  |
| 「劇団我夢」公演         | 平成22年11月14日        | 奥州市文化会館 中ホール | 410  |
| 「劇研麦の会」公演        | 平成22年11月14日        | 宮古市文化会館 大ホール | 200  |
| 「北芸の会」公演         | 平成22年11月28日        | さくらホール 中ホール  | 200  |
| 「劇団ふるさと発信株式会社」公演 | 平成22年12月5日         | 安代小学校体育館     | 152  |



第3章 教育施策の推進状況

第9節 地域の「創造力」向上を目指した文化芸術の振興

第1 文化振興基金を活用した支援等

ク 伝統芸能

[単位：人]

| 内 容     | 期 日               | 会 場        | 鑑賞者数  |
|---------|-------------------|------------|-------|
| 茶会      | 平成22年10月3日        | 盛岡市中央公民館   | 886   |
| 吟詠剣詩舞道祭 | 平成22年10月17日       | 岩手県民会館大ホール | 1,187 |
| 華道展     | 平成22年10月29日～11月1日 | 岩手県民会館展示室  | 2,288 |
| 謡と仕舞の会  | 平成22年11月7日        | 岩手県民会館中ホール | 450   |
| 邦楽のつどい  | 平成22年11月14日       | 岩手県民会館中ホール | 313   |

ケ 音楽

[単位：人]

| 内 容          | 期 日         | 会 場           | 鑑賞者数 |
|--------------|-------------|---------------|------|
| ソロと室内楽の調べ    | 平成22年10月9日  | 岩手県民会館中ホール    | 281  |
| ピアノコンクール&演奏会 | 平成22年10月23日 | 岩手県民会館中ホール    | 200  |
| 三曲演奏会        | 平成22年10月24日 | 岩手県民会館大ホール    | 510  |
| 声楽部門演奏会      | 平成22年11月6日  | 岩手県民会館中ホール    | 240  |
| ギター音楽の夕べ     | 平成22年11月13日 | 岩手県民会館中ホール    | 264  |
| 吹奏楽演奏会       | 平成22年11月28日 | 盛岡市民文化ホール大ホール | 852  |
| 合唱祭          | 平成22年12月12日 | 岩手県民会館大ホール    | 820  |

コ 舞踊

[単位：人]

| 内 容    | 期 日         | 会 場        | 鑑賞者数  |
|--------|-------------|------------|-------|
| 洋舞発表会  | 平成22年10月10日 | 岩手県民会館大ホール | 1,304 |
| 日本舞踊公演 | 平成22年11月21日 | 岩手県民会館大ホール | 1,878 |

サ 演芸

[単位：人]

| 内 容     | 期 日        | 会 場        | 鑑賞者数  |
|---------|------------|------------|-------|
| 新舞踊発表会  | 平成22年12月5日 | 山田町中央公民館   | 700   |
| 岩手民謡まつり | 平成22年11月7日 | 岩手県民会館大ホール | 1,012 |

シ 文芸祭

[単位：人]

| 内 容    | 期 日         | 会 場              | 鑑賞者数 |
|--------|-------------|------------------|------|
| 小説大会   | 平成22年10月17日 | 北上市生涯学習センター（北上市） | 11   |
| 戯曲大会   | 平成22年10月30日 | 盛岡劇場（盛岡市）        | 20   |
| 文芸評論大会 | 平成22年10月10日 | 岩手大学図書館（盛岡市）     | 14   |
| 随筆大会   | 平成22年10月31日 | サンセール盛岡（盛岡市）     | 23   |
| 児童文学大会 | 平成22年11月7日  | チャグチャグホール（滝沢村）   | 24   |
| 詩の大会   | 平成22年10月24日 | なほんプラザ（花巻市）      | 21   |
| 短歌大会   | 平成22年10月9日  | 共済ビル（盛岡市）        | 100  |
| 俳句大会   | 平成22年10月9日  | 国保会館（盛岡市）        | 91   |
| 川柳大会   | 平成22年10月24日 | 岩手教育会館（盛岡市）      | 57   |

第3章 教育施策の推進状況

第9節 地域の「創造力」向上を目指した文化芸術の振興

第1 文化振興基金を活用した支援等

ス 県民文芸作品集第40集刊行

【発行日】平成22年12月11日 【掲載点数】153点 【応募点数】454点

セ 移動公演

[単位：人]

| 内 容 | 期 日         | 会 場            | 鑑賞者数 |
|-----|-------------|----------------|------|
| 吹奏楽 | 平成22年10月31日 | 洋野町民文化会館       | 350  |
| 新舞踊 | 平成22年12月4日  | 一戸町コミュニティセンター  | 183  |
| 弦 楽 | 平成22年12月12日 | 八幡平市西根地区市民センター | 107  |

(3) 創作活動奨励事業

ア 芸術選奨

| 分 野    | 受 賞 者        | 受 賞 作 品            |
|--------|--------------|--------------------|
| 文芸（随筆） | 村 田 久（一関市）   | エッセイ集「家を抜け出し、川に佇つ」 |
| 文芸（俳句） | 工 藤 節 郎（盛岡市） | 第三句集「勾玉」           |
| 文芸（短歌） | 藤 原 保 子（山田町） | 歌集「際海」             |

イ 美術選奨

| 受 賞 者        | 分 野          | 受 賞 対 象 活 動          |
|--------------|--------------|----------------------|
| 泉 田 之 也（野田村） | 窯芸           | 個展（盛久ギャラリー 9月）       |
| 伊 藤 暢 浩（盛岡市） | 写真           | 個展（イエロープラントギャラリー 4月） |
| 斎 藤 由 朋（宮城県） | ビデオインスタレーション | 企画展（彩園子 2月）          |
| 佐佐木 實（東京都）   | 書            | 個展（盛久ギャラリー 2月）       |
| 南館 麻美子（神奈川県） | 版画           | 個展（諄子美術館 9月）         |



### 第3章 教育施策の推進状況

#### 第9節 地域の「創造力」向上を目指した文化芸術の振興

##### 第1 文化振興基金を活用した支援等

## 2 拠点施設の機能の充実

文化活動の拠点施設として、岩手県民会館、県立博物館、県立美術館及び県立埋蔵文化センターの管理運営の充実と施設設備の機能の向上を図った。県民会館においては自主文化事業の充実、県立博物館においては展示内容等の充実（⇒P120～124）、県立美術館において地元作家の作品収集と企画展の充実、及び県立埋蔵文化財センターにおいては発掘調査等を推進した（⇒P133～134）。

### (1) 県民会館

#### ア 施設利用状況

芸術文化普及振興の拠点施設として、県民の活動発表や鑑賞等の芸術文化関係の催し物のほか、学会、大会等に利用されるとともに、演奏会、展示会、講演会等に数多く利用されている。

【県民会館の利用状況】[単位：日、%]

|     | 大ホール |      | 中ホール |       | 第1展示室 |       | 第2展示室 |       | 会議室（5室） |      |
|-----|------|------|------|-------|-------|-------|-------|-------|---------|------|
|     | 利用日数 | 利用率  | 利用日数 | 利用率   | 利用日数  | 利用率   | 利用日数  | 利用率   | 利用日数    | 利用率  |
| 4月  | 21   | 75.0 | 22   | 78.6  | 16    | 55.2  | 16    | 55.2  | 20      | 69.0 |
| 5月  | 12   | 41.4 | 20   | 69.0  | 28    | 96.6  | 26    | 89.7  | 17      | 58.6 |
| 6月  | 20   | 80.0 | 16   | 61.5  | 24    | 88.9  | 24    | 88.9  | 18      | 66.7 |
| 7月  | 25   | 83.3 | 27   | 90.0  | 30    | 100.0 | 30    | 100.0 | 20      | 66.7 |
| 8月  | 22   | 71.0 | 17   | 54.8  | 28    | 90.3  | 28    | 90.3  | 19      | 61.3 |
| 9月  | 16   | 61.5 | 21   | 80.8  | 15    | 51.7  | 15    | 51.7  | 15      | 53.6 |
| 10月 | 22   | 75.9 | 29   | 100.0 | 25    | 86.2  | 25    | 86.2  | 22      | 75.9 |
| 11月 | 27   | 93.1 | 27   | 93.1  | 25    | 86.2  | 25    | 86.2  | 22      | 75.9 |
| 12月 | 18   | 75.0 | 15   | 68.2  | 7     | 31.8  | 7     | 31.8  | 15      | 62.5 |
| 1月  | 16   | 59.3 | 15   | 55.6  | 27    | 100.0 | 27    | 100.0 | 14      | 51.9 |
| 2月  | 10   | 40.0 | 15   | 62.5  | 25    | 92.6  | 25    | 92.6  | 20      | 74.1 |
| 3月  | 9    | 33.3 | 9    | 33.3  | 25    | 92.6  | 25    | 92.6  | 12      | 44.4 |
| 計   | 218  | 66.1 | 233  | 71.0  | 275   | 81.8  | 273   | 81.3  | 214     | 63.5 |

#### イ 自主文化事業の実施状況

##### (ア) 参加型・育成型事業

[単位：人]

| 期日(回数)      | 公演名                    | 主な出演者等                        | 会場     | 入場者数  |
|-------------|------------------------|-------------------------------|--------|-------|
| 8月1日        | 岩手っ子大地に舞う              | 演目：根反鹿踊り、八幡太神楽、澤目獅子踊り、青笹しし踊り他 | 大ホール   | 800   |
| 9月4日        | ざ・CLASSIC'10 新人オーディション | 審査員：ざ・CLASSIC実行委員会            | 中ホール   | 200   |
| 9月12日       | いわてJAZZ2010            | 出演者：日野皓正カルテット、寺久保エレナ 他        | 大ホール   | 1,033 |
| 10月16日      | 弦楽合奏団パディヌリ演奏会          | 指揮：寺崎 巖 演目：バルトーク 他            | 大ホール   | 531   |
| 12月5日       | ざ・CLASSIC'10           | 出演者：森 知英、斉藤 匠、澤田 薫、鈴木弘一 他     | 中ホール   | 372   |
| 1月10日       | 岩手の民謡をたずねて             | 出演者：藤沢東清、菊池信夫、千葉栄人、漆原栄美子 他    | 大ホール   | 1,076 |
| 1月22日       | ニューイヤーライブ2011          | 出演者：アンダーバス、クライベイビーズ、御縁組 他     | 中ホール   | 266   |
| 1月30日       | 岩手県民オーケストラ定期演奏会        | 演目：フランク交響曲ニ短調 他               | 大ホール   | 681   |
| 4月30日他13回   | ロビーコンサート               | 出演者：西部邦彦アコースティックバンド 他         | ロビー    | 1,310 |
| 4月30日他3回    | バックステージツアー             | 参加者：舞台関係団体、月曜歩き会 他            |        | 93    |
| 1月19日～2月20日 | オペラワークショップ             | 講師：米谷毅彦 他                     | リハーサル室 | 26    |

##### (イ) コンサートサロン

[単位：人]

| 期日     | 公演名                      | 会場   | 入場者数 |
|--------|--------------------------|------|------|
| 5月20日  | 第178回 梯剛之 ピアノ・リサイタル      | 中ホール | 443  |
| 9月22日  | 第179回 堤剛 無伴奏チェロ・リサイタル    | 中ホール | 434  |
| 11月11日 | 第180回 神尾真由子 ヴァイオリン・リサイタル | 中ホール | 532  |

第2章 教育施策の推進状況

第9節 地域の「創造力」向上を目指した文化芸術の振興

第1 文化振興基金を活用した支援等

(ウ) 鑑賞サービス事業

[単位：人]

| 期日(回数) | 公演名                | 主な出演者等                                | 会場   | 入場者数  |
|--------|--------------------|---------------------------------------|------|-------|
| 6月24日  | ベルリン交響楽団           | 指揮：リオル・シノンバグール 演目：シューベルト/交響曲第7番「未完成」他 | 大ホール | 1,891 |
| 9月10日  | 松竹特別公演「清&直美」       | 出演者：藤山直美、前川清 他                        | 大ホール | 1,677 |
| 11月2日  | 松竹大歌舞伎 秋季公演        | 出演者：坂東三津五郎、尾上松緑 他                     | 大ホール | 1,219 |
| 11月30日 | 西本知実withラトビア国立交響楽団 | 指揮：西本智実 演目：チャイコフスキー/交響曲第6番「悲愴」 他      | 大ホール | 1,709 |

(2) 県立美術館

ア 岩手県立美術館協議会の開催状況

|     | 期日          | 場所         | 内容  |
|-----|-------------|------------|---|
| 第1回 | 平成22年10月27日 | 岩手県立美術館会議室 | ① 平成22年度美術館事業実施状況<br>② 平成23年度美術館企画展開催計画案<br>③ 美術館運営 |

イ 利用状況

[単位：人、日]

|     | 常設展    |      |       |       |      | 企画展   |       |        |        |      | 観覧者数の計 |
|-----|--------|------|-------|-------|------|-------|-------|--------|--------|------|--------|
|     | 観覧者数   |      |       |       | 開催日数 | 観覧者数  |       |        |        | 開催日数 |        |
|     | 小・中・高生 | 大学生等 | 一般    | 小計    |      | 小中学生  | 高・大生等 | 一般     | 小計     |      |        |
| 4月  | 119    | 11   | 258   | 388   | 23   | 177   | 509   | 5,572  | 6,258  | 18   | 6,646  |
| 5月  | 296    | 66   | 413   | 775   | 26   | 624   | 1,404 | 10,814 | 12,842 | 20   | 13,617 |
| 6月  | 274    | 3    | 335   | 612   | 26   | 303   | 516   | 4,446  | 5,265  | 26   | 5,877  |
| 7月  | 108    | 58   | 681   | 847   | 24   | 207   | 226   | 4,688  | 5,121  | 17   | 5,968  |
| 8月  | 143    | 13   | 291   | 447   | 26   | 434   | 368   | 6,983  | 7,785  | 25   | 8,232  |
| 9月  | 199    | 36   | 572   | 807   | 26   | 101   | 71    | 2,367  | 2,539  | 17   | 3,346  |
| 10月 | 97     | 34   | 420   | 551   | 23   | 313   | 460   | 2,290  | 3,063  | 27   | 3,614  |
| 11月 | 241    | 13   | 301   | 555   | 25   | 206   | 239   | 3,953  | 4,398  | 19   | 4,953  |
| 12月 | 37     | 12   | 104   | 153   | 24   | 63    | 275   | 1,699  | 2,037  | 21   | 2,190  |
| 1月  | 136    | 16   | 101   | 253   | 20   | 62    | 231   | 2,248  | 2,541  | 24   | 2,794  |
| 2月  | 9      | 14   | 345   | 368   | 24   | 183   | 106   | 3,531  | 3,820  | 14   | 4,188  |
| 3月  | 9      | 7    | 58    | 74    | 22   | 28    | 60    | 1,179  | 1,267  | 14   | 1,341  |
| 計   | 1,668  | 283  | 3,879 | 5,830 | 289  | 2,701 | 4,465 | 49,770 | 59,936 | 235  | 62,766 |

第2章 教育施策の推進状況

第9節 地域の「創造力」向上を目指した文化芸術の振興

第1 文化振興基金を活用した支援等

ウ 展示事業

(ア) 常設展の開催

[単位：人]

| 区分    | 会期                     | 観覧者数         |
|-------|------------------------|--------------|
| 第4期展示 | 平成22年1月23日～4月18日       | 299(4月1日以降)  |
| 第1期展示 | 平成22年4月23日～7月19日       | 2,246        |
| 第2期展示 | 平成22年7月24日～10月17日      | 2,967        |
| 第3期展示 | 平成22年10月23日～平成23年1月16日 | 995          |
| 第4期展示 | 平成23年1月22日～4月24日       | 626(3月31日まで) |

(イ) 企画展の開催

[単位：人]

| 事業名                   | 会期                | 観覧者数   |
|-----------------------|-------------------|--------|
| アルフォンス・ミュシャ展          | 平成22年4月10日～5月16日  | 17,936 |
| ポップ・アート1960's→2000's展 | 平成22年5月25日～7月4日   | 8,179  |
| 黒田清輝展                 | 平成22年7月17日～8月29日  | 11,950 |
| 百瀬寿展                  | 平成22年9月11日～11月23日 | 9,045  |
| ハンス・コパー展              | 平成22年12月4日～2月13日  | 7,361  |
| アートフェスタいわて2010        | 平成23年2月26日～3月21日  | 2,443  |

(ウ) ワンデイ・ミュージアム・ツアー

県北・沿岸地域に居住する県民を対象に無料バスツアーを実施し、美術鑑賞の機会を提供。

【期日】平成22年7月19日、25日

【参加者数】361人

エ 教育普及事業

(ア) 展示関連事業

a 企画展教育プログラム

○ギャラリートーク………学芸員による企画展示作品の解説

【期日】企画展の開催ごとに開催

【参加者数】722人

企画展関連講座等

[単位：人]

| 内容                            | 講師                | 期日          | 参加者数 |
|-------------------------------|-------------------|-------------|------|
| 「アルフォンス・ミュシャ展 記念講演会」          | 島田 紀夫 氏           | 平成22年4月29日  | 186  |
| 「ポップ・アート1960's→2000's展 記念講演会」 | 広本 伸幸 氏           | 平成22年6月5日   | 54   |
| 「ポップ・アート1960's→2000's展 記念講演会」 | 加藤 良一 氏           | 平成22年6月13日  | 90   |
| 「ポップ・アート1960's→2000's展 シネマ上映」 | -                 | 平成22年6月27日  | 50   |
| 「黒田清輝展 ワークショップ」               | 荒川 直美 氏           | 平成22年7月31日  | 20   |
| 「黒田清輝展 記念講演会」                 | 山梨 絵美子氏           | 平成22年8月1日   | 70   |
| 「黒田清輝展 ワークショップ」               | 千葉 努 氏            | 平成22年8月8日   | 14   |
| 「黒田清輝展 ワークショップ」               | 千葉 努 氏            | 平成22年8月21日  | 14   |
| 「百瀬寿展 スペシャル鼎談」                | 百瀬 寿 氏<br>加納 光於 氏 | 平成22年9月20日  | 130  |
| 「ハンス・コパー展 ワークショップ」            | 清水 幸子 氏           | 平成22年10月23日 | 19   |

### 第3章 教育施策の推進状況

#### 第9節 地域の「創造力」向上を目指した文化芸術の振興

##### 第1 文化振興基金を活用した支援等

| 内 容                      | 講 師                | 期 日         | 参加者数 |
|--------------------------|--------------------|-------------|------|
| 「ハンス・コパー展 スペシャルギャラリートーク」 | 清水 幸子 氏            | 平成22年12月12日 | 65   |
| 「ハンス・コパー展 ワークショップ」       | 折戸 美規 氏            | 平成22年12月18日 | 19   |
| 「ハンス・コパー展 関連講演会」         | 久世 建二 氏<br>金子 賢治 氏 | 平成23年1月9日   | 80   |
| 「ハンス・コパー展 ワークショップ」       | 久世 建二 氏            | 平成23年1月10日  | 19   |

#### b 常設展教育プログラム

- コレクショントーク……学芸員による常設展示作品の解説  
【期日】毎月第2・第4土曜日に、年間24回開催 【参加者数】126人
- 常設展関連講座  
【期日】平成22年9月26日 【講師等】本田健氏、池田一憲氏 【参加者数】53人  
【期日】平成22年10月9日 【講師等】本田健氏、山口裕美氏 【参加者数】35人
- 常設展ワークショップ  
【期日】平成22年10月2日 【講師等】本田健氏 【参加者数】41人  
【期日】平成22年11月7日 【講師等】藤井敬子氏 【参加者数】21人
- 夏・冬鑑賞講座  
【期日】平成22年7月22日～8月22日  
【期日】平成22年12月22日～1月7日
- 子ども向け鑑賞カードの作成
- 音声ガイドの更新

#### (イ) 美術普及事業

##### a スタジオプログラム

- 油絵体験講座  
【期日】平成22年7月11日、7月18日、7月24日、8月1日  
平成23年2月19日、2月26日、3月5日 【参加者数】23人
- オープンスタジオ  
【期日】平成22年11月3日 【参加者数】145人
- アートデオヤコ……親子でいろいろな素材に触れて楽しむワークショップ。  
【期日】毎月実施 【対象】3～6歳児と保護者 各10組 【参加者数】379人
- 子供向けワークショップ  
・ジュニアワークショップ 夏「箱式デガンス」  
【期日】平成22年9月4日～5日 【参加者数】35人  
・ジュニアワークショップ 冬「ふわふわハギレでアニメーション」  
【期日】平成23年1月22日～23日 【参加者数】40人

##### b 教育プログラム

- ・学生サポートスタッフの育成 【参加者数】27人

第2章 教育施策の推進状況

第9節 地域の「創造力」向上を目指した文化芸術の振興

第1 文化振興基金を活用した支援等

c 美術プログラム

[単位：人]

| 内 容           | 期 日   | 参加者数 |
|---------------|---|------|
| 館長講座 (年6回)    | 平成22年5月15日、7月17日、9月18日、11月20日<br>1月15日、3月5日 | 306  |
| 学芸普及課長講座(年3回) | 平成22年9月5日、12月11日、2月6日                       | 114  |
| 学芸員講座 (年4回)   | 平成22年9月23日、10月24日、11月28日、2月11日              | 139  |

d 映像プログラム

○ アートシネマ上映会……美術に関連する作品等幅広いラインナップで上映 [単位：人]

| 期 日         | 内 容              | 鑑賞者数 |
|-------------|------------------|------|
| 平成22年4月25日  | 舞踏会の手帖           | 65   |
| 平成22年5月16日  | 野ばら              | 87   |
| 平成22年6月20日  | ジャクソン・ポロック       | 25   |
| 平成22年7月25日  | 美の巨人たち 浅井忠 青木繁   | 30   |
| 平成22年8月29日  | 美の巨人たち 向井潤吉 佐伯祐三 | 44   |
| 平成22年9月12日  | ひと月の夏            | 41   |
| 平成22年10月17日 | ミリキタニの猫          | 57   |
| 平成22年11月21日 | ストレンジャー          | 40   |
| 平成22年12月19日 | クリスマス・キャロル       | 56   |
| 平成23年1月23日  | ジョン・ガリアーノ        | 46   |
| 平成23年2月13日  | M.C. エッシャー       | 42   |

(ウ) 来館者対応事業

- a 美術館探検「てくてくツアー」 【期日】 毎月開催（年6回） 【参加者数】 126人
- b 団体対応 【期日】 随時 【利用者数】 2,390人
- c 美術相談  
ライブラリー管理運営（日常美術相談、レファレンス含む）

オ 広報事業

- (ア) 美術館ニュース「アプリーレ」……年2回
- (イ) 企画展チラシ、ポスター……企画展の開催の都度
- (ウ) 常設展展示目録、ポスター……常設展の展示替えの都度
- (エ) 美術館スケジュール等……年4回

カ 美術品修復保存事業

美術品をより良い状態で保存し展示に活用するため、所蔵作品の修復を実施。

〔修復作品〕 澤田 哲郎《風雪》 墨・金箔・和紙 二曲屏風 90.5×367.2cm

百瀬 寿《Square-off MetallikBlue and Magenta》

アクリル・画布 スキャナグラフ 180.0×180.0cm

第3章 教育施策の推進状況

第9節 地域の「創造力」向上を目指した文化芸術の振興

第1 文化振興基金を活用した支援等 第2 中学生・高校生に対する文化活動支援

3 文化交流・連携の促進

本県文化の全国への発信及び出演団体の資質の向上を図るため、国民文化祭への派遣団体に対し、交通費の一部を補助した。

○ 国民文化祭参加推進事業

【期 日】平成22年10月30日～11月7日

【場 所】岡山県

【参 加】4団体、計104人

【補助額】1,773千円

第2 中学生・高校生に対する文化活動支援

中学生・高校生の文化活動を支援することにより、本県芸術文化の次代の担い手が育つ体制づくりを推進した。

1 青少年劇場

(1) 本公演

[単位：公演、人]

| 種 目 | 演 目              | 期 日              | 会 場        | 公演数 | 鑑賞者数  |
|-----|------------------|------------------|------------|-----|-------|
| 声 楽 | よだかの星            | 平成22年6月3日～6月10日  | 雫石町ほか8市町村  | 10  | 3,876 |
| 器 楽 | 姜建華とシルクロードアンサンブル | 平成22年5月31日～6月8日  | 住田町ほか7市町村  | 13  | 6,121 |
| 児童劇 | 青少年「狂言」鑑賞会       | 平成22年6月28日～6月30日 | 金ケ崎町ほか3市町村 | 5   | 2,149 |

(2) 小公演

[単位：公演、人]

| 種 目 | 演 目                       | 期 日            | 会 場     | 公演数 | 鑑賞者数 |
|-----|---------------------------|----------------|---------|-----|------|
| 器 楽 | ひとりオーケストラ「神田将電子オルガンコンサート」 | 平成22年9月2日～9月3日 | 盛岡市、岩泉町 | 3   | 47   |

2 子どものための優れた舞台芸術体験事業（巡回公演事業）

[単位：公演、人]

| 種目・演目                       | 期 日                    | 会 場            | 公演数 | 鑑賞者数  |
|-----------------------------|------------------------|----------------|-----|-------|
| オーケストラ、児童劇、音楽劇、演劇、能楽、バレエ、合唱 | 平成22年10月12日～平成23年2月18日 | 遠野市立遠野小学校ほか10校 | 11  | 3,149 |

子どものための優れた舞台芸術体験事業（派遣事業）

[単位：公演、人]

| 種目・演目           | 期 日                   | 会 場          | 事業数 | 鑑賞者数 |
|-----------------|-----------------------|--------------|-----|------|
| 生活文化（茶道、着付け）、音楽 | 平成22年6月29日～平成22年9月27日 | 水沢第一高等学校ほか3校 | 5   | 720  |

3 第33回岩手県高等学校総合文化祭

[単位：人]

| 部 門   | 期 日                       | 会 場          | 参加校数等      | 入場者数   |
|-------|---------------------------|--------------|------------|--------|
| 総合開会式 | 平成22年10月1日                | 二戸市民文化会館     | 84校        | 約1,300 |
| 書 道   | 平成22年11月3日～11月8日          | 岩手県民会館展示室    | 50校 1,256点 | 約850   |
| 美術工芸  | 平成22年11月12日～11月14日、11月16日 | 岩手県民会館展示室    | 64校 976点   | 1,960  |
| 合 唱   | 平成22年7月6日                 | 一関文化センター大ホール | 37団体720人   | 1,000  |



### 第3章 教育施策の推進状況

#### 第9節 地域の「創造力」向上を目指した文化芸術の振興

##### 第2 中学生・高校生に対する文化活動支援

|                   |                    |                |     |         |        |
|-------------------|--------------------|----------------|-----|---------|--------|
|                   | 平成22年8月28日         | 岩手県民会館大ホール     | 29校 | 約690人   | 約1,000 |
| 吹奏楽               | 平成22年7月31日         | 北上市文化交流センター    | 33校 |         | 約3,501 |
|                   | 平成22年8月8日          | 岩手県民会館大ホール     |     |         |        |
| 演劇                | 平成22年10月21日～10月23日 | 岩手県民会館大ホール     | 12校 | 167人    | 約242   |
| 文芸                | 平成22年10月4日         | 岩手県民会館中ホール     | 47校 | 9,558作品 | 約250   |
| 囲碁                | 平成22年10月8日～10月9日   | 岩手県高校教育会館      | 19校 | 119人    | —      |
| 将棋                | 平成22年10月22日～10月23日 | 岩手県高校教育会館      | 29校 | 228人    | —      |
| 器楽                | 平成22年10月29日        | 岩手県民会館中ホール     | 5校  | 82人     | —      |
| 写真                | 平成22年9月24日～9月28日   | 岩手県民会館展示室・中ホール | 31校 | 343作品   | 約298   |
| 放送                | 平成22年6月8日          | 岩手県民会館中ホール     | 22校 | 184人    | 約286   |
|                   | 平成22年11月9日         | 岩手県民会館中ホール     | 22校 | 155人    | 約210   |
| 郷土芸能              | 平成22年10月16日        | 一関文化センター       | 16校 | 350人    | 約500   |
| 新聞                | 平成22年10月7日         | 岩手県公会堂         | 11校 | 15作品    | 23     |
| 自然科学              | 平成22年12月14日        | 岩手県立総合教育センター   | 13校 | 117人    | —      |
| 英語                | 平成22年9月17日         | 岩手県民会館中ホール     | 18校 | 26人     | 約133   |
| 吟詠剣詩舞             | 平成22年10月15日        | 岩手県民会館中ホール     | 6校  | 7人      | 20     |
| 日本音楽              | 平成22年10月6日         | 岩手県民会館中ホール     | 6校  | 100人    | 約100   |
| 国際理解              | 平成22年8月27日         | 盛岡市勤労福祉会館      | 7校  | 7人      | 約60    |
|                   | 平成22年10月8日         | 岩手県赤十字会館       | 15校 | 68人     | —      |
| マーチングバンド・バトントワリング | 平成22年10月3日         | 水沢総合体育館        | 9校  | 306人    | 約1500  |
| 小倉百人一首かるた         | 平成22年10月9日         | 二戸市民文化会館       | 7校  | 17人     | —      |
| 軽音楽               | 平成22年9月3日          | 岩手県民会館中ホール     | 14校 | 30団体    | 約150   |

#### 4 第34回全国高等学校総合文化祭

平成22年8月に宮崎県で開催された全国高等学校総合文化祭に計352人の高校生を派遣した。

| 部門                | 期日             | 会場                   | 派遣学校名(派遣生徒数)  |
|-------------------|----------------|----------------------|---|
| パレード              | 平成22年8月1日      | 宮崎市内                 | 岩手女子高等学校 [バトントワリング部] (10)   |
| 演劇                | —              | —                    | —   |
| 合唱                | 平成22年8月2日      | メディアキット県民文化センター(宮崎市) | 千厩高等学校 [音楽部] (38)   |
| 吹奏楽               | 平成22年8月4日～5日   | 延岡総合文化センター           | 盛岡第三高等学校 [吹奏楽部] (85)  |
| 器楽・管弦楽            | 平成22年8月4日～5日   | 宮崎市民文化ホール            | 久慈高等学校 [マンドリン部] (17)  |
| 日本音楽              | 平成22年8月3日～4日   | 都城市総合文化ホール           | 盛岡第二高等学校(25) 水沢第一高等学校(6)  |
| 吟詠剣詩舞             | 平成22年8月2日      | 高鍋町中央公民館             | 岩手女子高等学校(1) 大迫高等学校(1)<br>一関工業高等学校(1) 久慈高等学校(2)                          |
| 郷土芸能              | 平成22年8月3日～5日   | 小林市文化会館              | 北上翔南高等学校(34) 雫石高等学校(17)   |
| マーチングバンド・バトントワリング | 平成22年8月3日      | 都城市早水公園体育文化センター      | 盛岡女子高等学校 [バトントワリング部] (15)<br>岩手女子高等学校 [吹奏楽部] (22)                       |
| 美術・工芸             | 平成22年8月1日～8月5日 | 宮崎県立博物館              | 遠野高等学校(1) 黒沢尻北高等学校(1)<br>宮古商業高等学校(1) 大東高等学校(1)<br>水沢工業高等学校(1) 一戸高等学校(1) |

### 第3章 教育施策の推進状況

#### 第9節 地域の「創造力」向上を目指した文化芸術の振興

##### 第2 中学生・高校生に対する文化活動支援

|               |                    |                  |   |
|---------------|--------------------|------------------|---|
|               |                    |                  | 不来方高等学校(1)  |
| 書道            | 平成22年8月1日<br>～8月5日 | 宮崎市総合体育館         | 盛岡第二高等学校(1) 盛岡第四高等学校(1)<br>不来方高等学校(1) 黒沢尻北高等学校(1)<br>一関第二高等学校(1) 千厩高等学校(1)<br>福岡高等学校(1) |
| 写真            | 平成22年8月1日<br>～8月5日 | 宮崎市民プラザ          | 盛岡第一高等学校(1) 盛岡農業高等学校(3)<br>千厩高等学校(1)  |
| 放送            | 平成22年8月4日～5日       | 清武町文化会館          | 盛岡第一高等学校(2) 盛岡第二高等学校(1)<br>黒沢尻北高等学校(3) 宮古高等学校(8)<br>盛岡白百合学園高等学校(1) 岩手高等学校(6)            |
| 囲碁            | 平成22年8月4日～5日       | 日向市文化交流センター      | 岩手高等学校(1) 専修大学北上高等学校(1)<br>花巻南高等学校(1) 久慈東高等学校(1)<br>種市高等学校(1)                           |
| 将棋            | 平成22年8月2日～3日       | ホテルシーズン日南        | 岩手高等学校(3) 花巻南高等学校(3)<br>盛岡第一高等学校(1) 盛岡第二高等学校(1)<br>盛岡青松支援学校(1)                          |
| 弁論            | 平成22年8月2日～3日       | 西都市民会館           | 大槌高等学校(1)   |
| 小倉百人一首<br>かるた | 平成22年8月3日～5日       | 宮崎県武道館           | 一関第一高等学校(5) 盛岡第一高等学校(1)<br>福岡高等学校(2)  |
| 新聞            | 平成22年8月1日～5日       | 宮崎市中央公民館         | 黒沢尻工業高等学校(2)  |
| 文芸            | 平成22年8月1日～5日       | カルチャープラザのべお<br>か | 盛岡第四高等学校(1) 花巻北高等学校(2)<br>水沢高等学校(1) 一関第二高等学校(1)   |

### 5 平成22年度 セミナーサポート事業

以下の各部門の延べ375校、3,386人の高校生を対象とした技術講習会を開催する経費を補助した。

| 部門   | 期日             | 会場  | 参加者数等    |
|------|----------------|---|----------|
| 書道   | 平成22年11月8日     | 岩手県民会館中ホール                                  | 50校 850人 |
| 美術工芸 | —              | —   | —        |
| 合唱   | 平成22年6月4日～6日   | 一関文化センター、盛岡市民文化ホール、<br>二戸市文化会館              | 13校      |
|      | 平成22年6月22日～25日 | 一関文化センター、釜石市民文化会館、盛岡市<br>民文化ホール、北上市文化交流センター | 17校      |
| 演劇   | 平成22年5月25日～26日 | 岩手県民会館、岩手県公会堂、NPOいわて<br>アートサポートセンター風のスタジオ   | 29校 383人 |
| 文芸   | 平成22年10月4日     | 岩手県民会館                                      | 47校 250人 |
| 囲碁   | 平成22年7月2日      | 岩手県高校教育会館                                   | 18校 112人 |
| 将棋   | 平成22年7月10日     | 岩手県高校教育会館                                   | 26校 259人 |
| 器楽   | 平成22年6月26日     | 岩手県高校教育会館                                   | 5校       |
| 写真   | 平成22年9月24日     | 岩手県民会館中ホール                                  | 28校 186人 |
| 放送   | 平成22年7月13日     | NHK盛岡放送局                                    | 7校 13人   |
|      | 平成22年9月19日     | 盛岡第一高等学校                                    | 25校 161人 |
|      | 平成22年10月13日    | 岩手県民会館、テレビ岩手                                | 19校 164人 |
|      | 平成22年11月27日    | テレビ岩手                                       | 10校 94人  |

### 第3章 教育施策の推進状況

#### 第9節 地域の「創造力」向上を目指した文化芸術の振興

##### 第2 中学生・高校生に対する文化活動支援 第3 文化芸術による地域振興体制づくりへの支援

|                       |                |                   |          |
|-----------------------|----------------|-------------------|----------|
|                       | 平成22年12月24日    | 岩手県民会館            | 11校 61人  |
| 郷土芸能                  | 平成22年10月16日    | 一関文化センター          | 16校 350人 |
| 新聞                    | 平成22年10月7日     | 岩手県公会堂            | 5校 23人   |
| 自然科学                  | 平成22年8月5日      | 岩手県立大学            | 8校 16人   |
|                       | 平成22年1月4日～6日   | 国立天文台水沢V L B I観測所 | 3校 8人    |
| 吟詠剣詩舞                 | 平成22年10月15日    | 岩手県民会館中ホール        | 6校 7人    |
| 日本音楽                  | 平成22年7月1日      | 奥州市文化会館           | 6校 116人  |
| 国際理解                  | —              | —                 | —        |
| マーチングバンド・<br>バトントワリング | 平成22年8月19日     | 盛岡市アイスアリーナ        | 6校 184人  |
| 小倉百人一首かるた             | 平成22年6月19日～20日 | サンセール盛岡           | 7校 19人   |
| 軽音楽                   | 平成22年9月3日      | 岩手県民会館中ホール        | 14校 130人 |

#### 6 岩手県中学校文化連盟への補助

【補助事業】第9回岩手県中学校総合文化祭

[開催日] 平成22年11月18日……………開会式、舞台部門：参加者数1,305人  
平成22年11月18日～11月22日……………展示部門：入場者数1,743人

[会場] 岩手県民会館

【補助額】1,240千円

### 第3 文化芸術による地域振興体制づくりへの支援

優れた文化芸術の鑑賞への橋渡しを行う窓口の設置により、県民が気軽に紹介、アドバイス等を受けられる体制づくりと文化芸術活動を行う団体、企業、行政等のネットワーク構築を政策地域部と連携して推進した。

#### 1 文化芸術ネットワークの設置

文化芸術活動者が必要とする支援をタイムリーに提供できるよう、支援を必要とする者と支えようとする者のマッチングを行いうる「文化芸術ネットワーク」を4広域圏に設置することを目指しており、平成21年12月に盛岡広域圏のネットワークが設立された。その概要は以下のとおり。

##### (1) 名称及び役員等

名 称：盛岡広域文化芸術ネットワーク

会 長：中村光紀（特定非営利活動法人いわてアートサポートセンター理事長）

副会長：林 義明（葛巻文化協会 会長）

：藤澤清美（盛岡市無形民俗文化財保存連絡協議会 会長）

##### (2) 活動範囲

盛岡広域圏8市町村

(3) ネットワーク参加団体

文化芸術関係団体、伝統芸能関係団体、商工観光団体、行政機関など、盛岡広域圏内の様々な分野の29団体で構成。

事務局は、県（NPO・文化国際課、盛岡広域振興局、岩手県教育委員会事務局生涯学習文化課、同盛岡教育事務所）。

(4) 活動内容

様々な分野の団体が持つ多様な情報や知識等を活用し、地域で文化芸術活動を行っている者、これから始めようという者、鑑賞など文化芸術に触れてみたいという者等を支援するため、以下のような取組みを行う。

○情報の共有・活用…ネットワーク参加団体が持つ多様な情報を集め、共有し、活用する。

○相談窓口の設置 …圏内の文化芸術に関する相談窓口を設置し、コーディネーター（調整役）が相談に応じ、調整やアドバイス等を行う。

(5) コーディネーターによる相談対応

盛岡広域圏内の文化芸術に関する相談に対応し、調整やアドバイス等を行う。

「特定非営利活動法人 いわてアートサポートセンター」が対応。

## 第10節 郷土への誇りと愛着を深める歴史遺産の継承と伝統文化の振興

### 第1 世界遺産登録の推進と柳之御所遺跡の整備活用

地域の優れた歴史、文化を十分認識することにより、県民が地域の誇りと保存管理の重要性を再確認し次代に継承していくため、「平泉の文化遺産」の世界遺産登録に向けた取組みを着実に推進した。また、「北海道・北東北を中心とした縄文遺跡群」及び「九州・山口の近代化産業遺産群」について、関係道県や関係市町と連携を図りながら、世界遺産登録に向けた取組を推進した。

柳之御所遺跡については、史跡公園としての整備活用を推進した。

#### 1 世界遺産登録の推進

##### (1) 世界遺産登録推進事業

「平泉の文化遺産」は平成23年の再審査を求めため、「平泉—仏国土（浄土）を表す建築・庭園及び考古学的遺跡群—」として推薦書を作成し、平成22年1月に文化庁からユネスコ世界遺産センターに提出した。

この推薦書に記載した事項を確認するため、平成22年9月7日～9日にイコモス（ICOMOS：国際記念物遺跡会議）の調査員が平泉町を訪れ現地調査を行ったことから、登録を確実なものとするためこれに適切に対応した。

また、「平泉の文化遺産」の世界遺産登録に向け、平泉文化に対する県民の理解と関心を促し、登録の機運の醸成を図るため、巡回パネル展、平泉文化体感ツアー、シンポジウム、県内の小中学校、高校等における「平泉授業」（30校）などの普及啓発事業を実施した。

【総事業費】17,822千円

##### ○ 巡回パネル展

|     | 会 期              | 会 場       | 入場者数   |
|-----|------------------|-----------|--------|
| 青森県 | 平成22年8月19日～9月13日 | 青森県立縄文時遊館 | 32,115 |
| 岩手県 | 平成22年7月27日～8月15日 | 岩手県立博物館   | 4,530  |
| 秋田県 | 平成22年6月29日～7月18日 | 秋田県立博物館   | 4,768  |

##### ○ 平泉文化体感ツアー

【期日】平成22年7月31日 【会場】平泉町 【参加者数】85人

【内容】中尊寺、毛越寺、観自在王院跡、柳之御所遺跡、無量光院跡、高館を学習

##### ○ シンポジウム

【期日】平成22年9月26日 【会場】岩手教育会館大ホール 【入場者数】約300人

【内容】基調講演、パネルディスカッション

##### ○ 平泉授業

実施校数：小学校22校、中学校6校、高等学校2校

##### (2) 縄文世界遺産登録支援事業

北海道・青森県・岩手県・秋田県の4道県に所在する縄文遺跡群は、「北海道・北東北を中心とした縄文遺跡群」として、平成21年1月5日にユネスコ世界遺産センターの世界遺産

### 第3章 教育施策の推進状況

#### 第10節 郷土への誇りと愛着を深める歴史遺産の継承と伝統文化の振興

##### 第1 世界遺産登録の推進と柳之御所遺跡の整備活用

暫定一覧表に 記載された（本県では一戸町の御所野遺跡が構成資産）。

この「北海道・北東北を中心とした縄文遺跡群」の世界遺産登録を推進するため、専門家委員会を開催し、構成資産及び縄文時代・縄文文化についての定義づけ等の検討を行った。

併せて、昨年度作成した4道県共通リーフレットを世界遺産委員会で配布するとともに、パリ日本文化会館において縄文文化説明会等を行い、縄文文化等の普及啓発・情報発信を行った。

【総事業費】 4,958千円

#### (3) 九州・山口の近代化産業遺産群世界遺産登録推進事業

「九州・山口の近代化産業遺産群」は、産業遺産分野におけるシリアル・ノミネーションによる世界遺産登録を目指しており、平成21年1月に世界遺産暫定一覧表に追加記載され、10月の専門家委員会において「橋野鉦山と製鉄遺跡（釜石市）」などが構成資産候補として提言された。

県では釜石市と協議し、平成22年度からは共に世界遺産登録推進協議会にオブザーバーとして、また平成23年度からは正式な構成機関として参加し、九州・山口の関係自治体と協力しながら、世界遺産登録に向けた取組を行った。

【総事業費】 6,879千円

## 2 柳之御所遺跡の整備活用

### (1) 柳之御所遺跡整備調査事業

世界遺産登録を目指す「平泉の文化遺産」の構成資産の一つである柳之御所遺跡の史跡整備及び内容確認のための発掘調査を行った。あわせて調査整備指導委員会を開催した。

【総事業費】 84,222千円

### (2) 柳之御所遺跡土地公有化事業

史跡の恒久的な保全を図るため、柳之御所遺跡内の民有地の公有化を推進した。

【総事業費】 110,195千円

### (3) 平泉文化研究機関整備推進事業

平泉文化の研究成果を公開する場として、平泉文化フォーラムを開催した。また、共同研究を推進し、「平泉文化研究年報」第11号として、その成果をまとめた。

【総事業費】 2,992千円

## ○ 平泉文化フォーラム

【期日】 平成23年1月29～30日      【会場】 奥州市胆沢地区勤労者教育文化センター

【入場者数】 400人

【内容】 基調講演、共同研究発表、調査成果報告



第3章 教育施策の推進状況

第10節 郷土への誇りと愛着を深める歴史遺産の継承と伝統文化の振興

第2 伝統芸能等の伝承や郷土理解のための学校教育との連携

第2 伝統芸能等の伝承や郷土理解のための学校教育との連携

地域の歴史や風土の中で培われてきた伝統芸能や文化財等を内外に広く情報発信したほか、次代を担う子どもたちが郷土の歴史や文化を十分に理解し、進んで継承していけるよう様々な取組を支援した。

1 文化財の保存と管理

(1) 岩手県文化財保護審議会の開催状況

|                | 期 日        | 会 場        | 審議事項                |
|----------------|------------|------------|---------------------|
| 第1回岩手県文化財保護審議会 | 平成22年9月10日 | 県庁12階特別会議室 | 岩手県指定文化財の指定について(1件) |
| 第2回岩手県文化財保護審議会 | 平成23年2月10日 | 県庁12階特別会議室 | 岩手県指定文化財の指定について(7件) |

(2) 文化財の指定

【天然記念物の指定】

平成22年10月1日 岩手県教育委員会告示第4号

| 指定番号  | 種別 | 名 称                 | 員数 |
|-------|----|---------------------|----|
| 天第35号 | 動物 | 花巻矢沢地区のゼニ<br>タナゴ生息地 | 1件 |

※ 第2回審議会分は震災の影響で23年度の指定

(3) 文化財の保存修理及び保護対策事業

ア 文化財保存修理事業

[単位：千円]

| 事業名                    | 補助事業者   | 総事業費   | うち県費補助額 |
|------------------------|---------|--------|---------|
| 国指定文化財・指定史跡等保存整備（一般）事業 | 平泉町ほか1件 | 24,000 | 6,000   |
| 国指定文化財・指定史跡等購入事業       | 平泉町     | 18,375 | 1,837   |
| 県指定文化財・指定有形文化財修理・防災事業  | 一関市ほか2件 | 1,586  | 770     |
| 県指定文化財・指定史跡等保存整備（一般）事業 | 住田町     | 1,520  | 759     |
| 県指定文化財・天然記念物保護増殖事業     | 個人      | 175    | 88      |

イ カモシカ保護対策事業

[単位：千円]

| 事業名  | 補助事業者     | 総事業費  | うち県費補助額 |
|------|-----------|-------|---------|
| 食害対策 | 大船渡市ほか3市町 | 2,907 | 1,452   |

(4) 文化財の調査

ア 指定候補物件調査

| 種 別   | 名 称              | 実施期日              |
|-------|------------------|-------------------|
| 史跡    | 栗木鉄山跡（現地指導）      | 平成22年6月22日        |
| 有形文化財 | 木造六観音立像、木造青面金剛立像 | 平成22年11月30日～12月1日 |
| 有形文化財 | 盛岡藩雑書            | 平成22年12月24日       |

イ 文化財パトロール事業

【総事業費】2,000千円

ウ カモシカ特別調査事業

【総事業費】3,650千円

エ カモシカ通常調査事業

【総事業費】769千円

(5) 美術銃砲刀剣類の登録

【平成22年度登録件数】169件

【総登録件数】33,097件

第3章 教育施策の推進状況

第10節 郷土への誇りと愛着を深める歴史遺産の継承と伝統文化の振興

第2 伝統芸能等の伝承や郷土理解のための学校教育との連携

2 埋蔵文化財の保護

(1) 県内遺跡発掘調査事業

ア 発掘調査

| 事業名   | 調査地区 |
|---|------|
| 一般国道4号渋民バイパス建設事業（芋田沢田IV遺跡2次、芋田沢田VI遺跡）             | 盛岡市  |
| 東北横断自動車道釜石秋田線新直轄事業（向Ⅲ遺跡、上日影遺跡、熊の沢Ⅱ遺跡）             | 遠野市  |
| 三陸自動車道（尾肝要Ⅰ遺跡、姫松Ⅱ遺跡、姫松Ⅰ遺跡）                        | 田野畑村 |
| 胆沢ダム建設事業（大平野Ⅱ遺跡）                                  | 奥州市  |
| 道路改良事業一般国道106号築川道路（小屋野遺跡2次）                       | 盛岡市  |
| 北上川中流域治水対策事業（立花南遺跡）                               |      |
| 基幹農道整備事業夏川3期地区・経営体育成基盤整備事業夏川3期地区（石崎貝塚）            | 一関市  |
| 一般県道釜石住田線金ノ倉地区道路改良事業（山脈地遺跡）                       | 住田町  |
| 経営体育成基盤整備事業 下矢次地区（高畑遺跡）                           | 矢巾町  |
| 経営体育成基盤整備事業 都鳥2期地区（国分遺跡、川端遺跡、堤遺跡）                 | 奥州市  |
| 経営体育成基盤整備事業 古城2期地区（高殿Ⅱ遺跡、八反町、中畑城跡）                | 奥州市  |
| 経営体育成基盤整備事業 南下幅北部地区（堰田遺跡、机地遺跡）                    | 奥州市  |
| 経営体育成基盤整備事業 白山地区（安久沢東遺跡、田高Ⅱ遺跡）                    |      |
| 盛岡南新都市土地区画整理事業（野古A遺跡30次、飯岡才川遺跡17次、細谷地遺跡26次、矢盛27次） | 盛岡市  |
| 村道拡幅事業（中平遺跡）                                      | 野田村  |
| 北部環状線整備事業（佐原Ⅱ遺跡）                                  | 宮古市  |

イ 試掘調査

| 事業名                   | 調査地区  |
|-----------------------|-------|
| 森山地区工業団地造成事業          | 金ヶ崎町  |
| 一般国道45号 高田道路          | 陸前高田市 |
| 久慈警察署大川目駐在所建設事業       | 久慈市   |
| 畑地帯総合整備事業（担い手支援型）     | 一戸町   |
| 中山間地域総合整備事業 鹿踊りの郷地区   | 田野畑村  |
| 東北横断自動車道釜石秋田線 新直轄事業   | 遠野市   |
| 主要地方道岩泉平井賀普代線県単災害防除事業 | 普代村   |
| 緊急地方道路整備事業（交通安全）      | 大槌町   |
| 稲瀬地区堤防質的整備事業          | 奥州市   |
| 公共下水道事業               | 野田村   |
| 経営体育成基盤整備事業 日形地区      | 一関市   |
| 経営体育成基盤整備事業 夏川2・3期地区  | 一関市   |
| 経営体育成基盤整備事業 和賀中部第四地区  | 北上市   |
| 経営体育成基盤整備事業 古城2期地区    | 奥州市   |
| 経営体育成基盤整備事業 都鳥地区      | 奥州市   |
| 経営体育成基盤整備事業 白山地区      | 奥州市   |

ほか158件

ウ 分布調査

| 事業名                       | 調査地区 |
|---------------------------|------|
| 久慈北道路                     | 久慈市  |
| 地方特定道路整備事業                | 岩泉町  |
| 交通安全施設整備事業（一般国道106号ゆずり車線） | 宮古市  |

第3章 教育施策の推進状況

第10節 郷土への誇りと愛着を深める歴史遺産の継承と伝統文化の振興

第2 伝統芸能等の伝承や郷土理解のための学校教育との連携

|                                   |       |
|-----------------------------------|-------|
| 海岸保全施設整備事業 野田地区                   | 野田村   |
| 地方特定道路整備事業                        | 一関市   |
| 中山間地域総合整備事業 江刈地区                  | 葛巻町   |
| 森林管理道荒沢線開設工事                      | 久慈市   |
| 道路改築事業                            | 一関市   |
| 森林管理道八木玉川線開設工事                    | 洋野町   |
| 的場地区水源流域広域保全工事及び坂下地区奥地保安林保全緊急対策工事 | 陸前高田市 |

(2) 埋蔵文化財緊急発掘調査事業

遺跡等の埋蔵文化財の実態把握及び開発事業との調整のために、市町村が実施する調査に対して、その経費の一部を助成した。

- 発掘調査等 10市5町で実施

(3) 岩手県立埋蔵文化財センターの充実

発掘調査により得られた諸資料の整理及びデータ化を進めるとともに、機関誌の発行や研修会を主催して文化財の普及活用を図るなど、管理運営や教育普及活動事業を充実した。

【埋蔵文化財センター受託事業】

ア 発掘調査【計30遺跡】

| 委託元   | 所在地  | 遺跡名   |
|-------|------|---|
| 国土交通省 | 盛岡市  | 芋田沢田Ⅳ遺跡2次 芋田沢田Ⅵ遺跡                                     |
|       | 北上市  | 立花南遺跡   |
|       | 遠野市  | 向Ⅲ遺跡 上日影遺跡 熊の沢Ⅱ遺跡                                     |
|       | 奥州市  | 大平野Ⅱ遺跡  |
|       | 田野畑村 | 尾肝要Ⅰ遺跡 姫松Ⅱ遺跡 姫松Ⅰ遺跡                                    |
| 岩手県   | 盛岡市  | 小屋野遺跡2次   |
|       | 一関市  | 石崎貝塚  |
|       | 奥州市  | 高殿Ⅱ遺跡 国分遺跡 川端遺跡 堤遺跡 安久沢東遺跡 田高Ⅱ遺跡 八反町遺跡 中畑城跡 堰田遺跡 机地遺跡 |
|       | 矢巾町  | 高畑遺跡  |
|       | 住田町  | 山脈地遺跡   |
| 宮古市   | 宮古市  | 佐原Ⅱ遺跡   |
| 盛岡市   | 盛岡市  | 野古A遺跡30次 飯岡才川遺跡17次 矢盛遺跡27次 細谷地遺跡26次                   |
| 野田村   | 野田村  | 中平遺跡  |

イ 報告書の発刊【計28遺跡】

18冊、各300部発刊

| 委託元          | 所在地 | 遺跡名  |
|--------------|-----|--|
| 国土交通省        | 遠野市 | 新田Ⅱ遺跡  |
|              | 宮古市 | 八木沢野来遺跡 八木沢駒込Ⅰ・Ⅱ遺跡                                   |
|              | 遠野市 | 向Ⅲ遺跡   |
|              | 奥州市 | 大平野Ⅱ遺跡   |
| 独立行政法人都市再生機構 | 盛岡市 | 細谷地遺跡25次 向中野館13次 矢盛遺跡24次                             |
| 岩手県          | 盛岡市 | 小屋野遺跡2次  |
|              | 紫波町 | 下川原Ⅰ・Ⅱ遺跡 南日詰小路口Ⅰ・Ⅱ遺跡                                 |
|              | 住田町 | 山脈地遺跡 小飼沢Ⅰ・Ⅱ遺跡                                       |
|              | 奥州市 | 鶴ノ木南台地遺跡 水尻遺跡 古城方八丁遺跡 四反田Ⅰ・Ⅱ遺跡                       |
|              | 一関市 | 五輪堂遺跡  |
|              | 花巻市 | 下中居Ⅰ・Ⅱ遺跡 西部遺跡  |
|              | 北上市 | 舟渡Ⅰ・Ⅱ遺跡、野沢Ⅱ遺跡  |
| 盛岡市          | 盛岡市 | 野古A遺跡30次 細谷地遺跡24次 矢盛遺跡27次 向中野館12次 台太郎遺跡66次 飯岡才川遺跡16次 |

### 第3章 教育施策の推進状況

#### 第10節 郷土への誇りと愛着を深める歴史遺産の継承と伝統文化の振興

##### 第2 伝統芸能等の伝承や郷土理解のための学校教育との連携

#### ウ 調査報告書

平成22年度発掘調査略報 300部

#### エ 普及事業

##### (ア) 第32回埋蔵文化財展

【期日】平成22年11月19日～23日

【場所】住田町農林会館

【テーマ】「いわての宝をみよう」－自然・文化、住田の遺跡－

【内容】遺物の展示、展示解説

##### (イ) 第31回埋蔵文化財発掘調査技術講習会

【期日】平成22年12月3日

【場所】岩手県工業技術センター

【内容】「中世から近世の陶磁器の見方」

講師 (財) 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター 羽柴 直人 氏

##### (ウ) 第33回埋蔵文化財公開講座

【期日】平成23年2月5日

【場所】岩手県民会館中ホール

【内容】「狩猟文化の歴史とその意味」

講師 東京大学大学院教授 佐藤 宏之 氏

##### (エ) 所報「わらびて」の発行

年2回発行(122号～123号)

### 3 文化財の積極的な活用

#### (1) 遺跡周知事業

文化財保護法第95条第1項の規定に基づき、遺跡に関する諸資料の整備とその周知徹底を継続して行うとともに、市町村担当職員の研修で指導・助言を行った。

ア 遺跡台帳の改訂(電算化)

イ 遺跡基本図の改訂(電算化)

ウ 台帳、基本図の複製配布

エ 現地確認調査等の事前協議

オ 市町村文化財担当職員等の研修会における指導・助言

カ 文化財保護法関連諸書類処理

#### (2) 伝統芸能伝承活動促進事業

民俗芸能団体のネットワーク組織である県民俗芸能団体協議会において、団体相互の情報交換や共通課題の解決に取り組んでいる(平成23年3月31日現在37団体加入)。

また、公演機会を確保し後継者の育成を図るため、次の事業を委託実施した。

ア 岩手県青少年民俗芸能フェスティバル

【期日】平成22年8月1日

【会場】岩手県民会館

【鑑賞者数】800人

イ 岩手県民俗芸能大会

【期日】平成22年12月12日

【会場】アンバーホール(久慈市)

【鑑賞者数】700人

## 第11節 生涯スポーツの振興

県民のだれもがそれぞれのライフステージにおいて、興味関心、目的や適性等に応じて、「する、みる、支える」スポーツに親しみ、スポーツが生活の一部として日々の暮らしに定着していくことを目指し各事業を展開した。

### 第1 運動・スポーツに親しむ人々の広がり

「する・みる・支える」といった多様なスポーツ参加を推し進め、県民のだれもが、生涯にわたって、自主的にスポーツに親しむ生涯スポーツの振興を図った。

#### 1 「生涯スポーツ推進月間」の充実

「生涯スポーツ推進月間」を設定し広く県民に周知したことにより、各市町村において、それぞれの地域の特色ある各種スポーツ大会等が多数開催され、多くの県民が参加した。

| 事業名        | 事業件数  | 参加人数      |
|------------|-------|-----------|
| 生涯スポーツ推進月間 | 194 件 | 108,543 名 |

#### 2 全国スポーツ・レクリエーション祭への選手派遣

富山県で開催された第23回全国スポーツ・レクリエーション祭（スポレクとやま2010）に、選手を派遣し、各種目別団体及び市町村におけるスポーツ・レクリエーション活動への促進を図った。

| 事業名           | 参加種目数 | 参加者数 |
|---------------|-------|------|
| 全国スポレク祭参加推進事業 | 9 種目  | 71名  |

## 第2 運動・スポーツに親しめる場の広がり

生涯スポーツ振興の拠点となる総合型等の地域スポーツクラブの創設・育成を図るとともに、県民の多様なニーズに対応できるよう、専門的知識と実践力を持った生涯スポーツ指導者の養成や資質向上を図った。

### 1 総合型地域スポーツクラブの創設・育成

県広域スポーツセンターが中心となり、関係機関と連携をとりながら巡回指導等を行い、総合型地域スポーツクラブの創設・育成を図った。

【総合型地域スポーツクラブ創設状況（平成22年7月1日現在）】 [単位：クラブ、人]

| 市町村名 | 創設済クラブ |        | 創設準備中<br>クラブ数 | クラブ数<br>合計 | 市町村名  | 創設済クラブ |        | 創設準備中<br>クラブ数 | クラブ数<br>合計 |
|------|--------|--------|---------------|------------|-------|--------|--------|---------------|------------|
|      | クラブ数   | 加入者数   |               |            |       | クラブ数   | 加入者数   |               |            |
| 盛岡市  | 3      | 386    | 2             | 5          | 陸前高田市 | —      | —      | —             | —          |
| 八幡平市 | —      | —      | —             | —          | 住田町   | —      | —      | 1             | 1          |
| 雫石町  | 1      | 3,409  | 1             | 2          | 釜石市   | 2      | 308    | —             | 2          |
| 葛巻町  | —      | —      | 1             | 1          | 大槌町   | 1      | 50     | —             | 1          |
| 岩手町  | —      | —      | 1             | 1          | 宮古市   | 1      | 658    | —             | 1          |
| 滝沢村  | 1      | 361    | —             | 1          | 山田町   | —      | —      | —             | —          |
| 紫波町  | 1      | —      | —             | 1          | 岩泉町   | —      | —      | 1             | 1          |
| 矢巾町  | 1      | 225    | —             | 1          | 田野畑村  | —      | —      | 1             | 1          |
| 花巻市  | 1      | 59     | —             | 1          | 久慈市   | 1      | 138    | 3             | 4          |
| 遠野市  | 9      | 4,264  | —             | 9          | 洋野町   | —      | —      | —             | —          |
| 北上市  | 4      | 11,927 | 1             | 5          | 野田村   | —      | —      | —             | —          |
| 西和賀町 | —      | —      | 1             | 1          | 普代村   | 1      | 74     | —             | 1          |
| 奥州市  | 4      | 6,231  | —             | 4          | 二戸市   | 2      | 349    | —             | 2          |
| 金ケ崎町 | 7      | 480    | —             | 7          | 軽米町   | —      | —      | 2             | 2          |
| 一関市  | —      | —      | 6             | 6          | 九戸村   | —      | —      | —             | —          |
| 平泉町  | —      | —      | 1             | 1          | 一戸町   | 2      | 315    | —             | 2          |
| 藤沢町  | 1      | 9,262  | —             | 1          |       |        |        |               |            |
| 大船渡市 | —      | —      | 1             | 1          | 計     | 43     | 38,496 | 23            | 66         |

### 2 指導者の養成確保及び資質向上

各種講習会、研修会等を開催し、指導者の養成確保及び資質の向上を図った。

#### 【生涯スポーツ関係事業等実施状況】

(1) 市町村生涯スポーツ担当者研修会

【期日】平成22年4月23日 【場所】盛岡市 【参加者数】30人

(2) 総合型地域スポーツクラブ運営研修会

【期日】平成22年6月5日～6日 【場所】滝沢村 【参加者数】50人

(3) 生涯スポーツ指導者講習会

【期日】平成22年8月10日 【場所】盛岡市 【参加者数】54人

(4) 東北地区体育指導委員研修会兼岩手県体育指導委員研修会

【期日】平成22年7月9日～10日 【場所】奥州市 【参加者数】966人



- (5) 生涯スポーツ推進研究大会兼体育施設関係者講習会

【期日】平成22年11月9日

【場所】盛岡市

【参加者数】57人

### 3 施設の整備充実

#### (1) 県営体育施設の状況

県営体育施設は、本県の中心的スポーツ施設として、全国規模の大会をはじめ、全県的な各種競技会の開催を通じて、本県スポーツの振興に大きな役割を果たしている。

県教育委員会で所管する体育施設、野外活動センターは、次の8施設であり、住民サービスの向上を図るとともに、経費の節減等を図るため、指定管理者制度を導入している。

県営運動公園ほか6施設は公益財団法人岩手県スポーツ振興事業団が、県営スキージャンプ場は八幡平市が指定管理者に指定されている。

- ア 県営運動公園（陸上競技場、補助競技場、野球場、ラグビー場、サッカー場、テニスコート、登はん競技場、交通公園）
- イ 県営体育館
- ウ 県営野球場（グラウンド、屋内練習場、トレーニング室）
- エ 県営スケート場
- オ 県営武道館（大道場、柔道場、剣道場、弓道場、相撲場、トレーニング室）
- カ 県立御所湖広域公園艇庫
- キ 県立高田松原野外活動センター
- ク 県営スキージャンプ場

#### (2) 県営体育施設設備の整備

利用者が安全に楽しく利用できるよう、平成22年度は、次の施設・設備の改修工事等を行った。

- ア 県営運動公園児童公園あそびの森改修工事
- イ 県営運動公園受変電設備改修工事
- ウ 県営運動公園第2種公認改修工事
- エ 県営運動公園外壁等改修工事
- オ 県営運動公園陸上競技場照明設備設置工事
- カ 県営体育館空調送風機取替工事
- キ 県営野球場受変電設備改修工事
- ク 県営スケート場受変電設備改修工事
- ケ 県営スケート場管理棟天井改修工事
- コ 県立御所湖広域公園艇庫給水ポンプ改修工事
- サ 県営スキージャンプ場スモールヒル建設工事
- シ 県営スキージャンプ場倉庫新築工事

第3章 教育施策の推進状況  
 第11節 生涯スポーツの振興  
 第2 運動・スポーツに親しめる場の広がり

(3) 県営体育施設の利用状況

[単位：日、件、人]

| 施設名            | 区分 | 開館日数 | 利用件数   | 利用人数    |
|----------------|----|------|--------|---------|
| 県営運動公園         |    | 365  | 10,466 | 400,152 |
| 県営体育館          |    | 319  | 947    | 73,746  |
| 県営野球場          |    | 323  | 1,699  | 134,184 |
| 県営スケート場        |    | 283  | 668    | 35,823  |
| 県営武道館          |    | 321  | 3,392  | 237,401 |
| 県立御所湖広域公園艇庫    |    | 162  | 913    | 8,921   |
| 県立高田松原野外活動センター |    | 331  | 2,858  | 100,993 |
| 県営スキージャンプ場     |    | 0    | 0      | 0       |
| 計              |    | —    | 20,943 | 991,220 |

4 財団法人岩手県スポーツ振興事業団の事業

財団法人岩手県スポーツ振興事業団は、県教育委員会等から指定管理者の指定及び業務委託を受け、施設管理及び各種事業を行っている。

県立青少年の家3施設における開催事業は、110～113ページのとおり。

それ以外の県営体育施設等における開催事業は、以下147ページまでのとおり。

【財団法人事業団事務局 平成22年度受託事業及び自主事業】

1 キッズ&初心者テニス教室

【期日】4月29日

【場所】県営運動公園テニスコート 【参加者数】56人

2 クライミング無料体験会

| 期日     | 場 所        | 参加者数 |
|--------|------------|------|
| 4月29日  | 県営運動公園登はん場 | 131人 |
| 10月11日 |            | 359人 |

3 武道教室

|       | 期日          | 場 所          | 参加者数   |
|-------|-------------|--------------|--------|
| 柔道    | 月・火・金曜日114回 | 県営武道館柔道場     | 4,835人 |
| 剣道    | 月・金曜日76回    | 県営武道館剣道場     | 1,850人 |
| なぎなた  | 木・土曜日82回    | 県営武道館剣道場     | 806人   |
| 弓道    | 火・木・金曜日112回 | 県営武道館弓道場     | 1,230人 |
| 相撲    | 土曜日6回       | 県営武道館相撲場     | 86人    |
| 空手道   | 火・木曜日84回    | 県営武道館剣道場     | 578人   |
| 少林寺拳法 | 土・日曜日82回    | 県営武道館柔道場・剣道場 | 2,059人 |
| 合気道   | 木・日曜日85回    | 県営武道館柔道場     | 1,222人 |
| 鏡開き   | 1月9日        | 県営武道館        | 250人   |

4 親子かけっこ教室

【期日】5月1日、5日

【場所】県営運動公園陸上競技場 【参加者数】114人

5 指導者派遣事業

【期日】5月～2月 計64回

【場所】各市町村施設等（14市町村） 【参加者数】3,237人

6 第22回湖上フェスティバル

【期日】7月25日

【場所】県立御所湖広域公園艇庫 【参加者数】209人

7 夏休み・冬休み親子スポーツ教室

|     | 期日    | 場 所      | 参加者数 |
|-----|-------|----------|------|
| 夏休み | 7月31日 | 県営体育館    | 32人  |
| 〃   | 8月7日  | 勤労身障者体育館 | 57人  |
| 冬休み | 1月8日  | 県営武道館    | 36人  |

8 高齢者健康・体づくり指導者セミナー

【期日】9月16日

【場所】県営武道館 【参加者数】180人

9 スポーツフェスティバル2010

【期日】10月11日（体育の日）

【場所】県営体育施設・花巻広域公園他 【参加者数】17,726人

10 スケート場オープニング事業（平成21年度新規事業）

【期日】11月3日

【場所】県営スケート場 【参加者数】1,008人

11 スケートキッズonサタデー

【期日】11月～2月の土曜日 計15回

【場所】県営スケート場 【参加者数】8,085人

### 第3章 教育施策の推進状況

#### 第11節 生涯スポーツの振興

##### 第1 運動・スポーツに親しむ人々の広がり

12 第5回岩手県キッズドッチビー交流大会

【期日】9月12日

【場所】県営武道館 【参加者数】74人

13 7thエアロビックレッスンin IWATE

【期日】11月23日

【場所】県営武道館 【参加者数】110人

14 第24回氷上フェスティバル

【期日】12月18日

【場所】県営スケート場 【参加者数】774人

15 スポーツボランティア養成事業

【期日】通年

16 健康・体づくりの指導プログラムに関する研究

【期日】通年

17 [自主事業] 運動公園さくら祭り

【期日】5月2日～4日

【場所】県営運動公園野球場 【参加者数】123人

18 [自主事業] 健康歩き方教室

| 期日     | 場所     | 参加者数 |
|--------|--------|------|
| 4月24日  | 県営運動公園 | 34人  |
| 10月11日 |        | 17人  |

19 [自主事業] すまいるグラウンド・ゴルフ練習会

【期日】5月19日～11月3日の水曜日 計19回

【場所】県営運動公園補助競技場 【参加者数】1,137人

20 [自主事業] すまいるソフトテニス教室

【期日】5月29日～10月29日の金曜日 計14回

【場所】県営運動公園テニスコート 【参加者数】296人

21 [自主事業] 理事長杯グラウンド・ゴルフ交流会

| 期日     | 場所          | 参加者数 |
|--------|-------------|------|
| 8月18日  | 県営運動公園補助競技場 | 80人  |
| 11月10日 |             | 70人  |

22 [自主事業] スポーツフェスティバル2010

【内容】フリーマーケット、屋台村

【期日】10月11日（体育の日）

【場所】県営運動公園 【参加者数】240人

23 [自主事業] 親子で雪っこ体験教室

【期日】1月29日

【場所】県営運動公園 【参加者数】61人

24 [自主事業] 運動公園フォトコンテスト

【期日】作品募集：5月～、作品展示：～2月

【場所】県営運動公園 【参加者数】1,000人

#### 【県立高田松原野外活動センター 平成22年度受託事業及び自主事業】

1 合同事前研修会

【期日】4月26日～8月18日（計11回）

【参加者数】232人

2 高田野活グラウンド・ゴルフ記録会・交流会

|     | 期日     | 参加者数 |
|-----|--------|------|
| 記録会 | 5月14日  | 312人 |
| 交流会 | 10月31日 | 荒天中止 |

3 カヤック教室

|     | 期日    | 参加者数 |
|-----|-------|------|
| 第1回 | 6月27日 | 17人  |
| 第2回 | 7月11日 | 24人  |
| 第3回 | 8月8日  | 25人  |
| 第4回 | 8月29日 | 19人  |
| 第5回 | 9月5日  | 26人  |

4 ドラマチック海遊塾

【期日】7月27日～31日 【参加者数】21人

5 親子ふれあいキャンプin高田

【期日】8月14日・15日 【参加者数】20人

6 高田野活スポーツフェスティバル

【期日】9月26日 【参加者数】575人

7 親子海釣り教室

【期日】10月16日・17日 【参加者数】27人

8 親子創作活動のつどい

|     | 期日     | 参加者数 |
|-----|--------|------|
| 第1回 | 12月5日  | 41人  |
| 第2回 | 12月12日 | 47人  |

9 やかつキッズクラブ

|     | 期日    | 参加者数 |
|-----|-------|------|
| 第1回 | 1月15日 | 22人  |
| 第2回 | 1月29日 | 14人  |
| 第3回 | 2月12日 | 15人  |
| 第4回 | 2月26日 | 17人  |

10 高田野活創作まつり

【期日】2月6日 【参加者数】177人

11 利用者調査

12 [自主事業] 高田野活・春まつり

【期日】4月17日・18日 【参加者数】423人

13 [自主事業] 高田野活・秋まつり

【期日】11月7日 【参加者数】753人

### 第3章 教育施策の推進状況

#### 第11節 生涯スポーツの振興

##### 第2 運動・スポーツに親しめる場の広がり

#### 【県営体育館 平成22年度自主事業】

##### 1 ぶらんちスポーツクラブ

|     | 期 間              | 参加者数 |
|-----|------------------|------|
| 第1回 | 5月20日～7月15日 計7回  | 352人 |
| 第2回 | 8月19日～10月28日 計6回 | 244人 |

##### 2 スポーツナイト on Tuesday

【期日】6月1日～8月31日の火曜日 計11回

【参加者数】635人

##### 3 スポーツフェスティバル2010ビーチボール交流会

【期日】10月11日（体育の日） 【参加者数】250人

##### 4 第6回岩手県スポーツ振興事業団理事長杯フットサル大会

【期日】10月28日～12月16日 計8回 【参加者数】1,385人

##### 5 スポーツカフェ2011盛年ソフトテニスミックスダブルス大会

【期日】2月23日 【参加者数】42人

#### 【県営武道館 平成22年度自主事業】

##### 1 ぶらんちスポーツクラブ

|     | 期 間               | 参加者数   |
|-----|-------------------|--------|
| 第1回 | 5月18日～7月23日 計14回  | 1,099人 |
| 第2回 | 8月17日～10月26日 計16回 | 890人   |
| 第3回 | 11月15日～2月17日 計16回 | 890人   |

##### 2 弓道教室

【期日】6月7日～7月8日の月・木曜日 計10回

【参加者数】100人

##### 4 巡回相撲教室

【期日】7月20日～22日 【参加者数】20人

##### 5 少年柔道教室

【期日】12月25日～27日 【参加者数】265人

##### 6 少年剣道教室

【期日】1月11日～13日 【参加者数】131人

##### 3 スポーツフェスティバル2010

【内容】武道交流会 ちびっこ相撲大会

【期日】10月11日（体育の日） 【参加者数】980人

#### 【県営野球場 平成22年度自主事業】

##### 1 県営野球場バランスボール教室

【期日】5月20日～2月15日 計22回

【参加者数】240人

##### 3 中学生野球教室（楽天野球塾）

【期日】11月14日 【参加者数】36人

##### 2 スポーツフェスティバル2010

【内容】学童軟式野球交流試合

【期日】10月11日（体育の日） 【参加者数】1,105人

##### 4 室内グラウンド・ゴルフ練習会、記録会

【期日】11月26日～2月25日の火・金曜日 計27回

【参加者数】2,201人

#### 【県立御所湖広域公園艇庫 平成22年度自主事業】

##### 1 御所湖探検カヌー教室

|     | 期 日   | 参加者数 |
|-----|-------|------|
| 第1回 | 5月22日 | 15人  |
| 第2回 | 5月30日 | 12人  |
| 第2回 | 6月12日 | 20人  |

##### 2 親子カヌー教室

|     | 期 日   | 参加者数 |
|-----|-------|------|
| 第1回 | 7月31日 | 流木中止 |
| 第2回 | 8月1日  | 15人  |

##### 3 第22回湖上フェスティバル

【内容】夏のカヤック体験

【期日】7月25日 【参加者数】37人

##### 4 スポーツフェスティバル2010

【内容】秋のカヤック体験

【期日】10月11日（体育の日） 【参加者数】101人

### 第3章 教育施策の推進状況

#### 第11節 生涯スポーツの振興

##### 第1 運動・スポーツに親しむ人々の広がり

#### 【県営スケート場 平成22年度自主事業】

- 1 スケート教室  
【期日】12月5日～2月27日の日曜日 計9回  
【参加者数】118人
- 2 第24回氷上フェスティバルスケートレッスントイム  
【期日】12月18日 【参加者数】35人

#### 【県立花巻広域公園 平成22年度自主事業】

##### 1 ぎんがのもり探検隊 自然観察会

|     | 期 日    | 参加者数 |
|-----|--------|------|
| 第1回 | 7月10日  | 14人  |
| 第2回 | 9月18日  | 雨天中止 |
| 第3回 | 10月17日 | 20人  |

##### 2 ちびっこ写生会

【期日】7月25日～11月30日 【参加者数】7人

##### 3 すまいるグラウンド・ゴルフ練習会

【期日】5月14日～10月22日 【参加者数】211人

##### 4 ゴルフ教室

|     | 期 間            | 参加者数 |
|-----|----------------|------|
| 第1回 | 5月11日～6月1日の火曜日 | 40人  |
| 第2回 | 7月6日～27日の火曜日   | 39人  |
| 第3回 | 9月7日～10月5日の火曜日 | 52人  |

##### 5 親子ゴルフ教室

【期日】7月31日～8月8日 【参加者数】25人

##### 6 ぎんがのもり春まつり

【期日】5月4日 【参加者数】3,153人

##### 7 ぎんがのもりグラウンド・ゴルフ大会

|     | 期 日   | 参加者数 |
|-----|-------|------|
| 第1回 | 7月2日  | 64人  |
| 第2回 | 11月5日 | 102人 |

##### 8 親子体験工作小鳥の巣箱作り

【期日】7月25日 【参加者数】2人

##### 9 ぎんがのもり夏まつり

【期日】7月25日 【参加者数】637人

##### 10 ぎんがのもりグラウンド・ゴルフ世代間交流会

【期日】8月5日 【参加者数】7人

##### 11 ぎんがのもり写真展（平成21年度新規事業）

【期日】9月1日～30日 【参加者数】2人

##### 12 ぎんがのもり秋まつり

【期日】10月10日 【参加者数】751人

#### 【県勤労身体障がい者体育館 平成22年度自主事業】

##### 1 東北車椅子バスケットボール交流会

【期日】4月10日・11日 【参加者数】72人

##### 2 けやきカーニバル

【期日】5月23日 【参加者数】34人

##### 3 第6回ニュースポーツ交流会

【期日】6月20日 【参加者数】37人

##### 4 第7回ニュースポーツ交流会

【期日】12月11日 【参加者数】46人

##### 5 第3回ピンポン交流会

【期日】7月15日 【参加者数】42人

##### 6 バスケットボールフェスタ兼第3回けやき杯車椅子ツイバスケットボール大会

【期日】9月25日・25日 【参加者数】86人

##### 7 ぶらんちスポーツクラブ

【期日】11月19日～2月25日 計8回 【参加者数】297人

### 第3 ネットワークの広がり

生涯スポーツを推進する団体等の連携を充実させるため、広域スポーツセンター機能の拡大と充実を図るとともに、県民の多様なニーズに応えるネットワークの構築を図った。

#### 1 生涯スポーツに関する情報提供

広域スポーツセンターホームページにより、県民に対し生涯スポーツに関する情報の提供を行うとともに、総合型地域スポーツクラブ等生涯スポーツを推進する団体間の連携強化を図った。

#### 2 平成22年度各種登録指導者数

- |                                |        |            |
|--------------------------------|--------|------------|
| (1) 県スポーツリーダーバンク登録者……          | 656人   | (前年比 13人減) |
| (2) 地域スポーツ指導者……                | 1,475人 | (前年比 74人増) |
| (3) 競技力向上指導者……                 | 266人   | (前年比 17人増) |
| (4) 商業スポーツ施設指導者……              | 41人    | (前年比 11人減) |
| (5) フィットネス系資格指導者……             | 161人   | (前年比 5人増)  |
| (6) メディカル・コンディショニング資格指導者……     | 59人    | (前年比 1人増)  |
| (7) 総合型地域スポーツクラブアシスタントマネージャー…… | 54人    | (前年比 17人増) |
| (8) レクリエーション関係資格指導者……          | 1,485人 | (前年比 75人減) |
| (9) 県スポーツ少年団指導者……              | 5,641人 | (前年比 55人増) |



## 第12節 競技スポーツの強化

### 第1 中長期的な視点に立った選手育成並びに指導者養成

#### 1 優れた素質を有する児童の早期発掘と系統的な能力開発

将来世界に羽ばたくアスリートの輩出を目指して、「いわてスーパーキッズ発掘・育成事業」を実施し、下記のプログラムを行うことにより、優れた素質を有する児童の早期発掘と系統的な能力開発を行った。

| プログラム名      | 実施回数 |
|-------------|------|
| 知的能力開発プログラム | 9回   |
| 身体能力開発プログラム | 9回   |

#### 2 中学生・高校生の競技力向上

平成23年岩手インターハイや平成28年岩手国体を見据えて、その中心となる中学生や高校生を中心に強化合宿や講習会を行う「センチュリー21 ジュニア選手強化事業」や「未来のエース育成強化事業」を実施した。

| 事業名                 | 対象      |
|---------------------|---------|
| 未来のエース育成強化事業        | 39競技団体  |
| センチュリー21 ジュニア選手強化事業 | 高体連・中体連 |

#### 3 指導者の資質向上

最新の指導方法の研修を推進するため、岩手県スポーツ特別強化指定校や私立高校重点強化校の優秀指導者を国内トップレベルの強化合宿に派遣するとともに、各競技の日本を代表するトップコーチを県内に招聘し、ハイレベルな指導方法等の研修を行うなど、指導者の資質向上を図った。

| 事業名             | 対象     |
|-----------------|--------|
| 県内トップコーチ研修等派遣事業 | 40競技団体 |
| 国内優秀コーチ招聘事業     | 29競技団体 |

#### 4 各種全国大会の結果

第65回国民体育大会の本県の成績は、弓道競技少年男子近的の岩手選抜（古舘・佐藤・女鹿口）、ウェイトリフティング競技少年男子94kg級スナッチで後藤（岩谷堂高校）が優勝するなど19競技60種目に入賞し、男女総合成績（天皇杯）は812.5点を獲得し、33位であった。

| 大会名                | 入賞数 |
|--------------------|-----|
| 第65回国民体育大会         | 60  |
| 平成22年度全国高等学校総合体育大会 | 25  |
| 平成22年度全国中学校体育大会    | 20  |

### 第3章 教育施策の推進状況

#### 第12節 競技スポーツの強化

##### 第1 中長期的な視点に立った選手育成並びに指導者養成 第2 競技団体・学校体育団体等の組織体制の充実に向けた支援

## 第2 競技団体・学校体育団体等の組織体制の充実に向けた支援

### 1 学校体育団体との連携強化

ジュニア期の強化のため、その母体となっている学校体育団体との連携を一層強化することとし、「センチュリー21 ジュニア選手強化事業」の拡充や中学校・高等学校の連携による継続指導等、選手強化の重点化を図った。

### 2 一貫指導システムの構築

系統的な選手育成を図るため、各中央競技団体の進めている一貫指導システムを積極的に取り入れ、各競技団体が本県の実態に即した小中高一貫指導プランを作成するために「一貫指導システム構築事業」「一貫指導担当者会議」を実施した。

| 事業名          | 対象     |
|--------------|--------|
| 一貫指導システム構築事業 | 40競技団体 |

小中高指導者連携協議会 (第1回) 平成22年10月22日 会場：サンセール盛岡  
(第2回) 平成23年1月26日 会場：サンセール盛岡

### 3 主要体育大会（県内開催）

| 体育大会名                            | 期日                 | 会場    |
|----------------------------------|--------------------|-------|
| 第62回岩手県高等学校総合体育大会                | 平成22年5月25日～6月7日    | 盛岡市ほか |
| 第57回岩手県中学校総合体育大会                 | 平成22年7月17日～7月19日   | 盛岡市ほか |
| 第60回岩手県高等学校スケート競技・アイスホッケー競技選手権大会 | 平成22年11月23日～12月17日 | 盛岡市   |
| 第43回岩手県中学校スケート大会                 | 平成22年11月23日～12月12日 | 盛岡市   |
| 第60回岩手県中学校スキー大会                  | 平成23年1月14日～1月17日   | 八幡平市  |
| 第60回岩手県高等学校スキー大会                 | 平成23年1月15日～1月17日   | 八幡平市  |
| 第60回全国高等学校スキー大会                  | 平成23年2月6日～2月10日    | 八幡平市  |

### 4 学校体育団体助成

| 団体名         | 助成金額      |
|-------------|-----------|
| 岩手県中学校体育連盟  | 29,604千円  |
| 岩手県高等学校体育連盟 | 117,309千円 |

### 第3章 教育施策の推進状況

#### 第12節 競技スポーツの強化

#### 第3 広いスポーツの基盤に支えられたスポーツ拠点化に向けた支援 第4 スポーツ医・科学サポート体制の充実

### 第3 広いスポーツの基盤に支えられたスポーツ拠点化に向けた支援

平成 28 年に開催予定の岩手国体に向けて競技者等の裾野を広げ、広範なサポート体制を形成しながら、国体会場地市町村を中心としたスポーツ拠点化を推進するために、小・中学生を対象に「チャレンジスクール事業（体験教室）」を開催した。

| 事業名         | 対象      |
|-------------|---------|
| チャレンジスクール事業 | 15 競技団体 |

### 第4 スポーツ医・科学サポート体制の充実

競技者の育成を組織的かつ戦略的に行うためには、スポーツ医・科学に基づいたトレーニング、コーチングの本格的実施が不可欠であるため、スポーツ医・科学サポートスタッフの養成やプログラムの研究や開発などを推進し、スポーツ医・科学体制の整備・拡充を図った。

| 事業名                   | 実施回数 | 受講者数 |
|-----------------------|------|------|
| いわてアスレティック養成セミナー（1期生） | 7回   | 47名  |
| （2期生）                 | 3回   | 42名  |

## [附] 私立学校

### 1 私立学校審議会

#### (1) 委員（平成22年7月1日現在、五十音順）

- 大 森 紀代美（盛岡生活文化研究室幹事）
- 荻 原 禮 子（盛岡白百合学園中学校長 高等学校長）
- 柏 眞喜子（東北公営企業株式会社代表取締役社長）
- 久 保 榮 子（学校法人コアトレース理事長）
- 坂 水 か よ（聖パウロ幼稚園長）
- 咲 間 まり子（岩手県立大学社会福祉学部准教授）
- 佐 藤 勝（元岩手県教育委員会教育長）
- 田 代 高 章（岩手大学教育学部准教授）
- 横 田 大 樹（学校法人宮古泉学園理事長 宮古泉幼稚園長）
- 横 田 禮 子（盛岡スコーレ高等学校長）

#### (2) 審議の状況

私立学校審議会が知事の諮問により審議し、原案を可として答申した案件は次のとおり。

##### ア 平成22年7月29日答申

学校の廃止認可について

北東北東洋医療専門学校

学校設置者の変更認可について

岩手第一珠算学校

学校の設置計画について

（仮称）国際医療福祉専門学校一関校

##### イ 平成22年9月27日答申

学校の収容定員に係る学則変更認可について

ふじなでしこ幼稚園

専修学校の目的の変更認可について

岩手医科大学歯科衛生専門学校

学校の廃止認可について

岩手医科大学歯科技工専門学校

学校の設置認可について

国際医療福祉専門学校一関校

### 2 私立学校等認可の状況

平成22年度中に知事が認可した件数は次のとおり。

- (1) 学校の設置認可…………… 1件
- (2) 学校の廃止認可…………… 2件
- (3) 学校設置者の変更認可…………… 1件
- (4) 学校の収容定員に係る学則変更認可…………… 1件
- (5) 専修学校の目的変更認可…………… 1件

### 3 助成の状況（平成22年度最終予算）

#### (1) 県費補助

##### ア 私立学校運営費補助

|                     |             |
|---------------------|-------------|
| 幼稚園・小・中・高等学校補助      | 4,167,225千円 |
| 過疎地域私立高等学校補助（3校）    | 153,891千円   |
| 特別支援教育費補助（44幼稚園）    | 82,712千円    |
| 教育改革推進特別経費          | 247,380千円   |
| 特別支援学校補助（1校）        | 85,680千円    |
| 専修学校補助（15校）         | 69,407千円    |
| イ 私立学校教職員退職金給付事業費補助 | 137,536千円   |
| ウ 日本私立学校振興・共済事業団補助  | 47,545千円    |
| エ 私立高等学校等授業料減免補助    | 13,310千円    |

#### (2) 岩手県私学教育振興会貸付金

|             |           |
|-------------|-----------|
| 施設整備・経営資金貸付 | 165,000千円 |
|-------------|-----------|

### 4 私学教育表彰の実施

岩手県私学教育表彰実施要綱（昭和58年岩手県告示第1076号）に基づき、本県の私学教育に関し功労のあった次の者に対し、平成22年11月9日知事表彰を行った。

- 団体 盛岡白百合学園高等学校
  
- 個人
  - 佐藤 玲子（学校法人吾妻学園 理事長）
  - 瓜生 祐子（都南幼稚園 園長）
  - 佐々木 道子（光の園幼稚園 園長）
  - 高橋 やえ子（あづま幼稚園 副園長）
  - 及川 和夫（専修大学北上高等学校 校長）
  - 古見 英男（盛岡中央高等学校 教頭）
  - 佐藤 功（一関学院高等学校 教頭）
  - 田村 登（盛岡大学附属高等学校 教諭）
  - 千葉 幸子（岩手看護専門学校 教務主任）

[参考] 管理部門

第1 市町村立学校

1 教職員の人事異動

平成22年度公立小中学校教職員定期人事異動は、全県的視野に立った教職員の適正配置及び人事の刷新を図り、本県教育の一層の活性化と充実向上を期するため、公立小中学校教職員定期人事異動方針及び人事異動要領に基づき、以下のとおり、全県的視野に立った交流を進めるとともに、教職員の構成等にも配慮する適正な配置を行った。

- (1) 県内をA(盛岡・岩手)、B(花巻・遠野・北上・西和賀)、C(奥州・一関)、D(久慈・二戸)、E(宮古・宮古北)、F(釜石・大船渡)の6ブロック14地区とし、在任中に2ブロック3地区以上勤務することを原則とした。
- (2) ABCブロックとDEFブロック間の異動を積極的に行い、交流をより一層活発にした。
- (3) へき地学校とその他の学校との交流を行い、3級以上のへき地学校に3年以上勤務した者の配置換えを行った。
- (4) 小中学校併設校8校全校に副校長を置き(小中学校兼務を含む)、地域における学校運営体制の充実を図った。
- (5) 管理職については、広く有為な人材の発掘に努め、若手、女性を積極的に登用した。  
新たに35人の校長と19人の副校長を登用した。
- (6) 新採用教員については、7教育事務所に配置し、初任者研修の効果的な実施に配慮した。  
教諭の新規採用は60人であった。
- (7) 退職者は144人であり、校長は56人、副校長は6人であった。

【平成22年度公立小中学校教職員定期人事異動集計表】

[単位：人]

|           | 小学校    |        |       | 中学校    |        |     | 計      |        |       |
|-----------|--------|--------|-------|--------|--------|-----|--------|--------|-------|
|           | 同一市町村内 | 同一市町村外 | 計     | 同一市町村内 | 同一市町村外 | 計   | 同一市町村内 | 同一市町村外 | 計     |
| 校長        | 31     | 83     | 114   | 14     | 34     | 48  | 45     | 117    | 162   |
| 副校長       | 35     | 52     | 87    | 13     | 40     | 53  | 48     | 92     | 140   |
| 主幹教諭      | 11     | 1      | 12    | 8      | 1      | 9   | 19     | 2      | 21    |
| 教諭(指導教諭含) | 316    | 392    | 705   | 142    | 302    | 444 | 458    | 694    | 1152  |
| 養護教諭      | 29     | 44     | 73    | 17     | 29     | 46  | 46     | 73     | 119   |
| 栄養教諭      | 10     | 5      | 15    | 4      | 0      | 4   | 14     | 5      | 19    |
| 学校栄養職員    | 4      | 5      | 9     | 5      | 2      | 7   | 9      | 7      | 16    |
| 事務職員      | 33     | 67     | 100   | 11     | 18     | 29  | 44     | 85     | 129   |
| 小計        | 469    | 649    | 1,118 | 214    | 426    | 640 | 683    | 1,075  | 1,758 |
| 市町村教委等転出者 | 12     |        |       | 8      |        |     | 20     |        |       |
| 合計        | 1,130  |        |       | 648    |        |     | 1,778  |        |       |

注：事務局及び県立学校への転出者(小学校10人、中学校16人、計26人)を含まない。

校種間異動者(中学校から小学校へ3人、小学校から中学校へ5人)を含んでいる。

【校長登用者】[単位：人]

|           | 小学校 | 中学校 | 計  |
|-----------|-----|-----|----|
| 同一教育事務所管内 | 0   | 0   | 0  |
| 同一教育事務所管外 | 20  | 15  | 35 |
| 計         | 20  | 15  | 35 |

【副校長登用者】[単位：人]

|           | 小学校 | 中学校 | 計  |
|-----------|-----|-----|----|
| 同一教育事務所管内 | 0   | 0   | 0  |
| 同一教育事務所管外 | 10  | 9   | 19 |
| 計         | 10  | 9   | 19 |

【新採用職員】[単位：人]

|      | 小学校 | 中学校 | 計  |
|------|-----|-----|----|
| 教諭   | 24  | 36  | 60 |
| 養護教諭 | 1   | 0   | 1  |
| 栄養教諭 | 0   | 1   | 1  |
| 事務職員 | 1   | 0   | 1  |

【退職者】 [単位：人]

|        | 小学校 | 中学校 | 計   |
|--------|-----|-----|-----|
| 校長     | 39  | 17  | 56  |
| 副校長    | 3   | 3   | 6   |
| 教諭     | 36  | 23  | 59  |
| 養護教諭   | 7   | 4   | 11  |
| 学校栄養職員 | 1   | 3   | 4   |
| 事務職員   | 6   | 2   | 8   |
| 計      | 92  | 52  | 144 |

## 2 教育相談員

教育相談員は、公立小中学校の教育に関する事項について教職員の相談に応じ助言を与え、教育効果の向上を図るため、各教育事務所に配置している。

各相談員とも、年度当初訪問に計画を立て、積極的に学校訪問をし、一人当たりの平均訪問学校数は52.5校であった。

相談内容は多岐にわたるが、特に新任校長、新任副校長や、へき地学校の教職員に対しては貴重な相談機会となっている。

## 第2 県立学校

【平成22年度県立学校教職員定期人事異動集計表】

[単位：人]

|           | 退 職 | 昇任、配置換、転出 | 転入、採用 | 計   |
|-----------|-----|-----------|-------|-----|
| 高等学校教員    | 78  | 428       | 66    | 572 |
| 特別支援学校教員  | 19  | 115       | 38    | 172 |
| 実習助手      | 16  | 11        | 7     | 34  |
| 寄宿舍指導員    | 4   | 14        | 3     | 21  |
| 事務職員      | 14  | 76        | 24    | 114 |
| 栄養教諭・栄養士  | 0   | 0         | 1     | 1   |
| 技能労務・海事職員 | 12  | 15        | 3     | 30  |
| 計         | 143 | 659       | 142   | 944 |

このうち、校長は、退職が16人であり、任命換、昇任、転入及び採用が31人であった。

### 1 校長・副校長

学校・学科の別にとらわれることなく、適材を適所に配置する観点から、14人を校長に登用した。また、広く全県的視野に立って、12人の中堅教員を副校長に登用した。

### 2 一般職員

次の観点から交流を行い、組織の活性化を図った。

- (1) 東北新幹線沿線地域に勤務する教員と、それ以外の地域に勤務する教員との交流、特に、人事上のへき地及び県北地域に勤務する教員の異動に重点を置いた。
- (2) 全日制と定時制・通信制、また、普通高校と専門高校の間の教員の交流を図った。



[参考] 各県営施設で開催された主な競技会・イベント等

平成22年度に各県営施設において開催された主な競技会・イベント等は以下のとおりであること。

[単位：人]

| 施設                    | 競技会等の名称                    | 期日              | 参加者数<br>(入場者数) |
|-----------------------|----------------------------|-----------------|----------------|
| 県営体育館                 | 第78回全東北学生競技ダンス選手権大会        | 平成22年5月3日・4日    | 700            |
|                       | プロレスリング・ノア盛岡大会             | 平成22年7月14日      | 700            |
|                       | 日本フットサルリーグ                 | 平成22年11月6日      | 1,600          |
|                       | みちのくプロレス盛岡大会               | 平成22年11月7日      | 1,000          |
|                       | 日本フットサルリーグ                 | 平成22年11月21日     | 600            |
|                       | 全日本プロレス盛岡大会                | 平成22年12月3日      | 900            |
|                       | 第35回日本ハンドボールリーグ盛岡大会        | 平成22年12月10日・11日 | 1,800          |
|                       | 日本フットサルリーグ                 | 平成22年2月20日      | 900            |
| 県営野球場                 | 第57回春季東北地区高等学校野球大会         | 平成22年6月10日～14日  | 1,230          |
|                       | 第42回東北地方水道職員親善野球大会         | 平成22年8月21日・22日  | 550            |
|                       | プロ野球パ・リーグ公式戦 楽天対日本ハム       | 平成22年8月25日      | 11,180         |
| 県営スケート場               | ジャパンカップスピードスケート競技          | 平成22年12月3日～5日   | 490            |
|                       | 東北高校スケート競技選手権大会            | 平成22年12月23日～25日 | 545            |
|                       | 東北中学校スケート競技選手権大会           |                 |                |
|                       | 東北スケート競技選手権大会              |                 |                |
| 全日本スプリントスピードスケート選手権大会 | 平成22年12月27日～29日            | 1,200           |                |
| 県営武道館                 | 第23回マルちゃん杯東北少年柔道大会         | 平成22年5月15日・16日  | 6,450          |
|                       | 第40回東北高等学校弓道選手権大会          | 平成22年6月25日～27日  | 2,400          |
|                       | 東北地区高等学校弓道錬成大会             | 平成22年8月9日～11日   | 1,560          |
|                       | 第37回東北総合体育大会（空手道競技）        | 平成22年8月20日～22日  | 2,000          |
|                       | 第37回東北総合体育大会（弓道競技）         | 平成22年8月20日～22日  | 900            |
|                       | 平成22年度全日本学生柔道体重別選手権大会東北予選会 | 平成22年9月4日・5日    | 2,360          |
|                       | 平成22年度東北地区大学体育大会（柔道競技）     | 平成22年10月23日     | 260            |
|                       | 東北中学校体育指導者講習会（剣道）          | 平成22年10月30日・31日 | 200            |
|                       | 第30回東北ブロックスポーツ少年団柔道交流大会    | 平成22年11月27日・28日 | 2,900          |
|                       | 東北なぎなた指導者研修会、審査会、審判研修会     | 平成22年12月18日・19日 | 160            |
| 県立御所湖広域公園艇庫           | 第37回東北総合体育大会カヌー競技          | 平成22年7月16日～18日  | 230            |
|                       | 第29回東北カヌー選手権大会             |                 |                |

## 第4章 厚生福利

### 第1節 公立学校共済組合

#### 第1 短期給付事業

#### 第2 長期給付事業

## 第4章 厚生福利

### 第1節 公立学校共済組合

公立学校共済組合の事業には、短期及び長期の給付事業と、組合員の福利厚生事業、組合員に対する貸付事業並びに宿泊施設の経営等があり、これらに必要な費用は、組合員の掛金と地方公共団体の負担金をもって充てている。

#### 【組合員及び被扶養者数（平成22年度末）】 [単位：人]

| 区 分  | 組合員数   | 被扶養者数  |
|------|--------|--------|
| 一般   | 13,480 | ——     |
| うち男  | 7,025  | ——     |
| 女    | 6,455  | ——     |
| 長期   | 0      | ——     |
| 船員   | 29     | ——     |
| 任意継続 | 340    | ——     |
| 計    | 13,849 | 14,151 |

#### 第1 短期給付事業

##### ○ 収支状況（平成22年度）

#### 【収入】 [単位：千円]

| 区 分      | 金 額       |
|----------|-----------|
| 短期負担金    | 3,024,891 |
| 介護負担金    | 296,007   |
| 短期掛金     | 2,991,455 |
| 介護掛金     | 295,942   |
| 短期任意継続掛金 | 103,329   |
| 介護任意継続掛金 | 13,209    |
| 利息及び配当金  | 0         |
| 賠償金      | 1,477     |
| 計        | 6,726,310 |

#### 【支出】 [単位：千円]

| 区 分        | 金 額       |
|------------|-----------|
| 法定給付       | 3,568,314 |
| 附加給付       | 78,584    |
| 一部負担金払戻金   | 55,490    |
| 短期任意継続掛金還付 | 5,300     |
| 介護任意継続掛金還付 | 682       |
| 計          | 3,708,370 |

|            |           |
|------------|-----------|
| 収支差額（本部送金） | 3,017,940 |
|------------|-----------|

#### 第2 長期給付事業

年金給付等の財源として本部へ送金した。

#### 【収入の状況（平成22年度）】 [単位：千円]

| 区 分     | 金 額        |
|---------|------------|
| 負担金     | 10,812,169 |
| 追加費用負担金 | 7,445,190  |
| 掛金      | 7,425,181  |
| 利息及び配当金 | 0          |
| 計       | 25,682,540 |

第4章 厚生福利

第1節 公立学校共済組合

第1 短期給付事業

第2 長期給付事業

第3 福利厚生事業

1 人間ドック

利用を希望する組合員799人を対象に、以下の8医療機関において、事業費37,347千円で実施した。

【利用状況】 [単位：人]

| 医療機関名          | 利用人数 |
|----------------|------|
| 公立学校共済組合東北中央病院 | 199  |
| 県立中央病院         | 45   |
| 岩手医科大学附属病院     | 30   |
| 北上済生会病院        | 29   |
| 盛岡赤十字病院        | 136  |
| 松園第二病院         | 30   |
| 岩手県予防医学協会      | 306  |
| 滝沢中央病院         | 24   |
| 計              | 799  |

2 脳ドック

脳疾患の早期発見、早期治療を目的として、45歳以上の希望する組合員496人を対象に、以下の6医療機関において、事業費18,848千円で実施した。

【利用状況】 [単位：人]

| 医療機関名          | 利用人数 |
|----------------|------|
| 公立学校共済組合東北中央病院 | 100  |
| 県立中央病院         | 30   |
| 県立中部病院         | 88   |
| 盛岡赤十字病院        | 93   |
| 北上済生会病院        | 100  |
| 県予防医学協会 本所     | 85   |
| 計              | 496  |

3 ライフプラン総合講座

組合員の健康管理意識を高め、健康の保持・増進を図るため、健康管理講座を実施した。

【受講者数】124人 【事業費】1,129千円

4 メンタルヘルスサポート事業

こころの健康の保持・増進とこころの病気の早期発見・早期対応、再発予防を図るため、県教育委員会と共催で、メンタルヘルスに関する以下のセミナーを実施した。 [単位：人]

| 区分                   | 目的   | 対象者                   | 期日                            | 回数(開催地)     | 参加者数 |
|----------------------|--|-----------------------|-------------------------------|-------------|------|
| 教職員のためのメンタルヘルスセミナー   | メンタルヘルスに関する基礎知識と理解を深め、相互支援できる職場環境の醸成を図る。         | 一般教職員                 | 平成22年7月26日<br>～<br>平成22年7月29日 | 3回(盛岡市、二戸市) | 901  |
| 管理監督者のためのメンタルヘルスセミナー | メンタルヘルスに関する知識や対応方法について習得を図る。                     | 管理監督者                 | 平成22年6月29日<br>平成22年7月5日       | 2回(盛岡市)     | 200  |
| 管理監督者メンタルヘルス実践セミナー   | こころの病気を持った教職員に対する実践的な対応と職場の受け入れ態勢の構築方法について習得を図る。 | こころの病気による療養者を抱える管理監督者 | 平成22年9月29日                    | 1回(盛岡市)     | 96   |

5 施設利用補助(サンセール盛岡利用補助)

組合員等によるサンセール盛岡の利用に対し、計62,090千円を補助した。

| 区分    | 利用人数等   | 補助額(千円) | 補助の概要                            |
|-------|---------|---------|----------------------------------|
| 宿泊    | 2,506人  | 5,012   | 宿泊利用1人につき、2,000円を補助              |
| 会食    | 15,846人 | 46,127  | 会食利用1人につき、利用額に応じ3,000円～1,000円を補助 |
| 婚礼    | 1組      | 150     | 婚礼披露宴利用1組につき、最高15万円を補助           |
| 法事・慶事 | 17組     | 1,001   | 法要・慶事利用1組につき、最高20万円を補助           |
| その他   | 922件    | 5,703   | 会議室利用等に補助                        |
| 計     |         | 57,993  |                                  |

#### 第4 貸付事業

組合員が臨時に資金を必要とする場合に貸付を行っており、平成21年度における新規貸付の状況は次のとおりである。

【平成22年度新規貸付件数】

[単位：件、千円]

| 区分     | 件数  | 貸付金額    | 制度の概要                            |
|--------|-----|---------|----------------------------------|
| 一般貸付   | 69  | 92,100  | 組合員が臨時に資金を必要とする場合 □限度額 200万円     |
| 住宅貸付   | 16  | 113,500 | 組合員が自己用の住宅の新築等をする場合 □限度額 1,800万円 |
| 住宅災害貸付 | 0   | 0       | 住宅に非常災害を受け、新築等をする場合 □限度額 1,900万円 |
| 教育貸付   | 18  | 33,600  | 組合員やその子弟が大学等に入学する場合 □限度額 550万円   |
| 医療貸付   | 2   | 2,400   | 組合員やその親族が医療を受ける場合 □限度額 120万円     |
| 結婚貸付   | 2   | 2,700   | 組合員やその子が結婚する場合 □限度額 200万円        |
| 葬祭貸付   | 2   | 2,400   | 組合員が親族の葬祭を行う場合 □限度額 200万円        |
| 高額医療貸付 | 0   | 0       | 組合員が高額療養費を支払う場合 □限度額：高額療養費相当額    |
| 災害貸付   | 0   | 0       | 組合員や被扶養者が非常災害を受けた場合 □限度額 200万円   |
| 出産貸付   | 0   | 0       | 組合員が出産費を支払う場合 □限度額：出産費相当額        |
| 計      | 109 | 246,700 |                                  |

#### 第5 宿泊施設

岩手支部は、組合員等の福利厚生施設として、盛岡宿泊所「サンセール盛岡」を設置している。当該施設は、組合員に限らず広く一般県民に利用されており、その利用状況は次のとおりである。

| 区分等    | 利用状況     | 備考                            |                   |
|--------|----------|-------------------------------|-------------------|
| 宿泊部門   | 収容定員     | 79人                           |                   |
|        | 宿泊可能人数   | 28,835人                       | 収容定員79人×営業日数365日  |
|        | 宿泊延べ人数   | 9,676人                        |                   |
|        | 利用率      | 33.6%                         | 9,676人÷28,835人    |
| 宿泊外部部門 | 収容定員     | 848人                          |                   |
|        | 利用可能人数   | 309,520人                      | 収容定員848人×営業日数365日 |
|        | 利用延べ人数   | 93,778人                       |                   |
|        | うち会議利用   | 42,435人                       |                   |
|        | 宴会利用     | 36,948人                       |                   |
|        | 婚礼利用     | 20人                           |                   |
|        | Grill等   | 14,375人                       |                   |
| 利用率    | 30.3%    | 93,778人÷309,520人              |                   |
| 計      | 103,454人 | 宿泊延べ人数9,676人+宿泊外利用延べ人数93,778人 |                   |

第4章 厚生福利

第2節 教職員互助会

第1 短期給付事業

第2 長期給付事業

第3 厚生福利事業

第2節 教職員互助会

本県における教育文化の振興発展に寄与し、併せて教職員及び教育関係職員の福利増進と生活の安定を図ることを目的として、以下の諸事業を実施した。

第1 短期給付事業

| 区分      | 給付額 (円)     | 件数等                               | 制度の概要  |
|---------|-------------|-----------------------------------|--|
| 療養給付金   | 87,140,426  | 被扶養者<br>33,260件                   | 被扶養者が療養を受けたとき給付                                      |
| 無給会員給付金 | 9,420,000   | 28条休職者<br>314件                    | 会員が休職し無給となったとき給付<br>□28条休職者：3万円（平均12月）               |
| 出産保育費   | 8,340,000   | 会員…… 170人<br>配偶者… 108人            | 会員又は被扶養配偶者が出産したとき給付<br>□会員・配偶者：3万円                   |
| 災害見舞金   | 0           | 0件                                | 会員が火災等の災害を受けたとき損害の程度により給付<br>□3万円～60万円               |
| 弔慰金     | 8,900,000   | 会員……… 11人<br>配偶者…… 4人<br>被扶養者…26人 | 会員、配偶者又は被扶養者が死亡したとき給付<br>□会員：50万円、配偶者：20万円、被扶養者：10万円 |
| 計       | 115,326,465 |                                   |  |

第2 長期給付事業

| 区分              | 給付額 (円)    | 人数   | 制度の概要  |
|-----------------|------------|--|--|
| 生きがい対策<br>支援助成金 | 84,521,025 | 483人<br>うち定年退職………183人<br>勲奨退職……… 67人<br>死亡退職……… 8人<br>普通退職……… 55人<br>特別会員……… 37人<br>その他（異動）… 75人<br>その他（期限付） 58人 | 会員資格6か月以上の会員が退会したとき給付<br>□会員期間1年につき8,500円を乗じて得た額<br>（1人平均174,991円） |

第3 厚生福利事業

| 区分      | 給付額 (円)     | 件数等                            | 制度の概要  |
|---------|-------------|--------------------------------|--|
| 療養給付金   | 178,055,230 | 62,318件                        | 会員が療養を受けたとき給付  |
| 入院見舞金   | 13,550,500  | 会員……… 10,243日<br>被扶養者… 16,843日 | 会員又は被扶養者が入院したとき給付<br>□会員・被扶養者：1日につき500円                                |
| 介護休暇給付金 | 2,954,289   | 24件                            | 会員が介護休暇を取得したとき給付。<br>□1日につき給料日額の100分の60に相当する額から<br>共済組合の介護休業手当金を控除した額。 |

第4章 厚生福利  
 第2節 教職員互助会  
 第3 厚生福利事業

| 区 分             | 給付額 (円)     | 件数等   | 制度の概要   |
|-----------------|-------------|---|---|
| 小学校入学祝金         | 6,650,000   | 665人  | 会員の被扶養者、配偶者の被扶養者に認定されている子が小学校に入学したとき給付<br>□10,000円  |
| 弔慰金             | 400,000     | 2人  | 会員、配偶者又は被扶養者が死亡したとき給付<br>□被扶養者以外の配偶者：200,000円   |
| 施設利用補助          | 5,963,000   | 宿泊利用……4,728件<br>うち全教互指定旅館<br>4,712件<br>サンセール盛岡<br>16件<br>会食利用……389件<br>婚礼利用……1件 | 宿泊利用補助：会員及び被扶養者が指定施設を宿泊で利用したとき補助<br>□全教互指定旅館：1泊につき1,000円<br>□サンセール盛岡：1泊につき2,000円（特別会員）<br>会食利用補助：特別会員が会食でサンセール盛岡を利用したとき補助<br>□1人1回につき6千円以上の利用：3,000円<br>5千円以上6千円未満の利用：2,000円<br>3千円以上5千円未満の利用：1,000円<br>婚礼利用補助：会員及びその子が、結婚披露宴でサンセール盛岡を利用したとき補助<br>□150,000円を上限に1組の利用額の25% |
| 退職慰労記念品費        | 24,760,000  | 旅行券……437人<br>香典料……8人  | 退職又は異動により退会したとき旅行券を交付<br>□会員年数1年以上10年未満：20,000円<br>10年以上20年未満：40,000円<br>20年以上30年未満：60,000円<br>30年以上：80,000円<br>死亡により退会したとき遺族に香典料を支給<br>□香典料：50,000円  |
| 遺児育英資金          | 1,500,000   | 3人  | 会員が死亡したとき、被扶養者のうち、当該年度末までの間に満18歳以下である遺児があるとき給付<br>□遺児1人 500,000円  |
| ライフプランセミナー      | 923,133     |   | □ライフプランを基本に「健康管理」「年金」「生涯生活設計」について基礎研修と選択研修の講座を実施<br>□退職予定者を対象に県内数か所で退職準備セミナーを開催（共済組合との共催事業）   |
| 公益文化事業費         | 8,424,458   |   | □互助会報発行：年4回 □会報表紙写真募集<br>□岩手教育芸術祭開催（他団体と共催）<br>□教職員囲碁大会（県大会・全国大会）<br>□文化公演会（他団体と共催） □福祉のしおり   |
| 保険外医療給付金        | 2,867,235   | マッサージ等……232件<br>妊婦検診……35件<br>歯科治療……55件<br>不妊治療……9件                              | 会員が保険適用外医療（マッサージ等、歯科治療、妊婦検診及び不妊治療）を受けたとき給付<br>□1年度について10,000円以内   |
| 身体矯正器具等購入(修理)補助 | 20,025,043  | 眼鏡……2,012件<br>補聴器……3件   | 眼鏡、補聴器、補装具のいずれかを購入（修理）したとき補助<br>□2年度に1回に限り10,000円以内   |
| ホームヘルパー雇用補助     | 998,848     | 17件   | 会員、配偶者、会員又は配偶者の扶養家族、会員又は配偶者の父母（別居しているときは、同居者がいない場合に限る）が、在宅療養中に介助者及び家事援助者（3親等以外の者）を1年度に5日以上雇用して、その費用を負担したとき補助。<br>□1日2,000円以内（1年度に60日を限度）<br>ただし、介護保険の在宅支給給付を受けている場合は、その自己負担額の範囲内とする。  |
| 心身リフレッシュ支援助成    | 45,255,200  | 15年……422人<br>25年……479人  | 会員の会員継続年数が15年、25年に達したとき助成<br>□会員年数15年：40,000円、25年：60,000円<br>□助成品目：旅行券又は図書カード   |
| 計               | 312,326,936 |   |   |

第4章 厚生福利

第2節 教職員互助会

第4 特別弔慰積立事業

第5 貸付事業

第4 特別弔慰積立事業

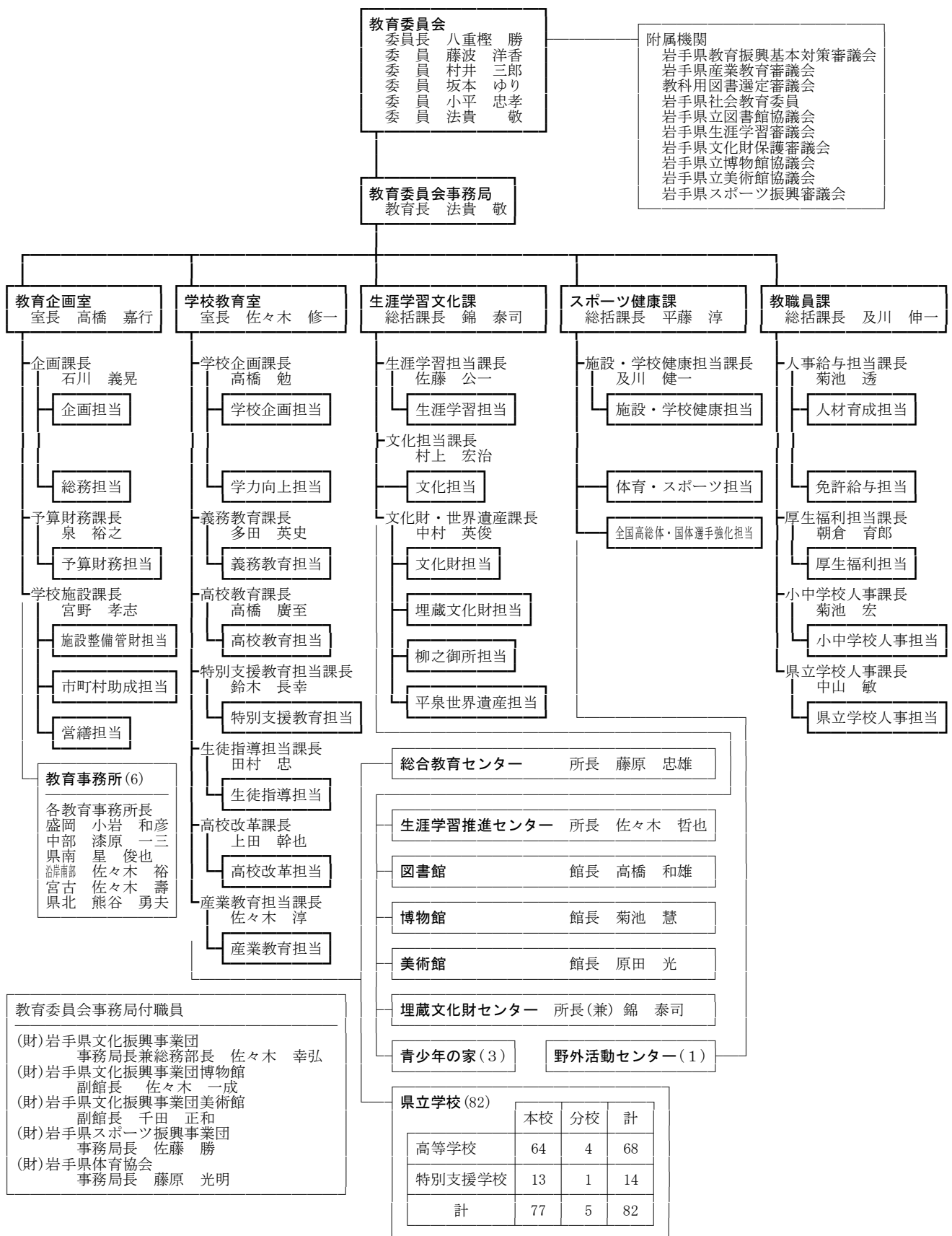
| 区 分   | 給付額 (円)    | 件数(人数)                                | 制度の概要   |
|-------|------------|---------------------------------------|---|
| 特別弔慰金 | 3,250,000  | 会員…………… 8人<br>配偶者…………… 4人<br>被扶養者…25人 | 会員、配偶者又は被扶養者が死亡したとき給付<br>□会員：20万円、配偶者：10万円、被扶養者：5万円 |
| 積立給付金 | 24,330,900 | 積立金… 486人                             | 退会により会員の資格を失ったとき、積立金を給付<br>□積立金・毎月200円積立の累計額        |
| 計     | 27,580,900 |                                       |   |

第5 貸付事業

| 区 分    | 貸付額 (円)     | 件 数  | 制度の概要   |
|--------|-------------|------|---|
| 生活資金   | 389,200,000 | 246件 | 会員が臨時に資金を必要とするとき<br>□貸付限度額200万円                     |
| 奨学資金   | 68,300,000  | 39件  | 会員又はその子弟が高校、大学等に入学又は修学するため資金を必要とするとき<br>□貸付限度額200万円 |
| 海外旅行資金 | 3,900,000   | 6件   | 会員が海外旅行をする場合で旅行日前2か月以内に資金を必要とするとき<br>□貸付限度額100万円    |
| 結婚資金   | 6,800,000   | 5件   | 会員又はその子が結婚する場合で婚姻の前後6か月以内に資金を必要とするとき<br>□貸付限度額200万円 |
| 計      | 468,200,000 | 296件 |   |



1 県教育委員会機構図（平成22年5月1日現在）



## 2 県教育委員会が所管する附属機関の委員

### 岩手県教育振興基本対策審議会委員（平成22年7月1日現在）

野田 武 則（釜石市長）  
 川村 光 朗（矢巾町長）  
 菅原 皓 文（軽米町教育委員会委員長）  
 菅原 義 子（奥州市教育委員会教育長）  
 谷藤 文 明（(財)岩手県体育協会理事）  
 佐藤 公 基（岩手県社会教育連絡協議会副会長）  
 佐藤 匡（(社)岩手県芸術文化協会理事）  
 佐々木 雅 博（岩手県高等学校PTA連合会幹事）  
 鈴木 祐 子（(社)岩手県PTA連合会副会長）  
 佐々木 壮 一（盛岡教育事務所教育相談員）  
 遠藤 洋 一（前盛岡第一高等学校長）  
 工藤 玲 子（滝沢村立柳沢小・中学校評議員）  
 高橋 寿 子（農事組合法人いさわ産直センターあじさい組長）  
 中村 美知子（有限会社アライブ代表取締役社長）  
 橋本 久 夫（特定非営利活動法人いわてマリフィールド理事長）  
 細川 恵 子（特定非営利活動法人紫波さぷり理事長）  
 三浦 光 子（臨床心理士）  
 谷村 久 興（谷村電気精機株式会社代表取締役社長）  
 （任期：平成21年7月1日～平成23年6月30日）

### 岩手県社会教育委員（平成22年7月1日現在）

阿部 幸 子（花巻市立八重畑小学校長）  
 佐藤 東 吾（岩手県立盛岡青松支援学校長）  
 鈴木 俊（岩手県立盛岡第二高等学校長）  
 泉田 将 治（岩手県青年団体協議会長）  
 平賀 喜代美（特定非営利活動法人岩手県地域婦人団体協議会副会長）  
 小野寺 明 美（(社)岩手県PTA連合会顧問）  
 大橋 清 司（岩手県社会教育連絡協議会長）  
 室井 麗 子（岩手大学教育学部准教授）  
 佐藤 利 明（岩手県立大学総合政策学部教授）  
 阿部 智衛子（特定非営利活動法人矢巾ゆりかご理事長）  
 齋藤 肇（財団法人滝沢村体育協会総務係長県事業係長(チャグチャグスポーツクラブ事務局長)）  
 中野 寛 司（岩手県合唱連盟会員 盛岡市立大宮中学校教諭）  
 近藤 英 一（特定非営利活動法人翔くつばさネット理事長）  
 松島 智 子（特定非営利法人紫波未来研究所事務局員）  
 熊坂 伸 子（普代村教育委員会教育長）  
 千葉 清（公募委員）

（任期：平成22年7月1日～平成24年6月30日）

### 岩手県立図書館協議会委員（平成23年6月20日現在）

安 保 位 子（岩手県学校図書館協議会長）  
 及 川 典 子（読み聞かせボランティアグループ「げやきの会」代表 おはなしキャラバン「すくすく」代表）  
 宮 手 一 恵（NPO法人うれし野こども図書館理事）  
 土 方 和 行（一関市役所川崎支所長）  
 藤 原 哲（岩手日報社編集局学芸部長）  
 斎 藤 純（作家）  
 佐々木 るみ子（遠野市教育委員会委員）  
 澤 口 杜 志（公募委員：うすゆきそう文庫代表）  
 （任期：平成22年7月1日～平成24年6月30日）

### 岩手県生涯学習審議会委員（平成22年7月1日現在）

阿部 幸 子（花巻市立八重畑小学校長）  
 佐藤 東 吾（岩手県立盛岡青松支援学校長）  
 鈴木 俊（岩手県立盛岡第二高等学校長）  
 泉田 将 治（岩手県青年団体協議会長）  
 平賀 喜代美（特定非営利活動法人岩手県地域婦人団体協議会副会長）  
 小野寺 明 美（(社)岩手県PTA連合会顧問）  
 大橋 清 司（岩手県社会教育連絡協議会長）  
 室井 麗 子（岩手大学教育学部准教授）  
 佐藤 利 明（岩手県立大学総合政策学部教授）  
 阿部 智衛子（特定非営利活動法人矢巾ゆりかご理事長）  
 齋藤 肇（財団法人滝沢村体育協会総務係長県事業係長(チャグチャグスポーツクラブ事務局長)）  
 中野 寛 司（岩手県合唱連盟会員 盛岡市立大宮中学校教諭）  
 近藤 英 一（特定非営利活動法人翔くつばさネット理事長）  
 松島 智 子（特定非営利法人紫波未来研究所事務局員）  
 熊坂 伸 子（普代村教育委員会教育長）  
 千葉 清（公募委員）

（任期：平成22年7月1日～平成24年6月30日）

## 参考資料

### 2 県教育委員会が所管する附属機関の委員

#### 岩手県文化財保護審議会委員（平成22年5月1日現在）

朝日田 卓（北里大学海洋生命学部准教授）  
大 島 晃 一（一関市博物館副館長）  
大 矢 邦 宣（盛岡大学教授）  
熊 谷 常 正（盛岡大学教授）  
越 谷 信（岩手大学准教授）  
佐 藤 由紀男（岩手大学教授）  
月 舘 敏 栄（八戸工業大学教授）  
中 屋 洋 子（盛岡簡易裁判所調停委員）  
根 本 智 行（石巻専修大学教授）  
橋 本 裕 之（盛岡大学教授）  
（任期：平成22年5月1日～平成24年4月30日）

#### 岩手県立博物館協議会委員（平成22年5月1日現在）

小笠原 洋 子（盛岡市立生出小学校長）  
中 村 雅 英（盛岡市立城西中学校長）  
藤 原 正 義（岩手県立盛岡第四高等学校長）  
加 藤 国 雄（岩手県青年団体協議会会長）  
柴 田 幸 榮（特定非営利活動法人岩手県地域婦人団体協議会副会長）  
安 倍 互（(社)岩手県PTA連合会顧問）  
野 沢 裕 美（小岩井農場展示資料館長）  
盛 川 通 正（滝沢村教育委員会教育長）  
前 田 千香子（岩手県立博物館友の会会員）  
小 原 守 夫（(株)岩手日報社編集局次長兼編集委員室長）  
名 越 利 幸（岩手大学准教授）  
遠 山 稿二郎（岩手医科大学教授）  
大 上 治 子（盛岡大学教授）  
澤 口 たまみ（エッセイスト）  
（任期：平成21年6月23日～平成23年6月22日）

#### 岩手県立美術館協議会委員（平成22年5月1日現在）

阿 部 裕 之（岩手大学教育学部教授）  
長 内 努（彫刻家・舞台美術家）  
久 慈 浩 介（(社)日本青年会議所東北地区岩手ブロック協議会会長）  
佐々木 繁 美（(財)盛岡市文化振興事業団事務局次長）  
佐 藤 浩 子（岩手県立美術館友の会会長）  
佐 藤 嘉 彦（滝沢村立滝沢第二中学校校長）  
菅 原 和 彦（(株)岩手日報社論説委員）  
鈴 木 祐 子（(社)岩手県PTA連合会副会長・母親委員長）  
そのだ つくし（漫画家）  
鳥 羽 真喜子（宮古市立津軽石小学校校長）  
中 村 文 子（公募委員）  
林 晶 子（(株)瑞光専務取締役）  
柳 橋 好 子（特定非営利活動法人岩手県地域婦人団体協議会常務理事）  
横 田 禮 子（学校法人スコール盛岡スコール高等学校校長）  
吉 田 浩 次（(株)川徳常務取締役）  
（任期：平成22年3月1日～平成24年2月29日）

#### 岩手県スポーツ振興審議会委員（平成22年6月23日現在）

松 尾 光 則（矢巾町教育委員会教育長）  
熊 谷 祐 三（岩手県商工会議所連合会副会長）  
佐々木 正 春（(財)岩手県体育協会副会長兼理事長）  
吉 水 宗 男（岩手県高等学校体育連盟理事長）  
西 郷 晃（岩手県中学校体育連盟理事長）  
伊 東 ま さ（岩手県体育指導委員協議会会長）  
朴 田 香 代（岩手県小学校体育研究会広報部員）  
清 水 茂 幸（岩手大学教育学部教授）  
押 切 昌 子（(社)岩手県薬剤師会理事）  
首 藤 信 一（ソウルオリンピックハンドボール競技日本代表）  
竹 村 馨（アトランタオリンピックシンクロナイズドスイミング団体編メダリスト）  
小 島 勝 子（公募委員）  
工 藤 真理子（公募委員）  
（任期：平成22年6月23日～平成24年6月22日）

### 3 県教育委員会会議録抄（平成22年度）

#### 4月定例会（平成22年4月19日）

- 事務報告1 平成22年2月県議会定例会の概要について
- 議案第1号 岩手県文化財保護審議会委員の任命に関し議決を求めることについて
- 議案第2号から議案第3号まで 学校職員の懲戒処分に関し議決を求めることについて
- 議案第4号 職員の懲戒処分に関し議決を求めることについて
- 議案第5号 学校職員の懲戒処分の臨時専決処理に関し承認を求めることについて

#### 5月定例会（平成22年5月17日）

- 事務報告1 第37回東北総合体育大会について
- 議案第6号 学校職員の懲戒処分に関し議決を求めることについて

#### 6月定例会（平成22年6月21日）

- 議案第7号 岩手県生涯学習審議会委員の任命に関し議決を求めることについて
- 議案第8号 岩手県社会教育委員の委嘱に関し議決を求めることについて
- 議案第9号 岩手県立図書館協議会委員の任命に関し議決を求めることについて
- 議案第10号 岩手県スポーツ振興審議会委員の任命に関し議決を求めることについて
- 議案第11号から議案第12号まで 学校職員の懲戒処分に関し議決を求めることについて

#### 7月定例会（平成22年7月20日）

- 事務報告1 平成21年6月県議会定例会の概要について
- 議案第13号から議案第14号まで 学校職員の懲戒処分に関し議決を求めることについて
- 議案第15号 学校職員の一般の退職手当等の全部を支給しないこととする処分に関し議決を求めることについて

#### 8月定例会（平成22年8月18日）

- 議案第16号 教育委員会の事務に係る点検及び評価に関し議決を求めることについて
- 議案第17号 県立学校の学科の廃止に関し議決を求めることについて

#### 9月定例会（平成22年9月21日）

- 事務報告1 平成23年度岩手県立一関第一高等学校附属中学校入学者選抜の概要について
- 事務報告2 平成22年度全国高等学校総合体育大会・全国中学校体育大会の結果について
- 議案第18号 岩手県教育振興基本対策審議会委員の任命及び解任に関し議決を求めることについて
- 議案第19号 文化財の指定に関し議決を求めることについて
- 議案第20号から議案第21号まで 学校職員の懲戒処分に関し議決を求めることについて
- 議案第22号から議案第23号まで 校職員の一般の退職手当等の全部を支給しないこととする処分に関し議決を求めることについて

#### 10月臨時会（平成22年10月7日）

- 第1 委員長選挙
- 第2 委員長職務代理者の指定
- 第3 委員長職務代理者の順位の決定
- 第4 議席の決定

#### 10月定例会（平成22年10月20日）

- 事務報告1 平成22年度「いわて教育の日」について
- 事務報告2 平成23年度岩手県立高等学校入学者選抜実施要項について
- 事務報告3 第65回国民体育大会（トキめき新潟国体）の結果について
- 事務報告4 平成22年人事委員会勧告の概要について
- 議案第24号 岩手県立高等学校の管理運営に関する規則の一部を改正する規則
- 議案第25号 教育表彰の受賞者に関し議決を求めることについて
- 議案第26号 平成23年度岩手県教育委員会定規人事異動方針に関し議決を求めることについて
- 議案第27号 学校職員の懲戒処分に関し議決を求めることについて
- 議案第28号 学校職員の一般の退職手当等の全部を支給しないこととする処分に関し議決を求めることについて

## 参考資料

### 3 県教育委員会会議録抄

#### 11月定例会（平成22年11月15日）

- 事務報告1 平成22年9月県議会定例会の概要について
- 事務報告2 平成23年度岩手県立特別支援学校高等部の学級数等について
- 議案第29号 学校職員の懲戒処分に関し議決を求めることについて

#### 12月定例会（平成22年12月20日）

- 事務報告1 平成22年12月県議会定例会の概要について
- 事務報告2 平成24年度岩手県立高等学校入学者選抜に関する日程について
- 議案第30号 学校職員の懲戒処分の臨時専決処理に関し承認を求めることについて
- 議案第31号 職員の懲戒処分に関し議決を求めることについて
- 議案第32号 学校職員の懲戒処分に関し議決を求めることについて
- 議案第33号 学校職員の一般の退職手当等の全部を支給しないこととする処分の臨時専決処理に関し承認を求めることについて

#### 1月定例会（平成23年1月17日）

- 事務報告1 平成23年度岩手県立一関第一高等学校附属中学校の入学者選抜検査の実施について

#### 2月定例会（平成23年2月14日）

- 議案第34号 岩手県立美術館協議会委員の任命に関し議決を求めることについて

#### 3月臨時会（平成23年3月4日）

- 議案第35号 岩手県教育委員会行政組織規則の一部を改正する規則
- 議案第36号 岩手県立高等学校の管理運営に関する規則の一部を改正する規則
- 議案第37号 本庁の室課の長等の人事に関し議決を求めることについて
- 議案第38号 公立小中学校長の人事に関し議決を求めることについて
- 議案第39号 県立学校の校長及び事務長の人事に関し議決を求めることについて

#### 3月臨時会（平成23年3月28日）

- 議案第40号 教育長の任命に関し議決を求めることについて

4 県教育委員会関係主要行事（平成22年度）

- 4月8～9日 第1回代表指導主事会議〔県庁舎〕  
 8～9日 第1回岩手県社会教育主事会議〔県庁舎〕  
 12日 公所長会議〔県庁舎〕  
 14～15日 岩手県指導主事等会議〔盛岡地区合庁等〕  
 15日 第1回県立学校長会議〔県庁舎〕  
 19日 教育委員会議定例会〔教育委員室〕  
 22日 県立学校副校長会議〔県庁舎〕
- 5月6～7日 県立学校等新任副校長研修講座〔県庁舎〕  
 13日 平成22年度県立学校事務長会議〔県庁舎〕  
 13日 第1回体験活動推進協議会〔田野畑村アズビィ楽習センター〕  
 14日 教育振興運動市町村担当者研修会〔県立博物館〕  
 12～14日 県立学校等新任校長研修講座〔清温荘〕  
 17日 教育委員会議定例会〔教育委員室〕  
 22日 岩手県ユネスコ連盟総会〔サンセール盛岡〕  
 27日～6月7日 第62回岩手県高等学校総合体育大会〔盛岡市ほか〕
- 6月 7日 第1回道徳教育推進協議会〔県庁舎〕  
 10日 東北盲学校教育研究会  
 21日 教育委員会議定例会〔教育委員室〕
- 7月 3日 放課後子どもプラン指導者合同研修会①〔生涯学習推進センター〕  
 13～25日 全国高等学校野球選手権大会岩手大会〔盛岡市ほか〕  
 15日 県小・中学校教育課程説明会〔総合教育センター〕  
 16日 第78回岩手県スポーツ振興審議会〔県庁舎〕  
 16日 岩手県美術選奨・芸術選奨表彰式〔サンセール盛岡〕  
 17～19日 岩手県中学校総合体育大会〔盛岡市ほか〕  
 20日 教育委員会議定例会〔教育委員室〕  
 21日 教育振興運動推進幹事会〔県庁舎〕  
 22～23日 都市社会教育主管課長会議〔大船渡市〕  
 28日 第1回岩手県生涯学習審議会・岩手県社会教育委員会議〔県庁舎〕  
 9日～8月10日 第1回今後の県立高校に関する地域検討会議〔県内9ブロック〕  
 28日～8月12日 全国高等学校総合体育大会〔沖縄県他〕
- 8月 1日 岩手県青少年民俗芸能フェスティバル  
 6日 全国生涯学習ネットワークフォーラム市町村説明会〔盛岡地区合同庁舎〕  
 9日 全国生涯学習ネットワークフォーラム市町村説明会〔久慈地区合同庁舎〕  
 10日 全国生涯学習ネットワークフォーラム市町村説明会〔一関地区合同庁舎〕  
 11日 全国生涯学習ネットワークフォーラム市町村説明会〔宮古地区合同庁舎〕  
 18～25日 全国中学校体育大会〔中国ブロック〕  
 18日 教育委員会議定例会〔教育委員室〕  
 20～22日 第37回東北総合体育大会〔岩手県〕  
 25日 岩手県家庭・地域教育力向上支援委員会〔サンセール盛岡〕
- 9月2～3日 北海道・東北ブロック生涯学習・社会教育委主管課長会議〔県庁舎〕  
 8日 第1回児童生徒表彰式（はばたき賞）〔県庁舎〕  
 10日 第1回岩手県文化財保護審議会〔県庁舎〕  
 13日 放課後子どもプラン指導者合同研修会②〔生涯学習推進センター〕  
 17日 交通安全教育指導者講習会兼第18回北海道・東北地区高等学校交通安全教育指導者研修会〔アイーナ〕  
 21日 教育委員会議定例会〔教育委員室〕  
 25日～10月5日 第65回国民体育大会〔千葉県〕  
 28日 全国生涯学習ネットワークフォーラム専門委員会準備会〔教育委員室〕
- 10月 1日 第33回岩手県高等学校総合文化祭開会式〔二戸市民文化会館〕  
 2日 第63回岩手芸術祭開幕フェスティバル〔県民会館〕  
 7日 学習定着度状況調査の実施〔各小中学校〕



4 県教育委員会関係主要行事

- 7日 教育委員会議臨時会 [教育委員室]
- 9日 全国生涯学習ネットワークフォーラム分科会開催市町村担当者会議 [県庁舎]
- 15日 第52回放送教育研究会東北大会岩手大会 [ホテルルイズ]
- 20日 教育委員会議定例会 [教育委員室]
- 21～22日 第2回岩手県社会教育主事会議 [生涯学習推進センター]
- 24日 子育てにいかず読書活動推進フォーラム
- 25日 第2回県立学校長会議 [盛岡地区合同庁舎]
- 26日 第1回全国生涯学習ネットワークフォーラム実行委員会 [サンセール盛岡]
- 28～29日 魅力ある学校づくり調査研究事業ブロック協議会 (東部地区) [アイーナ]
- 13日～11月10日 第1回今後の県立高校に関する地域別懇談会 [県内9ブロック]
- 11月 1日 「いわて教育の日」記念式典 [県民会館]
- 12日 教育表彰 [県民会館]
- 15日 教育委員会議定例会 [教育委員室]
- 18日 第9回岩手県中学校総合文化祭開会式 [県民会館]
- 24日 第2回体験活動推進協議会 [田野畑村アズビィ楽習センター]
- 25日 第2回代表指導主事会議 [県庁舎]
- 26日 キャリア教育推進フォーラムinいわて [二戸市シビックセンター]
- 11日～12月22日 第2回今後の県立高校に関する地域検討会議 [県内9ブロック]
- 16日～12月21日 第2回今後の県立高校に関する地域別懇談会 [県内9ブロック]
- 12月 6日 第2回道徳教育推進協議会 [県庁舎]
- 9日 全国生涯学習ネットワークフォーラム分科会開催市町村担当者会議 [県庁舎]
- 11日 いわてスポーツコンベンション2010 [ホテルメトロポリタン盛岡]
- 20日 教育委員会議定例会 [教育委員室]
- 22日 全国生涯学習ネットワークフォーラム評価検証委員会 [文部科学省]
- 1月 7日 第46回岩手県学校健康教育研究大会 [アイーナ]
- 12日 いわて型コミュニティスクール推進フォーラム (岩手県民会館中ホール)
- 17日 教育委員会議定例会 [教育委員室]
- 19日 岩手県就学指導委員会 [県庁舎]
- 20日 第2回県指導主事会議 (盛岡地区合同庁舎等)
- 20日 第79回スポーツ振興審議会
- 28日 幼稚園等新規採用教員研修運営協議会 [県庁舎]
- 26日～30日 第66回国民体育大会冬季大会スケート競技会 [青森県]
- 7日～2月10日 第3回今後の県立高校に関する地域検討会議 [県内9ブロック]
- 2月 3日 全国生涯学習ネットワークフォーラムテーマ別フォーラム「連携」第1回運営委員会 [サンセール盛岡]
- 7～10日 平成22年度全国中学校スキー大会 [八幡平市]
- 8日 第3回代表指導主事会議 [県庁舎]
- 8日 第2回岩手県生涯学習審議会・岩手県社会教育委員会議 [県庁舎]
- 9～10日 岩手県生涯学習推進研究発表会 [生涯学習推進センター]
- 10日 第2回児童生徒表彰式 (はばたき賞) [県庁舎]
- 10日 第2回岩手県文化財保護審議会 [県庁舎]
- 14日 教育委員会議定例会 [教育委員室]
- 14日 第3回岩手県社会教育主事会議 [サンセール盛岡]
- 15日 第3回県立学校長会議 [サンセール盛岡]
- 16日 第2回岩手県家庭・地域教育力向上支援委員会 [サンセール盛岡]
- 25～28日 第66回国民体育大会冬季大会スキー競技会 [秋田県]
- 3月 2日 全国生涯学習ネットワークフォーラム運営委員会 [軽米町役場]
- 4日 教育委員会議臨時会 [教育委員室]
- 4日 教育振興運動推進幹事会 [盛岡地区合同庁舎]
- 10日 全国生涯学習ネットワークフォーラム実行委員会 [サンセール盛岡]
- 11日 岩手県農業人材育成連携推進委員会 [サンセール盛岡]
- 11日 岩手県子どもの読書活動推進委員会 [盛岡地区合同庁舎]
- 28日 教育委員会議臨時会 [教育委員室]



## 5 県教育委員会が所管する特例民法法人・公益信託

【特例民法法人（平成23年3月31日現在）】

| 番号 | 名称             | 許可年月日       | 目的・事業        | 所在地                         |
|----|----------------|-------------|--------------|-----------------------------|
| 1  | (社)達古袋農業教育協会   | 大正3年6月15日   | 農業教育の普及      | 一関市萩荘字八幡153-1               |
| 2  | (財)大慈会         | 大正11年11月18日 | 大慈寺の維持経営     | 盛岡市大慈寺町5-6（大慈寺内）            |
| 3  | (財)岩手育英会       | 大正14年9月10日  | 育英奨学         | 盛岡市津志田14-37-2（盛岡市教委内）       |
| 4  | (財)盛岡菅公会       | 昭和2年5月14日   | 育英・天満宮維持経営   | 盛岡市南大通2-8-5                 |
| 5  | (社)繫報徳社        | 昭和2年10月3日   | 防貧、救貧事業      | 宮古市川井6-138-1                |
| 6  | (財)福岡高等学校奨学会   | 昭和5年11月11日  | 育英奨学         | 二戸市福岡字上平10                  |
| 7  | (財)岩手教育会館      | 昭和27年8月18日  | 教育関係者の福利厚生   | 盛岡市大通1-1-16                 |
| 8  | (財)重茂教育振興会     | 昭和30年3月30日  | 奨学金貸与        | 宮古市大字重茂第1地割字西大館61           |
| 9  | (財)岩手県学校給食会    | 昭和33年5月1日   | 学校給食関係事業     | 盛岡市流通センター北1-12-1            |
| 10 | (財)岩手県高校教育会館   | 昭和34年11月6日  | 高校関係教職員の福利厚生 | 盛岡市志家町11-13                 |
| 11 | (財)高村記念会       | 昭和40年11月4日  | 高村光太郎記念館の管理  | 花巻市花城町4-28（総合花巻病院内）         |
| 12 | (財)岩手県体育協会     | 昭和41年4月28日  | 県民体育の普及振興    | 盛岡市青山4-13-30                |
| 13 | (財)二十五菩薩像保存委員会 | 昭和42年2月23日  | 二十五菩薩像の保存    | 一関市東山町松川字町裏64               |
| 14 | (財)岩手育英奨学会     | 昭和42年7月14日  | 育英奨学         | 盛岡市内丸10-1（県教委教育企画室内）        |
| 15 | (財)岩手日報労友会奨学基金 | 昭和43年3月23日  | 育英奨学         | 盛岡市内丸3-7（岩手日報労組内）           |
| 16 | (社)岩手県文化財愛護協会  | 昭和44年7月1日   | 文化財愛護思想の普及   | 盛岡市上田字松屋敷34（県立博物館内）         |
| 17 | (財)石川啄木記念館     | 昭和44年9月18日  | 石川啄木記念館の管理   | 盛岡市玉山区洪民字洪民9                |
| 18 | (財)岩手県教育弘済会    | 昭和46年9月22日  | 研究団体への助成     | 盛岡市中央通3-3-1（ジブラルタ生命内）       |
| 19 | (社)久慈学校給食協会    | 昭和47年3月24日  | 学校給食関係事業     | 久慈市寺里30-77                  |
| 20 | (財)岩手県教職員互助会   | 昭和47年4月1日   | 教育関係者の福利厚生   | 盛岡市大通1-1-16                 |
| 21 | (社)野田村学校給食協会   | 昭和47年3月24日  | 学校給食関係事業     | 九戸郡野田村野田22-114-13           |
| 22 | (財)大船渡市体育協会    | 昭和47年4月24日  | 体育振興         | 大船渡市盛町字宇津野沢15（大船渡市教委内）      |
| 23 | (財)岩手県退職教職員互助会 | 昭和48年7月3日   | 教育文化の振興      | 盛岡市大通1-1-16                 |
| 24 | (財)遠野市教育文化振興財団 | 昭和49年4月22日  | 教育文化の振興      | 遠野市新町1-10（遠野市教委内）           |
| 25 | (財)大船渡市育英奨学会   | 昭和49年8月19日  | 育英奨学         | 大船渡市盛町字宇津野沢15（大船渡市教委内）      |
| 26 | (財)岩手県青少年会館    | 昭和49年8月30日  | 社会教育の振興      | 盛岡市みたけ3-38-20               |
| 27 | (財)軽米教育施設運営会   | 昭和50年4月1日   | 教育施設の管理      | 九戸郡軽米町大字軽米9-51-1            |
| 28 | (社)岩手県芸術文化協会   | 昭和50年7月21日  | 芸術文化の振興      | 盛岡市内丸13-1（県民会館内）            |
| 29 | (財)九戸教育施設運営会   | 昭和51年1月28日  | 教育施設の管理      | 九戸郡九戸村大字山根5-95              |
| 30 | (財)宮沢賢治記念会     | 昭和51年5月28日  | 文化遺産の管理保全    | 花巻市鍛冶町4-13                  |
| 31 | (財)紫波社会体育振興会   | 昭和51年12月20日 | 社会体育の振興      | 紫波郡紫波町桜町字下川原100             |
| 32 | (財)岩手県学校安全互助会  | 昭和52年4月1日   | 学校事故被災者救済    | 盛岡市中央通1-4-7                 |
| 33 | (財)三陸教育施設運営会   | 昭和52年4月18日  | 教育施設の管理      | 大船渡市三陸町越喜来字前田23             |
| 34 | (財)岩手教育文化センター  | 昭和54年8月20日  | 教育文化の向上      | 盛岡市上田3-18-33（国立大学法人岩大教育学部内） |
| 35 | (社)奥州市体育協会     | 昭和54年10月22日 | 体育・スポーツの振興   | 奥州市水沢区秋葉町24-3               |

| 番号 | 名称                   | 許可年月日                        | 目的・事業             | 所在地                             |
|----|----------------------|------------------------------|-------------------|---------------------------------|
| 36 | (財)盛岡市体育協会           | 昭和55年5月19日                   | 体育・スポーツの振興        | 盛岡市上田3-17-60                    |
| 37 | (財)滝沢村体育協会           | 昭和56年3月23日                   | 体育・スポーツの振興        | 岩手郡滝沢村大字鶴飼字御庭田1-1               |
| 38 | (社)一関市体育協会           | 昭和56年3月23日                   | 体育・スポーツの振興        | 一関市狐禅寺字石ノ瀬25-3                  |
| 39 | (社)岩手囲碁センター          | 昭和56年3月23日                   | 囲碁の普及             | 盛岡市大通1-1-16                     |
| 40 | (財)岩手町体育協会           | 昭和57年3月29日                   | 体育・スポーツの振興        | 岩手郡岩手町大字子抱4-12                  |
| 41 | (財)農林会館育英奨学会         | 昭和57年10月19日                  | 育英奨学              | 盛岡市菜園1-3-6                      |
| 42 | (財)紫波町体育協会           | 昭和58年3月23日                   | 体育・スポーツの振興        | 紫波郡紫波町桜町字下川原100                 |
| 43 | (財)雫石町体育協会           | 昭和58年4月30日                   | 体育・スポーツの振興        | 岩手郡雫石町第1地割字高前田104               |
| 44 | (財)伊藤育英会             | 昭和58年9月19日                   | 育英奨学              | 花巻市大通り1-12-14                   |
| 45 | (財)岩手県文化振興事業団        | 昭和60年4月8日                    | 文化の振興             | 盛岡市内丸13-1 (県民会館内)               |
| 46 | (財)岩手県スポーツ振興事業団      | 昭和60年3月26日                   | スポーツの振興           | 盛岡市みたけ1-10-1                    |
| 47 | (財)岩手県教育振興基金         | 昭和61年9月25日                   | 教育研究団体等への助成       | 盛岡市菜園1-11-15                    |
| 48 | (財)小林奨学育英会           | 昭和62年12月21日                  | 育英奨学              | 奥州市水沢区中町127 (株式会社マツヤ内)          |
| 49 | (社)久慈市体育協会           | 平成元年1月23日                    | 体育・スポーツの振興        | 久慈市新中の橋4-13-3                   |
| 50 | (財)三木育英会             | 昭和35年10月25日<br>(平成元年2月26日移管) | 育英奨学              | 一関市川崎町薄衣字石畑37 (川崎コンクリート工業株式会社内) |
| 51 | (財)宮古市体育協会           | 平成元年5月22日                    | 体育・スポーツの振興        | 宮古市小山田2-1-1                     |
| 52 | (財)日本ボーイスカウト岩手連盟維持財団 | 平成元年7月17日                    | ボーイスカウト運動の援助・普及啓蒙 | 盛岡市みたけ3-38-20 (岩手県青少年会館内)       |
| 53 | (社)八幡平市体育協会          | 平成2年2月19日                    | 体育・スポーツの振興        | 八幡平市大更37-105-12                 |
| 54 | (社)岩手県ピアノ音楽協会        | 平成3年3月20日                    | 芸術文化の振興           | 盛岡市緑が丘2-2-11 カーサ・ヴェルデ102        |
| 55 | (財)北上教育文化振興会         | 平成3年3月29日                    | 社会教育・文化・スポーツの振興   | 北上市相去町小糠沢19                     |
| 56 | (財)奥州市文化振興財団         | 平成4年4月20日                    | 文化の振興             | 奥州市水沢区佐倉河字石橋41                  |
| 57 | (財)岩手県スキー連盟          | 平成4年11月24日                   | スキーの振興            | 盛岡市大新町3-25                      |
| 58 | (財)金ヶ崎町生涯スポーツ事業団     | 平成5年11月22日                   | 生涯スポーツの振興         | 胆沢郡金ヶ崎町西根森山31-2                 |
| 59 | (財)花巻市体育協会           | 平成6年3月22日                    | スポーツの振興           | 花巻市城内1-43                       |
| 60 | (財)北上市体育協会           | 平成7年3月17日                    | スポーツの振興           | 北上市相去町高前壇27-36                  |
| 61 | (社)深澤紅子野の花美術館        | 平成8年3月21日                    | 画家深澤紅子の業績の公開展示    | 盛岡市紺屋町4-8                       |
| 62 | (財)盛岡市文化振興事業団        | 平成9年10月15日                   | 文化の振興             | 盛岡市盛岡駅西通2-9-1                   |
| 63 | (社)岩手県PTA連合会         | 平成12年7月17日                   | PTA活動の振興          | 盛岡市みたけ3-38-20 (岩手県青少年会館内)       |
| 64 | (財)北上市文化創造           | 平成15年2月13日                   | 文化の振興             | 北上市さくら通り2-1-1                   |
| 65 | (社)岩手県サッカー協会         | 平成17年4月1日                    | サッカーの振興           | 盛岡市青山4-13-30                    |

【公益信託（平成22年3月31日現在）】

| 名称             | 許可年月日      | 目的・事業 | 受託者   | 受託者           |
|----------------|------------|-------|-------|---------------|
| 公益信託田村清蔵記念奨学基金 | 昭和57年8月25日 | 育英奨学  | 田村 清蔵 | 三菱UFJ信託銀行株式会社 |

参考資料

6 県教育関係諸団体

6 県教育関係諸団体（平成23年5月1日現在）

| No. | 団体名                | 事務局所在地                           | 事務局電話番号      | 代表者    |
|-----|--------------------|----------------------------------|--------------|--------|
| 1   | 岩手県小学校長会           | 盛岡市紺屋町2-9 盛岡市勤労福祉会館内             | 019-623-8955 | 阿部 敬行  |
| 2   | 岩手県中学校長会           | 盛岡市紺屋町2-9 盛岡市勤労福祉会館内             | 019-622-0572 | 玉川 英喜  |
| 3   | 岩手県高等学校長協会         | 盛岡市上田3-2-1 盛岡第一高等学校内             | 019-623-4491 | 高橋 和雄  |
| 4   | 岩手県副校長会            | 盛岡市馬場町1-1 下橋中学校内                 | 019-651-2858 | 砂田 康裕  |
| 5   | 岩手県高等学校副校長協議会      | 盛岡市上田3-2-1 盛岡第一高等学校内             | 019-623-4491 | 佐藤 尚   |
| 6   | 岩手県小学校教育研究会        | 盛岡市本町通2-18-1 仁王小学校内              | 019-623-4214 | 横沢 幹雄  |
| 7   | 岩手県中学校教育研究会        | 盛岡市上田2-1-1 上田中学校内                | 019-623-4237 | 伊藤 好男  |
| 8   | 岩手県高等学校教育研究会       | 盛岡市上ノ橋町7-57 盛岡第二高等学校内            | 019-622-5101 | 鈴木 俊   |
| 9   | 岩手県小規模・複式学校教育研究連盟  | 盛岡市玉山区玉山字田畑19-1 城内小学校内           | 019-685-2301 | 小島 勝美  |
| 10  | 岩手県高等学校定時制通信制教育協会  | 盛岡市上田2-3-1 杜陵高等学校内               | 019-652-1813 | 菅原 完司  |
| 11  | 岩手県学校保健研究会         | 紫波町稲藤字牡丹野5-1 紫波第三中学校内            | 019-673-7305 | 西川 勝夫  |
| 12  | 岩手県学校給食研究会         | 盛岡市長田町16-1 河北小学校内                | 019-622-6256 | 稲垣 キツ子 |
| 13  | 岩手県公立小中学校事務職員研究協議会 | 二戸市福岡字下川又15 福岡小学校内               | 0195-23-6155 | 伊藤 義幸  |
| 14  | 岩手県公立学校事務長会        | 盛岡市上ノ橋町7-57 盛岡第二高等学校内            | 019-622-5102 | 栗生 行三  |
| 15  | 岩手県公立高等学校事務職員協会    | 遠野市六日町3-17 遠野高等学校内               | 0198-62-2823 | 菊池 薫   |
| 16  | 岩手県特別支援学校連絡協議会     | 盛岡市北山1-10-1 盛岡視覚支援学校内            | 019-624-2986 | 千田 光久  |
| 17  | 岩手県特別支援教育研究会       | 花巻市城内10-5 花巻幼稚園内                 | 0191-21-2157 | 坂本 均   |
| 18  | 岩手県国立幼稚園協議会        | 一関市滝沢字水口103-2 真滝幼稚園内             | 0191-21-2157 | 沖田 誠子  |
| 19  | (社)岩手県私立幼稚園連合会     | 盛岡市菜園1-3-6 農林会館内                 | 019-654-1434 | 坂本 洋   |
| 20  | (社)岩手県私学協会         | 盛岡市菜園1-3-6 農林会館内                 | 019-626-7627 | 小田島 順造 |
| 21  | 岩手県市町村教育委員会協議会     | 盛岡市津志田14-37-2 盛岡市教育委員会総務課内       | 019-651-4111 | 八巻 恒雄  |
| 22  | (社)岩手県専修学校各種学校連合会  | 盛岡市菜園1-3-6 農林会館内                 | 019-626-7627 | 龍澤 正美  |
| 23  | (社)岩手県PTA連合会       | 盛岡市みたけ3-38-20 県青少年会館内            | 019-641-6444 | 松尾 正弘  |
| 24  | 岩手県高等学校PTA連合会      | 盛岡市上田3-2-1 盛岡第一高等学校内             | 019-625-6386 | 工藤 重信  |
| 25  | 岩手県特別支援学校PTA連合会    | 盛岡市北山1-10-1 盛岡視覚支援学校内            | 019-624-2986 | 村上 直人  |
| 26  | 岩手県国立幼稚園PTA連絡協議会   | 奥州市胆沢区南都田字塚田214-4 南都田幼稚園内        | 0197-46-2322 | 鈴木 貴之  |
| 27  | 岩手県私立幼稚園PTA連合会     | 盛岡市菜園1-3-6 農林会館内                 | 019-654-1434 | 淋代 美穂  |
| 28  | 岩手県私立小中高等学校保護者会    | 盛岡市菜園1-3-6 農林会館内                 | 019-626-7627 | 澤口 寿   |
| 29  | 岩手県子ども会育成会連絡協議会    | 矢巾町又兵衛新田7-214-7                  | 019-697-4957 | 三浦 保治  |
| 30  | 岩手県生涯学習振興協会        | 花巻市北湯口2-82-13 生涯学習推進センター内        | 0198-27-4555 | 高橋 寛   |
| 31  | 岩手県図書館協会           | 盛岡市盛岡駅西通1-7-1 県立図書館内             | 019-606-1730 | 酒井 久美子 |
| 32  | 岩手県青年団体協議会         | 盛岡市みたけ3-38-20 県青少年会館内            | 019-641-6412 | 泉田 将治  |
| 33  | (特活)岩手県地域婦人団体協議会   | 盛岡市みたけ3-38-20 県青少年会館内            | 019-648-6620 | 及川 公子  |
| 34  | 岩手県ユネスコ協会連盟        | 盛岡市内丸10-1 県教育委員会事務局生涯学習文化課内      | 019-629-6176 | 安藤 厚   |
| 35  | 岩手県社会教育連絡協議会       | 盛岡市津志田14-37-2 盛岡市教育委員会生涯学習スポーツ課内 | 019-651-4111 | 大橋 清司  |
| 36  | 岩手県地域視聴覚教育協議会連絡協議会 | 盛岡市内丸10-1 県教育委員会事務局生涯学習文化課内      | 019-629-6176 | 千葉 仁一  |
| 37  | ボーイスカウト岩手県連盟       | 盛岡市みたけ3-38-20 県青少年会館内            | 019-641-1995 | 内宮 眞   |
| 38  | ガールスカウト日本連盟岩手県支部   | 盛岡市みたけ3-38-20 県青少年会館内            | 019-641-1153 | 平井 ふみ子 |
| 39  | (社)岩手県文化財愛護協会      | 盛岡市上田字松屋敷34 県立博物館内               | 019-661-9688 | 佐藤 宏   |
| 40  | 岩手県読書推進運動協議会       | 盛岡市盛岡駅西通1-7-1 県立図書館内             | 019-606-1730 | 酒井 久美子 |
| 41  | 岩手県中学校文化連盟         | 盛岡市馬場町1-1 下橋中学校内                 | 019-604-0126 | 熊谷 雅英  |
| 42  | 岩手県高等学校文化連盟        | 盛岡市津志田26-17-1 盛岡第四高等学校内          | 019-635-1068 | 須貝 竹志  |
| 43  | 岩手県中学校体育連盟         | 盛岡市愛宕町1-1 下小路中学校内                | 019-651-1942 | 作山 雅宏  |
| 44  | 岩手県高等学校体育連盟        | 盛岡市高松4-17-16 盛岡第三高等学校内           | 019-661-8115 | 山田 市雄  |
| 45  | (財)岩手県体育協会         | 盛岡市青山4-13-30                     | 019-648-0400 | 達増 拓也  |
| 46  | 岩手県生涯スポーツ推進協議会     | 盛岡市みたけ1-10-1 (財)岩手県スポーツ振興事業団内    | 019-641-1127 | 大矢 正昭  |
| 47  | 岩手県学校保健会           | 盛岡市内丸10-1 県教育委員会事務局スポーツ健康課内      | 019-629-6193 | 石川 育成  |
| 48  | (財)岩手県学校安全互助会      | 盛岡市中央通1-4-7                      | 019-654-3027 | 菅野 洋樹  |
| 49  | (財)岩手県学校給食会        | 盛岡市流通センター北1-12-1                 | 019-638-9429 | 盛川 通正  |
| 50  | 公立学校共済組合岩手支部       | 盛岡市内丸10-1 県教育委員会事務局教職員課内         | 019-629-6126 | 菅野 洋樹  |
| 51  | (財)岩手県教職員互助会       | 盛岡市大通1-1-16 岩手教育会館内              | 019-622-7762 | 菅野 洋樹  |
| 52  | (財)岩手育英奨学会         | 盛岡市内丸10-1 県教育委員会事務局教育企画室内        | 019-623-2050 | 原 久雄   |
| 53  | (財)岩手県文化振興事業団      | 盛岡市内丸13-1 県民会館内                  | 019-654-2235 | 池田 克典  |
| 54  | (社)岩手県芸術文化協会       | 盛岡市内丸13-1 県民会館内                  | 019-626-1202 | 松本源 蔵  |
| 55  | (財)岩手県スポーツ振興事業団    | 盛岡市みたけ1-10-1                     | 019-641-1127 | 大矢 正昭  |
| 56  | (社)岩手県私学振興会        | 盛岡市菜園1-3-6 農林会館内                 | 019-652-0960 | 龍澤 正美  |
| 57  | 岩手県産業教育振興会         | 盛岡市本宮2-35-1 盛岡商業高等学校内            | 019-636-1940 | 阿部 正樹  |



岩手県教育年報 平成22年度版

発行 岩手県教育委員会

編集 岩手県教育委員会事務局教育企画室

所在地 岩手県盛岡市内丸10番1号 岩手県庁10階

電話番号 019-629-6106

ファクシミリ番号 019-629-6119

電子メールアドレス DB0001@pref.iwate.jp